
東京大学
空間情報科学研究センター
年報
第4号 2001年度

Csis

Annual Report

**Center for Spatial Information Science
University of Tokyo**

Vol. 4 - 2001 Fiscal Year

I 空間情報科学研究センターの 2001 年度報告書を出版するにあたり

センター長 岡部篤行

東京大学空間情報科学研究センターが設立されて今年度は 4 年目にあたります。センターの時限は 10 年ですので、ほぼ半分のあたりまで来ました。ここまで順調に来ることができたのも、皆様がたのご支援のおかげであり、センター一同、感謝をしております。

今年度の一番大きな事業は、ほぼ半分まで来たという時期にあたり、外部評価を行ったことでしょう。伊理正夫委員長（中央大学教授・東京大学名誉教授）、亀田弘行委員（京都大学教授）、小峰隆夫委員（国土交通省国土計画局長）、坂下 昇委員（流通経済大学学長・筑波大学名誉教授）、野上道男委員（日本大学教授）、吉川 稔委員（国土空間データ基盤推進協議会運営委員長）、M. Batty 委員（Director of CASA）、S. Fotheringham 委員（Director of RRL）、M. Goodchild 委員（Director of NCGIA）、A.G. Yeh 委員（Director of GIS Research Centre）をお願いいたしました。評価の結果は、来年度、報告書として出版されますが、総じて大変、高い評価をしていただきました。と同時に、課題もいろいろご指摘していただきました。この外部評価結果を踏まえて、今後、よりよいセンターを目指す所存であります。

事業ではありませんが、今年度の大きな決定は、センター建物棟の 1500 余平米が、柏に認められたことでしょう。いままでの駒場第 2 キャンパスと本郷キャンパスに散らばって研究をするという不便な環境に終わりをつげる目処がたちました。関係当局の方々に感謝を申し上げます。

このように、今年度は来年度に向けて大きなきっかけとなることができました。このきっかけを生かして、来年度もセンター一同、諸活動に邁進いたしますので、是非、皆様方のご指導ご鞭撻の程をお願い申し上げます。

II 組織概要

○空間情報科学とは？

この世で起きる現象や社会問題には、空間的な要因と密接に結びついたものが数多くあります。これらの現象や問題を解明したり解決しようとする、どの場合においても必要となる基礎的な方法があります。その汎用的な方法と応用方法を研究するのが、空間情報科学です。

すなわち、空間情報科学とは、空間的な位置や領域を明示した自然・社会・経済・文化的な属性データ（＝「空間データ」）を、系統的に構築→管理→分析→総合→伝達する汎用的な方法と、その汎用的な方法を諸学問に応用する方法を研究する学問です。

○センターの目的

センターは次の3つの目的を持っています。

1. 空間情報科学の創生、深化、普及

空間情報科学は、多くの期待をになって誕生した学問ですが、まだ双葉の状態です。これを育て、しっかりとした骨格の学問に作り上げるのがセンターの目的です。その成果は、多くの分野の研究に大きな波及効果を与えます。

2. 研究用空間データ基盤の整備

空間情報科学の研究には、多くの空間データを必要とします。この空間データ作成には多くの時間、労力、費用を必要としますが、これを個人の研究者が個々に揃えるのは困難です。そこで、センターは、共通に使われる空間データを整備し、それを自在に利用できるシステムを提供して、研究者の支援をいたします。

3. 産官学共同研究の推進

空間情報科学の研究は、基礎科学的性格に加えて、応用・政策科学的性格を持つ特色を有していますので、産官学の共同研究が不可欠です。例えば、空間データ標準化の研究は、関連官庁との共同研究が、新しい産業を興すようなベンチャー的研究は、民間研究所との共同研究が不可欠です。センターはそのような共同研究をはぐくむ場を提供いたします。

○センターの研究部門

センターの研究部門は、次の3つより成り立っています。

1. 空間情報解析研究部門

空間情報解析研究部門では、地形、地質、水文、植生などの自然的な空間現象、施設立

地，商業活動，生活行動，人口移動などの人文社会的な空間現象，およびそれらの相互作用を解析する汎用的方法と，さまざまな解析結果を空間的に総合して政策などを策定する汎用的な方法を研究しています。

2. 空間情報システム研究部門

空間情報システム研究部門では，実世界の地理空間に対応する「デジタル地理空間」を構築・更新するシステムと，デジタル地理空間の情報を表示・伝達するシステムの開発研究を行っています。

3. 時空間社会経済システム研究部門

時空間社会経済システム研究部門は，空間情報システムを適用し，社会経済的な空間現象の実証分析を行っています。現在，都市政策の費用便益分析，都市システムの実証分析，時空間計量モデルなどの研究を進めています。

○研究支援機能

センターは，空間情報科学に関する研究を行っている研究者の支援を行っています。空間データの所在や内容，入手方法を記した空間メタデータをネットワークで提供するクリアリングハウスと，研究に多用される基本的な空間データを共同利用するシステムの整備を行っています。

○センター定員と現員（2002年3月31日時点）

	定員	現員
教授	5	3
助教授	3	5
助手	2	2
客員教授・助教授	2（うち外国人1）	2
研究機関研究員	2	2
研究支援推進員	1	1
拠点校客員教授・助教授	9	9
（センター長 兼任	1	1）

Ⅲ 運営委員会

第十二回 運営委員会

○平成 13 年 7 月 18 日（水） 午前 16 時 00 分開会 列品館中会議室

○出席

委員長	教授	岡部篤行
経済学研究科	教授	金本良嗣
空間情報科学研究センター	教授	八田達夫
空間情報科学研究センター	教授	浅見泰司
空間情報科学研究センター	助教授	小口 高
空間情報科学研究センター	助教授	城所幸弘
空間情報科学研究センター	助教授	丸山祐造
法学政治学研究科	教授	井上達夫
人文社会系研究科	教授	今村啓爾
新領域創成科学研究科	教授	大森博雄
情報学環・学際情報学府	教授	池内克史
農学生命科学研究科	助教授	斉藤勝宏（代理）
情報学環・学際情報学府	教授	荒川忠一

平成 13 年 3 月 12 日開催の運営委員会議事要旨が承認された。

議事に先立ち、岡部委員長から、平成 13 年 4 月 1 日付け昇任の浅見泰司教授及び、平成 13 年 5 月 1 日付け配置換えの瀬崎 薫助教授の紹介があった。

議事

1. 平成 12 年度決算について

大場司計掛長から、配付資料に基づき説明があり、承認された。

2. 平成 13 年度予算について

大場司計掛長から、配付資料に基づき説明があり、承認された。

3. 定年制について

岡部委員長から、配付資料に基づき説明があり、施行日及び了解事項第 2 項の日付を平成 14 年 4 月 1 日付けとする旨説明があり、承認された。

なお、運用上必要な事項が出てきた際には、運営委員会にて審議の上、申し合わせとして加えていく旨説明があり、承認された。

4. その他

荒川総長補佐から、独立行政法人化に際してセンター等の組織は厳しい立場であるため、早めに将来のことを見据えて検討してほしい旨、発言があった。これに対して、岡部委員長から、当センターでは外部評価等を行っていく旨、説明があった。

第十三回 運営委員会

○平成 13 年 11 月 20 日（火） 午前 13 時 00 分開会 列品館中会議室

○出席

委員長	教授	岡部篤行
経済学研究科	教授	金本良嗣
空間情報科学研究センター	教授	柴崎亮介
空間情報科学研究センター	教授	八田達夫
空間情報科学研究センター	教授	浅見泰司
空間情報科学研究センター	助教授	有川正俊
空間情報科学研究センター	助教授	城所幸弘
空間情報科学研究センター	助教授	瀬崎 薫
医学系研究科	教授	大塚柳太郎
新領域創成科学研究科	教授	大森博雄
情報学環・学際情報学府	教授	池内克史
事務局	事務局長	坂本幸一
情報学環・学際情報学府	教授	荒川忠一

平成 13 年 7 月 18 日開催の運営委員会議事要旨が承認された。

議事に先立ち、岡部委員長から、センター設立当初からの運営委員メンバーである農学生命科学研究科・藤田夏樹教授が平成 13 年 10 月 15 日に亡くなられた旨、報告があり、黙祷を行った。

議事

1. 次期センター長選出のための推薦委員選出について

岡部委員長から、センター長候補者選考内規第 3 条第 1 項に基づき、推薦委員会を設けセンター長候補者を選出しなければならないため、同条第 2 項に基づき、センター長及び推薦委員 4 名を選出する旨、説明があった。

また、前回のセンター長候補者選出のための推薦委員を選出した際の経緯が説明され、今回も同様に推薦委員を選出したい旨提案があり、下記の者が委員として選出され、審議の結果、承認された。

岡部篤行 教授（センター長）、金本良嗣 教授（経済）、
大森博雄 教授（新領域）、池内克史 教授（情報学環）、
柴崎亮介 教授（空間）

2. 外部評価に伴う規程について

岡部委員長から、同センター設立から約4年が経ち、センターの時限が約半分経過したので、設立当初に掲げた目標を評価していただく良い機会であるため、来年3月に外部評価を行いたい旨、説明があった。

また、外部評価を行うに際し、評価委員会規則を定めなければならないため、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

3. その他

法人化及びトップ30について意見交換があった。

第十四回 運営委員会

○平成14年2月1日（金） 午前10時00分開会 列品館中会議室

○出席

委員長	教授	岡部篤行
空間情報科学研究センター	教授	柴崎亮介
空間情報科学研究センター	教授	八田達夫
空間情報科学研究センター	教授	浅見泰司
空間情報科学研究センター	助教授	小口 高
空間情報科学研究センター	助教授	有川正俊
空間情報科学研究センター	助教授	城所幸弘
空間情報科学研究センター	助教授	丸山祐造
空間情報科学研究センター	助教授	瀬崎 薫
法学政治学研究科	教授	井上達夫
医学系研究科	教授	大塚柳太郎
人文社会系研究科	教授	今村啓爾
新領域創成科学研究科	教授	大森博雄
情報学環・学際情報学府	教授	池内克史
情報学環・学際情報学府	教授	荒川忠一

平成 13 年 11 月 20 日開催の運営委員会議事要旨が承認された。

議事

1. 次期センター長の選出について

大森推薦委員会委員長から、次期センター長候補者として、岡部篤行氏を推薦する旨説明があり、投票の結果、岡部篤行氏を次期センター長候補者とすることに決定した。

2. 教官人事について

(1) 平成 14 年度第 1 種客員教官について

岡部委員長から、配付資料に基づき、森田 喬氏について説明があり、審議の結果、承認された。

(2) 平成 14 年度第 3 種客員教官について

岡部委員長から、配付資料に基づき、史 中超氏について説明があり、審議の結果、承認された。

3. その他

岡部委員長から、1 月末に 2 日間、国外向けの外部評価を実施し、有意義な意見をいただいた旨、報告があった。また、3 月上旬に国内向けの外部評価を実施し、5 月をめどに報告書を完成させたい旨、報告があった。

岡部委員長から、昨年 10 月に亡くなられた運営委員会委員 藤田夏樹教授の後任として、農学生命科学研究科・五十嵐泰夫教授が同研究科より推薦された旨、説明があった。

IV 主催・共催シンポジウム等

● 東京大学空間情報科学研究センター第 4 回シンポジウム「新世紀を迎えた空間情報科学」

日時：平成 13 年 9 月 26 日（水） 10 時～19 時

場所：東京大学本郷キャンパス山上会館大会議室（2 階）

第 I 部では、空間情報科学研究センターで行っている研究の紹介と、教官が独自に行っている研究者支援活動の報告がなされた。第 II 部では、内閣官房個人情報保護担当室の清水幹治氏に、個人情報保護法案について、空間情報との関連を交えながらわかりやすくご講演いただいた。

シンポジウムは、多数の研究機関・民間企業より約 100 名の参加があり、盛況のうちに終了し、引き続き多くの方のご出席をいただいて懇親会が催された。

プログラム

10:00-10:10 開会の挨拶（東京大学空間情報科学研究センター長 岡部篤行）

10:10-12:40 第 I 部：東京大学空間情報科学研究センターの研究動向

1) 空間情報解析部門の研究概略・紹介

（東京大学空間情報科学研究センター 浅見泰司，杉盛啓明，朴 成元）

2) 空間情報システム部門の研究概略・紹介

（東京大学空間情報科学研究センター 柴崎亮介，瀬崎 薫）

3) 時空間社会経済システム部門の研究概略・紹介

（東京大学空間情報科学研究センター 城所幸弘，八田達夫，丸山祐造）

12:40-14:10 休憩

14:10-15:00

4) 空間情報科学研究センタースタッフによる研究支援活動

（東京大学空間情報科学研究センター 高橋昭子，来間玲二，相良 毅）

15:20-16:50 第 II 部：招待講演

「個人情報保護法案について」

（内閣官房 個人情報保護担当室 室長補佐 清水幹治）

17:00-19:00 懇親会

● 第3回空間情報科学大学研究教育連絡会議

日時：2001年12月8日（土）10:30～16:30

場所：東京大学本郷キャンパス工学部14号館2階144番教室

センターにおける研究支援サービスの概要紹介，研究創成（RI）プログラムの紹介を行い，また，危機管理ということで原田氏に講演をしていただいた。

プログラム

10:30-10:45 センター長挨拶・本会議の目的

センター長挨拶 [CSIS センター長 岡部篤行]

本会議の目的 [CSIS 浅見泰司]

10:45-11:30 CSISの研究支援サービス

研究創成プログラム [CSIS 浅見泰司]

データ支援サービス [CSIS 杉盛啓明]

クリアリングハウス [CSIS 相良 毅]

GIS-School [CSIS 有川正俊]

11:30-12:00 討論

13:00-14:30 不動産 RI

学際的不動産研究 [CSIS 浅見泰司]

金融工学と不動産 [CSIS 客員教授 川口有一郎]

14:30-15:00 休憩

15:00-16:30 危機管理 RI

危機管理と空間情報 [科学警察研究所 原田 豊]

CSIS-RI（研究創成プログラム）

RI=Research Initiative

趣旨：なるべく異分野の研究者が集まり，新たな研究テーマの発掘を行い，共同研究につなげていく機構。

便益：新たな研究テーマを発見できるだけでなく，興味ある共同研究を自主的に立ち上げていき，また，自分の研究推進上で必要な技術を研究している他分野の人がどこにいるかを発見することもできる。

活動：特定テーマに関連して，研究概要発表を行ったり，新たな研究テーマの掘り起こしのブレインストーミングを行なう。

● ワークショップ「空間の歴史—GISと歴史研究の可能性—」

日時：2001年4月26日（木） 14～19時

場所：東京大学工学部14号館802号室（都市工学科会議室）

プログラム

14:00-14:30 [はじめに]

- 1) 地域・歴史研究におけるGISの利用可能性
岡部篤行（東京大学空間情報科学研究センター）

14:30-16:00 [社会構造でみる地域空間]

- 1) 18世紀後半南インドの社会構造と地域空間
水島 司（東京大学大学院人文社会系研究科）
- 2) 18世紀後半南インドの社会構造と地域空間
貞広幸雄（東京大学大学院工学系研究科）
- 3) ディスカッション

16:00-19:00 [時系列でみる地域空間]

- 1) 環境変化の200年
水島 司（東京大学人文社会系研究科）
- 2) 現代南インド・ポンネリ地域における農業生態システム変化の時空間把握
永田淳嗣（東京大学大学院総合文化研究科）
- 3) NOAAリモートセンシングデータを用いたインドの植生変化の分析
増山 篤（東京大学工学部都市工学科）
- 4) ランドサット衛星データを用いた土地利用の推定
段 烽軍（東京大学大学院工学系研究科）
- 5) ディスカッション

● 第12回機能図形情報システムシンポジウム

日時：2001年5月17日（木）9:30～17:00

場所：東京大学生産技術研究所 第1会議室（Bw701）

プログラム

9:45- 開会挨拶 大沢 裕（埼玉大学）

セッション1 (空間情報収集手法)

- 10:00-10:30 車両搭載型センサを用いた3次元都市空間モデルの自動構築
[辻・今野・下垣 (アジア航測)]
- 10:30-11:00 マルチクラスター協調による不連続面の検出
[福西*・坂元†・宇都*・小杉* (*東工大, †アジア航測)]
- 11:00-11:30 地理画像解析における隣接関係の評価とその適応的セグメンテーションへの応用
[三上*・福西*・小杉*・明野†・飯村† (*東工大, †国土地理院)]

セッション2 (空間情報システム構築技術)

- 12:45-13:15 時空間BBSによる地域コミュニティの情報共有
[田中・有川・柴崎 (東大)]
- 13:15-13:45 WWW型デジタル地図共同利用システム開発
[番場・坂井・吉森 (プレス)]
- 13:45-14:15 トポロジー暗示型時空間情報管理システム: STIMS
[大沢・長島 (埼玉大)]
- 14:15-14:45 設備GIS (FM) を利用したネットワーク解析の実施例ー断水区域抽出方法
[米山・汐崎 (東京ガス)]

セッション3 (機能図形応用技術)

- 15:00-15:30 携帯電話向け道案内生成のための地理情報処理
[久保田・谷川・長谷川・松田 (東芝)]
- 15:30-16:00 XML文書汎用符号化方式「XEUS」
[小林・高木・村松・馬場・松本・井ノ上 (KDDI研)]
- 16:00-16:30 機能図形の実空間web computingへの適用
[高木・村松・小林・馬場・井ノ上・橋本 (KDDI研)]

● アジア GIS 2001

日時: 2001年6月20日(水) ~ 22日(金)

場所: 東京ビッグサイト (東京国際展示場)

主催: 東京大学・空間情報科学研究センター

後援: (社)日本測量学会, 国際地理学連合GISコミッション, 日本GIS学会, 日本写真測量学会, The Association of Chinese Professionals in Geographic Information Systems

June 20

9:00- Registration

9:45- Opening: Okabe, A. (Director, CSIS, University of Tokyo)

<Room A>

10:00-12:15 Session 1: Land and Water Management (1)

Chair: Shibasaki, R. (University of Tokyo)

Zhou, G., Esaki, T., Mitani, Y. (Kyushu University) Three dimensional groundwater flow and land subsidence modeling in Saga Plain by using GIS

Yang, C., Sun, T. (National Institute for Environment Studies) The experts system and GIS for suitability evaluation of land treatment of municipal wastewater in north of China

Tseng, Y.-H. (National Cheng Kung University) Integration of remote sensing and GIS for paddy field inventory

Guoan, T., Zhengjiang, C., Yang, W. (Department of Urban and Resource Sciences) The impact of resolution on the accuracy of hydrologic data derived from DEMs

13:30-15:45 Session 2: Mapping Techniques and Algorithms

Chair: Chen, C.F. (National Central University)

Chen, C.F., Fang, C.L. (National Central University) The making of mosaic image from aerial videotape

Ye, C.-S., Lee, K.-H. (Sogang University) A stereo matching algorithm using simulated ALOS-PRISM imagery

Zhao, H., Shibasaki, R. (University of Tokyo) Reconstructiong textured CAD model of urban environment using vehicle-borne laser range scanner and line camera

Tsuji, K. (Asia Air Survey Co. Ltd.) A new mobil mapping system based on multi-sensor integration

Rau, J.-Y., Chen, L.-C. (National Central University) Straight line detection for urban structures using Hough transform

Lee, C., Chen, C.F., Huang, S.-M., Hsu, C.-J. (National Central University) An automated airport pavement image survey system

16:15-17:05 Session 3: G-XML and Its Applications

Chair: Arikawa, M. (University of Tokyo)

Tsuchiya, H. (NTT East Corporation) Construction and testing of a tourist information system using G-XML

Abe, T. (DoCoMo Systems, Inc.) The experiment on the G-XML emergency information system in Kochi Prefecture, Japan

<Room B>

10:00-12:15 Session 4: Spatial IT (SIT) (1)

Chair: Arikawa, M. (University of Tokyo)

Tanaka, H., Arikawa, M., Shibasaki, R. (University of Tokyo) Public pseudo-3D spaces with association of photographs on the Web

Hiramatsu, K., (NTT Communication Science Laboratories) Location based web page search on Digital City Kyoto

Nakanishi, K., Hashiba, I., Kuwata, Y., Inoue, U. (NTT DATA) A method to specify quality requirements of spatial data products

Shinagawa, N., Nagai, T., Kitagawa, H., Ishikawa, Y. (Chiba University) Querying geographic data in XML via eXtensible XML query language X²QL

Hong, J.-H., Liaw, S.-P. (National Cheng-Kung University) Map metaphor consideration towards overlaying geographic data: A coverage metadata perspective

13:30-15:15 Session 5: Disaster Mitigation (1)

Chair: Goto, S. (Rissho University)

Lee, B.J., Chou, T.Y., Chung, L.K., Huang, P.H., Wu, Y.B., Huang, C.H. (Feng Chia University) The statistics and analysis of building damage on Chi-Chi Earthquake

Wen, K.C. (Chinese Culture University) A study of spatial-temporal information system of urban fire approach: artificial neural network method

Sawano, N. (Seiryō Women's Junior College) ESI maps on Web-GIS: Preparation for oil spill

15:45-16:40 Session 6: Disaster Mitigation (2)

Chair: Shibasaki, R. (University of Tokyo)

Joh, S.E., Lee, S.H., You, S.H., Lee, K.H., Lee, M.J. (Korea Environmental Science & Technology Institute, Inc.) GIS software for management of marine oil spills

Goto, S. (Rissho University) Use of Web-GIS on near shore management in oil-spill accident

<Room C>

10:00-12:15 Session 7: Spatial Analysis and Data Mining

Chair: Zhou, Q. (Hong Kong Baptist University)

Shan, Y., Fu, W.C., Jiang, J., Huang, Q., Lin, H. (The Chinese University of Hong Kong) Mining sequential pattern from geospatial data

Wijesekera, S., Chandrasena, K.G. (Asian Institute of Technology) Calibration of a GIS based watershed management model to identify priority zones for soil conservation

Bhuwneshwar, P.S., Shimizu, E., Tsutsumi, M., Hirata, K. (PASCO Corporation) Objective interpolation method for rainfall attributes by using generalized linear model

Zhou, Q., Zhou, C. (Hong Kong Baptist University) Data mining with GIS: A case study on the carbon circle of China

Xie, M., Esaki, T., Zhou, G., Mitani, Y. (Kyushu University) Effective data transformation and processing for GIS-based 3D landslide hazard assessment

13:30-15:15 Session 8: Urban Planning and Management

Chair: Yeh, A.G. (Hong Kong University)

Su, Z., Hong, J.-H. (National Cheng-Kung University) The experience of creating a prototype multi-purpose cadastre system in urban area

Hong, J.-H., Wu, Y.-F. (National Cheng-Kung University) A GIS-aided road parking space planning mechanism in urban area

Chou, T.-Y., Lin, P.-J., Lo, W.-S., Gu, W.-Y. (Feng Chia University) GIS simulation model application on lands distribution process by sectional eminent domin right

Yaakup, A., Jama'an, J., Bakar Y.A, Sulaiman, S. (University of Technology Malaysia) Web-based GIS for public participation in urban planning and management case study: Klang Valley Region

15:45-17:30 Session 9: Web GIS

Chair: Nakatani, T. (Internet GIS Co. Ltd.)

Anthony, J.Q., III (Spatial NetWorks, Inc.) Spatial ASP - Internet GIS is here

Kao, C.-C., Ku, W.-Y., Chung, L.-K., Chou, T.-Y. (Fung China University) Using java applet structure to improve the Internet Geographic Information Systems application research-housing service and manpower provide website as example

Takino, S. (Dawn Co.) GIS on the fly: To realize wireless GIS network by Java cellular phone

Paez, A., Miyamoto, K. (Tohoku University) International large-scale network accessibility and GIS

21-Jun

<Room A>

10:00-11:45 Session 10: Digital City and 3D Object Reconstruction (1)

Chair: Tseng, Y.-H. (National Cheng Kung University)

Ishimura, T., Yoshida, T. (Kyushu Institute of Technology) The representation method as user view on the 3D urban map database

Wang, S., Tseng, Y.-H. (National Cheng Kung University) Least-squares model-image fitting for model-based building extraction

Shi, Z., Sun, B. (The University of Tokyo) From digital city to digital everything

Chio, S.-H., Wnag, S.-C. (National Cheng-Kung University) An interactive system for roof patch reconstruction from urban stereo aerial image pairs

13:00-15:45 Session 11: Spatial IT (SIT) (2)

Chair: Ota, M. (Kokusai Kogyo Co. Ltd.)

Sagara, T., Arikawa, M., Ssakauchi, M. (University of Tokyo) Spatial document management system using spatial data fusion

Terada, T., Tsukamoto, M., Nishio, S. (Osaka University) Active GIS: A geographic information system using active database systems

Shiraishi, Y., Anzai, Y. (Keio University) Incremental spatial data providing for Internet GIS

Ohmori, Y., Matsuda, M., Sugiyama, H., Doi, M. (Toshiba Corporate Research and Development Center) Wearable multimedia data gathering system for universal designed route guidance

Ota, M. (Kokusai Kogyo Co. Ltd.) Temporal schema and its application in the feature definition

Lin, Y.-P., Teng, T.-P., Tseng, C.-H., Wu, C.-F. (Chinese Culture University) Delineation of soil pollution by using geostatistics and GIS

16:15-17:30 Session 12: Digital City and 3D Object Reconstruction (2)

Chair: Shi, W. (Hong Kong Polytechnic University)

Tseng, Y.-H., Wang, S. (National Cheng Kung University) Semi-automatic building extraction by matching CSG primitives with aerial images

Sugihara, K., Hayashi, Y. (Gifu Keizai University) Automatic generation system for 3-D primitive building model

Zhang, Z., Zhang, J. (Wuhan University) 3D reconstruction and visualization of house in creating digital city

<Room B>

10:00-11:45 Session 13: Digital Earth

Chair: Koike, T. (University of Tokyo)

Gong, J., Li, D., Zhang, S., Shi, L. (Wuhan University) Design and realization of digital earth oriented GIS

Oki, T., Kanae, S., Mushiake, K. (University of Tokyo) Application of integrated global datasets to water resources assessment

Tan, G., Rajan, K.S., Shibasaki, R. (University of Tokyo) Global estimation of major crop productivity using GIS and a crop growth model

Ikoma, E., Oki, T., Kitsuregawa, M. (University of Tokyo) Development of an earth environmental digital library system for soil and land-atmospheric data

13:00-15:45 Session 14: Spatial Analysis and Humanities/Social Sciences

Chair: Stone Shih, C.S. (Soochow University)

Stone Shih, C.S., Rosa Huang, H.-C., Lian, C.C., Ping, C.Y. (Soochow University) GIS and the construction of digital social maps—The Shihlin District in Taipei City

Yano, K., Nakaya, T., Kato, H. (Ritsumeikan University) A new social atlas of Kyoto based on cartogram systems for small areal units

Zhao, L. (University of New South Wales) Geographical mapping and analysis in market analysis

Takeda, Y. (Ritsumeikan University) A location-allocation model taking account of space-time constraints

Quiambao, R.B. (Philippine Institute of Volcanology and Seismology) GIS analysis and cartographic presentation: Solution to a site selection problem

Sun, M., Mao, S., Ainai, M.A. (Peking University) Vector and raster integrated dynamic data modeling based on spatial code

16:15-17:05 Session 15: Education

Chair: Zhou, Q. (Hong Kong Baptist University)

Oda, K., (Tokyo Cartographic Co. Ltd.) Geographic education with electronic atlas

Hirai, M., Komiya, M., Tsukahara, K., Tamaki, Y., Mizukami, M., Ohta, H. (Japan Construction Information Center) Development of a GIS software for use in the field of education

<Room C>

10:00-11:45 Session 16: Land and Water Management (2)

Chair: Srikantha, H.A. (University of Tokyo)

Yang, L.-S., Chen, M.-H., Liu, Y.-H. (Feng Chia University) The application of GIS linkage with hydrology and model for soil and water conservation in reservoir watershed area

Chang, L.Y., Chen, C.F., Chen, A.J., Hsu, M.L. (National Central University) An integrated GIS system for managing Taiwan's Shei-Pa National Park

Bin X., Zhongxi, C., Xiaoping, X., Daolong, W., Jia, L., Qingpo, C., Zhongchao, S. (Chinese Academy of Agricultural Science) Research on hydrothermal background data bedding plane and planting system of China

13:00-15:45 Session 17: Land Use/Cover Change Monitoring and Modeling

Chair: Chen, L.-C. (National Central University)

Saito, K., Ogawa, S. (Rissho University) Seasonal variation of NDVI and LAI for forest area in Okutama

Chen, L.-C., Rau, J.-Y. (National Central University) Change detection of sand barriers using multi-temporal satellite images

Chen, Z. (Chinese Academy of Agricultural Sciences) Projecting the change of terrestrial ecosystem service value in China with a GIS-based model

Zhou, Q., Chen, Y., Liu, J. (National Remote Sensing Center of China) Application of GPS technology on dynamical monitoring of land use—A case study in Lezhi County of Sichuan Province

Vichiensan, V., Miyamoto, K. (Tohoku University) Sapporo GIS test bed for land-use and transportation interaction models

16:15-17:30 Session 18: Land and Water Management (3)

Chair: Rajan, K.S. (University of Tokyo)

Otowa, K., Saito, K., Moriyama, M., Ogawa, S. (Rissho University) Water quality monitoring of Okutama Lake by Landsat TM

Hsieh, Y.-S., Huang, H.-H. (National Cheng-chi University) Analysis of the land use intensity using GIS

<Room A>

10:00-11:45 Session 19: Epidemic Studies

Chair: Nakaya, T. (Ritsumeikan University)

Nakaya, T. (Ritsumeikan University) Geomedical approaches based on Geographical Information Science: GIS and spatial analysis for health researches

Nihei, N., Kobayashi, M. (National Institute of Infectious Diseases) Application of GIS/RS for the analysis of the distribution of *Aedes albopictus* mosquito, vector of dengue fever

Tanimura, S., Kisu, T., Shimada, M. (Nagasaki University) Application of GIS in descriptive epidemiology of schistosomiasis in Tanzania

Yamamoto, H., Kira, S., Tanimura, S., Mizota, T. (Okayama University) Cholera outbreak and Geographic Information System in Zambia

13:00-14:45 Session 20: Mobile GIS and Positioning Services

Chair: Iwamura, K. (Hitachi Central Laboratory)

Okunuki, K., Itoh, S., Okabe, A., Goto, Y., Kaneko, T., Shinoaki, S., Akita, Y., Kotsubo, H., Okita, Y., Tatematsu, T., Shiozaki, G. (Nagoya University) A mobile GIS for fieldwork

Wai, K.K., Shi, J. (Hong Kong Polytechnic University) Mobile GIS and positioning services: Status and challenges

Hu, T.-Y., Hung, P.-S. (Feng Chia University) CPRBA-based GIS-T for emergency medical services

Konishi, Y., Shibasaki, R. (University of Tokyo) Development of an autonomous personal positioning system

15:15-17:30 Session 21: Spatial Object Catalogue for Data Sharing

Chair: Isobe, T. (CTI Engineering Co. Ltd)

Stein, A. (Federal Highway Research Institute) OKSTRA—The key to road and transport data, foundations for a road information system

Sakakibara, T., Shibasaki, R. (University of Tokyo) Design support tool for creating a common object catalogue for inter-organizational data sharing

Isobe, T. (CTI Engineering Co. Ltd.) Data model development as information infrastructure for national land management

Aoyama, N., Mitsuhashi, H. (Public Works Research Institute) Development of the methodology on data modelling for land management

Mitsuhashi, H., Aoyama, N. (Public Works Research Institute) Experiments on utilization of GIS

data among public works organizations

<Room B>

10:00-11:45 Session 22: Ecology (1)

Chair: Hara, K. (Tokyo University of Information Sciences)

Park, C.-H., Son, H.-G., Lee, G.-P. (Seoul National University) Ecological indicators for the sustainable development of Yongin, Korea

Kim, S., Kang, S., Song, I.-J., Lee, D., Hong, S.-K. (Seoul National University) Landscape evaluation for ecosystem management and conservation of National Parks in Korea

Yoshida, T., Tanaka, K. (Kyoto Prefectural University) GIS-based forest landscape biodiversity conservation

13:00-14:45 Session 23: Ecology (2)

Chair: Park, C.-H. (Seoul National University)

Zhao, Y., Lin, H. (Chinese University of Hong Kong) Web GIS based wildfire simulation—A virtual studio for ecological planning

Tsumura, H. (National Museum of Japanese History) A new analysis technique of reconstructing and assessment of paleoenvironment for archaeological studies

Feng, F.-L. (National Chung Hsing University) Integrating vegetation map to eco-region map with GIS in Taiwan

Morimoto, S. (Nara National Research Institute for Cultural Properties) Database of archaeological sites in Japan

15:15-17:30 Session 24: World Heritage

Chair: Shi, Z. (University of Tokyo)

Yokoyama, H., Chikatsu, H. (Tokyo Denki University) Recording, drawing and modeling for archeological artifacts by digital photogrammetry

Inaba, K., Shibasaki, R., Nakagawa, M. (University of Tokyo) 3D data acquisition and modeling of World Heritage by integrating laser range data and CCD images—case study of Tyr, Lebanon

Nishimura, S., Haseba, R., Seki, A., Yoshihara, S. (Keisoku Research Consultant, Co.) Utilization of digital information on Nishida Bridge relocation and restoration

Watanabe, M. (Keio University) Reconstructing the paleoenvironment of Yahagi river archaeological site with Geographic Information System

Ito, J. (Kumamoto University) Landscape analysis of the acropolis at Athens using 3D CG

<RoomC>

10:15-11:45 Session 25: Transport (1)

Chair: Terabe, S. (University of Tokyo)

Lam, W. (Hong Kong Polytechnic University) Integration of GIS with annual traffic census for transport information system applications

Lee, S. (University of Seoul) The origin and destination matrix estimation using automatically counted traffic data

Hato, E., Asakura, Y. (Ehime Univeristy) Utilization of travel locus chart using mobile phone for GIS-t

Asakura, Y., Hato, E. (Ehime Univeristy) Rethinking urban travel measurement

13:00-14:15 Session 26: 3D GIS and Modelling

Chair: Chikatsu, H. (Tokyo Denki University)

Anthony G.O. Yeh, P.C. (University of Hong Kong) Pseudo 3-D Internet GIS-Virtual HKU campus

Yang, B., Qingquan, L., Shi, W. (R&D Center for Spatial Information and Network Communication) Interactive operation for 3D surface modeling

Shi, W., Chu, A.S. (Hong Kong Polytechnic University) Modeling three-dimensional building objects in GIS

14:45-16:00 Session 27: Transport (2)

Chair: Shi, W. (Hong Kong Polytechnic University)

Dantas, A., Silveira, L.S., Yamashita, Y. (Nagoya Institute of Technology) Integrating GIS and AHP for bus route definition

Chang, L.-H. (National Sun Yat-san University) The application of GIS in traffic construct: a case of KMRT

May, M.-D., Hsu, C.-J., Chen, C.F. (Lung-Hwa Institute of Technology) Taxicabs dispatching information system with GIS, GPS and trunking radio

16:15-17:00 Special Session: Pseudolite

Chair: Petrovski, I. (Dx Antenna)

Cobb, S. (IntegriNautics Co. Ltd.) Psudolite: Principle and its applications

● **空間 IT ワークショップ(第 1 回)**

日時：2001 年 7 月 27 日 (金) 13:00～18:00

場所：東大駒場第 2 キャンパス，生産技術研究所第一会議室 (Bw701)

共催：地理情報システム学会 空間 IT 分科会，東京大学空間情報科学研究センター

プログラム

13:00-13:10 「あいさつ：空間 IT とは」

有川正俊 (東大 CSIS)

13:10-13:35 「クリアリングハウスと WebGIS の連携による空間データの流通」

福留 浩，南 幸弘，菊池智明，今井 豊 (アジア航測)

13:35-14:00 「地理情報クリアリングハウスの最新動向と，普及に向けての課題」

平良洋樹，贅 良則 (ジャスミンソフト)

14:00-14:25 「ロケーションベースサービスプラットフォーム，MobileLocation.net の紹介」

酒井嘉昭 (アーパス)

14:25-14:40 休憩

14:40-15:05 「拡張可能 XML 問合せ言語 X²QL による G-XML データ問合せの実現」

品川徳秀*，永井孝明**，北川博之**，石川佳治** (*：千葉大学，**：筑波大学)

15:05-15:30 「モバイル環境におけるアクティブデータベースを用いた地理情報システムについて」

寺田 努，塚本昌彦，西尾章治郎 (大阪大学)

15:30-16:10 [チュートリアル] 「The history of GML development—GML 開発小史—」

中井章文 (NTT データ)

16:10-16:20 休憩

16:20-17:50 [パネル] 「OOGIS から S-IT へ：GIS の新しい潮流」

パネリスト：太田守重 (国際航業)

滝野秀一 (ドーン)

司会：有川正俊 (東大 CSIS)

17:50-18:00 あいさつ

● **国際シンポジウム：アジアの環境問題に対する Lucc の貢献**

日時：2001 年 12 月 13～14 日

場所：日本学術会議 (東京都港区六本木 7-22-34)

An International Symposium "LUCC Contribution to Asian Environmental Problems" was organized during December 13-14, 2001 at Tokyo by the Focus 2 Office. The Symposium's main aim of exploring the current LUCC research in the Asian region and to have a forum for discussion on the ways to approach the major environmental issues of the Asian region, was successfully met. It had a high participation level with more than 160 participants attending the presentations from 19 invited speakers in 5 dedicated sessions and 55 poster presentations. The focus of this symposium was on - LUCC studies and methodologies employed such as remote sensing and GIS; and on the issues of immediate concern to the region, such as growing pressures on land and water resources, food shortage issues due to LUCC, and increasing impacts of urbanization. Overall, it provided for a platform to explore the possibilities of networking the research conducted in the related disciplines to land use/cover changes and to help understand the interlinkages of these issues for arriving at a better local, national and regional land use policy leading towards sustainable land use development.

December 13th, 2001

Opening Address

Prof. Yohei Sato (Chairperson, LUCC Japan Committee, University of Tokyo, Japan)

Prof. Keiichi Tanaka (Chairperson, IHDP Japan Committee, Nihon University, Japan)

Session 1: LUCC Studies, Recent Activities

Chair: Prof. Yohei Sato (University of Tokyo)

Dr. William McConnell (LUCC Focus 1 Scientific Officer, CIPEC, Indiana University, USA)

Recent activities of the Land Use and Cover Change Project

Prof. Ryosuke Shibasaki (LUCC Focus 2 Leader, Center for Spatial Information Science, University of Tokyo, Japan) Challenges of LUCC

Prof. Yukio Himiyama (Hokkaido University of Education, Japan) Asian environmental problems and IGU-LUCC

Prof. Teitaro Kitamura (Tokyo University of Agriculture, Japan) Research program in temperate Asia (LUTEA)

Session 2: Water Resources and LUCC

Chair: Dr. Kuninori Otsubo (National Institute of Environmental Studies, Japan)

Prof. Liu Changming (College of Resources and Environment, Beijing Normal University, China)

Impacts of changing climate and land use patterns in the Yellow River Basin and options for water resource management

Dr. Shinjiro Kanae (Institute of Industrial Science, University of Tokyo, Japan) Deforestation impact on precipitation over Thailand

Prof. Herath Srikantha (Institute of Industrial Science, University of Tokyo, Japan) Assessing local water cycle changes due to urbanization–Role of land cover information

Session 3: Food Supply and LUCC

Chair: Prof. Masaru Kagatsume (Kyoto University, Japan)

Prof. Benchaphun Shinawatra Eksingh (Multiple Cropping Center Faculty of Agriculture, Chiang Mai University, Thailand) Diversity for development: Options for land use change in Northern Thailand

Dr. Anna Strutt (Department of Economics, Waikato Management School, University of Waikato, New Zealand) Estimating the welfare effects of trade liberalization and land degradation: A case study in Indonesia

Prof. Shih-Hsun Hsu (National Taiwan University, Taiwan) The impacts on Taiwan's land use and water demand of China's and Taiwan's WTO accession

Dr. Shunji Oniki (Policy Research Institute, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries, Govt. of Japan) Overgrazing problems and utilization of the pasture in Mongolia

Dr. Gerhard Heilig (International Institute for Applied Systems Analysis, Laxenburg, Austria) Can China feed itself? An analysis of China's food prospects with special reference to water resources

December 14th, 2001

Session 4: Urbanization and LUCC

Chair: Prof. Teitaro Kitamura (Tokyo University of Agriculture, Japan)

Prof. Kenji Doi (Kagawa University, Japan) Integrated design of LUCC policies and environmental simulation in Metro Manila

Prof. Kiat Chivakul (Urban and Regional Planning Department, Faculty of Architecture, Chulalongkorn University, Thailand) Physical planning: Is it too late for Bangkok?

Dr. Ernan Rustiadi (Graduate Program of Regional and Rural Development Planning, Bogor Agricultural University, Indonesia) Spatial pattern of two Asian metropolitans-comparative study between Tokyo Metropolitan and Jabotabek Region

Prof. Thomas Graedel (School of Forestry and Environmental Studies, Yale University, USA) Spatial models of material stocks in cities

Session 5. Integration of Remote Sensing and GIS for LUCC

Chair: Prof. Ryosuke Shibasaki (University of Tokyo, Japan)

Prof. Ryutaro Tateishi (Center for Environmental Remote Sensing, Chiba University, Japan) Trend and challenges of global land use/land cover mapping from space

Prof. Ryota Nagasawa (Faculty of Agriculture, Tottori University, Japan) Land ecological zoning in the Southeast Asia using GIS and global dataset

Dr. Nguyen Dinh Duong (Institute of Geography, Vietnam National Centre for Natural Science and Technology, Vietnam) Land cover mapping in Southeast Asia using moderate resolution satellite data

Prof. Liu Jiyuan (Institute of Geographical Sciences and Natural Resources, China) The Land Use/Land Cover Change Database and its relative environmental research in China

Closing

Prof. Ryosuke Shibasaki (LUCC Focus 2 Leader, Center for Spatial Information Science, University of Tokyo, Japan)

● 空間 IT ワークショップ(第 2 回) 特集:『デジタル認知空間』および一般

日時: 2001 年 12 月 21 日 (金) 10:00~17:30

場所: 東京大学 駒場リサーチキャンパス 生産技術研究所 第一会議室 (Bw701)

共催: 地理情報システム学会 空間 IT 分科会, 東京大学空間情報科学研究センター

プログラム

[セッション 1 : 一般講演]

10:00-10:25 「KIWI+フォーマットにおける時間スキーマの実現」

畑山満則, 角本 繁 (京大 防災研究所)

10:25-10:50 「ウェブ上の地域知識を利用した地域情報検索と分析」

李 龍, 高倉弘喜, 上林弥彦 (京大 情報学研究科)

10:50-11:15 「詳細度と網羅度を用いた新たな WEB 検索手法の提案」

山田直治, 李 龍, 高倉弘喜, 上林弥彦 (京大 情報学研究科)

11:15-11:40 「数値地図データへのラベルの自動配置に対する実験的評価」

亀田貴之, 今井桂子 (中央大 理工学研究科)

11:40-12:05 「擬似3次元フォトコラージュを用いた空間経験の表現とその分析」

田中浩也, 有川正俊, 柴崎亮介 (東大 CSIS)

[セッション2: チュートリアル]

13:10-13:30 「デジタル認知空間について」

有川正俊 (東大 CSIS)

13:30-14:10 [チュートリアル] 「位置情報を用いたモバイルコミュニケーションシステム」

中西泰人 (電気通信大学大学院 情報システム学研究科)

14:10-14:50 [チュートリアル] 「情報の空間化/建築化/地理化」

松本文夫 (プランネット・アーキテクチャーズ)

14:50-15:30 [チュートリアル] 「ひとナビの展望と課題ー地図学の観点からー」

森田 喬 (法政大)

[セッション3: パネル]

16:00-17:20 [パネル] 「未来の地図ーデジタル認知空間の未来像ー」

パネリスト: 森田 喬 (法政大)

松本文夫 (プランネット・アーキテクチャーズ)

中西泰人 (電気通信大学大学院 情報システム学研究科)

司会: 有川正俊 (東大 CSIS)

● 人文社会科学のための空間情報科学 第4回シンポジウム

日時: 2002年2月22日(金) 10~17時

場 所: 東京大学山上会館 (大会議室)

プログラム

・午前の部

<総括班代表>

10:00-10:10 シンポジウムの趣旨説明

岡部篤行 (東京大学空間情報科学研究センター)

<考古学班>

10:10-10:30 遺跡台帳のデータベース化の検討

森本 晋 (独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所)

- 10:30-10:50 レバノンティール遺跡の GIS データベース化
碓井照子 (奈良大学)
- 10:50-11:10 レバノンの巨大遺跡の調査
泉 拓良 (奈良大学)
- 11:10-11:30 考古学における空間分析法の検討
新納 泉 (岡山大学)
- 11:30-12:00 考古学 3 次元データ収集手法と処理方法
柴崎亮介 (東京大学空間情報科学研究センター)

・ 午後の部

< 経済学班 >

- 13:00-13:15 CSIS 版都市圏 (都市雇用圏 UEA) と都市圏データ
金本良嗣 (東京大学大学院経済学研究科)
- 13:15-13:35 経済地理モデルの応用
田淵隆俊 (東京大学大学院経済学研究科)
- 13:35-13:55 市場反応と地域特性の関係
里村卓也 (大阪大学大学院経済学研究科)

< 人文地理学班 >

- 13:55-14:25 地形図利用による昭和初期メッシュ人口データベースの作成とその時空間的分析
荒井良雄 (東京大学大学院総合文化研究科)
- 14:25-14:50 都市におけるアクセシビリティの時空間的変動の分析
高阪宏行・関根智子 (日本大学大学院理工学研究科)

< データ管理班 >

- 15:10-15:20 CSIS 空間データクリアリングハウスの改良
貞広幸雄 (東京大学大学院工学系研究科)
- 15:20-15:35 図郭データの接合手法の開発
貞広幸雄・岡部篤行 (東京大学大学院工学系研究科)
- 15:35-16:05 ネットワークデータ共用ツールの開発
奥貫圭一 (名古屋大学大学院環境学研究科)

● 海外地学野外調査と GIS/リモートセンシング

日時：2002年2月22日（金） 15:00～18:00

場所：東京大学理学部5号館403号室

司会／松本 淳（東京大・理）

15:00-15:05 趣旨説明 小口 高（東京大・空間情報）

15:05-15:35 シリア・ユーフラテス河畔の地形発達と考古遺跡の立地－GISと野外調査の併用 小口 高（東京大・空間情報）

15:35-16:05 トルコ・アナトリア高原における遺跡立地の変遷と地形環境との関わり－定量的な地形解析の試み 鹿島 薫（九州大・理）

16:05-16:20 coffee break

16:20-16:50 中央アジアのシルクロード地帯の自然環境と遺跡・オアシス－Corona 衛星写真の解析を中心として 相馬秀廣（奈良女子大・文）

16:50-17:20 湖沼一流域系情報に基づいた中国・雲南の水文地形環境の変動 柏谷健二（金沢大・理）

17:20-17:40 コメント 松山 洋（東京都立大・理）

17:40-18:00 総合討論

● シンポジウム「里山環境研究とGIS」

日時：2002年3月8日（金曜日）10:40～

場所：東京大学工学部14号館1階141講義室

主催：東京大学空間情報科学研究センター・地域環境GIS研究会

プログラム

10:40-10:50 趣旨説明 小口 高（東京大学）

[GISと環境教育] 座長：半田暢彦（愛知県立大学）

10:50-11:15 GIS会館と環境教育

筒井信之（創建）

11:15-11:40 里山フィールドミュージアムシステムの実用化に向けた取り組み

野澤竜二郎（玉野総合コンサルタント）

[GISベースの里山研究-1] 座長：関原康成（創建）

13:00-13:25 森林計測を目的としたデジタル写真測量の精度評価

田中 靖（東京大学）・隈元 崇（岡山大学）・中山大地（東京都立大学）

13:25-13:50 デジタル航空写真測量と GIS による森林炭素固定量の将来予測

青木賢人 (北海道大学)・木村圭司 (東京都立大学)

13:50-14:15 都市の緑の質に関わる定量的評価の試み—名古屋市の事例—

佐野滋樹 (玉野総合コンサルタント)

14:15-14:40 RS を用いた都市域における緑の詳細調査

宮坂 聡・徳村公明 (中日本航空)

14:40-15:05 季節的に時系列な画像を用いた里山構成樹種の色調特性

瀬戸島正博 (国際航業)

[GIS ベースの里山研究-2] 座長：川畑大作 (産総研)

15:20-15:45 ヘリ搭載型レーザースキャナーによる林分材積の推定

高橋興明・山本一清・竹中千里 (名古屋大学)・杉盛啓明 (東京大学)

恩田裕一 (筑波大)・徳村公昭・村手直明 (中日本航空)

15:45-16:10 2次林における土壌呼吸の時空間的変動

吉田宗平・山本一清・竹中千里 (名古屋大学)

16:10-16:35 花崗岩丘陵地流域における植生・土層回復と流出特性の変化

杉盛啓明 (東京大学)・恩田裕一 (筑波大学)・糸数 哲 (名古屋大学)

Dhakai, A.S. (ブリティッシュコロンビア大学)・Sidle, R.C. (シンガポール国立大学)

16:35-17:00 里山における荒廃地分布とその規定要因—解析スケールに関する問題点の検討

正岡直人・林 舟・勝部圭一・小口 高 (東京大学)

17:00-17:40 総合討論 司会：鈴木康弘 (愛知県立大)

● The Urban Economics Workshop 2001

5月9日 (水) 10:20~12:00

場所：経済学部 第3演習室

報告：吾郷貴紀 (東京大学) : Spatial price distributions

5月22日 (火) 16:00~18:00

場所：経済学部第一共同研究室

報告：Professor Robert Helsley (University of British Columbia) : Knowledge barter

6月13日(水) 10:20~12:00

場所: 経済学部 第6演習室

報告: 藤原 徹 (東京大学): On urban sprawl and the property tax: the case of open cities

6月26日(火) 15:00~16:50

場所: 経済学部 第1共同研究室

報告: R. Anton Braun (東京大学): The effect of government capital on labor productivity in Japan's prefectures

7月18日(水) 10:20~12:00

場所: 経済学部 第3演習室

報告: 吾郷貴紀 (東京大学): How does space matter on retail price distributions in Japan?
磯野生茂 (東京大学): 鉄道開業における地元バス会社の learning 行動

9月17日(月) 15:00~18:00

場所: 経済学部 7階 第1共同研究室

報告: 朝日ちさと (東京都立大学): 汚染に関わる不確実性を考慮した地域公共財の最適供給について
城所幸弘 (東京大学): The basics of network economy
森 知也 (京都大学): Self-organization in the spatial economy: size, location and specialization of cities (錦見浩司氏と共著)

10月22日(月) 15:00~16:50

場所: 経済学部 第1共同研究室

報告: 藤原 徹 (東京大学): 環境政策における自動車関係税制の活用の評価
吾郷貴紀 (東京大学): Information technology and retail market
田中 誠 (東京大学): 需要の急峻性を考慮したリアル・タイム料金

11月19日(月) 15:00~16:50

場所: 経済学部 第1共同研究室

報告: 磯野生茂 (東京大学): 鉄道新線開業に伴う地元バス会社の learning 行動
吾郷貴紀 (東京大学): An extension of spatial discrimination in Cournot competition model: monopoly and duopoly mix

● 応用統計ワークショップ(経済学研究科と共催)

第1回

日時：2001年11月2日(金) 16:30~18:30

場所：東京大学経済学部7階第1共同研究室

講演者：鎌倉稔成(中央大学理工学部)

タイトル：交通流量を考慮した商業店舗の空間分布に関する研究

第2回

日時：2001年12月21日(金) 16:30~18:30

場所：東京大学経済学部旧棟2階第21演習室

講演者：浅野晃(広島大学総合科学部/大学院工学研究科)

タイトル：モルフォロジーにもとづくテクスチャ解析

第3回

日時：2002年1月18日(金) 16:30~18:30

場所：東京大学経済学部旧棟2階第21演習室

講演者：安楽和夫(西南学院大学)

タイトル：ブートストラップ法とその周辺

—不等式制約がある場合の推定法についての考察—

第4回

日時：2002年2月8日(金) 16:30~18:30

場所：東京大学経済学部新棟12階第1共同研究室

報告者：島谷健一郎(統計数理研究所)

タイトル：点分布パターンを定量的に表す

V 空間データ整備状況

1. 空間データクリアリングハウスと空間データ共有システム

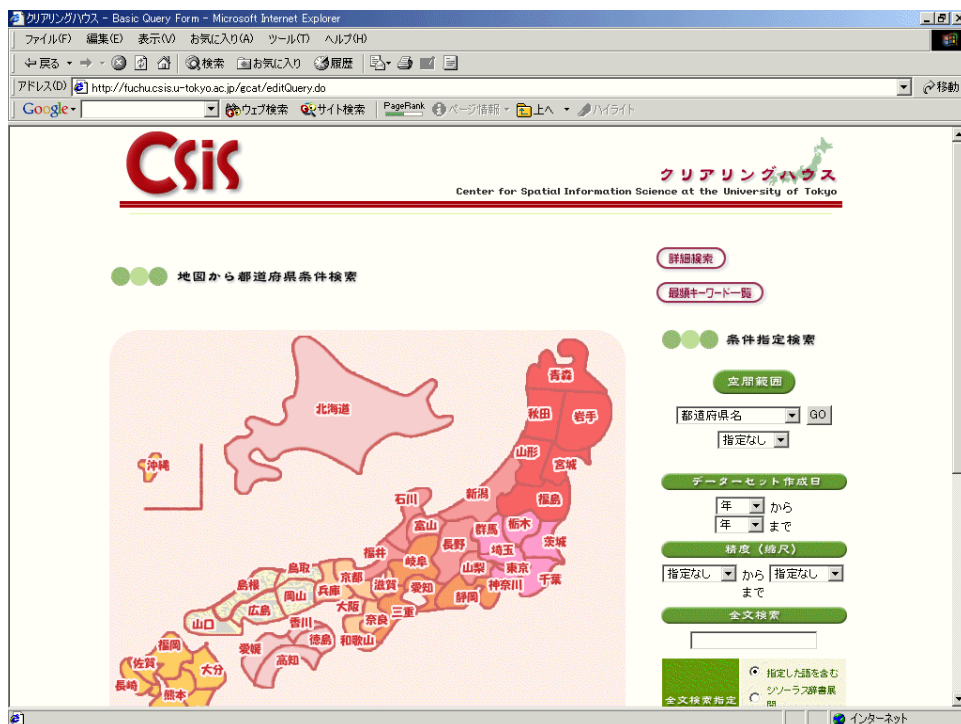
● システムの目的

空間情報科学に関する研究を行う研究者に対し、その研究に必要な空間データを効率よく使いやすい形で提供するための「研究者用空間データ基盤」を実現することが本システムの目的である。クリアリングハウスは、利用者が要求する条件にあったデータを検索し、そのデータの所在や入手方法といった付帯情報を提供する。空間データ共有システムは、コンピュータネットワークを通じて、研究者が保有する空間データを相互に受け渡すシステムである。これらのシステムは2000年度より公開している。

● システムの特徴

・ CSIS クリアリングハウス

CSIS クリアリングハウスでは、ISO-TC211 による空間メタデータ適合度レベル1に相当する地理情報メタデータをXML形式で記述、管理することにより、メタデータ自体の相互利用性を高めている。検索結果のメタデータをXML形式のままダウンロードすることも可能なので、メタデータを複製し、別のクリアリングハウスシステムで再利用することもできる。また、CSIS クリアリングハウス独自の特徴として、全文検索機能の拡充と GUI 重視



CSIS クリアリングハウス

の設計が挙げられる。

これまでは各クリアリングハウスは単独 (standalone) で動作していたが、今年度 CSIS クリアリングハウスを導入した複数のシステム間でメタデータの自動複製を行う機能を追加した。これにより、CSIS 以外の機関が保有する空間データについても CSIS クリアリングハウスから検索することが可能になる (その反対に他の機関のクリアリングハウスから CSIS が保有する空間データを検索することも可能になる)。また、世界的な defect standard である FGDC 方式クリアリングハウスで採用されている ISO23950 通信方式にも対応した。この改良により、国土地理院に設置されているクリアリングハウスゲートウェイからも CSIS のクリアリングハウスを検索することが可能になった。その他、管理者用の Web インタフェースの作成なども行った。

CSIS クリアリングハウスは次の URL からアクセスできる。

<http://chouse.csis.u-tokyo.ac.jp/>

・空間データ共有システム

CSIS で整備した研究用空間データ基盤には、研究者が作成した配布可能なものから、非常に高価で配布が不可能なものまで含まれており、無制限に公開することができない。そこで空間データ共有システムでは、共同研究利用規定に従って利用申請を行った研究者や、データ提供者が個別に許可した利用者など、データ毎にユーザ認証を行い、利用可能なデータのみをダウンロードできる仕組みを持っている。

空間データ共有システムもクリアリングハウスと同様、インターネットに接続できる環境と WWW ブラウザがあれば利用可能である。ユーザの認証はユーザ名とパスワードの組み合わせによって行い、パスワードやデータの盗聴・傍受を防ぐため、電子商取引で利用されている SSL による暗号化を行っている。また、通信ログを取ることで、不正利用を監視している。今年度は、データの一覧やユーザの履歴等を Web ブラウザ上でチェックするための管理用インタフェースを追加・拡張した。

空間データ共有システムを利用するための共同研究申し込みについては、次の URL にある手続きを参照して欲しい。

http://www.csis.u-tokyo.ac.jp/japanese_2002/research_activities/joint-research.html

2. 空間データ整備状況

●研究用空間データ一覧(2002年3月現在) ※下線()は今年度更新分.

国勢調査

第1次基本集計 全国編 2000

第1次基本集計 都道府県編 (市区町村別集計) 1975, 1980, 1985, 1990, 1995, 2000

第2次基本集計 都道府県編 (市区町村別集計) 1980, 1985, 1990, 1995

第3次基本集計 都道府県編 (市区町村別集計) 1985, 1990, 1995

第2・3次基本集計の追加集計 (外国人に関する特別集計) 1990, 1995

基本単位区別集計 A 1995 (CSV形式に変換)

基本単位区別集計 B 1995 (CSV形式に変換)

町丁・字等別集計 その1 1995

町丁・字等別集計 その2 1995

町丁・字等別集計 その3 1995

町丁・字等別集計 従業地・通学地集計 1995

町丁・字等別集計 地図(境域)データ 1995 (shape fileに変換)

従業地・通学地集計 その1 1980, 1985, 1990, 1995

従業地・通学地集計 その2 1980, 1985, 1990, 1995

従業地・通学地集計 その3 1980, 1995

抽出詳細集計 全国編 1980, 1985, 1990, 1995

抽出詳細集計 都道府県編 1980, 1985, 1990, 1995

地域メッシュ統計 1970, 1975, 1980, 1985, 1990, 1995 (CSV形式に変換)

事業所統計調査, 事業所・企業統計調査

全国編 1999

都道府県編 (市区町村別集計) 1981, 1986, 1991, 1996, 1999

町丁・字別集計 1991, 1996

小地域統計 調査区別地図(境域)データ 1996

地域メッシュ統計 1975, 1978, 1981, 1986, 1991, 1996 (CSV形式に変換)

住宅・土地統計調査

住宅・土地統計調査 確報集計 全国編 1988, 1993, 1998

住宅・土地統計調査 確報集計 大都市圏編 1988, 1993, 1998

住宅・土地統計調査 確報集計 都道府県編 1988, 1993, 1998

住宅・土地統計調査 速報集計 その1 1998

住宅・土地統計調査 速報集計 その2 1998

全国物価統計調査

- 全国物価統計調査 大規模店舗 1997
- 全国物価統計調査 小売, 卸売 1987, 1992

サービス業基本調査

- 全国編 1999
- 地域編 1989, 1994, 1999

- 全国消費実態調査 1984, 1989, 1994
- 就業構造基本調査 1992, 1997
- 貯蓄動向調査 1987～1997
- 家計調査年報 1987～1997
- 工業統計表 市町村編 1971～1984
- 消費者物価指数 月例系列 1970～1998.12

数値地図 2500

数値地図 10000 (総合)

- 数値地図 25000 (行政界・海岸線) 1997, 1998, 1999

数値地図 25000 (地図画像)

数値地図 200000 (行政界・海岸線)

数値地図 200000 (地図画像)

数値地図 50m メッシュ (標高)

数値地図 250m メッシュ (標高)

数値地図 1km メッシュ (標高)

数値地図 1km メッシュ (平均標高)

細密数値情報

- 集約ファイル1 (首都圏 1974, 1979, 1984, 1989)
- 集約ファイル1 (中部圏 1977, 1982, 1987, 1991)
- 集約ファイル1 (近畿圏 1974, 1979, 1985, 1991)
- 10m メッシュ土地利用 (首都圏) 1974, 1979, 1984, 1989, 1994
- 10m メッシュ土地利用 (中部圏) 1977, 1982, 1987, 1991, 1997
- 10m メッシュ土地利用 (近畿圏) 1974, 1979, 1985, 1991, 1996

国土数値情報

高潮・津波テーブル

海岸施設・感潮限界

波向・海霧・自然漁場 2 次メッシュ

沿岸海域メッシュ

港湾

潮汐・海洋施設

市町村別法指定等地域

リゾート法指定地域

森林・国公有地メッシュ

監視区域（平成 7 年，平成 8 年，平成 9 年，平成 10 年，平成 11 年）

指定地域メッシュ

気候値メッシュ

鉄道

道路

行政界・海岸線（平成 7 年，平成 8 年，平成 9 年，平成 10 年，平成 11 年）

自然地形メッシュ

土地利用メッシュ（昭和 51 年，昭和 62 年，平成 3 年）

河川

道路密度・道路延長メッシュ

商業統計 4 次メッシュ（昭和 54 年，昭和 57 年，昭和 60 年）

工業統計メッシュ（昭和 52 年，昭和 55 年，昭和 57 年）

農業サンセスメッシュ（昭和 50 年，昭和 55 年）

流域・非集水域メッシュ

流路延長メッシュ

水系域流路延長

湖沼メッシュ

河川・水系域テーブル

ダム

商業統計 3 次メッシュ（昭和 54 年，昭和 57 年，昭和 60 年）

発電所

公共施設

世界地図

文化財

都道府県地価調査（平成 7 年，平成 8 年，平成 9 年，平成 10 年，平成 11 年）

地価公示（平成 7 年，平成 8 年，平成 9 年，平成 10 年，平成 11 年）

活断層

三大都市圏計画区域位置

都市計画区域位置

自然公園位置

自然環境保全地域位置

指定地域名称

農業地域位置

森林地域位置

鳥獣保護区位置

湖沼台帳

湖沼位置

河川台帳

河川単位流域台帳

流路位置

流域界・非集水域界線位置

沿岸域情報ファイル

10分の1細分メッシュ土地利用ファイル

メッシュ土地利用面積ファイル

海岸線位置ファイル

海岸線区分台帳ファイル

海水浴場台帳ファイル

埋立・干拓区域位置ファイル

埋立・干拓区域台帳ファイル

海岸利用施設ファイル

空港区域ファイル

空港台帳ファイル

験潮場ファイル

砂利採取場ファイル

自然公園区域ファイル

国土保全関連情報位置ファイル

保安林区域台帳ファイル

保護水面台帳ファイル

感潮限界ファイル

地下水採取鋭利地域ファイル

環境基準類型指定水域（河川域）位置ファイル

環境基準類型指定水域（河川域）台帳ファイル

環境基準類型指定水域（湖沼域）位置ファイル
環境基準類型指定水域（湖沼域）台帳ファイル
大気汚染・水質汚濁総量規制地域位置ファイル
大気汚染・水質汚濁総量規制地域台帳ファイル
瀬戸内海環境保全特別措置法第五条第一項の区域ファイル
低地地形分類ファイル
地盤沈下地域ファイル

昭文社地図 LIFE MAPPLE

1/200000 BITMAP 全国 図郭名

1/2500 ベクター 東京都 23 区

ゼンリン住宅地図

ZMAP-TOWNII (1/2500 shape file)

アドレスマッチング用データ（都道府県別）

NTT タウンページデータ

東京都，神奈川県，埼玉県，千葉県 1990，1995，2000 （一部業種を shape file に変換）

北海道地図 GISMAP

25000V 全国

Tokyo CityScope

東京都区部，東京都市部，神奈川県横浜市，神奈川県川崎市，埼玉県，千葉県

VI 研究施設・設備状況

1. ソフトウェア

ARC/INFO

ArcView

ArcGIS

SDE

MapObject

数値地図変換ツール

ERDAS IMAGINE

ER Mapper

SIS

GeoMedia

EarthFinder

Smallworld

Oracle

2. ハードウェア

Sun Enterprise 450 Server

Sun StorEdge A3500

Sun StorEdge L1000

HP SureStoreOptical Jukebox 1200ex

Sun Ultra450

TOSHIBA AS7000

その他 PC 数十台

Ⅶ 図書整備状況

1. 所蔵和書一覧

書名

著者 出版社 ISBN

都市の時空間構造

伊藤 悟 古今書院 4-7722-5009-3

新しい地理情報技術

久保幸夫 古今書院 4-7722-1040-7

行政とビジネスのための地理情報システム

高阪宏行 古今書院 4-7722-1637-5

環境資源と情報システム

武内和彦, 恒川篤史編 古今書院 4-7722-1641-3

新版地学事典第3巻(地質学・地形学・古生物学・土壌学)

竹内 均ほか編 古今書院 4-7722-1268-X

新版地学事典

地学団体研究会編 平凡社 4-582-11506-3

学術用語集～土木工学編～増訂版

(社)土木学会編 土木学会 4-8106-0073-4

日中英土木対照用語辞典

日中英用語辞典編集委員会編 朝倉書店 4-254-26138-1

地図学用語辞典 増補改訂版

日本国際地図学会編 技報堂出版 4-7655-4002-2

地理学辞典改訂版

日本地誌研究所編 二宮書店 4-8176-0088-8

リモートセンシングデータ解析の基礎
長谷川 均 古今書院 4-7722-1563-8

コンピュータマッピングシステムによるエリアマーケティング革命
平下 治 ダイヤモンド社 4-478-50127-0

マッピングシステム活用法
平下 治 商業界 4-7855-0156-1

GIS マーケティング入門
平下 治 ダイヤモンド社 4-478-50157-2

地形学辞典
町田 貞ほか編 二宮書店 4-8176-0023-3

統計解析ハンドブック
武藤真介 朝倉書店 4-254-12061-3

増補改訂 地域分析
村山祐司 古今書院 4-7722-1807-6

人文地理学辞典
山本正三ほか編 朝倉書店 4-254-16336-3

地下水学用語辞典
山本荘毅 古今書院 4-7722-1216-7

都市環境学事典
吉野正敏, 山下脩二編 朝倉書店 4-254-18001-2

土壌の事典
和田光史, 久馬一剛ほか編 朝倉書店 4-254-43050-7

マグローヒル英和物理・数学用語辞典
Lapedes, D.N.編, 小野 周ほか監訳 森北出版 4-627-15070-9

GIS 原典

マギー, グッドチャイルド, ラインドほか 古今書院 4-7722-4008-X

地理情報システムの原理

P.A. バーロー 古今書院 4-7722-1802-5

気象年表 I アメダス 1998 CD-ROM 版

丸善 (株) 出版事業部 4-901091-00-X

アメダス観測年報テキストファイル版 1984-1997

(財) 気象業務支援センター

明治前期測量 2 万分の 1 フランス式彩色地図 CD-ROM 版

(財) 日本地図センター 4-314-90008-3

GIS 電子地図ビジネス入門—GIS 活用の最前線

船木春仁・国土空間データ基盤推進協議会監修 東洋経済新報社 4-492-55401-7

入門 不動産金融工学

川口有一郎 ダイヤモンド社 4-478-67034-X

図解わかる! 不動産投資信託

川口有一郎監修, ダイヤモンド社編著 ダイヤモンド社 4-478-67036-6

リアルオプション

レノ=トゥリジオリス, 川口有一郎翻訳主幹 エコノミスト社 4-87315-103-1

不動産金融工学

川口有一郎 清文社 4-433-26801-1

情報の表現

有川正俊ほか 岩波書店 4-00-010963-4

画像と空間の情報処理

有川正俊ほか 岩波書店 4-00-010965-0

GISによる生物多様性と景観プランニング

カール=スタイニッツほか, 矢野桂司・中谷友樹訳 地人書房 4-88501-086-1

2. 所蔵洋書一覧

登録番号 書名

著者 出版社, 発行年 ISBN

1010946638 Database Issues in Geographic Information Systems

Adam, N.R., Gangopadhyay, A. Kluwer Academic Publishers, 1997 0-7923-9924-2

1010934170 Anthropology, Space, and Geographic Information Systems

Aldenderfer, M., Maschner, H.D.G. Oxford University Press, 1996 0-19-508575-2

1010934287 Interpreting Space: GIS and Archaeology

Allen, K.M.S., Green, S.W., Zubrow, E.B.W., eds. Taylor & Francis, 1990 0-85066-824-7

未登録 Remote Sensing and Geographical Information Systems for Resource Management in Developing Countries

Belward, A.S., Valenzuela, C.R., eds. Kluwer Academic Publishers, 1991 0-7923-1268-6

1010934337 Intelligent GIS: Location Decisions and Strategic Planning

Birkin, M., Clarke, G., Clarke, M., Wilson, A. GeoInformation International, 1996
0-470-23614-0

1010946976 Geographic Information Systems for Geoscientists: Modelling with GIS

Bonham-Carter, G.F. Pergamon/Elsevier Science Publications, 1994 0-08-042420-1

1010934576 Geographic Objects with Indeterminate Boundaries

Burrough, P.A., Frank, A.U., eds. Taylor & Francis, 1996 0-7484-0387-6

1010934899 GIS and Organizations: How Effective Are GIS in Practice?

Campbell, H., Masser, I. Taylor & Francis, 1995 07484-205-5

- 1010946653 Geographical Information Systems in Assessing Natural Hazards
Carrara, A., Guzzetti, F., eds. Kluwer Academic Publishers, 1995 0-7923-3502-3
- 1010934378 Exploring Spatial Analysis in Geographic Information Systems
Chou, Y.-H. OnWord Press, 1997 1-56690-119-7
- 1010934360 Exploring Geographic Information Systems
Chrisman, N. John Wiley & Sons, 1997 0-471-10842-1
- 1010934162 Analytical and Computer Cartography Second Edition
Clarke, K.C. Prentice-Hall, 1995 0-13-341900-2
- 1010934527 Getting Started with Geographic Information Systems
Clarke, K.C., ed. Prentice-Hall, 1997 0-13-923889-1
- 1010934634 INSIDE MapInfo Professional
Daniel, L. OnWord Press, 1996 1-56690-088-3
- 1010934725 The New Direct Marketing: How to Implement a Profit-Driven Database Marketing Strategy (Second Edition)
Shepard, D. Irwin Professional Publishing, 1995 1-55623-809-6
- 1010934683 GIS: A Visual Approach
Davis, B. OnWord Press, 1996 1-56690-098-0
- 1010934386 Fundamentals of Geographic Information Systems
DeMers, M.N. John Wiley & Sons, 1997 0-471-14284-0
- 1010946604 Environmental GIS Applications to Industrial Facilities
Douglas, W.J. Lewis Publishers, 1995 0-87371-991-3
- 1010934832 Spatial and Contextual Models in Political Research
Eagles, M., ed. Taylor & Francis, 1995 0-7484-0210-1
- 1010934840 Spatial Analytical Perspectives on GIS
Fischer, M., Scholten, H., Unwin, D Taylor & Francis, 1996 0-7484-0340-X

- 1010934261 Innovations in GIS 2
Fisher, P., ed. Taylor & Francis, 1995 0-7484-0269-1
- 1010934865 Spatial Analysis and GIS
Fotheringham, S., Rogerson, P., eds. Taylor & Francis, 1994 0-7484-0104-0
- 1010934741 Spatial Behavior—A Geographic Perspective
Golledge, R.G., Stimson, R.J. The Guilford Press, 1997 1-57230-050-7
- 1010934584 Accuracy of Spatial Databases
Goodchild, M., Gopal, S., eds. Taylor & Francis, 1989 0-85066-847-6
- 1010934352 Environmental Modeling with GIS
Goodchild, M.F., Parks, B.O., Steyaert, L.T., eds. Oxford University Press, 1993
0-19-508007-6
- 1010934444 Geostatistics for Natural Resources Evaluation
Goovaerts, P. Oxford University Press, 1997 0-19-511538-4
- 1010934246 Elements of Spatial Data Quality
Guptill, S.C., Morrison, J.L., eds. Elsevier Science, 1995 0-08-042432-5
- 1010934345 Landscape Ecology and GIS
Haines-Young, R., Green, D.R., Cousins, S.H., eds. Taylor & Francis, 1994 0-7484-0252-7
- 1010934667 ArcView GIS Means Business
Harder, C. Environmental Systems Research Institute, 1997 1-879102-51-X
- 1010934758 Visualization in Geographical Information Systems
Hearnshaw, H.M., Unwin, D.J., eds. John Wiley & Sons, 1994 0-471-94435-1
- 1010934196 ArcView GIS Exercise Book (Version 3)
Hohl, P. OnWord Press, 1997 1-56690-124-3
- 1010934618 Inside ArcView GIS, 2nd Edition
Hutchinson, S. OnWord Press, 1997 1-56690-116-2

- 1010934154 An Introduction to Urban Geographic Information Systems
Huxhold, W.E. Oxford University Press, 1991 0-19-506535-2
- 1010934709 GIS County User Guide: Laboratory Exercises in Urban Geographic Information Systems
Huxhold, W.E., Tierney, P.S., Turnpaugh, D.R., Maves, B.J., Cassidy, K.T.
Oxford University Press, 1997 0-19-509284-8
- 1010934543 Managing Geographic Information System Projects
Huxhold, W.E., Levinsohn, A.G. Oxford University Press, 1995 0-19-507869-1
- 1010934329 Innovations in GIS 4
Kemp, Z., ed. Taylor & Francis, 1997 0-7484-0657-3
- 1010934733 The GIS Book (4th Edition)
Korte, G.B. OnWord Press, 1997 1-56690-127-8
- 1010934592 Advances in GIS Research II
Kraak, M.J., Molenaar, M., eds. Taylor & Francis, 1997 0-7484-0591-7
- 1010934816 Time in Geographic Information Systems
Langran, G. Taylor & Francis, 1992 0-7484-0003-6
- 1010934394 Fundamentals of Spatial Information Systems
Laurini, R., Thompson, D. Academic Press, 1992 0-12-438380-7
- 1010934774 Land Registration and Cadastral Systems
Larsson, G. Longman Group UK, 1991 0-582-08952-2
- 1010946646 The Added Value of Geographical Information Systems in Public and Environmental Health
Lepper, M. de., Scholten, H., Stern, R., eds. Kluwer Academic Publishers, 1995 0-7923-1887-0
- 1010934550 Archaeology and Geographical Information Systems: A European Perspective
Lock, G., Stancic, Z., eds. Taylor & Francis, 1995 0-7484-0208-X

未登録 Understanding the Navistar GPS, GIS, and IVHS

Logsdon T. Van Nostrand Reinhold, 1995 0-442-02054-6

1010934477 GIS for Business and Service Planning

Longley, P., Clarke, G., eds. GeoInformation International, 1995 0-470-23510-1

1010934857 Spatial Analysis: Modelling in a GIS Environment

Longley, P., Batty, M., eds. GeoInformation International, 1996 0-470-23615-9

1010934790 Wetland and Environmental Applications of GIS

Lyon, J.G., McCarthy, J., eds. CRC Press, 1995 0-87371-897-6

1010934519 How Maps Work: Representation, Visualization, and Design

MacEachren, A.M. The Guilford Press, 1995 0-89862-589-0

1010934469 Visualization in Modern Cartography

MacEachren, A.M., Taylor, D.R.F., eds. Pergamon, 1994 0-08-042415-5

1010934451 Geographical Information Systems: Principles and Applications

Maguire, D.J., Goodchild, M.F., Rhind, D.W., eds. Longman Group UK, 1991 0-582-05661-6

1010934402 Geographic Information Systems: Socioeconomic Applications, Second Edition

Martin, D. Routledge, 1991 0-415-12571-5

1010946661 Diffusion and Use of Geographic Information Technologies

Masser, I., Onsrud, H.J., eds. Kluwer Academic Publishers, 1993 0-7923-2190-1

1010934303 GIS Diffusion: The Adoption and Use of Geographical Information Systems in Local Government in Europe

Masser, I., Campbell, H., Craglia, M., eds. Taylor & Francis, 1996 0-7484-0495-3

1010934220 Computer Applications in Geography

Mather, P.M. John Wiley & Sons, 1991 0-471-92615-9

1010934436 Geographical Information Handling—Research and Applications

Mather, P.M., ed. John Wiley and Sons, 1993 0-471-94060-7

- 1010934873 Resource Management Information Systems: Process and Practice
McCloy, K.R. Taylor & Francis, 1995 0-7484-0120-2
- 1010934485 Human Factors in Geographical Information Systems
Medyckyj-Scott, D., Hearnshaw, H.M., eds. Bellhaven Press, 1993 1-85293-262-7
- 1010934568 Environmental Information Management and Analysis: Ecosystem to Global Scales
Michener, W.K., Brunt, J.W., Stafford, S.G., eds. Taylor & Francis, 1994 0-7484-0123-7
- 1010934808 Spatial Database Transfer Standards 2
Moellering, H., Hogan, R., eds. Elsevier Science, 1996 0-08-042433-3
- 1010934501 How to Lie with Maps (Second Edition)
Monmonier, M. The University of Chicago Press, 1996 0-226-53421-9
- 1010934766 Mapping It Out: Expository Cartography for the Humanities and Social Sciences
Monmonier, M. The University of Chicago Press, 1993 0-226-53417-0
- 1010934691 Raster Imagery in Geographic Information Systems
Morain, S., Baros, S.L., eds. OnWord Press, 1996 1-56690-097-2
- 1010934600 GIS and Generalization: Methodology and Practice
Muller, J.-C., Lagrange, J.-P., Weibel, R., eds. Taylor & Francis, 1995 0-7484-0319-1
- 1010946687 Cognitive Aspects of Human-Computer Interaction for Geographic Information Systems
Nyerges, T.L., Mark, D.M., Laurini, R., Egenhofer, M.J., eds. Kluwer Academic Publishers, 1995 0-7923-3595-3
- 1010934782 Sharing Geographic Information
Onsrud, H.J., Rushton, G., eds. Center for Urban Policy Research, 1995 0-88285-152-7
- 1010934212 Artificial Intelligence in Geography
Openshaw, S., Openshaw, C. John Wiley & Sons, 1997 0-471-96991-5

- 1010934279 Innovations in GIS 3
Parker, D., ed. Taylor & Francis, 1996 0-7484-0459-7
- 1010934535 Interactive and Animated Cartography
Peterson, M.P. Prentice-Hall, 1995 0-13-079104-0
- 1010934295 Introductory Readings in Geographic Information Systems
Peuquet, D.J., Marble, D.F., eds. Taylor & Francis, 1990 0-85066-857-3
- 1010934675 GIS Online: Information Retrieval, Mapping, and the Internet
Plewe, B. OnWord Press, 1997 1-56690-137-5
- 1010934881 Mountain Environments and Geographic Information Systems
Price, M.F., Heywood, D.I., eds. Taylor & Francis, 1994 0-7484-0088-5
- 1010934824 Three Dimensional Applications in Geographic Information Systems
Raper, J., ed. Taylor & Francis, 1989 0-85066-776-3
- 1010934204 ArcView/Avenue Programmer's Reference (Version 3)
Razavi, A.H., Warwick, V. OnWord Press, 1997 1-56690-123-5
- 1010934188 ArcView GIS/Avenue Developer's Guide, Second Edition
Razavi, A.H. OnWord Press, 1997 1-56690-118-9
- 1010946679 Geographical Information Systems for Urban and Regional Planning
Scholten, H.J., Stillwell, J.C.H., eds. Kluwer Academic Publishers, 1990 0-7923-0793-3
- 1010946612 Statistical Techniques in Geographical Analysis
Shaw, G., Wheeler, D. Halsted Press, 1994 1-85346-229-2
- 1010934717 Remote Sensing and GIS for Site Characterization: Applications and Standards
Singhroy, V.H., Nebert, D.D., Johnson, A.L., eds. American Society for Testing and Materials,
1996 0-8031-2027-3
- 1010934410 Geographic Information Systems: An Introduction
Star, J., Estes, J. Prentice-Hall, 1990 0-13-351123-5

1010934428 Geographic Information Systems: The Microcomputer and Modern Cartography
Taylor, D.R.F. Pergamon Press, 1991 0-08-040277-1

1010934493 Introduction to Thematic Cartography
Tyner, J. Prentice-Hall, 1992 0-13-489105-8

1010934642 Processing Digital Images in GIS
Verbyla, D.L., Chang, K.-T. OnWord Press, 1997 1-56690-135-9

1010934238 Contouring: A Guide to the Analysis and Display of Spatial Data
Watson, D.F. Pergamon Press, 1992 0-08-040286-0

1010934626 MapBasic Developer's Guide
Whitener, A., Ryker, B. OnWord Press, 1997 1-56690-113-8

1010934659 Mapping with Microsoft Office
Whitener, A., Creath, B. OnWord Press, 1997 1-56690-112-X

1010946620 Cartographic Design: Theoretical and Practical Perspectives
Wood, C.H., Keller, C.P., eds. John Wiley & Sons, 1996 0-471-96587-1

未登錄 The Power of Maps
Wood, D. The Guilford Press, 1992 0-89862-4932-4

1010934311 GIS: A Computing Perspective
Worboys, M.F. Taylor & Francis, 1995 0-7484-0065-6

1010934253 Innovations in GIS 1
Worboys, M.F. Taylor & Francis, 1994 0-7484-0141-5

未登錄 Proceedings of the International Workshop on Dynamic & Multi-Dimensional GIS
Lee, Y.C., Li, Z.-L. The Hong Kong Polytechnic University, 1997 962-367-235-7

未登錄 Proceedings International Workshop on Emerging Technologies for Geo-Based
Applications
Datebase Laboratory, 2000

VIII 予算

2001 年度（平成 13 年度）

単位：千円

校費	41,799
科学技術振興調整費	19,223
産学連携等研究費	23,025
奨学寄付金	13,127
科学研究費補助金	52,500
計	149,674

IX Discussion Papers

No.35 2001年5月

増山 篤・岡部篤行・望月貫一郎・児島利治

二つの領域分割図の適合度評価システム操作マニュアル その1

No.36 2001年5月

Honglin HE, Takashi OGUCHI, Ruiqi ZHOU, Jianguo ZHANG and Sen QIAO

Damage and seismic intensity of the 1996 Lijiang Earthquake, China: A GIS analysis

No.37 2001年5月

金本良嗣・徳岡一幸

日本の都市圏設定基準

No.38 2001年7月

山本直英・岡部篤行

曲がり角が一つある通路における定性的方向推論についての実験による分析

No.39 2001年8月

八田達夫・唐渡広志

都心における容積率緩和の労働生産性上昇効果

No.40 2001年8月

Yukihiro KIDOKORO

Regulatory Reform and the Congestion of Urban Railways

No.41 2001年9月

山本直英・岡部篤行

曲線通路における方向判断についての実験による分析

No.42 2001年11月

Naohide YAMAMOTO and Atuyuki OKABE

Direction judgment in a corridor containing a single turn

No.43 2002 年 2 月

増山 篤・岡部篤行・望月貫一郎・児島利治

二つの領域分割図の適合度評価システム操作マニュアル その 2

No.44 2002 年 2 月

Yasushi ASAMI, Ayse Sema KUBAT, Kensuke KITAGAWA and Shin-ichi IIDA

Introducing Third Dimension on Space Syntax: Application on the Historical Istanbul

No.46 2002 年 3 月

Xiaolu GAO, Yasushi ASAMI, and Chang Jo CHUNG

An Empirical Evaluation of Hedonic Regression Models

X 研究プロジェクト

1. CSIS 研究用空間データ利用を伴う共同研究

● 共同研究番号 5

「都市システム」共同研究プロジェクト

代表者：八田達夫（CSIS）

参加センター教官：八田達夫（CSIS），城所幸弘（CSIS）

共同研究員：金本良嗣（東京大学），田淵隆俊（東京大学），瀬古美喜（慶應大学），森 知也（京都大学），徳岡一幸（同志社大学），中村良平（岡山大学），大河原 透（(財)電力中央研究所），吉田あつし（筑波大学），大竹文雄（大阪大学），小滝一彦（大阪大学），豊田哲也（徳島 大学），矢野桂司（立命館大学），中谷友樹（立命館大学），古賀慎二（立命館大学），武田裕子（立命館大学），唐渡広志（富山大学）

目的：都市をマクロ的に捉え、数多くの都市や地域で構成される経済システムを分析する。当面の主眼は、機能としての都市圏を定義し、都市圏ベースのデータを整備することにあるが、同時に都道府県，市町村単位のデータ整備も行う。

● 共同研究番号 7

都市空間解析のための空間情報データ基盤整備

代表者：八田達夫（CSIS）

参加センター教官：八田達夫（CSIS），城所幸弘（CSIS）

共同研究員：金本良嗣（東京大学），田淵隆俊（東京大学），瀬古美喜（慶應大学），石川義孝（京都大学），藤井 正（大阪府立大学），森泉陽子（神奈川大学），浅田義久（明海大学），柏谷増男（愛媛大学），朝倉康夫（愛媛大学），羽藤英二（愛媛大学），山崎福寿（上智大学），小長谷一之（大阪市立大学），矢野桂司（立命館大学），中谷友樹（立命館大学），古賀慎二（立命館大学），武田裕子（立命館大学），矢澤則彦（東京国際大学），川向 肇（神戸商科大学），堀江康熙（九州大学），小滝一彦（大阪大学），里村卓也（大阪大学），唐渡広志（富山大学），高塚 創（香川大学）

目的：都市内の空間構造を解析するための空間情報データ基盤を整備する。空間データのデータベース化とデジタル地図との連結を行い、人文社会科学や工学分野の分析の基盤を形成する。地価，住宅価格，土地利用，人口分布，都市内人口移動等がこの研究プロジェ

クトの対象となる。

● 共同研究番号 8

交通システム研究のための空間情報データ基盤整備

研究代表者：八田達夫（CSIS）

参加センター教官：八田達夫（CSIS），城所幸弘（CSIS）

共同研究員：金本良嗣（東京大学），田淵隆俊（東京大学），原田 昇（東京大学），山崎福寿（上智大学），藤井 正（大阪府立大学），豊田哲也（徳島大学），黒田達朗（名古屋大学），浅田義久（明海大学），柏谷増男（愛媛大学），朝倉康夫（愛媛大学），羽藤英二（愛媛大学）

目的：鉄道，道路，航空等の交通関係の空間データ整備を行い，それを基礎に，交通と都市地域の相互関係に関する研究を行う。

● 共同研究番号 14

空間情報処理技術を用いた「地域安全情報システム」の構築のための研究開発

研究代表者：原田 豊（科学警察研究所）

参加センター教官：貞広幸雄，岡部篤行

共同研究員：小林寿一，鈴木 護，島田貴仁（科学警察研究所）

目的：市民生活の安全を脅かす事件・事故などの発生状況の的確な把握と効果的な対策立案に資するため，空間情報処理技術を活用した「地域安全情報データベース・システム」を研究開発することを目的とする。そのために，（1）大量の情報を効率良くマッピングするための住所照合手法に関する研究，（2）異なる情報源から得られたデータをオーバーレイする際の整合性を確保する手法に関する研究，（3）地域の地理的・社会経済的特性と事件等の発生状況との時間・空間的関連を分析する手法に関する研究，（4）緊急事態の発生時などにおける他のシステムとのデータの相互運用性を確保する手法に関する研究を行う。

● 共同研究番号 17

人文科学における空間情報科学(考古学 GIS)

代表者：岡部篤行 (CSIS)

参加センター教官：岡部篤行，柴崎亮介，貞広幸雄

共同研究員：碓井照子 (奈良大学)

目的：畿内地域の都城に関する考古学データベースを作成する。不動産文化財データベースにアドレスマッチングで位置情報を附加する。また，文化財保存と地震被害との関連を検討する。

● 共同研究番号 18

土砂流出の規程要因の研究

代表者：小口 高 (CSIS)

参加センター教官：小口 高

共同研究員：シアク=ジャン，勝部圭一 (大学院理学系研究科)

目的：関東を対象に，河川の土砂流出量を規定する要因を GIS を用いて分析する。

● 共同研究番号 21

建物名称と地区イメージに関する研究

代表者：浅見泰司 (CSIS)

参加センター教官：浅見泰司

共同研究者：浅見泰司，貞広幸雄，増山 篤，近藤英心

目的：集合住宅などの建物名称の中には地区名称を含めることが多いが，その名称は必ずしも名称に使われている地区の行政界領域と合致しているわけではない。むしろ，建物イメージをあげるために，よりよいと名称決定者が判断した地区名称を利用していることが多く，ここに地区名称のイメージをさぐるヒントがかくされている。本研究では，この現象を利用して，東京都を中心とする地区のイメージを分析しようとするものである。

● 共同研究番号 23

GIS を利用した旧版地形図からのメッシュ人口推定

研究代表者：荒井良雄（東京大学）

参加センター教官：岡部篤行

共同研究員：小池司朗（東京大学・院）

目的：関東主要地域（東京都多摩地区，神奈川県中央部，埼玉県，栃木県，群馬県）の迅速図（約 500 枚），さらに京阪神地域の正式図（約 100 枚相当）を対象に，明治中後期の基準地域メッシュ人口を復元し，データベースを作成した．また，適当なサンプル地域を選定し，大正末期から昭和初期にかけて作成された 5 万分の 1 地形図から同様な方法でメッシュ人口推計を行う手法の検討を行った．なお，これらの成果を Web 上で公開するために，空間データ提供システムの運用法を検討している．

● 共同研究番号 25

下総台地北西部における湧水の水質分布とその成因

代表者：大森博雄（東京大学）

参加センター教官：杉盛啓明

共同研究員：寺園淳子

目的：湧水の水質が，その涵養域における人間活動の状態（土地利用）にどのように影響されるのかについて実態を把握することは，湧水の保全を考える上で意義がある．そこで本研究では，現在開発の進んでいる下総台地北西部において，台地を刻み込む谷の湧水の水質を，主に台地上の土地利用との関係に注目して考察する．その際，土地利用データとして細密数値情報を利用し，GIS 上で流域ごとの土地利用構成について分析したいと考えている．

● 共同研究番号 26

地理情報システム(GIS)を用いた地域人口動態の規定要因に関する研究

代表者：小口 高（CSIS）

参加センター教官：小口 高

共同研究員：江崎雄治（国立社会保障・人口問題研究所），青木賢人（恩賜財団母子愛育会）

目的：本研究の目的は地理情報システムを用いて、わが国における人口動態とその変動の規定要因を解明することにある。人口分布データと土地条件データの組み合わせにより、人口密度や人口増加率と、傾斜・高度・土地利用・交通網分布などの土地条件との関連性を明らかにし、視覚化・地図化を試みる。

● 共同研究番号 27

仮想空間への実世界情報の投影

代表者：池内克史（東大生産研）

参加センター教官：有川正俊，相良 毅

共同研究員：川崎 洋（東大生産研）

目的：人や車の動き、街並みの変化など、実世界で生じている様々な現象をコンピュータ上で再現することにより、高度な実世界情報の検索やシミュレーションによる解析などが可能になる。そこで本研究では、CSIS の実空間情報収集実験車両によって市街を走行し、ビデオによって得られた実世界情報から、再利用可能な形で仮想空間へ投影するための手法を研究する。

● 共同研究番号 28

東京大都市圏における土地利用変化の要因分析

代表者：浅見泰司（CSIS）

参加センター教官：浅見泰司

共同研究者：浅見泰司，宇都正哲

目的：本研究では、東京大都市圏における土地利用遷移をミクロなレベルで分析することを目的としている。具体的には、土地利用遷移に地価や交通条件、周辺環境がどのように影響しているのかをタイムトレンドで分析する。そのなかでも、地価の上昇と下落といった両極面において、土地利用遷移がどのような特性を持ち、さらに地価や交通条件、周辺環境がどのように影響しているのかを明らかにする。

● 共同研究番号 29

数値地図と CMS データの適合状態に関する実証的研究

研究代表：増山 篤（東京大学）

参加センター教官：岡部篤行

共同研究員：貞広幸雄，金子忠明（東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻）

目的：同じ地域に関する領域分割図は，様々な主体によって作成されているが，それらにおける領域分割等が同一である保証はない．実際には，むしろ，違う場合が多い．したがって，複数の主体によって作成された領域分割図を同時に用いて分析を行うと，領域分割図間の不一致の程度によっては，深刻な分析上の問題を引き起こす可能性がある．上のような問題を鑑み，研究代表者らは，二つの領域分割図の適合度を評価する手法を開発し，また，Arc/Info をベースとして，この手法を実行するシステムの開発を行ってきた．この研究では，これまでに開発してきた手法・システムを活用し，数値地図，および，センサスマッピングシステムデータの間が生じている名称の付け方の相違，ポリゴン隣接関係の相違，対応関係にある境界線の質的相違や位置的ずれの評価を行う．このときの対象地域としては，まず東京 23 区を扱い，その後，関東一円程度に範囲を広げていく．また，最終的な分析結果については，広く公表する予定である．

● 共同研究番号 30

ホームレスの居住地域分布の経済分析

代表者：八田達夫（CSIS）

参加センター教官：八田達夫

共同研究員：鈴木 亘（(社)日本経済研究センター）

目的：本研究の目的は地理情報システムを用いて，大阪市内に居住するホームレスの地域分布とその要因を解明することにある．大阪市内で行われたホームレスの目視調査と，その周辺の環境要因（公園・空き地等の立地状況，コンビニエンスストアをはじめとする飲食関係の店舗の立地状況，ハローワークや就労支援施設の立地状況，病院・保健所などの立地状況，福祉事務所等の公的な施設の立地状況）を組み合わせることにより，ホームレス地域分布がどのような要因に規定されているかどうかを統計学的に明らかにする．しかる後に，統計モデルを用いて，様々なホームレス対策の効果をシミュレーション分析する．

● 共同研究番号 31

GIS を用いた会員制スポーツクラブのエリアマーケティング支援システムの開発

研究代表者：岡部篤行

参加センター教官：岡部篤行

共同研究員：山崎利夫（鹿屋体育大学スポーツ経済・管理学講座），後藤 寛（弘前大学人文学部情報行動講座），金子忠明（東京大学大学院工学系研究科），伊藤史子（東京大学空間情報科学研究センター），高見健太郎（東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻・修士）

目的：会員制スポーツクラブにおけるエリアマーケティング支援の基礎的研究を行う。会員制スポーツクラブは通常の小売業とは異なり，基本的に高頻度に利用するリピーターを対象とするサービス施設である。このようなきめ細かいサービス水準を求められる業態におけるミクロ的エリアマーケティングの確立をめざし，それによって経営支援システムの構築を視野に入れた基礎的研究を行う。そのためにアンケート調査および POS データから得た会員の分布情報をアドレスマッピングによって地図上に落とすことが必要になる。また，該当地域の人口データをもちいることにより居住地への顧客浸透率などの分析を行うこととなる。これら分析を通じて顧客のさまざまな類型を抽出し，それぞれの客層にあわせたサービス形態の模索を通じて，GIS によるエリアマーケティング支援ノウハウの蓄積を目指すものである。

● 共同研究番号 32

不動産価値鑑定分析のための空間情報データベースの構築

代表者：柴崎亮介（CSIS）

参加センター教官：柴崎亮介，相良 毅

共同研究員：田中英人（東京大学・新領域創生科学研究科）

目的：アドレスマッチング技術を利用して，さまざまな不動産価格情報を GIS 化することにより，不動産価格の時間的・空間的变化の視覚化，不動産インデックスの作成，評価要因の分析などを行うことを目的としている。特に，わが国においては不動産の価値が不動産鑑定士による評価と実勢価格で大きな差があるなど，評価基準が不透明であることが問題になっている。そこで，不動産鑑定の客観的な評価に必要な諸要因を含む空間情報データベースを構築し，鑑定分析のツールとしての利用可能性について検討を行う。

● 共同研究番号 33

車載カメラ画像からの店舗看板自動抽出と地図データベース更新

代表者：柴崎亮介（CSIS）

参加センター教官：柴崎亮介

共同研究員：村田竜介（東京大学・新領域創生科学研究科）

目的：車載カメラ画像から沿道の店舗の看板などの変化を自動抽出し、カーナビ用の電子地図の自動更新手法を開発する。

2. その他の研究プロジェクト

● 空間情報科学の確立のための空間情報のデータベース化に関する研究開発

(科学技術振興調整費 知的基盤整備推進制度)

目的：本研究は、空間情報科学を知的基盤として確立するために、空間情報のデータベース化に関する研究開発を行うものである。複合的な空間現象を解明する研究者は、その研究対象としてさまざまな空間情報を取り扱う必要があり、本研究開発ではそのような (1) 多次元データのあり方や取り扱い、(2) データ交換技術、(3) 応用的側面からのアプローチによる汎用化可能な分析手法等の必要な基盤的研究開発を行う。

研究代表者：村上 裕 (通産省工業技術院地質調査所)

時間変動する空間情報のデータベース化に関する研究開発：村上 裕，長谷川 功，古宇田亮一 (通産省工業技術院地質調査所)

空間情報の多次元化に関する研究開発：高橋宏直 (運輸省港湾技術研究所)，中川勝登 (建設省国土地理院)

空間情報の時系列情報の統合化に関する研究開発：奥山祥司 (建設省国土地理院)，野上道男 (東京都立大学)

オブジェクト指向技術を利用したオープンネットワーク環境下における公物等空間情報の更新及び流通に関する研究開発：坂内正夫 (東京大学)，上島晃嗣 (国土開発技術研究センター)

標準空間情報の整備及び異種データベース間のデータ交換手法に関する研究開発：岡部篤行 (CSIS)，貞広幸雄 (東京大学)，中村秀至 (三菱総合研究所)，竹内治男，島村秀樹，広田和夫 (パスコ)，岩城 修 (NTT データ通信)

社会的事象の時空間変動パターン分析モデルに関する研究開発：原田 豊 (警察庁科学警察研究所)

自然災害の潜在的危険性評価とモニタリングに関する研究開発：福園輝旗 (科学技術庁防災科学技術研究所)

● 人文社会科学の空間情報科学

(文科省科研費 特定領域研究 (B))

目的：当研究の第 1 の目的は、空間を対象とする人文社会科学の諸学問において共通に用いられる研究手法、即ち、空間データを [取得・構築→管理→分析→表示・伝達] する汎用的方法を開発し、「空間情報科学」を創生することである。第 2 の目的は、研究開発用の

共同利用できる知的情報基盤を作ることである。この研究に使われる多くの空間データは、高価で個人の研究者がそろえられるものではない。そこで当該研究者のみならず全国に散在している研究者が利用できる空間情報交換システムを作り、研究の多重投資をさける。

研究代表者：岡部篤行（CSIS）

人文社会科学のための空間情報科学の体系化：岡部篤行，金本良嗣，柴崎亮介，貞広幸雄（CSIS），金子忠明（東京大学），高阪宏行（日本大学），泉 拓良（奈良大学）

経済学・経営学における空間データの構築，管理，分析手法の開発とその適用：金本良嗣，片平秀貴，矢島美寛，田淵隆俊（東京大学）

人文地理学における空間データの構築，管理，分析手法の開発とその適用：高阪宏行，関根智子（日本大学），荒井良雄（東京大学）

考古学における空間データの構築，管理，分析手法の開発とその適用：泉 拓良，酒井龍一，碓井照子（奈良大学），森本 晋，山中敏史（奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター）

人文社会科学のための空間データの効率的収集・構築手法の開発：柴崎亮介（CSIS），後藤則行（東京大学），中静 透，吉村充則（京都大学）

人文社会科学のための空間データ管理・共用・伝達システムの開発：貞広幸雄，岡部篤行，有川正俊（CSIS），奥貫圭一（東京大学）

● 現代イスラーム世界の動態的研究

（文科省科研費 創成的基礎研究）

目的：本プロジェクトは、「イスラーム地域研究」の新地平を切り開くことを目指し、(1) イスラーム地域研究の新しい手法の開発、(2) イスラーム地域研究に適した情報システムの開発、(3) 若手研究者の育成を通じた新たな研究の展開を目的とする。すでに世界規模にまで拡大しているイスラーム世界の「地域」に着目し、そこに見出される様々な問題、例えば、他者との共生や相互依存の関係と同時に、民族問題、地域紛争、人口爆発、環境破壊などを分析・理解すること、地域研究へのコンピュータ技術の応用の2点が、研究上の主たる目的である。

研究代表者：佐藤次高（東京大学）

イスラームの思想と政治：竹下政孝，五十嵐武士，鈴木 薫（東京大学），小杉 泰（国際大学）

イスラームの社会と経済：村井吉敬，私市正年（上智大学），水島 司（東京大学）

イスラームと民族・地域性：松原正毅（国立民族学博物館），加藤 博（一橋大学），山内昌之（東京大学），臼杵 陽（民博地域研究企画交流センター）

地理情報システムによるイスラーム地域研究：岡部篤行，浅見泰司，柴崎亮介（CSIS），水島 司，曲渕英邦，貞広幸雄（東京大学），陣内秀信（法政大学）

イスラームの歴史と文化：後藤 明（東京大学），片倉素子（中央大学），湯川 武（慶応大学）

イスラーム関係史料の収集：北村 甫，志茂碩敏（東洋文庫），永田雄三（明治大学），梅村 坦（中央大学），小名康之（青山学院大学），清水宏祐（九州大学），三浦 徹（お茶の水女子大学）

URL: <http://bun.l.u-tokyo.ac.jp/IAS/Japanese/index-j.html>

● リアルタイム・マイクロエリア・マーケティング支援システム開発の基礎的研究

（文科省科研費 基盤研究（B）（2））

目的：当研究の目的は，エリアマーケティングの空間意志決定を支援する「リアルタイム・マイクロエリア・マーケティングシステム」を開発するための基礎的な研究を行うことである。すなわち，

1. サービス施設利用者や店舗での消費者の空間行動と，サービス施設や店舗の立地行動に関する時空間的データを構築する方法
2. その時空間データを管理する方法
3. その時空間データを利用して利用者や消費者，施設や店舗のマイクロな行動を分析する方法
4. その分析に基づき最適立地や立地戦略を求める方法を研究する。

研究代表者：岡部篤行（CSIS）

時空間データ管理法：貞広幸雄（CSIS）

最適立地・戦略：奥貫圭一（名古屋大学）

モバイル GIS データの構築法：金子忠明（東京大学）

時空間行動分析法：高阪宏行（日本大学）

リアルタイム時空間データ化法：山崎利夫（鹿屋体育大学）

● 都市計画支援モバイル GIS に関する基礎的研究

(文科省科研費 基盤研究 (C) (2))

目的：この研究では，階数別建物用途利用現況調査をはじめとする都市計画調査を主な利用目的とした，都市計画支援モバイル GIS の開発をおこなう．都市計画における現地調査のためのアプリケーション仕様を整理し，その仕様に基づいて，東京ガスのモバイル GIS 「TUMSYBOY」をベースにテスト開発する．これを実際の都市計画調査でテストし，有効性を検証する．さらには，テスト版を踏まえて，より汎用的なモバイル GIS を提案するために，教育現場での利用を想定した改良版を開発提案する．

研究代表者：奥貫圭一（名古屋大学）

分担者：岡部篤行（CSIS），金子忠明（東京大学），伊藤 悟（金沢大学）

● 地理教育における GIS の活用に関する研究

(文科省科研費 基盤研究 (B) (1))

目的：地理教育における GIS の有用性を明らかにし，具体的な活用方法について提言する．

研究代表者：村山祐司（筑波大学）

分担者：岡部篤行，杉盛啓明（CSIS），秋本弘章（獨協大学），伊藤 悟（金沢大学），井田仁康，川瀬正樹（筑波大学），大関康宏（岐阜大学），高阪宏行，関根智子（日本大学），中村康子（東京学芸大学），山本 充（埼玉大学）

● 遺伝的アルゴリズムを用いた街区区画割最適化システム

(文科省科研費 基盤研究 (B) (2))

目的：土地区画整理事業や住宅地開発事業においては，与えられた街区を画地に割る（区画割り）作業は，設計者が主として試行錯誤の末に，作業を行っていた．この作業過程について遺伝的アルゴリズムを用いて自動化できるシステムの構築を行なう．

研究代表者：浅見泰司（CSIS）

● 都市交通の環境負荷制御システムに関する基礎的研究

(科学技術振興事業団)

目的： 東京大都市圏を対象として、詳細な土地利用データベース、地理情報データベースを構築するとともに、詳細な土地利用遷移を推定する手法および住宅市場モデルを開発し、土地利用予測モデルの精緻化などを行なう。

研究代表者：岩田規久男（学習院大学）

交通手段選択グループ：岩田規久男（学習院大学）、日引 聡（国立環境研究所）、中村良平（岡山大学）、上田孝行（東京工業大学）、武藤慎一（岐阜大学）、文 世一（京都大学）

鉄道・道路混雑グループ：山崎福寿（上智大学）、浅田義久（明海大学）、八田達夫（東京大学）

道路環境グループ：石田東生、鈴木 勉、岡本直久、古屋秀樹（筑波大学）

土地利用グループ：久米良昭（那須大学）、福井秀夫（法政大学）、浅見泰司（CSIS）

法制グループ：北村喜宣（横浜国立大学）

電気自動車グループ：清水 浩、大前 学、武藤佳恭、清木 康（慶應義塾大学）、景山一郎（日本大学）、笠場孝一（岩手大学）、藤岡健彦（東京大学）

● 情報技術(IT)革新による計画技術等の発展と都市計画のあり方

((財)大林都市研究振興財団)

目的：近年の情報技術（IT）の発展により、特に情報関連の表示、伝達、交信、処理などの技術が飛躍的に向上している。ところが、これらの技術発展が社会変化に合わせて都市計画にどのような変化をもたらすかについては、専門家ですえも一定の展望を描くことは難しい。本研究では、著者も属している都市計画ビジョンの研究会の知見を発展させて、都市計画に関わる専門家へのアンケート調査を通して専門家意見を集約、分析し、今後の都市計画のあり方を予測するものである。

研究代表者：浅見泰司（CSIS）

● 都市の高精細 3 次元数値地図の自動作成手法の開発

(文科省科研費 基盤研究 B (2))

目的：本研究では近年高出力化，低価格化の著しいレーザ計測技術に着目し，レーザビームをスキャンするシステム（レーザスキャナ）を中心的に利用して面的な 3 次元空間データを自動取得する手法をまず開発・適用する．しかし，レーザスキャナデータは計測速度の点でまだまだであり，詳細さの点で不十分である．また，形状のみをデータ化するためデータを視覚化表現した際に，データの判読が容易ではないという欠点がある．そこで，レーザスキャナに CCD 画像を組み合わせることで，形状だけでなく，表面の色やテキスト情報も同時に取得することを可能にするほか，ステレオ画像とレーザスキャナデータを同時に解析することにより，レーザ単独では得られない高精細の 3 次元データを自動的に生成する手法を開発する．

研究代表者：柴崎亮介（CSIS）

研究分担者：史 中超（CSIS），上田 稔（会津大学）

● 擬似衛星によるシームレス高精度測位技術に関する基礎的研究

(文科省科研費 萌芽研究)

目的：都市環境において測位精度に影響する要因を定量的に明らかにする．航空機の自動着陸実験に用いられた既存の擬似衛星測位システムをまず利用して，実験サイト（東京大学駒場リサーチキャンパス）において測位実験を行い，測位精度とマルチパス，擬似衛星の個数・配置，既存の GPS 受信機への干渉などとの関係を明らかにする．またこれらをベースにアンテナデザイン，擬似衛星の設置パターンの変更による測位精度の向上可能性を明らかにする．そして，3 次元空間データを利用したマルチパスパターンの予測手法を開発し，配置計画へ利用する．建物形状などを表現する 3 次元空間データを用いてマルチパスパターンを推定するソフトを開発し，マルチパスパターンが事前に分かる場合に測位精度の劣化をどの程度軽減することができるかを検討する．また，同様に 3 次元空間データを利用してアンテナ配置計画の立案を試み，擬似衛星の整備費用の推計を行い，社会インフラとした場合の整備モデルを検討する．

研究代表者：柴崎亮介（CSIS）

研究分担者：Ivan G. Petrovski（DX アンテナ（株）），岩村一昭（日立製作所（株））

● 21 世紀のアジアの水資源変動予測

(科学技術振興調整費)

目的：過去から将来の土地利用・被覆の変化を表すデータと気候モデルを組み合わせることで、アジア地域に焦点を絞った水資源の需給変動を予測する。空間情報科学研究センターでは特に、土地利用・被覆について過去（過去 100 年程度）の変化の再現、将来（2050 年をターゲットとする）の変化のシナリオ分析をモデルを用いて行う。

研究代表者：鬼頭昭雄（気象研究所）

研究分担者：柴崎亮介（CSIS）、沖 大幹（東京大学）

● 都市モデル構築方法の研究

目的：通常のドライバーや歩行者の視点から都市を 3 次元表現するニーズに応えるために、レーザスキャナと CCD カメラからなるセンサを用いて都市 3 次元空間データを自動収集する手法を開発する。

参加者：柴崎亮介、史 中超（CSIS）、アジア航測（株）

● マルチメディアコンテンツの高次処理の研究

（日本学術振興会 未来開拓学術研究推進事業「知能情報・高度情報処理分野」）

目的：本研究では、マルチメディア・データベースの研究者を核として、知識処理、音声・画像認識、仮想現実・拡張現実システム、協調作業システム、コンピュータネットワークの各分野の研究者と協力して、多様なユーザからの要求に応じることができる柔軟なマルチメディア・データモデルの設計と、そこに格納されるマルチメディア・コンテンツの加工・編集処理システムの開発を行い、実社会の使用に耐えうる大規模マルチメディア・データベースのためのアーキテクチャの構築をめざす。以下の 3 つのテーマの研究を行っている。1. マルチメディア・コンテンツの知的構造化、2. マルチメディア・コンテンツのアクセスアーキテクチャ、3. マルチメディア・コンテンツのデータからの仮想空間・拡張現実空間の生成と活用

プロジェクト・リーダー：西尾章治郎（大阪大学）

コアメンバー：田中克己（神戸大学）、岸野文郎（大阪大学）、有木康雄（龍谷大学）

参加研究者：上原邦昭，田島敬史（神戸大学），下條真司，北村喜文，塚本昌彦，春本 要，
正城敏博（大阪大学），有川正俊（CSIS）

URL: <http://www-nishio.ise.eng.osaka-u.ac.jp/JSPS/>

● 環境・防災空間情報システム基盤の日中共同研究

（科学技術振興調整費）

目的：地理情報システムは，情報化社会の基盤的インフラストラクチャとして，整備と活用が進められつつある．特に，阪神淡路大震災を契機に，地理情報システムを用いた都市情報処理の重要性が指摘されている．また，地域環境，地球環境保全のための情報システム構築の緊急性も叫ばれている．しかし，これらのニーズに対し，既存の地理情報システムの機能をもってしては，十分にカバーしえない技術領域が存在する．すなわち，既存の地理情報システム（GIS）は，時間とともに遷移する空間情報を柔軟に記述・処理することが困難である．そこで本研究では，時間的な推移が記述されて過去の状況がいつでも参照できる地理情報システム（時空間情報システム）の構築及び実用化を目指し，そのための基盤となる技術を開発する．さらに，中国と連携して，日中双方に重要である環境・防災関連等の時空間情報の国際的な共有を実現するため，技術的基盤の開発・確立を目指すものである．具体的には，時空間情報システムのデータ構造の策定・システムの実装・その応用，多言語間での地理情報の共有，時間的変換の抽出等の画像処理技術及び映像等の多様な地理情報の共有に関する技術開発を行う．

代表者：明野和彦（国土交通省 国土地理院）

共同研究者：河瀬和重，飯村 威，中村孝之（国土地理院），大沢 裕（埼玉大学），小杉幸夫，角本 繁（東京工業大学），有川正俊（CSIS），吉川耕司（名城大学），畑山満則（京都大学），鄭 迪（テレサイinjaパン），CHEN Rongguo, FENG Kezhong, HE Jianbang, LI Huiguo, LI Xintong, SU Fenzhen, WAN Hongtao, WANG Qinmin, WAN Qing, XIE Chuanjie, ZHOU Chenghu（中国中国科学技術省中国国家リモートセンシングセンターGIS 研究所）

● 分散位置情報サービスと空間コンテンツ融合に関する研究

（文科省科研費 特定研究（C）「ITの深化の基盤を拓く情報学研究」の公募研究）

目的：インターネットに適するスケーラビリティのある位置情報流通を実現するための基盤となる，(1) 分散型位置情報サービスによる「位置アドレス空間」と(2) 位置キーを基

本とした「開放型位置情報空間」の体系化およびシステムの実現を行う。

代表者：有川正俊（CSIS）

分担研究者：相良毅（CSIS）

● インターネット上の遠隔ライブ映像を利用した拡張現実感の研究

目的：インターネットを伝送させ、遠隔操作可能なライブ映像と空間オブジェクトを合成した映像をハイパーメディア化する研究を行う。

共同研究者：岡村耕二（九州大学情報基盤センター）、有川正俊（CSIS）

● 地域環境 GIS 研究会

（文科省科研費 地域連携）

目的：本研究は、開発行為をはじめとする人間活動が地域環境に及ぼす具体的な影響を予測するために、高精度の環境シミュレーションシステムを開発しようとするものである。そのため、まず 10m メッシュの細密地形モデルを構築し、その上で流出シミュレーションをおこなう。さらに森林の時系列変化・季節変化シミュレーションを実施する。また、これらに連動して現地観測及びリモートセンシング観測を実施し、将来的には情報ネットワークによるリアルタイムで高精度な予測システムの実現を目指す。

研究代表者：半田暢彦，鈴木康弘（愛知県立大学）

細密地形モデルによる地形解析と高解像度流出シミュレーション：小口 高，杉盛啓明（CSIS），佐野滋樹（玉野総合コンサルタント株式会社）

流量及び気象観測網の構築：木村圭司（愛知県立大学），恩田裕一（筑波大学）

過去 50 年間の植生変化の復元：野澤竜二郎（玉野総合コンサルタント株式会社），鈴木康弘（愛知県立大学）

現地調査による森林構造の把握：山本一清，竹中千里（名古屋大学）

航空機 MSS データによる植生の季節変化の把握：村手直明，宮坂 聡（中日本航空株式会社），筒井信之，伊藤 剛（株式会社創建）

URL: <http://regis.t.u-tokyo.ac.jp>

● 北メソポタミア平原における初期農耕村落の発生と展開に関する考古学的研究

(文科省科研費 基盤研究 (B) (2))

目的：シリアのハブール平原で最古にして最大の村落遺跡であるテル・セクル・アル・アヘイマル遺跡を発掘し，人類の北メソポタミア開発史最初期の様相を実地に明らかにする。

研究代表者：西秋良宏（東京大学）

研究分担者：吉田邦夫（東京大学），小口 高（CSIS）

海外共同研究者：Antoine Suleiman（シリア国立アレppo博物館），Marie Le Miere, Daniel Helmer, George Willcox（フランス国立科学研究院）

● 高解像度 DEM を用いた後氷期開析前線の自動抽出と地形発達史研究への応用

(文科省科研費 基盤研究 (C) (2))

目的：日本の山地斜面の指標地形である後氷期開析前線を，GIS の技法を用いて自動抽出する手法を開発する。

研究代表者：小口 高（CSIS）

研究分担者：鈴木康弘（愛知県立大学），杉盛啓明（CSIS）

● イギリス東部における河川水質

(東京地学協会 助成研究)

目的：英国 LOIS（Land Ocean Interaction Study）プロジェクトで収集・整理されたイギリスの水質データを GIS により解析する。

研究代表者：小口 高（CSIS）

分担者：Helen P. Jarvie, Colin Neal（Centre for Ecology and Hydrology, UK）

● 全球古水文学データベース

(文科省科研費 データベース)

目的：古水文学に関連する世界のデータを収集し，データベース化する。

研究代表者：小口 高 (CSIS)

分担者：斉藤享治 (埼玉大学), 門村 浩 (立正大学) ほか

URL: <http://ogu.t.u-tokyo.ac.jp/gphd.html>

● GIS を用いた流域分類と流出現象のモデル化に関する研究

ー多摩川流域丘陵地への適用ー

(とうきゅう環境浄化財団 助成研究)

目的：丘陵地流域における環境条件と流出特性との関係を定量的に明らかにするために、多摩川支流を対象に、水文データベースの構築、水文地形学的な流域分類、および流出解析を行う。

研究代表者：小口 高 (CSIS)

研究分担者：杉盛啓明 (CSIS), 木村圭司 (東京都立大学), 鈴木康弘 (愛知県立大学)

● 地理情報システム(GIS)を用いた地域人口動態の規定要因に関する研究

(厚生科学研究費)

目的：地理情報システムを用いて、わが国における人口動態とその変動の規定要因を解明する。人口分布データと土地条件データの組み合わせにより、人口密度や人口増加率と、傾斜・高度・土地利用・交通網分布などの土地条件との関連性を明らかにし、視覚化・地図化を試みる。

研究代表者：小口 高 (CSIS)

研究分担者：江崎雄治・西岡八郎 (国立社会保障・人口問題研究所), 堀 和明 (恩賜財団母子愛育会), 青木賢人 (北海道大学)

● 力覚を用いたネットワークコラボレーションの研究

(文科省科研費 基盤研究 (B) (2))

目的：意思伝達に用いられる人間の五感のうち、聴覚、視覚については、比較的安価な端末と入出力デバイスを用いても、画像・音声を伝送が可能となっている。一方、力覚（触

覚)については各種の入出力デバイスが商用化されつつある。このような観点から、本研究では力覚を用いたコラボレーションにおける、ネットワークに関連する課題を研究することを目的とする。

研究代表者：瀬崎 薫 (CSIS)

● 力覚メディアの対遅延特性とメディア同期の研究

(文科省科研費 特定領域研究 (C))

目的：力覚を含むマルチモーダルな意思伝達に関する研究が活発であるが、先行研究においては遠隔地の人間と人間との接続に介在するネットワークに関する意識が希薄であり、実際のネットワークで生じるネットワーク上の擾乱 (network impairment) が生じた場合の品質制御についての検討はなされてこなかった。具体的な解決課題は数多くあるが、本研究では研究の焦点をメディア同期、即ち遅延補償の問題に絞り込んでその解決を図る。

領域代表者：安西祐一郎 (慶應義塾大学)

A03 班「人間の情報処理の理解とその応用に関する研究」代表者：松山 隆司 (京都大学)

研究代表者：瀬崎 薫 (CSIS)

● ヘテロなネットワークにおける統合映像配信・通信システムの構築

(文部省科研費 基盤研究 (B) (2) 展開研究)

目的：本研究では低速回線を含んだヘテロなネットワーク構造の下で、映像メディアを柔軟に伝送・配信及び検索可能な統合的なシステムを構築することを目標とする。

研究代表者：瀬崎 薫 (CSIS)

研究分担者：安田靖彦 (早稲田大学), 佐藤宏明 (キヤノン), 小松邦紀 (東京大学)

● 知的で動的なインターネットワーキング

(日本学術振興会 未来開拓学術研究支援事業)

目的：インターネットの進展によって優れた情報共有手段が利用できるようになったが、21 世紀の高度情報社会の情報インフラとなるにはまだ極めて不十分であり、インターネット

トの機能, 性能, 経済性を改善する「次世代インターネット (NGI)」の実現を目指す研究・開発が産学官において活発に行われている。この NGI の枠組みではネットワークに接続される機器は基本的には PC であり, その間の情報の流通性能向上が主体であるが, さらにその次の時代には, PC に加えて自動車, 家電製品, ウェアラブル機器, 室内・屋外の各種センサーなどあらゆる機器にネットワーキング機能が搭載され, それらの情報機器から様々なサービスを楽しむことができる高度な情報インフラの構築が望まれる。本研究分野はこのように NGI のさらに次の時代のネットワーク技術を対象にするものである。この領域ではまだいくつかの要素技術の萌芽が見られる段階であり, ネットワーク全体を対象にした総合的なプロジェクトはまだ世界的にも存在しない。そこでここでは知的で動的な機能をベースとする新しいネットワークコンセプトの確立, そのコンセプトに基づく新ネットワークアーキテクチャや新ネットワークサービスの機能の創出, それを実現する革新的メカニズムやプロトコルの考案, それらを実証するネットワークテストベッドの構築, というネットワーク全体を対象として統合的に研究を推進する。

研究代表者：青山友紀（東京大学）

研究プロジェクト「メタネットワークアーキテクチャ」

プロジェクトリーダー：森川博之（東京大学）

研究分担者：瀬崎 薫（CSIS）, 江崎 浩（東京大学）, 山岡克式（東京工業大学）, 久保田 稔（NTT）

X I 2001 年度 教職員名簿 (2002 年 3 月 31 日現在)

センター長・教授 (兼任)

岡部篤行

〒113-8656 文京区本郷 7-3-1 工学系研究科都市工学専攻

教授

浅見泰司

〒113-8656 文京区本郷 7-3-1 工学系研究科都市工学専攻

柴崎亮介

〒153-8505 目黒区駒場 4-6-1 生研 C 棟 Ce-501 生産技術研究所第 5 部

八田達夫

〒113-0033 文京区本郷 7-3-1 経済学研究科

客員教授 (非常勤講師)

川口有一郎

〒279-8550 千葉県浦安市明海 8 明海大学不動産学部

助教授

有川正俊

〒153-8904 目黒区駒場 4-6-1 16 号館 1F 空間情報科学研究センター

小口 高

〒113-0033 文京区本郷 7-3-1 理学系研究科

城所幸弘

〒113-0033 文京区本郷 7-3-1 経済学研究科

瀬崎 薫

〒153-8505 目黒区駒場 4-6-1 生研 E 棟 Ee-309

丸山祐造

〒113-0033 文京区本郷 7-3-1 経済学研究科

客員助教授 (外国人研究員)

史 中超

〒153-8505 目黒区駒場 4-6-1 生研 C 棟 CE-503 生産技術研究所第 5 部

助手

杉盛啓明

〒153-8904 目黒区駒場 4-6-1 16号館 1F 空間情報科学研究センター

相良 毅

〒153-8904 目黒区駒場 4-6-1 16号館 1F 空間情報科学研究センター

研究機関研究員

来間玲二

〒153-8904 目黒区駒場 4-6-1 16号館 1F 空間情報科学研究センター

宮崎千尋

〒153-8904 目黒区駒場 4-6-1 16号館 1F 空間情報科学研究センター

研究支援推進員

高橋昭子

〒153-8904 目黒区駒場 4-6-1 16号館 1F 空間情報科学研究センター

X II 拠点校客員教官・客員研究員・協力研究員名簿

1. 全国共同研究組織

客員教授

江碕哲郎 (2001. 5. 1～2002. 3. 31)
岡田憲夫 (2001. 5. 1～2002. 3. 31)
佐土原 聡 (2001. 5. 1～2002. 3. 31)
増田 聡 (2001. 5. 1～2002. 3. 31)
山村悦夫 (2001. 5. 1～2002. 3. 31)

客員助教授

奥貫圭一 (2001. 5. 1～2002. 3. 31)
小長谷一之 (2001. 5. 1～2002. 3. 31)
鈴木康弘 (2001. 5. 1～2002. 3. 31)
矢野桂司 (2001. 5. 1～2002. 3. 31)

客員研究員(全国大学)

大沢 裕 (2001. 4. 1～2002. 3. 31)
大竹文雄 (2001. 4. 1～2002. 3. 31)
菅 雄三 (2001. 4. 1～2002. 3. 31)
高阪宏行 (2001. 4. 1～2002. 3. 31)
須崎純一 (2001. 4. 1～2002. 3. 31)
鈴木厚志 (2001. 4. 1～2002. 3. 31)
玉川英則 (2001. 4. 1～2002. 3. 31)
名嘉村盛和 (2001. 4. 1～2002. 3. 31)
村山祐司 (2001. 4. 1～2002. 3. 31)

2. 外国人客員研究員

高 曉路 (2001. 10. 1～2001. 12. 31)

3. 客員研究員

伊藤史子 (2001. 4. 1～2002. 3. 31)
江崎雄治 (2001. 4. 1～2002. 3. 31)
大河原 透 (2001. 4. 1～2002. 3. 31)
原 美登里 (2001. 4. 1～2002. 3. 31)

4. 外国人協力研究員

朱 海紅／シュ・カイコウ (2001. 4. 1～2002. 3. 31)

余 亮／ヨ・リョウ (2001. 4. 1～2002. 3. 31)

5. 協力研究員

青木宏人 (2001. 4. 1～2002. 3. 31)

神山清雄 (2001. 4. 1～2002. 3. 31)

6. 外国人特別研究員

Istek, Ismail Cihangir／イスティッキ・イスマル・ジハンギリ (2001. 4. 1～2002. 3. 31) 何

宏林／カ・コウリン (2001. 4. 1～2002. 3. 31)

趙 卉菁／チョウ・ヒュージュン (2001. 4. 1～2001. 9. 30)

7. 特別研究員

新井勇治 (2001. 4. 1～2002. 3. 31)

ⅩⅢ センター教官を指導者とする院生・派遣研究員

新領域創成科学研究科環境学専攻社会文化環境コース	修士 8 名, 博士 3 名
工学系研究科社会基盤専攻	修士 2 名, 博士 5 名
工学系研究科都市工学専攻	修士 4 名, 博士 3 名
理学系研究科地球惑星科学専攻	修士 1 名, 博士 3 名
経済学系研究科近代経済学専攻	修士 3 名, 博士 1 名
工学系研究科電子情報工学専攻	修士 2 名, 博士 1 名
情報理工学研究科電子情報学専攻	修士 3 名
日本学術振興会外国人特別研究員	2 名
日本学術振興会特別研究員 (PD)	1 名
社会福祉法人恩賜財団母子愛育会派遣リサーチレジデント	1 名

XIV 研究紹介(駒場オープンハウス資料)

2001年6月7日～8日に、東京大学 駒場リサーチキャンパス（正式名：駒場第Ⅱキャンパス）において、学内者・学外者に研究活動を紹介するための行事として「駒場オープンハウス」が開催された。参加機関は、空間情報科学研究センター、生産技術研究所、先端科学技術研究センター、気候システム研究センター、国際・産学共同研究センター、人工物工学研究センター、先端経済工学研究センターであった。この際に、空間情報科学研究センターでは研究紹介パネルの展示を行った。ここにパネルの縮小版を掲載する。なお、オリジナルはカラーである。

X V 個人情報-1:本部メンバー

※原則として、昨年度年報掲載者については1997～2001年度の研究業績を掲載し、新規掲載者については過去の全ての研究業績を掲載した。

岡部篤行

センター長・教授

専門 空間情報科学, 都市・地域解析, 計算空間解析, 空間統計, 空間心理学,
立地分析, 空間最適化など

1. 過去5年間の研究業績

* 査読論文

ー原著論文

奥貫圭一, 岡部篤行, 1997. 売り上げ最大化によるネットワーク上の店舗立地最適化手法.

GISー理論と応用, 5-2, 11-18.

田頭直人, 岡部篤行, 1997. ある密度以上の地区を抽出する場合における統計地区単位
の面積の影響. GISー理論と応用, 5-1, 11-18.

Okabe, A., Sadahiro, Y., 1997. Variation in count data transferred from a set of irregular zones to a set of regular zones through the point-in-polygon method. *International Journal of Geographical Information Science*, 11-1, 93-106.

Okabe, A., Okunuki, K., Suzuki, T., 1997. A computational method for optimizing the hierarchy and spatial configuration of successively inclusive facilities on a continuous plane. *Location Science*, 5-4, 255-268.

田頭直人, 岡部篤行, 1998. 地区単位で集計された距離を説明変数とする回帰モデルの安定性. GISー理論と応用, 6-1, 29-38.

船本志乃, 岡部篤行, 1998. 点分布の空間階層的特性を抽出する探索的解析ツールの開発.

GISー理論と応用, 6-1, 49-57.

Ishikawa, T., Okabe, A., Sadahiro, Y., Kakumoto, S., 1998. An experimental analysis of the perception of the area of an open space using 3-D stereo dynamic graphics. *Environment and Behavior*, 30-2, 216-234.

増山 篤, 岡部篤行, 貞広幸雄, 柴崎亮介, 1999. 時系列曲線のロバストな分析手法. GISー理論と応用, 7-1, 11-18.

泉 岳樹, 岡部篤行, 貞広幸雄, 平野勇二郎, 2000. 建物による日影が衛星リモートセンシングから算出された都市域のアルベドへ及ぼす影響. GISー理論と応用, 8-1, 11-18.

- 増山 篤, 岡部篤行, 貞広幸雄, 三好輝生, 2000. 二つの領域分割図の適合制度と統合化の手続き. GIS—理論と応用, 8-1, 19-27.
- 山田育穂, 岡部篤行, 2000. ネットワーク空間における K 関数法. GIS—理論と応用, 8-1, 75-82.
- Okabe, A., Funamoto, S., 2000. An exploratory method for detecting multi-level clumps in the distribution of points – a computational tool, VRM (variable clumping method). *Journal of Geographical Systems*, 2-2, 111-120.
- Okabe, A., Masuyama, A., 2000. An exploratory method for qualitative trend curve analysis – a robust method against low quality data. *International Journal of Geographical Information Science*, 15-1, 65-76.
- 渡辺晃久, 貞広幸雄, 岡部篤行, 泉 岳樹, 2001. エネルギー消費からみた都市内土地利用配置の評価. GIS—理論と応用, 9-2, 9-16.
- Maniruzzaman, K.M., Okabe, A., Asami, Y., 2001. GIS for cyclone disaster management in Bangladesh. *Geographical & Environmental Modelling*, 5-2, 123-131.
- Okabe, A., Okunuki, K., 2001. A computational method for estimating the demand of retail stores on a street network and its implementation in GIS. *Transactions in GIS*, 5-3, 209-220.
- Okabe, A., Yamada, I., 2001. The K-function method on a network and its computational implementation. *Geographical Analysis*, 33-3, 271- 290.
- Shiode, N., Okabe, A., 2001. A computational method for optimizing the shape and location of a polygon on a plane. *International Transactions in Operational Research*, 8, 547-559.
- Tagashira, N., Okabe, A., 2002. The modifiable areal unit problem in a regression model whose independent variable is a distance from a pre-determined point. *Geographical Analysis*, 34-1, 1-20.

一総説・解説

- 岡部篤行, 1997. 地理情報化社会の動向と地理学・地理情報科学. *地学雑誌*, 106-6, 875-878.
- 岡部篤行, 1999. 地理情報システム (GIS) と数理地理分析関連の学術雑誌概観. *地学雑誌*, 108-6, 673-677.

* 非査読論文

一原著論文

- 泉 岳樹, 岡部篤行, 貞広幸雄, 一ノ瀬俊明, 1997. 首都圏移転先に発生するヒートアイランドの予測. *地理情報システム学会講演論文集*, 6, 183-186.
- 奥貫圭一, 岡部篤行, 1997. ハフモデル選択行動をする場合の連続ネットワーク上最適配置問題. *日本応用数学会講演予稿集*, 64-65.
- 奥貫圭一, 岡部篤行, 催 鳳文, 丸山貴志子, 谷崎正明, 嶋田 茂, 1997. モバイル GIS を用いた都市調査実習の試み. *地理情報システム学会講演論文集*, 6, 51-56.

- 田頭直人, 岡部篤行, 1997. ある地区単位で集計された距離を変数とした回帰モデルにおける地区総数の回帰係数の安定性への影響. 地理情報システム学会講演論文集, 6, 81-86.
- Okabe, A., Suzuki, A., 1997. Invited review "Locational optimization problems solved through Voronoi diagrams". *European Journal of Operational Research*, 98, 445-456.
- Sadahiro, Y., Fukui, H., Izumi, T., Okabe, A., Ichinose, T., 1997. Heat island in new capitals: A simulation study. *Proceedings of International Symposium on Monitoring and Management of Urban Heat Island (in term report)*, 265-272.
- 伊藤 悟, 岡部篤行, 奥貫圭一, 東明佐久良, 秋田義一, 小坪宏則, 大喜多祐司, 後藤 寛, 金子忠行, 足達俊雅, エリック・バーズリー, 1998. 都市計画基礎調査におけるモバイル GIS 利用の試み (その 1). 地理情報システム学会講演論文集, 7, 131-140.
- 後藤 寛, 岡部篤行, 1998. 東京大都市圏の都心地域システムーその従業者集積分布と特性ー. *総合都市研究*, 65, 35-44.
- 後藤 寛, 伊藤 悟, 岡部篤行, 奥貫圭一, 東明佐久良, 秋田義一, 小坪宏則, 大喜多祐司, 金子忠行, 足達俊雅, エリック・バーズリー, 1998. 都市計画基礎調査におけるモバイル GIS 利用の試み (その 2). 地理情報システム学会講演論文集, 7, 293-296.
- 増山 篤, 岡部篤行, 貞広幸雄, 柴崎亮介, 1998. 時系列曲線のロバストな分析手法. 地理情報システム学会講演論文集, 7, 103-106.
- 村上祐二, 岡部篤行, 貞広幸雄, 泉 岳樹, 1998. 緑地配置によるヒートアイランド緩和効果. 地理情報システム学会講演論文集, 7, 41-46.
- Izumi, T., Okabe, A., Sadahiro, Y., Ichinose, T., 1998. The effect of the relocation of Japanese capital on a thermal environment. *Proceedings of International Conference on Modeling Geographical and Environmental Systems with Geographical Information Systems*, 1, 7-13.
- Maniruzzaman, K.M., Okabe, A., Asami, Y., 1998. GIS for disaster management: In the context of cyclones in Bangladesh. *Proceedings of International Conference on Modeling Geographical and Environmental Systems with Geographical Information Systems*, 1, 304-311.
- Sadahiro, Y., Izumi, T., Okabe, A., 1998. Numerical simulation of urban heat island: The case of new capitals in Japan. *Annual Report of the Engineering Research Institute, Faculty of Engineering, University of Tokyo*, 57, 63-68.
- 泉 岳樹, 岡部篤行, 貞広幸雄, 花木啓祐, 一ノ瀬俊明, 1999. 首都機能移転による熱環境変化の予測. *環境システム研究—全文審査部門論文*, 27, 171-178.
- 佐藤 隆, 岡部篤行, 蒲地輝尚, 1999. インターネット上の 3 次元仮想空間を利用した配置計画支援システムの研究. 地理情報システム学会講演論文集, 8, 345-348.
- 増山 篤, 岡部篤行, 貞広幸雄, 島村秀樹, 三好輝生, 1999. 二つの領域分割図の適合度評価と統合化の手続き. 地理情報システム学会講演論文集, 8, 99-104.
- 山田育穂, 貞広幸雄, 岡部篤行, 1999. 商店外カードデータを用いた世田谷烏山駅前通り商店街の商圈構造分析. 地理情報システム学会講演論文集, 8, 47-52.

- Okabe, A., Masuyama, A., 1999. A method for qualitative trend curve analysis and its application to land cover change in Persian gulf area. Islamic Area Studies Working Paper Series, 17, 1-28.
- 泉 岳樹, 岡部篤行, 貞広幸雄, 2000. 都市ヒートアイランド現象のシュミレーションモデルと循環型社会に関する若干の考察. 総合都市研究, 71, 87-108.
- 奥貫圭一, 伊藤 悟, 岡部篤行, 金子忠明, 後藤 寛, 東明佐久良, 立松岳史, 汐崎 剛, 2000. 野外調査実習のための携帯型 GIS の開発 - 大学の地理学教育における活用事例 -. 地理情報システム学会講演論文集, 9, 263-268.
- 後藤 寛, 山田育穂, 岡部篤行, 山崎利夫, 高阪宏行, 金子忠明, 高見健太郎, 2000. スポーツクラブ会員の時空間行動の基礎的分析. 地理情報システム学会講演論文集, 9, 219-223.
- 佐藤 隆, 貞広幸雄, 岡部篤行, 2000. 空間データ図郭の接合に利用できる性質の対話的検出および図化. 地理情報システム学会講演論文集, 9, 399-402.
- 増山 篤, 岡部篤行, 木村隆紀, 久礼智春, 小林庸至, 近藤英心, 田中 学, 橘 高範, 普光真生, 2000. 利用者の移動能力を考慮した最適経路案内システム. 地理情報システム学会講演論文集, 9, 195-198.
- 森田匡俊, 奥貫圭一, 岡部篤行, 2001. GIS を用いたネットワーク上の小売店舗商圏分析 - 愛知県日進市を事例に -. 地理情報システム学会講演論文集, 10, 45-50.
- Okunuki, K., Itoh, S., Okabe, A., Goto, Y., Kaneko, T., Shinoaki, S., Akita, Y., Kotsubo, H., Okita, Y., Tatematsu, T., Shiozaki, G., 2001. A mobile GIS for fieldwork. Abstracts of Symposium on Asia GIS 2001, 20-21.

一総説・解説

- 岡部篤行, 1997. 高度情報社会の国土. 地図研ニュース, 2-1, 1-3.
- 岡部篤行, 1998. 地理情報システムの潮流. 新世紀の空間データ基盤と地理情報システム - 歴史と現状を踏まえた展望と研究課題, 3-4.
- 岡部篤行, 1998. ネットワーク地理情報システム (GIS) の展望. 統計, 49-4, 32-37.
- 岡部篤行, 1998. 高度情報社会における都市計画. 都市計画, 46-4, 9-12.
- 岡部篤行, 1998. 空間情報科学の展開. 電子通信学会誌, 81-7, 704-710.
- 岡部篤行, 1998. 空間情報科学の曙. 写真測量とリモートセンシング, 37-3, 1.
- 岡部篤行, 1998. デジタル地図と地域振興. アドバタイジング, 507, 11.
- 岡部篤行, 2001. 二十一世紀の新国土 - 電子国土の基盤整備に期待する. 人と国土, 26-6, 6-7.
- 岡部篤行, 2001. 空間情報と IT 革命. 都市空間と IT 革命シンポジウム講演集, 3-15.

- 岡部篤行, 2001. 高度情報化社会における都市計画. 創立 20 周年記念インフォマティクス・フェア講演集, 8-11.
- 岡部篤行, 2001. Networks and Spatial Economics: A Journal of Infrastructure Modeling and Computation. 學鑑, 98-12, 55.
- 岡部篤行, 2001. G-XML の未来と展望—これまでの閉鎖型 GIS から, より開放的な GIS によるサービスへの転換期. GISJapan, 創刊号, 6.
- Leung, Y., Okabe, A., 2001. Guest Editorial: The International Conference on Modeling Geographical and Environmental Systems with Geographical Information Systems. Geographical & Environmental Modelling, 5-2, 109-110.
- Okabe, A., 2001. Japan set to spearhead GIS mobile device revolution (interview). Nikkei Weekly, 39-1, 970.

* 書籍

- 田頭直人, 岡部篤行, 2000. 「空間集計問題: 地区集計バイアスとその除去」(Sinfonica 研究叢書) 財団法人統計情報研究開発センター.
- Okabe, A., Boots, B., Sugihara, K., Chui, S.-N., 2000. Spatial Tessellations: Concepts and Applications of Voronoi Diagrams, second edition. Chichester: John Wiley.
- 岡部篤行, 2001. 「空間情報科学の挑戦」(岩波科学ライブラリー81). 岩波書店.
- 岡部篤行, 東明佐久良, 那須 充, 2001. 「インターネット GIS」(翻訳). 古今書院.
- 野上道男, 岡部篤行, 貞広幸雄, 隈元 崇, 西川 治, 2001. 「地理情報学入門」. 東大出版会.
- 岡部篤行, 貞広幸雄, 相良 毅, 杉盛啓明, 後藤 寛, 来間玲二, 有川正俊, 2002. 「学術空間データ基盤システムの構築—東京大学空間情報科学研究センターの事例—」(Sinfonica 研究叢書). 財団法人 統計情報研究開発センター.

* 報告書・資料

- 岡部篤行, 1997. 高度情報社会の国土. 地図研ニュース, 2-1, 1-3.
- 岡部篤行, 1997. 対談: 空間データ処理の近未来展望—サイバーコミュニティー形成の一翼を担う GIS. コンピュートピア, 10, 83-88.
- 岡部篤行, 1997. 空間データの品質評価について. 事業所メッシュ統計の作成技法に関する研究報告書, 統計情報研究開発センター (平成 8 年総務庁委託研究報告).
- 岡部篤行, 1998. 統計情報とセンサスマッピングシステム (CMS). 計調査ニュース, 138, 1.
- 岡部篤行, 1998. 新たなインフラの基礎研究の場—空間情報科学研究センター. 測量, 8, 5.
- 岡部篤行, 1998. 座談会: 都市解析とは何か. 建築雑誌, 113-1424, 10-17.

- 岡部篤行, 1998. 学会の新たな研究基地 - 空間情報科学研究センター誕生. 地理情報システム学会ニューズレター, 26, 1.
- 後藤 寛, 岡部篤行, 1998. 首都圏における都心地域の特性と分布. CMS のデータ管理及び提供に関する研究報告書 (II), 統計情報研究開発センター (平成 9 年総務庁委託研究報告), 22-43.
- Dangermond, J., 岡部篤行, 1998. 座談会: インターネット時代の GIS. 測量, 48-4, 58-64.
- 岡部篤行, 1999. 空間情報科学・空間情報技術 (GIS) ・空間情報社会. 地質と調査, 3, 1.
- 岡部篤行, 1999. インタビュー: WEB をつかった GIS. 測量, 49-8, 17-24.
- 岡部篤行, 1999. 第 8 回地理情報システム学会学術研究発表大会会長挨拶. 地理情報学会ニューズレター, 32, 1.
- 岡部篤行, 2000. 第 10 章 地理情報科学. 日本における地理学の現状と 21 世紀への展望, 平成 11 年度文部省科学研究費補助金 (基盤研究 C) 研究成果報告書 (課題番号 1898004)
- 岡部篤行, 2000. 国土空間データ基盤を担う 2000 年国勢調査. 統計, 51-7, 16-18.
- 岡部篤行, 2001. リアルタイム・マイクロエリア・マーケティング支援システム開発の基礎的研究: 課題番号 11480092. 平成 11 年度～平成 12 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B) (2)) 報告書, 平成 13 年 3 月, 研究代表者: 岡部篤行.
- 岡部篤行, 2002. 学術空間データ基盤システムの構築 - 東京大学空間情報科学研究センターの事例 -, 平成 9-13 年度科学技術新興調整費知的基盤整備推進制度「空間情報科学の確立のための空間情報のデータベース化に関する研究開発」, 第 2 グループ成果報告書, 分冊 1, 研究代表者: 岡部篤行.
- 岡部篤行, 2002. 空間データ表現及び変換技術に関する研究開発, 平成 9-13 年度科学技術新興調整費知的基盤整備推進制度「空間情報科学の確立のための空間情報のデータベース化に関する研究開発」, 第 2 グループ成果報告書, 分冊 2, 研究代表者: 岡部篤行.
- 岡部篤行, 2002. 分散データベースの流通技術に関する研究開発, 平成 9-13 年度科学技術新興調整費知的基盤整備推進制度「空間情報科学の確立のための空間情報のデータベース化に関する研究開発」, 第 2 グループ成果報告書, 分冊 3, 研究代表者: 岡部篤行.
- 岡部篤行, 2002. オブジェクト指向技術を利用したオープンネットワーク環境下における公物等空間情報の更新及び流動に関する研究開発, 平成 9-13 年度科学技術新興調整費知的基盤整備推進制度「空間情報科学の確立のための空間情報のデータベース化に関する研究開発」, 第 2 グループ成果報告書, 分冊 4, 研究代表者: 岡部篤行.
- 岡部篤行, 2002. 社会的事象の時空間変動パターンのモデル化に関する研究開発, 平成 9-13 年度科学技術新興調整費知的基盤整備推進制度「空間情報科学の確立のための空間情報のデータベース化に関する研究開発」, 第 2 グループ成果報告書, 分冊 5, 研究代表者: 岡部篤行.

* 国際学会発表

- Okabe, A., Funamoto, S., 1998. An exploratory method for detecting spatial hierarchy in the distribution of points: A computer program, VMC. Commission on Modelling Geographical Systems Lisbon Conference: Spatial Analysis and Environmental Processes, Lisbon, Portugal.
- Okabe, A., Okunuki, K., Sagara, S., Kamachi, T., Shiode, T., 1998. Virtual Ryoanji Project: Implementing a computer-assisted collaborative working environment of a virtual temple garden. International Workshop on Groupware for Urban Planning, Lyon, France
- Okabe, A., Funamoto, S., 1999. A spatial clumping method based on a Delaunay triangulation and its application. Abstracts of the 95th Annual Meeting of the Association of American Geographers, Honolulu, Hawaii.
- Okunuki, K., Okabe, A., 1999. A computational method for optimizing the location of a store on a continuum of a network when users' choice behavior follows the Huff model. The International Federation of Operation Research Societies, Beijing, China.
- Shiode, N., Okabe, A., 1999. A computational method for optimizing the shape and location of a polygon on a plane. The International Federation of Operation Research Societies, Beijing, China.
- Watanabe, T., Okabe, A., Izumi, T., Sadahiro, Y., 2000. Analysis of the effect of land use patterns on energy consumption using a modified CSU mesoscale model. T20-s (Modelling Geographical Systems organized by the IGU Commission 15), International Geographical Congress, Seoul, Korea.
- Okunuki, K., Itoh, S., Okabe, A., Goto, Y., Kaneko, T., Shinoaki, S., Akita, Y., Kotsubo, H., Okita, Y., Tatematsu, T., Shiozaki, G., 2002. A mobile GIS for fieldwork in geographical studies. Annual Meeting of the Association of American Geographers, Los Angeles, 19-23 March 2002, USA

* 国内学会発表

- 泉 岳樹, 岡部篤行, 貞広幸雄, 一ノ瀬俊明, 1997. 首都圏移転先に発生するヒートアイランドの予測. 日本地理学会 1997 年度秋期学術大会発表要旨集, 52, 176-177.
- 浦野 明, 花木啓祐, 岡部篤行, 1999. 街区における顕熱流の観測. 日本建築学会大会学術講演梗概集, 737-738.
- 奥貫圭一, 岡部篤行, 後藤 寛, 金子忠明, 伊藤 悟, 東明佐久良, 秋田義一, 小坪宏則, 大多喜祐司, 1999. 土地利用調査のための携帯型 GIS の開発 (英文名: A Portable GIS for Land Use Survey). 日本地理学会発表要旨集, 56, 138-140.
- 伊藤 悟, 奥貫圭一, 岡部篤行, 金子忠明, 東明佐久良, 立松岳史, 汐崎 剛, 2001. 野外調査のための携帯型 GIS の研究 (その 1). 日本地理学会発表要旨集, 59, 33.
- 伊藤 悟, 奥貫圭一, 岡部篤行, 金子忠明, 東明佐久良, 立松岳史, 汐崎 剛, 2001. 野外調査のための携帯型 GIS の研究 (その 2). 日本地理学会発表要旨集, 59, 189.

小林庸至, 貞広幸雄, 岡部篤行, 2001. 公共空間における着座場所選択行動の分析. 人間環境学会第8回大会講演梗概集, 39.

花沢信太郎, 岡部篤行, 2001. シークエンス景観における空間認知の研究. 人間環境学会第8回大会講演梗概集, 32.

2. 2001 年度活動記録

* 主要研究テーマ

1) 人文社会科学のための空間データ基盤整備の方法

人文社会科学で必要とされる空間データをどのように整備し, そのようなシステムでそのデータを共用するかの研究を行った.

2) 二つの空間領域分割の適合性の評価と統合の方法

国土地理院の行政区域図と総務庁統計局の行政区域図を同時に利用する場合に生じる空間境界分割図の適合度の評価の方法と, 統合の方法を研究した.

3) ネットワーク上の空間分析法の開発

従来の空間分析は, 均一な空間で直線距離を仮定した分析方法であった. しかし, 最近, ファーストフード店, コンビニ店の分析などをするには, この仮定は現実的でなく道路距離をつかったより詳細な空間分析の方法が望まれるようになっている. そこで, 当研究では従来の仮定をゆるめ, ネットワーク上での空間分析の手法を開発している.

* 学会活動

地理情報システム学会 理事, 企画委員

地理情報システム学会 「GIS—理論と応用」 編集委員

Full member: *Commission on Modelling Geographical Systems, International Union of Geographers*

Co-editor: *Geographical and Environmental Modelling* (Taylor & Francis)

Member of Editorial Board: *Journal of Geographical Systems* (Springer)

Member of Editorial Board: *International Journal of Geographical Information Science* (Taylor & Francis)

Member of Editorial Board: *The Annals of Regional Science* (Carfax Publishing)

Member of Editorial Board: *Geographical Analysis* (Ohio State University Press)

Member of Editorial Board: *Environment and Planning B: Planning and Design* (Pion)

Member of Editorial Board: *Computers, Environment and Urban Systems* (Pergamon)

Member of Editorial Board: *International Regional Science Review* (Sage Publications)

Member of Editorial Board: *Journal of Urban and Regional Information Association* (URISA)

Member of Editorial Board: *Networks and Spatial Economics* (Kluwer Academic Publishers)

*** 学内委員**

次世代機構検討部会 委員

UT21 人事・業務・評価検討委員会 委員

*** 学外委員**

日本学術会議 第17・18期地理学研究連絡委員会 委員

日本学術会議 第17・18期地球環境研究連絡会 HDP-GIS 小委員会 委員

地理情報標準推進委員会 委員

ISO/TC211 国内委員会 委員

G-XML 検討本委員会 委員

G-XML テストベッド検討小委員会 委員長

GIS モデル地区実証実験委員会 委員長

道路管理センター評議委員会 評議員

大学評価・学位授与機構 工学系研究評価専門委員会 委員

*** 担当授業**

都市解析（工学部都市工学科課程）

*** 海外出張・研修**

00. 6. 11～16 香港（The Croucher Advanced Study Institute, 研究会招聘）

浅見泰司

空間情報解析部門 教授

専門 空間情報解析, 都市計画, 都市住宅学

1. 2001 年度までの研究業績

* 査読論文

ー原著論文

浅見泰司, 1982. メッシュデータを用いた DID 内外の人口分布変容の数量的分析. 日本都市計画学会学術研究発表会論文集, 17, 85-90.

浅見泰司, 1983. クランピング法による幹線道路付近の人口分布の分析. 日本都市計画学会学術研究発表会論文集, 18, 31-36.

浅見泰司, 1984. クランピング法による DID 及び市街化区域の境界付近の人口分布の分析. 都市計画, 131, 65-70.

Okabe, A., Asami, Y., Miki, F., 1985. Statistical analysis of the spatial association of convenience-goods stores by use of a random clumping model. *Journal of Regional Science*, 25, 11-28.

Asami, Y., 1986. Fitting the rank-size rule to legal cities. *Geographical Analysis*, 18, 243-252.

浅見泰司, 1988. 土地利用特化度指標について: 公理的分析和応用例. 日本都市計画学会学術研究論文集, 23, 13-18.

Okabe, A., Asami, Y., 1986. The probability density function of an area covered with disks whose centers are randomly distributed. *Communications in Statistics—Simulation and Computation*, 15, 121-134.

蒲地輝尚, 浅見泰司, 岡部篤行, 1988. 経路記憶に関する実験的分析: コンピュータ・シミュレーションによる歩行実験. 日本都市計画学会学術研究論文集, 23, 7-12.

Asami, Y., 1988. A game-theoretic approach to the division of profits from economic land development. *Regional Science and Urban Economics*, 18, 233-246.

浅見泰司, 1989. 平衡市街地論: 用途地域の中での住宅の適正配置に向けて. 日本都市計画学会学術研究論文集, 24, 325-330.

Asami, Y., 1989. An axiomatic approach to a measure of land use mixture. *Environment and Planning A*, 21-4, 509-522.

- Asami, Y., Isard, W., 1989. Imperfect information, uncertainty and optimal sampling in location theory: An initial reexamination of Hotelling, Weber and von Thünen. *Journal of Regional Science*, 29, 507-521.
- 浅見泰司, 1990. 住宅地の階層構造に関する一考察: Alexander 理論の再評価. 日本都市計画学会学術研究論文集, 25, 433-438.
- 吉川 徹, 岡部篤行, 浅見泰司, 金子忠明, 1990. 用途地域指定の趣旨からみた土地利用遷移の分析: 神奈川県川崎市を対象とした実態分析. 日本都市計画学会学術研究論文集, 25, 373-378.
- Asami, Y., 1990. A determination of bid rents through bidding procedures. *Journal of Urban Economics*, 27, 188-211.
- Asami, Y., Teraki, A., 1990. On sequential negotiation procedures: optimal negotiation orders and land prices. *Regional Science and Urban Economics*, 20, 537-556.
- Asami, Y., Fujita, M., Smith, T.E., 1990. On the foundations of land use theory: Discrete versus continuous populations. *Regional Science and Urban Economics*, 20, 473-508.
- 浅見泰司, 1991. 公的住宅供給政策における「公正」な入居管理システムに関するモデル分析: 割増家賃の決定方法. 日本都市計画学会学術研究論文集, 26-B, 691-696.
- Suzuki, T., Asami, Y., Okabe, A., 1991. Sequential location-allocation problem of public facilities. *Mathematical Programming B*, 52, 125-146.
- Asami, Y., Fujita, M., Thisse, J.-F., 1993. A land capitalization approach to the efficient provision of urban facilities. *Regional Science and Urban Economics*, 23, 487-522.
- 浅見泰司, 1994. 大都市における家賃補助政策の効果に関する研究. 日本不動産学会誌, 9-1, 57-66.
- 山崎律子, 浅見泰司, 1994. スケッチを用いた住宅地における景観認知特性に関する研究. 日本建築学会計画系論文報告集, 466, 23-28.
- Maniruzzaman, K.M., Asami, Y., Okabe, A., 1994. Land use and the geometry of lots in Setagaya Ward, Tokyo. *Theory and Applications of GIS*, 2-1, 83-90.
- Asami, Y., 1995. Evaluation of the shape of residential lots in land-readjustment projects. *Regional Science and Urban Economics*, 25, 483-503.
- Asami, Y., 1995. On the evaluation of residential lots: With a focus on their shape. *Environment and Planning B*, 22, 149-174.
- Asami, Y., Smith, T.E., 1995. Additive-ratio measures of interactivity in input-output systems. *Journal of Regional Science*, 35, 85-115.
- 浅見泰司, 1996. 分数型居住環境指標の性質. 都市住宅学, 15, 60-65.
- Asami, Y., Maniruzzaman, K.M., 1996. A statistical test of the critical shape hypothesis for residential lots. *Environment and Planning B*, 23, 575-590.

- 伊藤史子, 浅見泰司, 1997. 当選確率を考慮した住宅地選択行動に関する一考察. 日本建築学会計画系論文報告集, 500, 207-212.
- Asami, Y., 1997. On the shape of houses and rooms. *Environment and Planning B*, 24, 385-402.
- 浅見泰司, 1998. 合理的な道路斜線制限の必要条件. 都市住宅学, 21, 103-109.
- 浅見泰司, 1998. 住宅市街地形成論: 交渉進行型住宅市街地整備システム. 都市住宅学, 23, 17-22.
- 浅見泰司, 木戸浩司, 1998. 国勢調査住宅関連統計の IPF 法による度数分布表推計の精度: 東京大都市圏を例として. 日本建築学会計画系論文報告集, 514, 185-189.
- 今泉恭一, 浅見泰司, 2000. 震災時の道路閉塞推定に関する研究: 防災街づくりのための密集住宅市街地整備方策の定量的比較研究. 日本建築学会計画系論文報告集, 529, 225-231.
- 今泉恭一, 浅見泰司, 2000. 費用便益分析を用いた病院の適正配置評価手法に関する研究. 日本建築学会計画系論文報告集, 534, 203-210.
- 宇都正哲, 浅見泰司, 2000. 応募行動を考慮した公営住宅の応益的家賃体系に関する考察. 日本建築学会計画系論文報告集, 531, 237-242.
- Asami, Y., Ohtaki, T., 2000. Prediction of shape of detached houses on residential lots. *Environment and Planning B*, 27, 283-295.
- 宇都正哲, 浅見泰司, 2001. 地価や周辺地域の状況が土地利用遷移に与える影響に関する研究: 東京 23 区を対象として. 都市住宅学, 33, 101-110.
- Asami, Y., Kubat, A.S., Istek, I.C., 2001. Characterization of the street networks in the traditional Turkish urban form. *Environment and Planning B*, 28, 777-795.
- Gao, X., Asami, Y., 2001. The external effects of local attributes on living environment in detached residential blocks. *Urban Studies*, 38, 487-505.

* 非査読論文

一 原著論文

- 浅見泰司, 1987. 非対称情報下の地代交渉. 日本不動産学会昭和 62 年度秋季全国大会 (学術講演会) 梗概集, 3, 5-8.
- 浅見泰司, 寺木彰浩, 1988. 建物形態自由度と建物形態規制. 日本不動産学会昭和 63 年度秋季全国大会 (学術講演会) 梗概集, 4, 115-118.
- 浅見泰司, 吉川 徹, 1988. 土地利用と騒音. 日本不動産学会昭和 63 年度秋季全国大会 (学術講演会) 梗概集, 4, 119-122.
- 浅見泰司, 西江史子, 1989. 居住年齢階層からみた近隣住区規模の再考察. 日本不動産学会平成元年度秋季全国大会 (学術講演会) 梗概集, 5, 101-104.
- 寺木彰浩, 浅見泰司, 1989. 眺望を考えた住棟配置の基礎的考察. 日本不動産学会平成元年度秋季全国大会 (学術講演会) 梗概集, 5, 105-108.

- 吉川 徹, 浅見泰司, 岡部篤行, 金子忠明, 1989. 用途地域指定と土地利用遷移: 川崎市を例として. 日本不動産学会平成元年度秋季全国大会 (学術講演会) 梗概集, 5, 117-120.
- 浅見泰司, 1990. 定期借家制度における「合理的」居住権価格設定の一試案. 日本不動産学会平成2年度秋季全国大会 (学術講演会) 梗概集, 6, 5-8.
- 浅見泰司, 1991. 開発利益の公共還元: 分類・意義・方法について. 日本不動産学会平成3年度秋季全国大会 (学術講演会) 梗概集, 7, 101-104.
- Asami, Y., 1991. A note on the derivation of the first and second derivatives of objective functions in geographical optimization problems. *Journal of the Faculty of Engineering, the University of Tokyo (B)*, 41-1, 1-13.
- 浅見泰司, 1992. 賃貸住宅の家賃設定: 民間賃貸住宅契約の標準家賃と公的住宅の割増家賃設定の考え方. *住宅土地経済*, 4, 10-17.
- 浅見泰司, 1992. 開発利益還元制度の備えるべき理論的条件. 日本不動産学会平成4年度秋季全国大会 (学術講演会) 梗概集, 8, 143-146.
- 浅見泰司, 安元孝史, 1993. 世帯主率法の拡張とその世帯主率係数行列の解釈. *都市住宅学*, 3, 49-52.
- 浅見泰司, 1993. 土地区画整理事業における敷地形形状評価関数の不適切性. *総合都市研究*, 49, 67-79.
- 浅見泰司, 1993. 土地区画整理における画地形形状評価. 日本不動産学会平成5年度秋季全国大会 (学術講演会) 梗概集, 9, 41-44.
- Asami, Y., 1993. On the evaluation of residential lots: with a focus on their shape. *Proceedings of the International Conference on Land Problem and Urban Policy, Kyoto University*, 292-326.
- Maniruzzaman, K.M., Asami, Y., Okabe, A., 1993. Land use and the geometry of lots in Setagaya Ward. *Papers and Proceedings of the Geographic Information Systems Association*, 2, 19-24.
- 浅見泰司, 1994. 土地区画整理事業における住宅画地の形状評価. *住宅土地経済*, 12, 20-27.
- 浅見泰司, カンドカール M. マニルザマン, 1994. 住宅用画地の枢要形状存在仮説の統計的検証. *総合都市研究*, 53, 99-111.
- 浅見泰司, 頼 美如, 1994. 道路の公共負担の考え方: 日本と台湾の土地区画整理手法の比較. 日本不動産学会平成6年度秋季全国大会 (学術講演会) 梗概集, 10, 51-54.
- 伊藤史子, 岡部篤行, 浅見泰司, 馬場研二, 1994. ニューラルネットワークによる住宅選択行動の解析: 応募者属性と選択住宅の規模・価格. 日本不動産学会平成6年度秋季全国大会 (学術講演会) 梗概集, 10, 67-70.
- Asami, Y., Funamoto, S., Hiraoka, N., Paelinck, J.H.P., Kawashima, T., 1994. Mathematical characteristics of ROXY index (IV): ROXY index as compared with correlation coefficient. *Gakushuin Economic Papers*, 31-3, 155-171.
- 浅見泰司, 1995. 大都市における家賃補助政策の妥当性に関する研究. *住宅・土地問題研究論文集*, 20, 99-120, 住宅総合センター, 東京.

- 浅見泰司, 1996. フランスの建設・住宅法典：構成と建築許可. 日本不動産学会平成 8 年度秋季全国大会 (学術講演会) 梗概集, 12, 21-24.
- 浅見泰司, 1996. 円形と長方形：住宅や部屋の形状の決定要因. 総合都市研究, 60, 13-24.
- 浅見泰司, 1997. 居住環境指標の妥当性. 住宅土地経済, 23, 20-29.
- 浅見泰司, 1997. 新たな住宅市街地形成論へ向けて：総合的設計による交渉進行型整備方法. 住宅, 46-3, 41-46.
- 浅見泰司, 1997. 新たな住宅市街地形成論へ向けて：交渉進行型整備の制度例. 住宅 46-5, 57-62.
- 浅見泰司, 石坂公一, 大江守之, 小山泰代, 瀬川祥子, 1997. 少子化現象と居住コスト. 人口問題研究, 53-4, 15-31.
- 浅見泰司, 木戸浩司, 1998. 国勢調査住宅関連統計の IPF 法による度数分布表推計の精度. 日本建築学会 1998 年度大会 (九州) 学術講演梗概集 F-1, 1143-1144.
- 浅見泰司, 瀬川祥子, 1998. 少子化現象と住宅事情. 住宅土地経済, 29, 26-33.
- 今泉恭一, 浅見泰司, 1998. 阪神・淡路大震災における避難所到達距離の分析：震災時の道路距離に関する研究 (その 1). 日本建築学会 1998 年度大会 (九州) 学術講演梗概集 F-1, 797-798.
- 宋 偉国, 浅見泰司, 1998. 中国の住宅市場. 総合都市研究, 67, 119-137.
- 日高靖郎, 浅見泰司, 1998. 遺伝的アルゴリズムを用いた画地分割最適化システム. 地理情報システム学会講演論文集, 7, 275-280.
- Maniruzzaman, K.M., Okabe, A., Asami, Y., 1998. GIS for disaster management: in the context of cyclones in Bangladesh. Lai, P., Leung, Y., Shi, W. eds., Proceedings of International Conference on Modeling Geographical and Environmental Systems with Geographical Information Systems, 1, Hong Kong Convention and Exhibition Centre, 304-311.
- 浅見泰司, 1999. 住宅の広さと子供数に見る少子化現象への影響. 住宅, 48-2, 32-36.
- 浅見泰司, 1999. 住宅・土地統計調査と住宅需要実態調査に表われる住宅・住環境. 住宅, 48-11, 14-17.
- 浅見泰司, 神谷浩史, 島津利行, 1999. 都市道路網の知覚的類似度. 総合都市研究, 69, 187-199.
- 今泉恭一, 浅見泰司, 1999. 大震災時における道路閉塞に関する研究. 日交研シリーズ A-257, 日本交通政策研究会, 東京.
- 今泉恭一, 浅見泰司, 1999. 震災時の道路閉塞推定モデルに関する研究：阪神・淡路大震災の実態調査に基づく分析. 日本建築学会 1999 年度大会 (中国) 学術講演梗概集 F-1, 813-814.
- 今泉恭一, 浅見泰司, 1999. 大震災時における道路閉塞に関する研究：阪神・淡路大震災における実態分析. 鹿島技術研究所年報, 47, 193-194.

- 渡辺春彦, 浅見泰司, 1999. 住民による住環境要素の評価と重要度認識. 住宅問題研究, 15-2, 25-45.
- 浅見泰司, 2000. 動機適合的な土地利用規制:形態制限の合理化. 住宅土地経済, 36, 28-35.
- 浅見泰司, 2000. 都市におけるミニ戸建て住宅の功罪. 住宅, 49-11, 5-8.
- 浅見泰司, 石坂公一, 大江守之, 小山泰代, 瀬川祥子, 松本真澄, 2000. 少子化現象と住宅事情. 人口問題研究, 56-1, 8-37.
- 北川賢介, 浅見泰司, 2000. トルコ・ブルサにおけるモスクの立地傾向:3次元地理情報システムを用いた地域研究. 地理情報システム学会講演論文集, 9, 225-228.
- 高 暁路, 浅見泰司, 2000. 戸建住宅地におけるミクロな住環境要素の外部効果. 住宅土地経済, 38, 28-35.
- 山田 徹, 浅見泰司, 2000. 自転車と歩行者のすれ違い行動についての認知心理学的分析. MERA Journal, 6-2, 31.
- 浅見泰司, 近藤英心, 2001. 建物名称に含まれる地名の分布による地区ブランド力の分析. 地理情報システム学会講演論文集, 10, 39-43.
- 飛岡美弥, 浅見泰司, 2001. 児童の都市計画教育ツールの開発とその効果. 地理情報システム学会講演論文集, 10, 255-258.
- 浅見泰司, 2002. まちづくりの公共性と合意形成. エコノミクス, 7, 152-159.
- 高 暁路, 浅見泰司, 2002. 戸建住宅の価格形成に関する空間影響の探索. 住宅土地経済, 44, 10-21.

一総説・解説

- 浅見泰司, 1989. 都市計画研究の中の「都市解析」. 都市計画, 161, 46-49.
- 浅見泰司, 1990. 大都市地域における住宅供給について. 住宅, 39-11, 20-25.
- 浅見泰司, 1992. 土地・住宅問題(都市計画研究の現状と展望). 都市計画, 173, 63-67.
- 浅見泰司, 1992. 区政における住宅政策について. 都政研究, 25-5, 4-9.
- 浅見泰司, 1995. パリのアパルトマン. 宅建, 5月号, 16.
- 熊田禎宣, 八田達夫, 浅見泰司, 中里 実, 1996. パネルディスカッション(2):土地流動化対策と有効利用促進のシステム整備, 都市住宅学, 臨時増刊号, 41-57.
- 浅見泰司, 1996. 都市工学から見た都市住宅学の学際的研究課題, 都市住宅学, 13, 16-19.
- 浅見泰司, 1996. フランスのニュータウン開発. 月刊住宅着工統計, 136, 18-21.
- 浅見泰司, 1997. メタデータの整備の必要性. 統計, 48-6, 38-39.
- 浅見泰司, 五十嵐敬喜, 福島隆司, 椋 周二, 森 稔, 若林祥文, 1998. 都市居住像のあり方ー容積率緩和を問う(都市住宅学会ワークショップ報告). 都市住宅学, 21, 51-69.
- 浅見泰司, 1998. 数式辞書. 建築雑誌, 113, 1424, 30-31.
- 浅見泰司, 1998. イスタンブルの都市データと地理情報システム. 地中海学会月報, 214, 6.

- 阿部孝夫, 浅見泰司, 井出多加子, 下村郁夫, 1998. 資産評価政策の課題と展望. 資産評価政策学, 1, 11-19.
- 浅見泰司, 1999. 住宅投資: 万能な内需拡大策か. Intellectual Cabinet, 3, 6-7.
- 浅見泰司, 1999. 「持続可能性」の発想を. Intellectual Cabinet, 14, 2-3.
- 西尾茂文, 武内和彦, 浅見泰司, 1999. 大学のあるべき姿と独立行政法人. 科学, 69-11, 869-877.
- 浅見泰司, 2000. 住宅・土地: 都市計画研究の現状と展望. 都市計画, 227, 65-69.
- 浅見泰司, 2000. 「用: ツール」の視点から見た 21 世紀の都市計画. 都市計画, 228, 21-24.
- 西村清彦, 相川宗徳, 浅見泰司, 石澤卓志, 森泉陽子, 2001. 住宅土地の「統計ビッグバン」. 住宅土地経済, 39, 3-15.
- 浅見泰司, 2001. 居住, 住環境および宅地の水準. 日本不動産学会誌, 14-4, 53-61.
- 浅見泰司, 2001. 21 世紀の都市計画モデル. 季刊未来経営, 1, 30-36.
- 浅見泰司, 2001. 長寿命化の落とし穴. 月刊建設, 45-2, 4-5.
- 浅見泰司, 2001. 住環境水準の指標. 都市住宅学, 33, 39-44.
- 浅見泰司, 2001. 都市計画制度の大改革を. Intellectual Cabinet, 50, 4-5.
- 浅見泰司, 2001. 都市計画から見た「都市再生」のポイント. 季刊未来経営, 3, 40-45.
- 浅見泰司, 2001. インタビュー: 東京大学・浅見泰司教授: 「都市再生」の課題とポイントは? CRI, 280, 8-9.
- 浅見泰司, 貞広幸雄, 相良 毅, 杉盛啓明, 2001. 東京大学空間情報科学研究センターの全国研究者支援構想. 森林航測, 194, 1-4.
- 小林重敬, 小泉重信, 篠原二三夫, 浅見泰司, 大久保恭子, 2001. 21 世紀の豊かな住まいに向けて. 住宅, 50-1, 5-20.

* 書籍

- Isard, W., Smith, C., Asami, Y., 1988. Policy space analysis: the choice of policies regarding arms expenditures and other issues and the value of information development. Isard, W., ed., Arms Races, Arms Control, and Conflict Analysis, Cambridge University Press, New York, 201-254.
- Ohta, H., Asami, Y., Kohlhase, J., 1990. Land, labor and product markets under spatial monopoly and spatial competition. Chatterji, M., Kuenne, R.E., eds., New Frontiers in Regional Science, Macmillan, London, 95-111.
- 浅見泰司, 1994. 土地利用規制. 八田達夫 (編) 東京一極集中の経済分析, 日本経済新聞社, 東京, 95-130.
- Asami, Y., 1994. The effects of housing policy. Department of Urban Engineering, University of Tokyo: Contemporary Studies in Urban Planning and Environmental Management in Japan, Kajima Institute Publishing, Tokyo, 37-58.

- 浅見泰司, 1995. 結婚と住宅問題. 結婚, 東京大学公開講座, 東京大学出版会, 東京, 161-186.
- 浅見泰司, 1997. 住宅政策における市場と計画. 岩田規久男, 八田達夫 (編) 住宅の経済学, 日本経済新聞社, 東京, 287-311.
- 浅見泰司, 2000. 既成市街地の住環境整備: 住宅政策と都市計画の転換. 萩原清子 (編) 都市と居住: 土地・住宅・環境を考える, 都市研究叢書 17, 119-150.
- 浅見泰司 (編) 2001. 住環境: 評価方法と理論, 東京大学出版会, 東京, 385pp.

* 報告書・資料

- 岡部篤行, 浅見泰司, 金子忠明, 吉川 徹, 寺木彰浩, 1988. 都市土地利用と地域地区制の関連を分析するための手法. 都市圏の環境計画の体系化, 昭和 62 年度研究成果報告書, 「人間環境系」研究報告集, G005-N30, 60-61.
- 岡部篤行, 浅見泰司, 金子忠明, 吉川 徹, 1989. 地域地区制と土地利用変化の傾向: 川崎市を対象として. 都市環境の管理に関する現行主要計画の機能・効果の分析と評価, 昭和 63 年度研究成果報告書, 「人間環境系」研究報告集, G024-N31-01, 22-54.
- 岡部篤行, 浅見泰司, 金子忠明, 吉川 徹, 1990. 用途地域指定の土地利用遷移への影響の分析: 川崎市を対象として. 都市圏における環境計画の体系化, 平成元年度研究成果報告書, 「人間環境系」研究報告集, G026-N30, 20-21,
- 浅見泰司, 1992, 研究会発足の動機. 住宅政策理論と都市計画理論の連携のための基礎的研究: 住宅問題小委員会平成 3 年度研究報告書, 日本建築学会建築経済委員会, 3.
- 浅見泰司, 1992. 都市計画・住宅政策における理論, 論理について. 住宅政策理論と都市計画理論の連携のための基礎的研究: 住宅問題小委員会平成 3 年度研究報告書, 日本建築学会建築経済委員会, 4-5.
- 浅見泰司, 1992. 都心居住推進の論拠. 住宅政策理論と都市計画理論の連携のための基礎的研究: 住宅問題小委員会平成 3 年度研究報告書, 日本建築学会建築経済委員会, 13-28.
- 浅見泰司, 1992. アメリカの借家制度・家賃規制. 住宅政策理論と都市計画理論の連携のための基礎的研究: 住宅問題小委員会平成 3 年度研究報告書, 日本建築学会建築経済委員会, 81-88.
- 浅見泰司, 1992. 居住環境指標と環境心理的アプローチ. 住宅政策理論と都市計画理論の連携のための基礎的研究: 住宅問題小委員会平成 3 年度研究報告書, 日本建築学会建築経済委員会, 97-114.
- 浅見泰司, 1992. 居住環境指標. 都市環境情報処理システムの体系化: 平成 3 年度研究成果報告書, 文部省「人間環境系」重点領域研究, N36B-10 研究報告集, 115-130.
- 浅見泰司, 1992. 都心居住推進政策の評価と方向性. 都心居住に関する日米共同研究調査報告書, 千代田国際シンポジウム実行委員会, 72-86.

- 岡部篤行, 清水英範, 浅見泰司, 増田 聡, 伊藤訓行, 吉川 徹, 衣袋洋一, 金子忠明,
1992. 都市環境情報処理システムの体系化. 平成3年度研究成果報告, 文部省科学研究費
重点領域研究「人間環境系」研究広報, No.15, 294-297.
- 浅見泰司, 1993. 研究の主旨と構成. 住宅政策理論と都市計画理論の連携のための基礎的
研究—そのII: 住宅問題小委員会平成4年度研究報告書, 日本建築学会建築経済委員会,
3-4.
- 浅見泰司, 1993. 家賃政策とその効果. 住宅政策理論と都市計画理論の連携のための基礎
的研究—そのII: 住宅問題小委員会平成4年度研究報告書, 日本建築学会建築経済委員会,
110-133.
- 浅見泰司, 1994. 東京一極集中と居住の問題. 坂下 昇(編) 東京一極集中問題の研究,
研究報告, No.84, 日本経済研究センター, 東京, 107-118.
- 浅見泰司, 1995. ライフスタイルと住宅政策「研究会の主旨」. ライフスタイルと住宅政策
1994年度研究報告書, 日本建築学会建築経済委員会学術研究会「ライフスタイルと住宅
政策」研究会, 3-5.
- 浅見泰司, 1995. 結婚・ライフスタイル・住宅そして住宅政策. ライフスタイルと住宅政
策 1994年度研究報告書, 日本建築学会建築経済委員会学術研究会「ライフスタイルと住
宅政策」研究会, 9-12.
- 浅見泰司, 1995. Tous les Deux: 住宅政策の工学的視点と経済学的視点の総合化に向けて.
「住宅市場における公共政策の役割」に関する調査報告書, アーバンハウジング, 2-8.
- 浅見泰司, 1996. 住宅施策の市場効果と政策立案上の課題. 公団住宅等住宅関連施策の住
宅市場に与える効果に関する調査—報告書—, アーバンハウジング, 3-18.
- 浅見泰司, 1996. Tous les Deux: 住宅政策の工学的視点と経済学的視点の総合化に向けて.
公団住宅等住宅関連施策の住宅市場に与える効果に関する調査—報告書—, アーバンハウ
ジング, 138-144.
- 熊田禎宣, 八田達夫, 浅見泰司, 中里 実, 1996. パネルディスカッション(2): 土地流
動化対策と有効利用促進のシステム整備. 「都心づくりのあり方に関する調査研究」財団
法人, アーバンハウジング, 108-114.
- 浅見泰司, 1997. NCGIA の研究組織「地理情報科学の深化と研究教育組織に関する研究」
(平成8年度文部省科学研究費補助金基盤研究(A)(1)研究成果報告書), 284-289.
- 浅見泰司, 1997. RRL ネットワークの研究組織. 「地理情報科学の深化と研究教育組織に関
する研究」(平成8年度文部省科学研究費補助金基盤研究(A)(1)研究成果報告書), 290-291.
- 浅見泰司, 1997. 住宅市街地形成論研究の主旨と構成. 1996年度研究成果報告書「住宅市
街地形成論」, 都市住宅学会関東支部, 住宅市街地形成論研究小委員会, 2-3.
- 浅見泰司, 1997. 住宅地計画論. 1996年度研究成果報告書「住宅市街地形成論」, 都市住宅
学会関東支部, 住宅市街地形成論研究小委員会, 33-36.

- 浅見泰司, 1997. ライフスタイルの多様化と住宅政策. 長期的観点に立った住宅需給構造の変化と今後の公団の役割に関する研究 (中間報告書), 住宅・都市整備公団, 住宅都市総合研究所, 123-130.
- 岡部篤行, 浅見泰司, 1997. 地理情報科学研究センターの研究組織. 「地理情報科学の深化と研究教育組織に関する研究」(平成 8 年度文部省科学研究費補助金基盤研究 (A) (1) 研究成果報告書), 299-304.
- 浅見泰司, 1998. 住宅市街地形成論研究の主旨と構成. 1997 年度研究成果報告書「住宅市街地形成論」, 都市住宅学会関東支部, 住宅市街地形成論研究小委員会, 1-2.
- 浅見泰司, 1998. 総合的設計による交渉進行型住宅市街地整備方法, 1997 年度研究成果報告書「住宅市街地形成論」, 都市住宅学会関東支部, 住宅市街地形成論研究小委員会, 3-12.
- 浅見泰司, 1998. 住宅政策と都市計画の連携. 日本建築学会 1998 年度大会建築経済部門・都市計画部門研究協議会「住宅政策と都市計画の連携, その到達点と今後の方向: バブルからポストバブルを経て」, 九州産業大学, 福岡市, 27-29.
- 浅見泰司, 1998. 83~86 論文について. 日本都市計画学会学術研究論文発表会, 研究論文発表報告 (分担執筆), 211, 91-92.
- 浅見泰司, 石坂公一, 大江守之, 小山泰代, 瀬川祥子, 松本真澄, 1998. 少子化現象と居住コスト「平成 9 年度厚生科学研究費 (指定研究) 報告書: 家族政策および労働政策が出生率および人口に及ぼす影響に関する研究」, 国立社会保障・人口問題研究所, 1-32.
- 浅見泰司, 1999. 核家族世帯の出産に関わる擬似的居住コストの分析. 家族政策および労働政策が出生率および人口に及ぼす影響に関する研究厚生省科学研究費 (課題番号 H10-政策-032) 総合報告書 (平成 8 年度~平成 10 年度), 298-310.
- 浅見泰司, 石坂公一, 大江守之, 小山泰代, 瀬川祥子, 松本真澄, 1999. 少子化現象と居住コスト. 家族政策および労働政策が出生率および人口に及ぼす影響に関する研究厚生省科学研究費 (課題番号 H10-政策-032) 総合報告書 (平成 8 年度~平成 10 年度), 27-69.
- 浅見泰司, 瀬川祥子, 1999. 居住状況と結婚・出産行動. 家族政策および労働政策が出生率および人口に及ぼす影響に関する研究厚生省科学研究費 (課題番号 H10-政策-032) 総合報告書 (平成 8 年度~平成 10 年度), 261-271.
- 浅見泰司, 2000. 少子化現象と住宅. 都市住宅事業研究会「都市居住の将来像に関する研究報告書」都市住宅学会, 1-5.
- 浅見泰司, 2000. 超々高層建築物の空間形状と空間単位. 日本建築学会超々高層特別研究委員会「超々高層のフィージビリティ II」日本建築学会特別研究 19, 49-52.
- 浅見泰司, 2000. 都市計画理論の構築に向けて. 都市計画学会大会ワークショップ 2000: 生活空間の再構築に向けて, 都市計画理論研究会, 3-6.
- 浅見泰司, 2000. 計画行政における合意形成 (座長報告). 計画行政, 23-1, 39-40.
- 浅見泰司, 2000. 1999 年トルココジャエリ地震復興関連調査団 (第二次調査団) 速報会について. 建築雑誌, 115-1452, 87-88.

- 浅見泰司, 2001. 大会報告: 都市・地域解析 I セッション. 地理情報システム学会ニューズレター, 40.
- 浅見泰司, 2001. 少子化社会における都市居住. 「都市居住の将来像に関する研究報告書」都市事業研究会, 55-59.
- 浅見泰司, 2001. 情報化技術と都市計画. 情報化社会における交通と都市: 情報化社会における交通と都市プロジェクト, 日交研シリーズ, A-297, 日本交通政策研究会, 3-1~3-8.
- 浅見泰司, 2001. 都市空間における公共性. (社) 日本都市計画学会創立 50 周年記念ワークショップ資料, 78-85.
- 浅見泰司, 高 暁路, 2001. 都市部の戸建住宅地における住環境整備及び土地利用の効率化に関する計画学的研究. 平成 12 年度土地関係研究支援事業研究成果報告書.
- 西村清彦ほか, 2001. 「都市の再生から日本の再生へ」提言 No.44, 政策構想フォーラム.
- 日端康雄, 浅野光行, 浅見泰司, 岸井隆幸, 北沢 猛, 高見沢邦郎, 田代順孝, 中井検裕, 中津原 努, 2001. ワークショップ報告: 日本の都市計画 21 世紀ビジョンをめぐる. 都市計画, 229, 131-136.
- 浅見泰司, 2002. 景観評価と合意形成プロセス. 第 3 回複雑システムの科学技術シンポジウム予稿集, 65-78.
- 浅見泰司, 2002. 総括及び今後の研究課題. 都市居住の将来動向に関する研究報告書, 第 2 部, 都市再生政策における都市住宅に関する調査研究, 2001 年度都市住宅事業研究会, 137.

* 国際学会発表

- Asami, Y., 1986. A game-theoretic approach to the division of profits from economic land use. Abstracts, Thirty-Third North American Meetings, Regional Science Association, Columbus, Ohio.
- Asami, Y., 1987. The determination of bid rents through bidding procedures. Abstracts, Thirty-Fourth North American Meetings, Regional Science Association, Baltimore, Maryland.
- Asami, Y., Fujita, M., Smith, T.E., 1987. On the foundations of land use theory: discrete versus continuous populations. Abstracts, Thirty-Fourth North American Meetings, Regional Science Association, Baltimore, Maryland.
- Ohta, H., Asami, Y., Kohlhase, J., 1988. Land, labor and product markets under spatial monopoly and spatial competition. Paper presented at the 35-th North American Meetings of the Regional Science Association, Toronto.
- Suzuki, T., Asami, Y., Okabe, A., 1988. Sequential allocation problem of public facilities. Paper presented at the International Symposium on Mathematical Programming, Chuo University, Tokyo.

- Asami, Y., Fujita, M., Thisse, J.-F., 1989. Design of noncooperative games supporting optimal spatial allocations. Paper presented at the 36-th North American Meetings of the Regional Science Association, Santa Barbara.
- Asami, Y., Nishimura, Y., 1996. Innovations, changes of life style and city structures in the future. Proceedings of UT-MIT-ETH Joint Workshop on Alliance for Global Sustainability, 30, University of Tokyo, Tokyo.
- Asami, Y., Kubat, A.S., Istek, I.C., 1999. Characterization of the street networks in the Turkish-Islamic urban form. Proceedings of the International Symposium "Beyond the Border: A New Framework for Understanding the Dynamism of Muslim Societies", Islamic Area Studies, 279-309. Kyoto International Conference Hall, Kyoto, Japan.
- Gao, X., Asami, Y., 2000. The external effects of local attributes on living environment in detached residential blocks. UDMS2000, Delft Technical University, Delft, Holland.
- Asami, Y., Gao, X., 2001. External effects of local attributes on living environment in detached residential blocks. Seminar, Bartlett School of Graduate Studies, University College London, London.
- Asami, Y., Kubat, A.S., Kitagawa, K., Iida, S., 2001. Extension of space syntactic idea to 3-dimensional surfaces and its application to the historical part of Istanbul. Paper presented at the Session 7 of the International Symposium of the Islamic Area Studies Project: The Dynamism of Muslim Societies: Toward New Horizons in Islamic Area Studies, Kazusa Arc, Kisarazu, Chiba, Japan.
- Gao, X., Asami, Y., 2001. A study on the externality effects of lot size and land division in urban detached residential areas. World Forum on Urbanizing World and UN Habitat II (UN Habitat II – Istanbul + 5), International Research Foundation for Development, Inc., Center for Urban Research and Policy, School of International and Public Affairs, Columbia University, New York.
- Gao, X., Asami, Y., 2001. A study on the externality effects of lot size and land division in urban detached residential areas. Abstracts of Research Papers, Asian Real Estate Society Sixth Annual Conference in Japan, Keio University, Tokyo, 100.

*** 国内学会発表**

- 浅見泰司, 寺木彰浩, 1987. 大都市における地価交渉の基礎的考察: 交渉順序と地価抑制策について. 第一回応用地域科学研究会研究発表会.
- 浅見泰司, 寺木彰浩, 岡部篤行, 1988. 建築形態自由度と形態規制. 1988 年会環境科学シンポジウム講演要旨集, 環境科学会「人間-環境系」総合班, 190.
- Asami, Y., Teraki, A., 1988. On the degrees of freedom in building houses under several building codes. Paper presented at the Second Applied Regional Science Conference, Tokyo International University, Saitama.

- 浅見泰司, 1989. 開発と住環境. 1988年度逗子コンファレンス, 下田, 神奈川県.
- 浅見泰司, 1991. 開発利益の公共還元: 分類・意義・方法について. 第6回応用地域科学研究会研究発表会, 岐阜大学.
- 浅見泰司, 1994. 都市開発方式の評価について: 土地区画整理事業における画地形状評価. 京大会館, 日本交通政策研究会関西グループ研究会.
- 浅見泰司, 1996. 土地流動化対策と有効利用促進のシステム整備. 土地流動化対策と日本の経済/社会/生活再生: あすの都市空間・住宅づくりのために, 日本不動産学会, 都市住宅学会, 日本計画行政学会, 星陵会館, 東京, 平成7年度科学研究費補助事業 成果報告書.
- 浅見泰司, 1997. 都市づくりにおける市場性と計画性. 早稲田大学まちづくりシンポジウム1997: 講演資料集, 31-34, 早稲田大学国際会議場.
- 阿部孝夫, 下村郁夫, 井出多加子, 浅見泰司, 1997. 資産評価政策の課題と展望. 資産評価政策学会発足記念研究フォーラム, 砂防会館別館「六甲」.
- 浅見泰司, 1998. 地理情報システムについて: 中東地域研究へのアプローチ. 社会科教育と中東地域研究, 中東調査会, 国立教育会館.
- 浅見泰司, 1998. 画地形状と不動産GIS. 平成10年度講演会: 転換期を迎えた不動産業界をどう生きるか, 32-44, (社)愛知県宅地建物取引業協会, 教育研究委員会, 一宮市民会館, 愛知県一宮市.
- 浅見泰司, Istek, I., Kubat, A. S., 1998. イスタンブールの都市データとGIS. イスラーム地域研究全体集会, 山上会館, 東京大学.
- 浅見泰司, 1999. 居住環境計画論. 平成10年度専門課程地域計画科研修研修テキスト, 建設省建設大学校計画管理部, 建設大学校.
- 浅見泰司, 1999. これからの街区・敷地形成のあり方. 経団連国土・住宅政策委員会第7回土地・住宅部会, 経団連, これからの街区・敷地形成のあり方, 経団連くりっぷ, 100, 14-15.
- 浅見泰司, 1999. まちづくりと建築誘導. 平成11年度専門課程まちづくり建築行政科研修, 建設省建設大学校計画管理部, 建設大学校.
- 浅見泰司, 1999. 抽象概念の具体化: 住宅地景観における評価概念の具体化. 第2回複雑システムの科学技術シンポジウム, 東京大学数理科学研究科大講義室, 13-18.
- 浅見泰司, 1999. コンピュータによる地域研究. イスラーム地域研究第5班aグループ第3回「中東の都市空間と建築文化」研究会, 東京大学東洋文化研究所.
- 浅見泰司, 2000. 居住環境と晩婚化・少子化. 平成11年度厚生科学研究政策科学推進研究事業発表会抄録集, 10-12, 2000, JAビル国際会議室.
- 浅見泰司, 2002. 景観評価と合意形成システム. 第3回複雑システムの科学技術シンポジウム, 学術総合センター, 東京.

高山正實, 森 稔, 山下裕子, 浅見泰司, 2002. 職と住の融合した豊かな都市の実現に向けて (新たな時代の都心居住の可能性). パネルディスカッション, シンポジウム, 東京国際フォーラム・ホール D, 東京.

福島隆司, 大田弘子, 岡本圭司, 巽 和夫, 長谷川逸子, 山本和彦, 浅見泰司, 福井秀夫, 2002. 都市再生を考える. 都市住宅学会関東支部シンポジウム, 学術総合センター内一ツ橋記念講堂, 東京.

* その他

一書評

Asami, Y., 1988. Book Review: "Land markets and land policy in a metropolitan area: A case study of Tokyo" by Yuzuru Hanayama. *Annals of Regional Science*, 22-3, 120-122.

Asami, Y., 1991. Book review: "Spatial Structures" by Martin J. Beckmann and Tru Puu, *Regional Science and Urban Economics*, 21, 649-653.

浅見泰司, 1992. 文献紹介・新刊抄録: 「最適都市を考える」. 宇沢弘文・堀内行蔵 (編), *都市計画*, 178, 82.

一学術雑誌討論

Asami, Y., Teraki, A., 1991. Reply to the comments by Hans Wiesmeth. *Regional Science and Urban Economics*, 21, 139-141.

Asami, Y., Fujita, M., Smith, T.E., 1991. Reply to comments by Berliant. *Regional Science and Urban Economics*, 21, 647-648.

2. 2001 年度活動記録

* 主要研究テーマ

1) ミクロな住環境要因の分析およびその計画的応用

環境実験やアンケート調査などから住環境について住民がどのようにとらえているかを求め, 安全性・保健性・利便性・快適性・持続可能性などにかかわる環境要素を表す適切な指標の導出, それらの環境要素評価を組み合わせる総合的に評価する手法の開発などを行った. また, 宅地に特徴的なミクロな住環境要因が住宅価格に及ぼす影響を求め, 環境要素の持つ内在的価値および画地の細分化や建築行為の外部効果を定量的に求める. その結果をもとに, 公園や緑地といった空地の形状の最適化, 街区の画地分割の最適化, さらに物的な規制の効果の定量的な評価などを行った.

2) 都市構造変化モデルの開発

東京大都市圏における詳細な土地利用, 交通条件, 土地利用規制, 土地市場データをも

とに、土地利用遷移モデルを構築する。本モデルでは、地価変動や周辺の土地利用状態がある一定の閾値を持って土地利用遷移に影響を与えていることを示すことができる。また、市街地再開発事業を対象に、空間データのデータ探索的手法により、その立地特性としての成立要件を探った。空間的な特性と再開発事業自体の属性との関係を求めることができる。これらの分析により、大都市における都市構造の将来変化の予測や政策効果の定量化が可能となる。

3) 地理情報システムによるトルコ都市構造分析

トルコの諸都市を対象として、歴史的資料に基づくデータ、3次元地形・建造物モデルなど様々な種類の空間データからなるデータベースを構築し、これらの地域における自然現象、社会現象、および、それらの相互関係を把握するために、GISを用いて空間データベースからパターンを探り出す手法の開発を行った。

4) 景観評価の認知構造

我々の景観認知構造が十分に解明されていないためもあって、景観評価の客観的な手法は確立されていない。環境心理学的実験をもとにして、都市景観評価の認知構造を解明し、景観デザインの基礎理論構築をめざして、研究を行った。

5) 不動産評価および不動産市場分析

不動産鑑定士などの専門家を支援し、また一般の人々が簡易に概算鑑定できるための自動評価システムを構築し、さらにその技術を応用し、最適な敷地分割手法や計画開発手法の導出を行うために研究を行った。

* 学会活動

地理情報システム学会・理事

地理情報システム学会・研究組織推進委員

日本建築学会・建築経済本委員会委員

日本計画行政学会・理事

資産評価政策学会・理事

都市住宅学会・関東支部常議員

都市住宅学会・関東支部副支部長

応用地域学科・運営委員

日本不動産学会・理事

* 学内委員

新キャンパス等構想推進委員会・地域連携ワーキング・委員，幹事（街づくり SW 主査）

*** 学外委員**

東京都立大学，都市研究所「大都市の地域経済構造と環境の保全，創造に関する総合的研究」 非常勤研究員

宅地建物取引主任者賠償責任補償制度審査会 委員

都市基盤整備公団「土地有効利用事業本部土地評定等審査会」 委員

内閣府「総合規制改革会議」・専門委員（都市再生WG）

国土交通省国土技術政策総合研究所「研究評価委員会建築分科会」 委員

国土交通省，社会資本整備審議会建築分科会 臨時委員

東京都住宅局「南青山一丁目団地建替プロジェクト審査委員会」 委員

*** 担当授業**

空間情報解析（新領域創成科学研究科環境学専攻）

空間情報解析演習（新領域創成科学研究科環境学専攻）

都市住宅特論（工学系研究科都市工学専攻）

都市工学数理演習（工学部都市工学科）

居住システム（工学部都市工学科）

都市住宅論（工学部都市工学科）

*** 海外出張・研修**

01. 6. 4～6 New York（International Research Foundation for Development, 学会出席）

柴崎亮介

空間情報システム部門 教授

専門 空間モデリング, 自動マッピングとモニタリング, 空間行動のマイクロシミュレーション, 情報環境デザイン

1. 過去 5 年間の研究業績

* 査読論文

ー原著論文

- 遠藤孝夫, 後藤真太郎, 柴崎亮介, 1997. 土地利用変化による土壌・水資源への影響に関する地球規模の推定. 第 11 回環境情報科学論文集 (環境情報科学 別冊), 81-86.
- 史 中超, 柴崎亮介, 1997. 高さ情報を利用した航空写真からの建物の自動検出手法. 写真測量とリモートセンシング, 36-2, 38-44.
- 趙 卉菁, 柴崎亮介, 1997. レンジ画像による 3 次元都市空間データの自動計測方法に関するシミュレーション. 写真測量とリモートセンシング, 36-4, 17-25.
- 藤井 稔, 柴崎亮介, 舘村純一, 1997. 実風景映像と 3 次元空間データの融合による GIS ユーザーインターフェースの実現の試み. 写真測量とリモートセンシング, 36-3, 34-42.
- Rajan, K.S., Shibasaki, R., 1997. Estimation of agricultural productivity and its application to modeling the expansion of agricultural land in Thailand. *Journal of Agricultural Meteorology*, 52-5, 815-818.
- 史 中超, 柴崎亮介, 1998. 高分解能衛星シミュレーション画像を用いた建物閉領域の自動抽出手法に関する研究. 写真測量とリモートセンシング, 37-5, 4-12.
- 須崎純一, 柴崎亮介, 1998. 植生指標とテクスチャを併用した Landsat TM 画像からの畑領域抽出手法. 写真測量とリモートセンシング, 37-5, 54-62.
- Huang, S., Shibasaki, R., 1998. Spherical tessellation schemes for global GIS. *Geocarto International*, 13, 3-14.
- 越智士郎, 柴崎亮介, 1999. DEM (GTOPO30) と DCW を用いた落水線図作成アルゴリズムの開発. 写真測量とリモートセンシング, 38-3, 60-68.
- 須崎純一, 柴崎亮介, 1999. 確率ミクセルモデルに基づいたスペクトル特性ならびに被覆混合比推定手法. 写真測量とリモートセンシング, 38-3, 44-59.
- 平野勇二郎, 茅 陽一, 柴崎亮介, 1999. 都市ヒートアイランド現象の空調・給湯用エネルギー消費への影響評価. 土木学会論文集, No.629/VII-12, 83-96.

- Priya, S., Shibasaki, R., 1999. Assessing biologically degraded soils: A GIS approach. *Agricultural Engineering Journal*, 8-2, 139-148.
- Priya, S., Shibasaki, R., 1999. Quantification of soil loss and its detection using GIS and remote sensing technology. *Asian-Pacific Remote Sensing and GIS Journal*, 1999 Issue.
- 柴崎亮介, 趙 卉菁, 2000. 小特集: レーザレンジスキャナーと CCD カメラを併用した 3 次元都市空間の地上計測システムの開発. *写真測量とリモートセンシング*, 39-2, 29-36.
- 須崎純一, 柴崎亮介, 2000. ミクセルの存在とトレーニングデータの代表性を考慮した時系列低空間分解能画像を用いた土地被覆分類手法. *写真測量とリモートセンシング*, 40-3, 14-24.
- 須崎純一, 柴崎亮介, 岩男弘毅, 2000. 時系列低空間分解能画像からの情報を活用した複数シーンの高空間分解能画像分類. *写真測量とリモートセンシング*, 40-5, 4-16.
- 関本義秀, 柴崎亮介, 2000. 時空間データベースのダイナミックな更新を目指した概念データモデルの提案. *GIS—理論と応用*, 8-1, 63-73.
- 趙 卉菁, 柴崎亮介, 2000. 地上据え置き型レーザレンジスキャナーを利用した 3 次元都市空間データの自動構築手法に関する研究. *写真測量とリモートセンシング*, 39-2, 52-63.
- Lin, B.L., Sakoda, A., Shibasaki, R., Goto, N., Suzuki, M., 2000. Modelling a global biogeochemical nitrogen cycle model in terrestrial ecosystem. *Ecological Modeling*, 135-1, 91-112.
- Ochi, S., Hirakoba, A., Shibasaki, R., Murai, S., 2000. Estimation of macroscopic crop productivity using Remote Sensing—Case Study for Asian Countries. *Asian Journal of Geoinformatics*, 2-2.
- Sekimoto, Y., Shibasaki, R., 2000. Conceptual data modeling for dynamic revision of spatial-temporal database. *Proceedings of 9th International Symposium on Spatial Data Handling (SDH2000)*, Beijing, 7a, 42-56.
- Zhao, H., Shibasaki, R., 2000. Reconstruction of textured urban 3D model by ground-based laser range and CCD images. *IEICE Trans. Inf. & Syst.*, E83-D, No.7.
- Priya, S., Shibasaki, R., 2001. National spatial crop yield simulation using GIS-based crop production model. *Ecological Modeling*, 136-1, 113-129.
- Tan, G., Shibasaki, R., 2001. A study on the integration of GIS and EPIC model: methodology and application. *Journal of the Japan Society of Photogrammetry & Remote Sensing*, 40-3, 4-13.
- Zhao, H., Shibasaki, R., 2001. Reconstructing textured CAD model of urban environment using vehicle-borne laser range scanners and line cameras. Schiele, B., Sagerer, G. eds., *ICVS 2001, LNCS 2095*, 284-297.
- Zhao, H., Shibasaki, R., 2001. A robust method for registering ground-based laser range images of urban outdoor object. *Photogrammetric Engineering & Remote Sensing*, 67-10, 1143-1153.

* 非査読論文

ー原著論文

- 遠藤孝夫, 後藤真太郎, 柴崎亮介, 1997. 土壌・水資源の持続的利用を阻害する諸点に関する地球規模の分析. 環境科学会 1997 年会講演要旨集, 398-399.
- 遠藤孝夫, 後藤真太郎, 柴崎亮介, 1997. 農地拡大が土壌・水資源に及ぼす影響に関する全球的推定. 日本写真測量学会平成 9 年度秋季学術講演会発表論文集, 139-144.
- 史 中超, 柴崎亮介, 1997. 解像度の異なる高解像度衛星画像から建物の自動抽出に関する研究. 日本写真測量学会平成 9 年度秋季学術講演会発表論文集, 79-82.
- 柴崎亮介, 巖 網林, 1997. 地理情報システム (GIS) による都市空間の把握と分析. 都市問題, 88-9, 69-82.
- 宅間 朗, 柴崎亮介, 藤井 稔, 1997. 携帯型端末を用いた 3 次元空間 GIS の新しいユーザインタフェースの開発. 地理情報システム学会学術研究発表論文集, 17-20.
- 趙 卉菁, 柴崎亮介, 1997. レンジ画像による 3 次元都市空間データの自動計測方法に関するシミュレーション. Proceedings of AM/FM International Japan Division Conference, 7, 97-104.
- 趙 卉菁, 柴崎亮介, 1997. レンジ画像による 3 次元都市空間データの自動計測方法に関する基礎研究. 日本写真測量学会平成 9 年度秋季学術講演会発表論文集, 83-86.
- 鶴岡政子, 柴崎亮介, 1997. ビデオメトリによる身体運動解析. ジオマチックス新技術発表会 Geomatics, 68-77.
- 和田由美子, 徳永光晴, 柴崎亮介, 1997. インターフェログラムを用いた土地被覆分類に関する研究. 日本写真測量学会平成 9 年度秋季学術講演会発表論文集, J-1.
- Priya, S., Shibasaki, R., 1997. Assessing biologically degraded soil: A GIS approach. Proceeding of the 18th Asian Conference on Remote Sensing, P-6-1~P-6-6.
- Priya, S., Shibasaki, R., 1997. Application of Geographic Information Systems (GIS) and Remote Sensing (RS) for land cover mapping—A case study. 5th International Conference on Computers in Urban Planning and Urban Management, Narosa Publishing House, 2, 542-551.
- Rajan, K.S., Shibasaki, R., 1997. National scale land use change modeling—Issues and applications. Proceedings of the 18th Asian Conference on Remote Sensing, H-2.
- Shi, Z.C., Shibasaki, R., 1997. An approach to automated change detection for GIS database revision from multisource data. GIS AM/FM ASIA'97, 521-527.
- Suzaki, J., Shibasaki, R., 1997. Development of land cover classification method using NOAA AVHRR, Landsat TM and DEM images. Proceedings of 18th Asian Conference on Remote Sensing, R-2 (1-6).
- Takuma, A., Shibasaki, R., Fujii, M., 1997. Development of new user interface for 3D GIS using mobile terminal. Proceedings of the 18th Asian Conference on Remote Sensing, K-7-1~K-7-5.

- Tsuruoka, M., Shibasaki, R., Murai, S., 1997. Spectral analysis of standing balance using medical stereo images. Archives of 19th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society, 1671-1674.
- Zhao, H., Shibasaki, R., 1997. Automated registration of ground-based laser range image for reconstructing urban 3D object. ISPRS, 32, Part 3-4W2, 27-34.
- 榊原庸貴, 柴崎亮介, 1998. アクティビティ・ドメイン分析による国土空間データ基盤のデザイン手法に関する研究. 日本写真測量学会平成 10 年秋季学術講演会発表論文集, 203-208.
- 史 中超, 柴崎亮介, 1998. 高解像度衛星画像から道路抽出の試み. 写真測量学会平成 10 年度秋季学術講演会発表論文集, 195-198.
- Iwao, K., Shibasaki, R., 1998. Automatic database development methods for a very large number of satellite images. Proceedings of the 19th Asian Conference on Remote Sensing, F-7.
- Priya, S., Shibasaki, R., 1998. Soil erosion and crop production: A modeling approach. Proceedings of the Global Environment Symposium, Japanese Society of Civil Engineers, 175-180.
- Priya, S., Shibasaki, R., 1998. Assessing impact of increasing carbon dioxide with climate change on crop production. Proceedings of International Conference on Modeling Geographical and Environmental Systems with Geographical Information Systems (GIS), 72-77.
- Priya, S., Shibasaki, R., Ochi, S., 1998. Modeling spatial crop production: A GIS approach. Proceedings of the 19th Asian Conference on Remote Sensing, A-9-1~A-9-6.
- Rajan, K.S., Shibasaki, R., 1998. A GIS-based integrated land use/cover change model for Thailand. ISPRS Commission VII-ECO BP '98, International Symposium on Resource and Environmental Monitoring—Local, Regional, Global, XXXII, 471-476.
- Rajan, K.S., Shibasaki, R., 1998. A new concept at modeling land use and land cover. Proceedings of the 19th Asian Conference on Remote Sensing, H-8.
- Sakakibara, T., Shibasaki, R., 1998. A study on the design of spatial data infrastructure using activity-based domain analysis. Proceedings of the 19th Asian Conference on Remote Sensing, K-9-1~K-9-6.
- Shi, Z.C., Shibasaki, R., 1998. A study of GIS database revision using high resolution satellite images. Proceedings of International Conference on Modeling Geographical and Environmental Systems with GIS, 2, 487-492.
- Shi, Z.C., Shibasaki, R., 1998. Automatic object extraction from simulated high resolution satellite imagery. Proceedings of International Workshop on Urban Multi/3D Mapping (UM3'98), 1-6.
- Shi, Z.C., Shibasaki, R., 1998. 3D city model reconstruction for visualization from stereo urban scenes. Proceedings of ISPRS Commission V on Real-Time Imaging and Dynamic Analysis, 377-181.

- Suzaki, J., Shibasaki, R., 1998. On development of land cover classification system using remote sensing data in terms of inverse problems. Proceedings of the 19th Asian Conference on Remote Sensing, Q-17.
- Wada, Y., Shibasaki, R., 1998. Comparative analysis of indicators for sustainable forest management and its implications for new evaluation indicators. Proceeding of 19th Asian Conference on Remote Sensing (ACRS), E-8.
- Zhao, H., Shibasaki, R., 1998. Reconstructing textured urban 3D model by fusing ground-based laser range image and video image. Proceedings of International Workshop Urban Multi-Media/3D Mapping, 111-117.
- 史 中超, 柴崎亮介, 1999. GIS データベースの自動更新の問題点に関する研究. 日本写真測量学会平成 11 年度秋季学術講演会発表論文集, 89-94.
- 須崎純一, 柴崎亮介, 1999. ミクセル密度とコンテクストを考慮した土地被覆分類手法に関する基礎的研究. 日本写真測量学会・日本リモートセンシング学会合同学術講演会論文集, 241-244.
- 関本義秀, 柴崎亮介, 1999. 時空間データの統合における概念的フレームワークとしての FEO (Feature/Event/Observation) モデルの提案. 日本写真測量学会・日本リモートセンシング学会合同学術講演会論文集, 155-158.
- 関本義秀, 柴崎亮介, 1999. 時空間データベースのダイナミックな更新を目指した概念データモデルの提案. 地理情報システム学会講演論文集, 93-98.
- 関本義秀, 柴崎亮介, 1999. 時空間データベースのダイナミックな更新を目指したシステムの構築. 日本写真測量学会平成 11 年度秋季学術講演会発表論文集, 85-88.
- 関本義秀, 柴崎亮介, 1999. 時空間データベースのダイナミックな更新を目指した概念データモデルの提案. 第 24 回土木情報システムシンポジウム講演集, 113-116.
- 関本義秀, 柴崎亮介, 1999. 時空間データの統合における概念的フレームワークとしての FEO モデルの提案. 地理情報システム学会第 4 回オブジェクト指向 GIS ワークショップ予稿集, 1-4.
- 関本義秀, 柴崎亮介, 賀川義昭, 1999. 線分の位置誤差に関する評価指標の提案. 第 24 回土木情報システムシンポジウム講演集, 81-84.
- 平野勇二郎, 柴崎亮介, 安岡善文, 1999. 衛星リモートセンシングを用いた東京の緑被分布とその季節変化の解析. 地理情報システム学会講演論文集, 8, 287-290.
- 林 彬勤, 後藤尚弘, 迫田章義, 柴崎亮介, 鈴木基之, 1999. 数理モデルを用いた地球規模の植生中に含まれる窒素現存量の推定. 化学工学会第 64 回年会, 25-27.
- Kagawa, Y., Sekimoto, Y., Shibasaki, R., 1999. Comparative study of positional accuracy evaluation of line data. Proceedings of the 20th Asian Conference on Remote Sensing, 2, 1087-1092.

- Ochi, S., Shibasaki, R., 1999. Estimation of NPP based agricultural production for Asian countries using remote sensing data and GIS. Proceedings of the 20th Asian Conference on Remote Sensing, Hong Kong, 7-10.
- Ochi, S., Shibasaki, R., 1999. Development of drain direction model based on GTOPO30 and global data sets. International Archives of Photogrammetry and Remote Sensing, XXXII, Part 2, W1, 1-7-1~1-7-6.
- Sekimoto, Y., Shibasaki, R., 1999. Conceptual data modeling for dynamic revision of spatial-temporal database. Proceedings of International Workshop Urban Multi-Media/3D Mapping, Tokyo, 195-202.
- Sekimoto, Y., Shibasaki, R., 1999. Conceptual data modeling for dynamic revision of spatial-temporal database. Proceedings of the 20th Asian Conference on Remote Sensing, 2, 800-806.
- Shi, Z.C., Liu, H., Shibasaki, R., 1999. A practical model for estimating the arable land change of China using remotely sensed imagery. Proceedings of ACRS'99, HongKong, 753-758.
- Shi, Z.C., Shibasaki, R., 1999. An approach to image segmentation using multiresolution analysis of wavelets. IEEE International conference on System, Man, and Cybernetics (IEEE SMC'99), Tokyo, 573, FA21-3.
- Susaki, J., Shibasaki, R., 1999. Crop field extraction method based on texture analysis and automatic threshold determination. Proceedings of IEEE International Geoscience and Remote Sensing Symposium (IGARSS'99), Hamburg, BBC12-33.
- Susaki, J., Shibasaki, R., 1999. Estimation method of spectral characteristic and area ratio of land cover based on probabilistic mixture model. Proceedings of IEEE International Geoscience and Remote Sensing Symposium (IGARSS'99), Hamburg, BBC12-32.
- Tsuruoka, M., Shibasaki, R., Yasuoka, Y., Murai, S., 1999. Spectral analysis of human movement stability using time series data in medicine. Proceedings of 12th IEEE Symposium on Computer-Based Medical Systems, Stamford, Connecticut, USA, 190-195.
- Wada, Y., Shibasaki, R., 1999. Estimation of forest biomass density in Kalimantan Island using JERS-1 SAR data. Proceedings of the 20th Asian Conference on Remote Sensing, 2, 835-838.
- 越智士郎, 村井俊治, 柴崎亮介, 2000. アジアの主要河川流域における穀物生産力の推定. 日本写真測量学会平成12年度年次学術講演解発表論文集, 17-20.
- 賀川義昭, 柴崎亮介, 関本義秀, 2000. 線分データの誤差評価の比較検討. 日本写真測量学会平成12年度年次学術講演解発表論文集, 191-194.
- 神山清雄, 柴崎亮介, 越智士郎, 2000. グローバル年間利用可能水資源マップの試作. 日本写真測量学会平成12年度年次学術講演解発表論文集, 11-16.
- 史 中超, 柴崎亮介, 2000. 時系列衛星画像から土地利用変化の抽出に関する研究. 日本写真測量学会平成12年度年次学術講演会発表論文集, 61-66.

- 須崎純一, 柴崎亮介, 2000. 事前確率の推定ならびにミクセルの問題を考慮した土地被覆分類手法の提案. 日本写真測量学会年次学術講演会論文集, 143-148.
- 関本義秀, 柴崎亮介, 2000. 地物のテンプレートを用いた都市の再構成. 日本写真測量学会平成12年度秋季学術講演会発表論文集, 275-280.
- 趙 卉菁, 柴崎亮介, 2000. 高分解能衛星画像を用いた都市建物変化の判読に関する試み. 平成12年度春季学術講演会発表論文集
- 平野勇二郎, 柴崎亮介, 安岡善文, 2000. 都市域における NDVI と緑被率の関係の解析と緑被率推定. 日本写真測量学会 平成12年度年次学術講演会発表論文集, 67-72.
- 平野勇二郎, 泉 岳樹, 柴崎亮介, 一ノ瀬俊明, 2000. 都市緑化によるヒートアイランド緩和効果とその省エネルギー効果の検討. 28回 環境システム研究論文発表会 講演集, 437-442.
- 平野勇二郎, 泉 岳樹, 柴崎亮介, 一ノ瀬俊明, 2000. 衛星リモートセンシングによる緑被率データを用いた都市気候数値シミュレーション. 風工学シンポジウム論文集, 16, 125-130.
- Ahmed, A., Shibasaki, R., 2000. Climate change and agricultural food production of Bangladesh: An impact assessment using GIS-based biophysical crop simulation model. Proceedings of the 21st Asian Conference on Remote Sensing, Taipei, 1, 19-22.
- Inaba, K., Shibasaki, R., 2000. 3D digital archiveing system for world heritages. Proceedings of the 21st Asian Conference on Remote Sensing, Taipei, 891-896.
- Iwao, K., Yamamoto, T., Shibasaki, R., 2000. Development of geometric correction method of multi temporal resolution satellite images. United Nations/European Space Agency/Committee on Research Workshop on Satellite Data Reduction and Analysis Techniques Dehra Dun (India).
- Iwao, K., Yamamoto, T., Shibasaki, R., 2000. Development of geometric correction method of multi temporal and resolution satellite images. 6th Annual Geo-Asia Pacific Conference.
- Kagawa, Y., Shibasaki, R., 2000. Automatic acquisition of 3D spatial data in city with air-borne TLS (Three Line Scanner). Proceedings of the 21st Asian Conference on Remote Sensing, Taipei, 131-134.
- Kitazawa, K., Konishi, Y., Shibasaki, R., 2000. A method of map matching for personal positioning systems. Proceedings of the 21st Asian Conference on Remote Sensing, Taipei.
- Konishi, Y., Shibasaki, R., 2000. Sensor integration for personal positioning system. Proceedings of the 21st Asian Conference on Remote Sensing, 974-979.
- Manandhar, D., Shibasaki, R., 2000. Geo-referencing of multi-sensor range data for vehicle borne laser mapping system. Proceedings of the 21st Asian Conference on Remote Sensing, Taipei.
- Manandhar, D., Shibasaki, R., 2000. Prototype development for vehicle based laser mapping system. Proceedings of XIXth Congress of the International Society for Photogrammetry and Remote Sensing (ISPRS), Amsterdam.

- Murata, R., Shibasaki, R., 2000. Tracking automobiles using air-borne TLS (Tree Line Scanner) images. Proceedings of the 21st Asian Conference on Remote Sensing, Taipei, 928-931.
- Nakagawa, M., Zhao, H., Shibasaki, R., 2000. Comparative study on model fitting methods for object extraction. Proceedings of the 21st Asian Conference on Remote Sensing, Taipei, 1, 446-451.
- Ochi, S., Murai, S., Shibasaki, R., 2000. Assessment on primary productivity for food production in major river basins of Asia using R.S. and GIS. Proceedings of Congress of the International Society for Photogrammetry and Remote Sensing (ISPRS2000), Part B4 (CD-ROM), Amsterdam.
- Ochi, S., Shibasaki, R., Murai, S., 2000. Modeling and assessment of potential crop productivity in Asia using GIS combined with Remote Sensing data. Proceedings of the Fifth Seminar on GIS and Developing Countries (GISDECO2000), International Rice Research Institute, Philippines, S1-01 (CD-ROM).
- Rajan, K.S, Shibasaki, R., 2000. A GIS based integrated land use/cover change model to study human-land interactions. International Archives of Photogrammetry and Remote Sensing, XXXIII Part B7-3, 1212-1219.
- Rajan, K.S, Shibasaki, R., 2000. AGENT-LUC Thailand—a national scale model to study the human-land interactions in Thailand. EcoSummit 2000 Integrating the Sciences, Halifax (Canada).
- Sekimoto, Y., Shibasaki, R., 2000. Dynamic revision of spatio-temporal database with simulated features. Proceedings of Congress of the International Society for Photogrammetry and Remote Sensing (ISPRS2000), Amsterdam, 917-924.
- Susaki, J., Shibasaki, R., 2000. Maximum likelihood method modified in estimating a prior occurrence probability and in improving misclassification errors. International Archives of Photogrammetry and Remote Sensing, Amsterdam, XXXIII B7-4, 1499-1504.
- Susaki, J., Shibasaki, R., 2000. Fusion of AVHRR and TM data for vegetation classification based on unmixing technique. Proceedings of IEEE International Geoscience and Remote Sensing Symposium (IGARSS2000), Hawaii.
- Tan, G., Shibasaki, R., 2000. A methodology of integrating GIS with Epic model: An application in China. The International GIS Symposium for Developing Countries, Makati, Philippines, S4-03.
- Tan, G., Shibasaki, R., 2000. Monthly climatologically aided global interpolation of weekly air temperature and precipitation. Global Mapping Forum, Hiroshima, S5-2.
- Tan, G., Shibasaki, R., Rajan, K.S., 2000. The study of global land suitability evaluation: A case of potential productivity estimate of wheat. Proceedings of ISPRS 2000, XXXIII, Part B4-3, 1405-1410.
- Tsuruoka, M., Shibasaki, R., Yasuoka, Y., Murai, S., Tsuruoka, Y., 2000. Analysis of 1/f fluctuation in walking using gyro sensor system. Proceedings of 13th IEEE Symposium on Computer-Based Medical Systems, Houston, Texas (USA), 77–82.

- Tsuruoka, M., Shibasaki, R., Yasuoka, Y., Murai, S., Minakuchi, S., Tsuruoka, Y., 2000. Bio-dynamic analysis of walking using gyro sensor system. Proceedings of the XIX Congress of the ISPRS (International Society of Photogrammetry and Remote Sensing), XXXIII, Amsterdam.
- Zhao, H., Shibasaki, R., 2000. High accurate positioning and mapping in urban area using laser range scanner. Proceedings of International Workshop Urban Multi-Media/3D Mapping.
- Zhao, H., Shibasaki, R., 2000. Robustly registering a network of range images of urban objects. Proceedings of ISPRS 2000.
- Zhao, H., Shibasaki, R., 2000. Robustly registering multiple ground-based laser range images of urban objects. Proceedings of the 5th Joint Conf. on Information Sciences.
- 小西勇介, 柴崎亮介, 2001. 自律方式による歩行者用ポジショニングシステムの開発. 第10回地理情報システム学会講演論文集, 10,389-392.
- 榊原庸貴, 柴崎亮介, 2001. プロセスモデルによる共通オブジェクトカタログ設計手法に関する研究. 地理情報システム学会講演論文集.
- 志村陽子, 柴崎亮介, 2001. 地震対応を考慮した企業活動モデリング手法. 地域安全学会一般論文集, 89-92.
- 須崎純一, 柴崎亮介, 岩男弘毅, 2001. 複数シーンの高空間分解能画像を用いた土地被覆分類のための時系列低空間分解能画像からのトレーニングデータの生成. 日本リモートセンシング学会第20回学術講演会論文集, 133-134.
- 須崎純一, 柴崎亮介, 岩男弘毅, 2001. 複数シーンの高空間分解能画像を用いた土地被覆分類のための時系列低空間分解能画像の活用. 日本写真測量学会年次学術講演会論文集, 127-128.
- 田中浩也, 有川正俊, 柴崎亮介, 2001. 時空間 BBS による地域コミュニティの情報共有. 第12回機能図形情報システムシンポジウム講演論文集, 25-28.
- 田中浩也, 有川正俊, 柴崎亮介, 2001. 写真画像を用いた建築空間の擬似 3 次元的表现. 日本建築学会学術講演梗概集, E-1 (建築計画 I), 941-942.
- 田中浩也, 有川正俊, 柴崎亮介, 2001. 擬似 3 次元フォトコラージュを用いた空間経験の表現とその分析, 第2回空間 IT ワークショップ, 特集:『デジタル認知空間』および一般.
- 趙 卉菁, 柴崎亮介, 2001. 車載型レーザ・CCD 画像による 3 次元都市空間モデルの構築. 第7回画像センシングシンポジウム, 65-70.
- 村田竜一, 柴崎亮介, 2001. 航空機搭載型スリーラインスキャナ画像を用いた自動車トラッキングに関する研究. 全国測量技術大会 2001 学生フォーラム発表論文集, 71-74.
- Ahmed A., Shibasaki, R., Rajan K.S., 2001. Modeling agricultural land use change in Bangladesh: farmer as an agent of change. Proceedings of the 22nd Asian Conference on Remote Sensing, 1, 19-24.

- Ishihara, N., Zhao, H., Shibasaki, R., 2001. Tracking passenger movement with ground-based laser scanner. Proceedings of the 22nd Asian Conference on Remote Sensing, 2, 1516-1519.
- Konishi, Y., Shibasaki, R., 2001. Development of a simulation system to estimate available area of GPS and pseudolite. Proceedings of the 22nd Asian Conference on Remote Sensing, 2, 1506-1011.
- Kumagai, J., Nakagawa, M., Zhao, H., Shibasaki, R., 2001. Road extraction from high-resolution commercial satellite data. Proceedings of the 22nd Asian Conference on Remote Sensing, 2, 1322-1325
- Manandhar, D., Shibasaki, R., 2001. Vehicle-borne Laser Mapping System (VLMS) for 3-D GIS. Proceedings of IEEE International Geoscience and Remote Sensing Symposium (IGARSS2001) (CD-ROM).
- Manandhar, D., Shibasaki, R., 2001. Vehicle-borne Laser Mapping System (VLMS)—A new observation system for 3-D mapping of urban areas. Proceeding of IEEE/ISPRS Joint Workshop on Remote Sensing and Data Fusion over Urban Areas, IEEE Paper Code: 0-7803-7059-7/01, 5-9.
- Manandhar, D., Shibasaki, R., 2001. Feature extraction from range data. Proceedings of the 22nd Asian Conference on Remote Sensing, 2, 1113-1118.
- Murata, R., Shibasaki, R., 2001. Detecting signboard information of shops for revising car navigation database using VLMS (Vehicle-Borne Laser Mapping System). Proceedings of the 22nd Asian Conference on Remote Sensing, 2, 1512-1515.
- Nakamura, M., Zhao, H., Shibasaki, R., 2001. Tracking passenger movement with infrared video data. Proceedings of the 22nd Asian Conference on Remote Sensing, 2, 1520-1523.
- Nakagawa, M., Shibasaki, R., 2001. Study on making city model with image and laser range data. Proceedings of the 22nd Asian Conference on Remote Sensing, 2, 1108-1112.
- Ogawa, A., Konishi, Y., Shibasaki, R., 2001. Identification of human activity modes with wearable sensors for autonomous human positioning system. Proceedings of the 22nd Asian Conference on Remote Sensing, 2, 1275-1278.
- Rajan, K.S., Shibasaki, R., 2001. AGENT-LUC model: Results and experience from the model run for Thailand. Global Change and Sustainable Development in Southeast Asia - A Regional Science-Policy Conference.
- Rajan, K.S., Shibasaki, R., 2001. Spatial modelling of LUCC processes in the Asia Pacific Region. Workshop on Land Use Change and the Terrestrial Carbon Cycle in the Asia-Pacific Region.
- Rajan K.S., Shibasaki, R., 2001. A GIS based integrated land use/cover change model to study agricultural and urban land use changes. Proceedings of the 22nd Asian Conference on Remote Sensing, 2, 819-824.
- Rong, X., Shibasaki, R., 2001. Conceptual framework on human spatial behavior simulation based on HLA. Proceedings of the 22nd Asian Conference on Remote Sensing, 2, 1269-1274.

- Sakakibara, T., Shibasaki, R., 2001. ACTIVITY-based Domain Analysis (ADA) for designing common object catalogue. Proceedings of Asia GIS (CD-ROM).
- Sakakibara, T., Shibasaki, R., 2001. Developing a methodology to support the design of a common object catalogue for inter-organizational data sharing. 7th International Conference on Computers in Urban Planning and Urban Management.
- Shibasaki, R., Rajan, K.S., 2001. Challenges of LUCC—Approaches of focus 2. Proceedings of International Symposium on LUCC Contribution to Asian Environmental Problems (CD-ROM).
- Susaki, J., Shibasaki, R., Iwao, K., 2001. Classification of multi-scene high-spatial resolution images by using information obtained from temporal low-spatial resolution images. Proceedings of IEEE International Geoscience and Remote Sensing Symposium (IGARSS2001) (CD-ROM).
- Tan, G., Shibasaki, R., 2001. Global estimation of major crop productivity using GIS and a crop growth model. Proceedings of Asia GIS 2001 (CD-ROM).
- Tan, G., Shibasaki, R., 2001. A study on land productivity and land use pattern using GIS and logit model. The proceedings of International Conference on Agricultural Science and Technology ICAST 2001, Session 6: Information Technology of Agriculture, 226-232.
- Tan, G., Shibasaki, R., Rajan, K., S., 2001. A method for modeling the spatial pattern of agricultural land use using logit. LUCC Symposium 2001 (CD-ROM).
- Tanaka, H., Shibasaki, R., 2001. Creation of spatial information database for appraising the real estate. Proceedings of the 22nd Asian Conference on Remote Sensing, 1, 372-375.
- Tanaka, H., Arikawa, M., Shibasaki, R., 2001. A 3D photo collage system for spatial navigations. Digital City 2001 Workshops.
- Tanaka, H., Arikawa, M., Shibasaki, R., 2001. Public pseudo-3D spaces with association of photographs on the Web. Proceedings of ASIA GIS 2001 (CD-ROM).
- Tanaka, H., Sekimoto, Y., Shibasaki, R., 2001. Resonstruction of spatio-temporal distribution of event visitors by fusing multi-source data. Proceedings of the 22nd Asian Conference on Remote Sensing, 2, 1119-1122.
- Tsuruoka, M., Shibasaki, R., Yasuoka Y., Murai S., Tsuruoka Y., 2001. Analysis of impulse response on walking stability. Proceedings of 14th IEEE Symposium on Computer-Based Medical Systems, 348-353.
- Zhao, H., Shibasaki, R., 2001. High accurate positioning and mapping in urban area using laser range scanner. Proceedings of IEEE Intelligent Vehicles Symposium, 125-132.
- Zhao, H., Shibasaki, R., 2001. Reconstructing urban 3D model using vehicle-borne laser range scanners. Proceedings of the 3rd International Conference on 3D Digital Imaging and Modeling, 349-356.
- Zhao, H., Shibasaki, R., 2001. Reconstructing textured CAD model of urban environment using vehicle-borne laser range scanners and line cameras. Proceedings of Asia GIS (CD-ROM).

田中浩也, 有川正俊, 柴崎亮介, 2002. 多次元フォトコラージュを用いた建築アーカイヴの作成と表現. 第15回サイバースペースと仮想都市研究会, 21-26.

一総説・解説

柴崎亮介, 1998. 市町村における地理情報システムの利用と土地情報整備. 不動産学会誌, 46, 43-50.

* 書籍

Shi, Z.C., Shibasaki, R., 1997. Automated building extraction from digital stereo imagery. Gruen, A. ed. Automatic Extraction of Man-Made Objects from Aerial And Space Images, Birkhauser Verlag, 119-128.

柴崎亮介 (分担執筆), 1997. 市町村 GIS 導入マニュアル. 地図情報システムによる市町村土地情報整備研究会編, ぎょうせい.

Shabo, H., Shibasaki, R., 2000. Integration of observational data and behavioral models for spatio-temporal interpolation—Application to reconstructing long-term land use and land cover changes, Toyota Conference 2000, Elsevier Publishing.

* 報告書・資料

Rajan, K.S., Shibasaki, R., 2000. Land use/cover change and water resources—experiences from AGENT-LUC model. Herath, S., Dutta, D. eds., Mekong Basin Studies—Proceedings of the AP FRIEND Workshop. INCEDE Report-2000-04, 1-16.

* 国際学会発表

Priya, S., Shibasaki, R., 1997. Quantification of soil loss and its detection using GIS and remote sensing technology. Proceedings of International Conference on Earth Observation and Environment Information (EOEI'97).

Rajan, K.S., Shibasaki, R., 1997. Dataset resolution and classification—Effect on modeling land use at the national level. First IGU-LUCC'97 Open International Symposium.

Rajan, K.S., Shibasaki, R., 1997. Integrated landuse modeling—A national level approach. IGU'97 Conference of Commission on Sustainable Rural Systems.

Shi, Z.C., Shibasaki, R., 1997. Automated building extraction from digital stereo imagery. Proceedings of 2nd Ascona Workshop, Automatic Extraction of Man-Made Objects from Aerial and Space Images.

Rajan, K.S., Shibasaki, R., 1998. An effort at modeling land use/cover change at the national level—A model for Thailand. GCTE-LUCC Open Science Conference.

- Rajan, K.S., Shibasaki, R., 1998. Integrating micro-characteristics into macro-level simulation modeling of land use based on GIS. International Conference on Modeling Geographic and Environmental Systems with GIS.
- Suzuki, J., Shibasaki, R., 1998. On the capability of applying wavelet transform for texture analysis in remotely sensed images. Proceedings of the Commission V Symposium of International Society for Photogrammetry and Remote Sensing (ISPRS).
- Zhao, H., Shibasaki, R., 1998. Reconstructing urban 3D object: Automated registration of ground-based laser range image. Proceedings of International Conference on Modeling Geographical and Environment System with Geographic Information System.
- Zhao, H., Shibasaki, R., 1998. Reconstructing textured urban 3D model by fusing ground-based laser range image and video image. ISPRS, XXXII, Part 2.
- Zhao, H., Shibasaki, R., 1998. Reconstructing textured urban 3D model by fusing ground-based laser range image and video image. IAPR Workshop on Machine Vision Application.
- Lin, B., Goto, N., Sakoda, A., Shibasaki, R., Suzuki, M., 1999. A simulation study for global water environmental pollution caused by anthropogenic disturbance. Proceedings of ASIAN WATERQUAL'99, 7th IAWQ Asia-Pacific Regional Conference.
- Lin, B., Shibasaki, R., Goto, N., Sakoda, A., Suzuki, M., 1999. Establishing a global nitrogen/carbon cycle model: Nitrogen storage in terrestrial vegetation under present climate. Proceedings of 1999 NIES Workshop on Information Bases and Modeling for Land Use and Cover Change Studies in East Asia.
- Priya, S., Shibasaki, R., 1999. Agricultural adaptation to climate change: Perspective from the spatial-EPIC model. Open Meeting of the Human Dimension of Global Environmental Change Research Community, Shonan Village, Kanagawa, Japan.
- Priya, S., Shibasaki, R., 1999. Modeling agroecosystem: Perspective from spatial-EPIC. IEEE 1999 International Geoscience and Remote Sensing Symposium, Hamburg, Germany.
- Priya, S., Shibasaki, R., 1999. GIS-based modeling of agroecosystem. Global Change and Terrestrial Ecosystem Focus 3 Conference, The University of Reading, UK.
- Rajan, K.S., Shibasaki, R., 1999. Agent-based land use change model—A new concept in understanding human-land interactions. 1999 Open Meeting of the Human Dimensions of Global Environmental Change Research Community.
- Rajan, K.S., Shibasaki, R., 1999. AGENT-LUC: a model to study the anthropogenically engineered transformations of land use and land cover. The Second IGBP Congress—Towards a Synthesis of a Decade of Global Change Research.
- Rajan, K.S., Shibasaki, R., 1999. Agent-based land use change model—Understanding human-land interactions. IHDP Congress, Oral Presentation Paper.

- Shibasaki, R., 1999. Challenges of remote sensing for land use/cover change studies. IHDP Congress, Oral Presentation Paper.
- Tsuruoka, M., Shibasaki, R., Yasuoka, Y., Murai, S., 1999. Biomechanical and spectral analysis of human movement. Proceedings of 17th Congress of International Society of Biomechanics, Calgary, Alberta, Canada, 423.
- Tsuruoka, M., Yasuoka, Y., Shibasaki, R., Tsuruoka, Y., Murai, S., 1999. Power spectral analysis of bio-feedback movement using auto regressive modeling. Proceedings of the First Joint Meeting of BMES and IEEE EMBS, Atlanta, Georgia, USA, 582.
- Tsuruoka, M., Shibasaki, R., Yasuoka, Y., Chen, T., Akutsu, O., Tanaka, M., 1999. Power spectral analysis of walking stability using personal navigation system. Proceedings of the First Joint Meeting of BMES and IEEE EMBS, Atlanta, Georgia, USA, 582.
- Zhao, H., Shibasaki, R., 1999. A robust method for registering 2.5D laser range images of urban objects. Proceedings of International Workshop on Mobile Mapping Technology.
- Iwao, K., Yamamoto, T., Shibasaki, R., 2000. Development of geometric correction method of multi temporal resolution satellite images (Invited Paper). United Nations/European Space Agency/Committee on Research Workshop on Satellite Data Reduction and Analysis Techniques Dehra Dun (India).
- Iwao, K., Yamamoto, T., Shibasaki, R., 2000. Development of geometric correction method of multi temporal and resolution satellite images. 6th Annual Geo-Asia Pacific Conference.
- Iwao, K., Yamamoto, T., Shibasaki, R., 2000. Automated geometric correction method for regional and global environmental monitoring. Eco-Seminar, Kaoyai (Thailand).
- Rajan, K.S., Shibasaki, R., 2000. AGENT-LUC Thailand—a national scale model to study the human-land interactions in Thailand. EcoSummit 2000 Integrating the Sciences, Halifax, Canada.
- Rajan K.S., Shibasaki, R., 2001. Spatial modelling of LUCC processes in the Asia Pacific region. Workshop on Land Use Change and the Terrestrial Carbon Cycle in the Asia-Pacific Region.
- Rajan K.S., Shibasaki, R., 2001. Agent-LUC model: results and experience from the model run for Thailand. Proceedings of Global Change and Sustainable Development in Southeast Asia—A Regional Science-Policy Conference (Thailand), 19.
- Rajan K.S., Shibasaki, R., 2001. Agent-LUC: A dynamic national scale land use/cover change model. Abstracts of Global Change Open Science Conference “Challenges of a Changing Earth” (The Netherlands), 365.
- Rajan K.S., Shibasaki, R., 2001. Agent-LUC: A dynamic national scale model to study the human-land interactions. The 2001 Open Meeting of the Human Dimensions of Global Environmental Change Research (Brazil).

* 国内学会発表

- 柴崎亮介, 越智士郎, 平古場篤史, 黄 少博, 1997. 全球的な土地利用・土地被覆の変化とその環境影響に関するシナリオ分析. 環境科学会年次講演会.
- 須崎純一, 柴崎亮介, 1997. 多量の人工衛星データによる広域土地被覆分類システム. 生研フォーラム「宇宙からの地球環境モニタリング」第8回論文集, 14-16.
- 宅間 朗, 柴崎亮介, 藤井 稔, 1997. 携帯型端末を用いた3次元空間GISの新しいユーザインタフェースの開発. 土木計画学研究・講演集 20-1, 125-126.
- 趙 卉菁, 柴崎亮介, 1997. レンジ画像による3次元都市空間データの自動計測方法に関する基礎研究. 土木情報シンポジウム講演集.
- 鶴岡政子, 柴崎亮介, 村井俊治, 1997. 身体立位バランスのARモデルによるインパルス応答解析. 第11回ゆらぎ現象研究会抄録集, 23-24.
- 趙 卉菁, 柴崎亮介, 1999. レーザレンジファインダーとCCDカメラを併用した3次元都市空間データ収集システム. 日本写真測量学会平成11年度春季学術講演会発表論文集.
- 林 彬勤, 迫田章義, 後藤尚弘, 柴崎亮介, 鈴木基之, 1999. 陸上生態系物質循環モデルによる窒素施肥の水環境への影響評価. 化学工学会第32回秋季大会講演要旨集, 602.
- 鶴岡政子, 水口俊介, 安岡善文, 柴崎亮介, 村井俊治, 鶴岡百合子, 2000. 高齢者の歩行とスペクトル解析. 39回日本ME学会大会, 医用電子と生体工学, 38, Suppl., 251.
- 鶴岡百合子, 田村義保, 越智文雄, 鶴岡政子, 2000. Relative Power Contributionによる歩行解析. 第39回日本ME学会大会, 医用電子と生体工学, 38, Suppl., 475.
- 林 彬勤, 迫田章義, 柴崎亮介, 鈴木基之, 2000. 地球規模物質循環モデルによる窒素施肥の水環境への影響評価. 第34回日本水環境学会年会講演集, 260.
- 斎藤琢哉, 三上朝弘, 上田 穰, 鶴岡政子, 2001. 健常者と障害者の歩行揺らぎ. 第62回全国大会論文集, 情報処理学会.
- 斎藤琢也, 上田 穰, 鶴岡政子, 2001. 歩行ゆらぎの3次元コンピュータグラフィックスへの応用. 第62回情報処理学会論文集, 4, 197-198.
- 鶴岡政子, 安岡善文, 柴崎亮介, 鶴岡百合子, 2001. 歩行の安定性. 医用電子と生体工学, 39, 482.
- 鶴岡百合子, 田村義保, 水口俊介, 鶴岡政子, 2001. 無歯顎患者の嚥下時における唇, 顎, 喉の動きの3D寄与関係の解析. 医用電子と生体工学, 39, 531.
- 林 彬勤, 迫田章義, 柴崎亮介, 鈴木基之, 2001. 連続窒素施肥による水環境への汚染負荷についての推定. 第35回日本水環境学会, 47.

* その他

ーセミナー

- Iwao, K., Yamamoto, T., Shibasaki, R., 2000. Automated geometric correction method for regional and global environmental monitoring. Eco-Seminar, Kaoyai (Thailand).

一受賞

日本写真測量学会 ISPRS 奨励賞

趙 卉菁, 柴崎亮介, 1997. レンジ画像による 3 次元都市空間データの自動計測方法に関するシミュレーション. 写真測量とリモートセンシング, 36/4.

日本測量協会 2000 年度測量技術奨励賞

趙 卉菁, 柴崎亮介, 1997. レンジ画像による 3 次元都市空間データの自動計測方法に関するシミュレーション. 写真測量とリモートセンシング, 36/4.

日本写真測量学会 年次学術講演会論文賞 受賞

関本義秀, 柴崎亮介, 1999. 時空間データの統合における概念的フレームワークとしての FEO (Feature/Event/Observation) モデルの提案. 日本写真測量学会・日本リモートセンシング学会合同学術講演会論文集, 155-158.

ISPRS Best Young Author Award (ISPRS paper no 1301)

Priya, S., Shibasaki, R., 2000. National level spatial modeling of agricultural productivity: study of Indian agroecosystem. Proceedings of International Archives of Photogrammetry and Remote Sensing (ISPRS), Amsterdam, XXXIII, B7, 1191-1195.

ACRS Best Speaker Award from JSPRS (Japan Society for Photogrammetry and Remote Sensing)

Kitazawa, K., Konishi, Y., Shibasaki, R., 2000. A method of map matching for personal positioning systems. Proceedings of the 21st Asian Conference on Remote Sensing, Taipei.

日本写真測量学会年次学術講演会論文賞

須崎純一, 柴崎亮介, 2000. 事前確率の推定ならびにミクセルの問題を考慮した土地被覆分類手法の提案. 日本写真測量学会年次学術講演会論文集, 143-148.

日本写真測量学会 学会奨励賞

趙 卉菁, 柴崎亮介, 2000. 地上据え置き型レーザレンジスキャナーを利用した 3 次元都市空間データの自動構築手法に関する研究. 写真測量とリモートセンシング, 39-2.

ACRS Best Speaker Award from JSPRS (Japan Society for Photogrammetry and Remote Sensing)

Manandhar, D., Shibasaki, R., 2001. Feature extraction from range data. Proceedings of the 22nd Asian Conference on Remote Sensing, 2, 1113-1118.

一特許出願等

柴崎亮介 (東京大学), 今野達夫, 下垣 豊 (アジア航測株), 特願平 11-309875 号「移動体用空間情報取得装置」, 1999. 10. 29.

柴崎亮介 (東京大学), 織田和夫, 土居原健, 内田 修 (アジア航測株), 特願平 11-316025 号「空中写真の位置及び姿勢の計算方法」, 1999. 11. 5.

織田和夫, 土居原健, 内田 修, 坂元光輝 (アジア航測株), 柴崎亮介 (東京大学), 特願 2000-251456 号「不定形窓を用いた画像間拡張イメージマッチング方法」, 2000. 8. 22.

柴崎亮介（東京大学），松本好高（㈱コア），今野達夫，辻 求，下垣 豊（アジア航測㈱），
特願 2000-213134 号「移動体用広視野角多方向画像取得装置及び移動体用広視野角多方向
画像取得システム」，2000. 7. 13.

柴崎亮介，趙 卉菁（東京大学），今野達夫，辻 求，下垣 豊（アジア航測㈱），特願
2000-214766 号「モバイルマッピング用空間情報生成装置」，2000. 7. 14

国有特許：有川正俊，田中浩也，柴崎亮介（東京大学），特願 2001-174582 号「写真画像を
接続し擬似 3 次元空間をネットワーク上に構築するシステム」，2001.6.8

外国（アメリカ）特許出願：Masatoshi Arikawa，Hiroya Tanaka，Ryosuke Shibasaki（the
University of Tokyo），U.S.A.，FPA-2093-US，「Pseudo 3-D Space Representation System,
Pseudo 3-D Space Constructing System, Game System and Electronic Map Providing System」
（「擬似 3 次元空間表現システム，擬似 3 次元空間構築システム，ゲームシステム，及び
電子地図提供システム」），2001.6.8

2. 2001 年度活動記録

* 主要研究テーマ

1) 都市における 3 次元空間データ基盤とシームレス測位基盤の構築・利用手法の関する研 究

都市域における新たなインフラとして 3 次元空間データとシームレスな測位（ポジショ
ニング）技術を組み合わせることを構想し，それをささえる要素技術の開発と，インタ
ーフェースやプロトコルの標準化，さらにインフラプログラムとして費用対効果の検討
などを行っている．同時に 1998 年から「都市における 3 次元マッピングに関する国際
ワークショップ」を主催し，研究者コミュニティの育成や様々な意見交換を試みている．
なお，開発中の要素技術は，レーザスキャナーと CCD センサとの組み合わせによる 3
次元マッピング手法（航空機・ヘリ搭載と車載システム），GPS などを補間する自律型
のポジショニングシステム，人間流動のモニタリングシステムの開発，Pseudolite（疑似
衛星）測位技術の精度特性評価と 3 次元空間データとの組み合わせによる精度向上の可
可能性検討などである．

2) 国土マネジメントのための情報利用モデル構築と空間データ基盤のデザイン活動

1999 年から，国土マネジメントを高度化するためにさまざまな主体の活動における情報
利用形態とそこにおける情報参照の形態を統一的なモデルとして記述し，それに基づい
て空間データ基盤のデザインを進める手法を，CALS/EC 活動や ITS 構想・プロジェクト
などと密接な連携をとりながら進めている．

3) エージェントモデルを利用した人間と環境との相互作用モデリング

詳細な空間データに，その中で活動するオブジェクト（人間，自動車，植物など）を表

現するエージェントを組み合わせることにより、人間活動と周囲の環境との相互作用を中心とした実空間シミュレーションモデルの開発を行っている。現時点では、気候変動下における農業生産や農業土地利用の適応策に関する研究にエージェントモデルを適用し、より費用対効果の高い適応策の提案などを行っている（インドなど）。また、水資源制約下での農業生産のあり方についても検討を進めている。これらの検討は、グローバル、リージョナル（アジア）、ローカル（黄河流域、インダス川流域）などで進めている。

4) 地方公共団体をターゲットとした共有空間データベース構想の推進

90年代前半から、GIS利用を促進するための空間データ基盤の必要性に着目し、教育・啓蒙活動や各種政府委員会で活動を行ってきた。特に、データ提供者としての地方公共団体の重要性に着目し、地方公共団体における組織横断的な共通データベースの構築を提唱してきた。その成果は、1998年度、1999年度の自治省における統合型GISのための共通仕様書の作成作業に結実している。なお、現在作業部会長を務めている。そのほか、建設省、国土庁、農林水産省などにおいてこうしたコンセプトの下に共通空間データベースの設計・計画に関わる委員会活動などを行っている。

* 学会活動

日本写真測量学会理事

土木学会土木情報委員会副委員長（同学会・国土情報活用小委員会委員長）

ISO/TC211 (Standardization of Geospatial data), WG3 (Geospatial data Administration), Project Leader of Work Item 14 "Quality Evaluation Procedure"

* 担当授業

GIS (Geographic Information System) (工学系研究科社会基盤工学)

空間情報概論 (工学部土木工学科)

空間情報システム構築法 (新領域創成科学研究科環境学)

空間情報システム演習 (新領域創成科学研究科環境学)

* 海外出張・研修

01. 8. 5～8. 12 ベトナム・タイ「日本学術振興会 未来開拓学術研究推進事業」に関する研究打ち合わせ

01. 7. 9～7.15 オランダ「地球環境変化オープンサイエンス会議」参加

01. 9.15～9.28 レバノン・ティールにおける文化財調査と、遺跡三次元表現手法の実験

01. 10. 8～10.10 大韓民国 E&G Information Technology Co., LTD.にて打ち合わせ

01. 11. 8～11.11 シンガポール 第22回アジアリモートセンシング会議に参加発表

02. 3. 5～3. 8 中華人民共和国 拠点大学交流事業

02. 3.11～3.15 ドイツ 土地利用, 土地利用変化と森林の炭素吸収に関するインベントリー
作成手法専門家会議に参加

02. 3.18～3.22 バングラデシュ 地球地図に関する技術セミナー出席

八田達夫

時空間社会経済システム研究部門 教授

専門 都市経済学, 財政学, 公共経済学

1. 過去 5 年間の研究業績

* 査読論文

ー原著論文

八田達夫, 内田香屋子, 酒本和加子, 1998. 1994 年の厚生年金改革の教訓. 日本経済研究, 16, 53-72.

八田達夫, 小口登良, 酒本和加子, 1998. 年金改革と世代間再分配. 季刊・社会保障研究, 34, 155-164.

Hatta, T., Akai, N., Fukushima, T., 1998. Optimality of a competitive equilibrium in a small open city with congestion. *Journal of Urban Economics*, 43, 181-198.

八田達夫, 小口登良, 2000. 1999 年政府年金改革案の評価. 日本経済研究, 40, 1-18.

八田達夫, 山鹿久木, 2000. 通勤の疲労コストと最適混雑料金の測定. 日本経済研究, 41, 100-131.

* 非査読論文

ー原著論文

八田達夫, 1997. 公共投資の最適基準. *オイコノミカ*, 33-3/4, 49-63.

八田達夫, 1997. 建築基準法の実効性改善と建築物登録制度. *建設月報*, 575, 26-27.

八田達夫, 1997. 住宅市場と公共政策. *住宅の経済学*, 日本経済新聞社刊, 1-52.

八田達夫, 1997. 「定期借家権」はなぜ必要か. *ジュリスト*, 1124, 53-59.

八田達夫, 1997. 首都移転反対論. *日本地域学会*, 27-1, 265-266.

八田達夫, 1997. 建築基準法と性能保証保険制度. *都市住宅学*, 20, 16-20.

Hatta, T., Oguchi, N., 1997. The net pension debt of the Japanese government. Hurd, M. D., ed. *Economics Effects of Aging in the United States and Japan*, University of Chicago Press, 333-351.

八田達夫, 1998. 定期借家権はなぜ必要か. *定期借家権*, 信山社刊, 56-70.

八田達夫, 1998. 第 1 章／厚生年金の積立方式への移行. *社会保険改革*, 日本経済新聞社刊, 19-52.

- 八田達夫, 1998. 借地借家法の効果に関する森本分析の問題点. 住宅, 553, 85-94.
- 八田達夫, 八代尚宏, 1998. 序章／高齢化と社会保険改革—保険の原点に戻る. 社会保険改革, 9-18.
- 八田達夫, 内田香屋子, 酒本和歌子, 1998. 第2章／1994年の厚生年金改革の教訓. 社会保険改革, 53-72.
- 八田達夫, 1999. 都市居住文化と借地借家法. 都市住宅学, 26, 20-24.
- 八田達夫, 1999. 年金改革案の評価. 社会保障年鑑, 49-55.
- 八田達夫, 1999. 21世紀の住宅・宅地政策. 建設月報, 605, 38-49.
- 八田達夫, 1999. 定期借家権はなぜ必要か—米英の借家制度と定期借家の経済分析—. 住宅総合研究センター, 1-11.
- 八田達夫, 1999. マスグレイブ主義政策論. 費用便益分析に係る経済学的基本問題, 83-97.
- 八田達夫, 唐渡広志, 1999. 都心のオフィス賃料と集積の利益. 住宅土地経済, 33, 10-17.
- Hatta, T., 1999. The welfare effect of tariff rate reductions in a many country world. Kowalczyk, C., ed., Economic Integration and International Trade, The Fletcher School of Law and Diplomacy, Tufts University.
- 八田達夫, 唐渡広志, 2001. 都心における容積率緩和の労働生産性上昇効果. 住宅土地経済, 41, 20-27.

一総説・解説

- 八田達夫, 1997. 対論'97／これ以上費用のムダ遣いを許すな. Imidas '97, 21.
- 八田達夫, 1997. 厚生年金改革—望まれる分配中立的な制度の総合的デザイナー—. 日本経済研究センター会報, 768, 10-13.
- 八田達夫, 1997. 特別企画座談会／住宅・土地経済学の成果と課題. 住宅土地経済, 23, 2-19.
- 八田達夫, 1997. 所得税改革すれば消費税はいらない. 週刊東洋経済, 5400, 76-77.
- 八田達夫, 1997. 安全ネット構築が市場には不可欠. 週刊東洋経済, 15-16.
- 八田達夫, 1997. 世代間戦争. 世界臨時増刊号「世界を読むキーワード」岩波書店, 290-292.
- 八田達夫, 1997. 借家の経済学. 週刊ダイヤモンド, 85, 46-47.
- 八田達夫, 1997. 市場重視は公平か不公平か. 関西経済研究センター, 1.
- 八田達夫, 1997. 定期借家権の創設を. BMJ, 8, 48-61.
- 八田達夫, 1997. 借家の経済学. 週間ダイヤモンド, 3677, 130-135.
- 八田達夫, 1997. 建築基準法の緩和が生み出すもの. 経済セミナー, 512, 16-19.
- 八田達夫, 1997. 年金改革. 日本経済のこれから, 37-54.
- 八田達夫, 1997. 借家の供給を促し, 家賃を引き下げするために. 月刊 Keidanren, 38-40.
- 八田達夫, 1997. 座談会・定期借家権を考える. 建設月報, 583, 14-27.

- 八田達夫, 山崎福寿, 福井秀夫, 久米良昭, 1997. 「定期借家権」の実現を阻む法務省の越権. エコノミスト, 80-83.
- 八田達夫, 1998. 基準法改正と規制緩和. 週刊鋼構造ジャーナル, 811, 26-27.
- 八田達夫, 1998. 定期借家権導入と日本経済. 日本経済の行方, 12-17.
- 八田達夫, 1998. 対論/都心居住と容積率をめぐって. 日本都市計画家協会, 1-28.
- 八田達夫, 1998. 年金崩壊/こうすれば世代間の不公平は縮小できる. エコノミスト, 40-42.
- 八田達夫, 1998. 定期借家権は日本の住宅事情をグンと良くする. エコノミスト, 3337, 71-74.
- 八田達夫, 1998. 土地の有効利用に向けて一定期借家権がもたらすもの. 関西経済研究センター資料, 98-8.
- 八田達夫, 1998. 電力自由化は, 皆がトクする北欧型で. エコノミスト, 3341, 100-103.
- 八田達夫, 1998. 地価の激しい変動を管理してはいけない. Fai, 105, 40-43.
- 八田達夫, 1998. 今すぐに消費税率を引き下げることが景気回復と財政再建を両立させる道である. エコノミスト, 34-37.
- 八田達夫, 1998. 破綻しつつある年金制度. Newsletter / Cross Cultural Center, 33, 2-5.
- 八田達夫, 1998. 賦課方式から積立方式への転換が急務. エコノミスト, 3346, 61.
- 八田達夫, 1998. 若年層の不满, 不信のない積立方式の確率が必要. 週刊ダイヤモンド, 3740, 34-35.
- 八田達夫, 1998. 財政危機と日本の選択. 大槻幹郎, 小川一夫, 神谷和也, 西村和雄 (編) 「現代経済学の潮流」.
- 八田達夫, 1998. 首都機能をめぐって一遷都後の都心再開発構想. 尾島俊雄 (監修) 「環境革命時代の建築」, 143-159.
- 八田達夫, 1998. 従来の賦課方式を廃し, 若年層の不满をなくす積立方式の確立が急務. 日本の論点'99, 556-559.
- 八田達夫, 八代尚宏, 1998. 序章/高齢化と社会保険改革—保険の原点に戻る. 社会保障改革, 9-18.
- 八田達夫, 1999. 年金制度崩壊を「所得税」で立て直せ. 現代, 142-143.
- 八田達夫, 1999. 定期借家権導入の効果. Intellectual Cabinet, 5.
- 八田達夫, 1999. 定期借家権・住宅弱者救済に役立つ理由. 経済セミナー, 532, 4-5.
- 八田達夫, 1999. 社会保障と財政の問題をめぐって. ECO-FORUM, 18, 31-48.
- 八田達夫, 1999. 世代間の不公平解消のため積立方式への切り替えを. エコノミスト, 3395, 92-93.
- 八田達夫, 1999. 税方式化の障害は厚生省の省益である. エコノミスト, 3396, 108-109.
- 八田達夫, 1999. 国民年金の「空洞化」を解消するには. 経済セミナー, 534, 4-5.
- 八田達夫, 1999. オフィスの集中こそ都市の命. 経済セミナー, 536, 4-5.
- 八田達夫, 1999. 中古住宅への融資拡大. 経済セミナー, 538, 4-5.

- 八田達夫, 2000. デリバティブ保険のメリット. 経済セミナー, 540, 4-5.
- 八田達夫, 2000. 電力部分自由化はプール市場創設の土台作り. エネルギーフォーラム, 541, 50-53.
- 八田達夫, 2000. 発電への新規参入は何を生むか. 経済セミナー, 542, 4-5.
- 八田達夫, 2000. 21世紀における国家と市場の役割分担. Re, 123, 32-38.
- 八田達夫, 2000. 電力自由化と原子力政策. エネルギーフォーラム, 546, 113-121.
- 八田達夫, 2000. 財政再建のための税制改革. エコノミクス, 3, 50-63.
- 八田達夫, 2000. 電力部分自由化の評価と今後の課題. 国際資源, 311, 14-19.
- 八田達夫, 2001. 電力自由化後のユニバーサルサービス論. エネルギーフォーラム, 553, 94-97.
- 八田達夫, 2001. 電力50年体制からの“脱却”に必要なインフラ整備. エネルギーフォーラム, 557, 86-89.
- 八田達夫, 2001. 電力自由化と地球環境改善. 21世紀社会変革へのメッセージ～地球環境関西フォーラム100人委員会個人提言集, 226-228.
- 八田達夫, 2001. 地価上げる構造改革急げ. 日本経済新聞—経済教室, 5月15日.
- 八田達夫, 2001. 「都市の生産性」を取り戻すことが日本経済再生につながる. エコノミスト, 29-31.
- 八田達夫, 2001. 税の働き. 日経新聞 やさしい経済学—基本のきほん, 194-204.
- 八田達夫, 2001. 電力部分自由化の評価と今後の課題. 国際資源, 311, 14-19.
- 八田達夫, 2001. 構造改革と都市再生. エコノミクス, 6, 63-65.
- 八田達夫, 2001. 都市再生. 公正取引, 613, 25-29.
- 八田達夫, 2001. 説得力なき政策論議・経済学の偏りが一因に. 論座, 71, 110-113.
- 八田達夫, 2001. 都心の駅周辺部対象に集中的な容積率緩和を. 週間ダイヤモンド, 3905, 35.
- 八田達夫, 2001. 不良再建処理と都市再生の一石二鳥—地価上昇が日本を救う. 文藝春秋編, 日本の論点2002, 434-437.
- 八田達夫, 2001. 都市再生通じ景気刺激. 日本経済新聞—経済教室, 12月5日.
- 八田達夫, 2001. 都市への投資, 成長生む. どうする日本経済, 河出書房新社, 108-111.
- 八田達夫, 2002. 国土の均衡発展政策転換—国際競争力ある都市構築へ, 週刊ダイヤモンド, 3915, 24.
- 八田達夫, 2002. オフィスと居住の都心集中を可能にする国の政策, 土木学会誌, 87, 7-9.
- 八田達夫, 2002. 都心集中の便益と費用. 都市問題, 93-3, 37-50.
- 八田達夫, 2002. 都市再生に向けた道路への期待と注文. 道路, 733, 8-13.

* 書籍

—著書

- 八田達夫, 小口登良, 1999. 「年金改革論」日本経済新聞社.

一編著

八田達夫, 岩田規久男 (編), 1997. 「住宅の経済学」 日本経済新聞社.

八田達夫, 八代尚宏 (編), 1998. 「社会保険改革: 年金, 介護・医療・雇用保険の再設計」 日本経済新聞社.

* 報告書・資料

八田達夫, 1997. 住宅税制を考え直す. 住宅税制・金融委員会報告書, (社) 住宅生産団体連合会, 11-23.

八田達夫, 福井秀夫, 久米良昭, 1997. 借地借家権に関する市民意識調査. 住宅, 540, 69-73.

八田達夫, 1999. 税制改革の課題—生活を良くし, 経済を活性化させる政策とは. ポリシーフォーラム 21, 2, 92-117.

八田達夫, 2000. 首都移転反対論. 東京都議会調査資料, 93, 3-28.

* 国際学会発表

八田達夫, 小川禎友, 2001. Revenue-constrained optimum tariff, export subsidy and duty drawback. 国際財政学会.

Hatta, T., 2001. Fatigue cost of commuting and optimum congestion charge: An empirical estimation. Asian Real Estate Society 2001.

* 国内学会発表

八田達夫, 1997. 経済学の立場から見た都市計画の論理. 第 120 回都市経営フォーラム.

八田達夫, 1998. 公的年金の積立方式への移行. 日本経済学会 98 年度春季大会講演.

八田達夫, 小川禎友, 1998. A theory of optimum tariff under revenue constraint. 日本経済学会 1998 年秋季大会.

八田達夫, 2001. オフィス業務の付加価値生産関数—東京都心部の地域メッシュ・データを利用した実証分析. 日本経済学会 2001 年秋季大会.

* その他

一受賞

都市住宅学会賞 どのような都心居住促進政策ならば正当化できるのか. 都市住宅学, 1994 年冬号, 16-25. (1998)

日本経済新聞社図書文化賞「年金改革論」〔小口登良氏と共著〕(1999)

一書評

八田達夫, 1998. 「書評・新しい計量経済学と住宅政策」 創文社, 21, 14-16.

八田達夫, 1998. 「私の一冊」 エネルギーフォーラム, 527, 127.

八田達夫, 2001. 「ブックレビュー：現代日本経済政策論—植草一秀著」『週間東洋経済』
2001年12月15日号, 58.

2. 2002年度活動記録

* 主要研究テーマ

1) 東京のオフィス容積率緩和の経済効果の測定

東京の都心各地点のオフィス賃料データ, 就業者密度, さらにはさまざまな地理的情報を用いて, 都心の集積度がオフィスサービス生産関数に, どの程度貢献しているかを実証的に測定する研究を発展させ, その結果を用いて都心の容積率緩和による集積の利益増大効果と交通混雑増大効果のバランスを分析した.

2) 最適関税率の理論的分析

小国で予算制約があるときに, 最適な関税率と輸出への原材料輸入関税割戻し制がいかなる関係を持つかを分析した (近畿大学・小川禎友氏との共同研究).

4) 送電料金の設計

送電ロスを少なくする立地を需要家供給家の双方に促す, 送電料金体系の分析を行った.

* 学外委員

総合規制改革会議委員

政府税制調査会専門委員

国土交通省住宅地審議会住宅地分科会長

国土交通省住宅金融のあり方懇談会座長

経済産業研究所ヴィジティングファカルティ

日本銀行金融研究所顧問

国立社会保障・人口問題研究所特別研究官

* 担当授業

都市地域空間の経済分析 (新領域創成科学研究科)

都市地域空間の経済分析演習 (新領域創成科学研究科)

上級経済政策 (経済学研究所・経済学部)

現代経済 (駒場・経済学部)

* 海外出張・研修

01. 8. 25~31 オーストリア・リンツ 国際財政学会

川口有一郎

客員教授

専門 不動産金融工学, 都市計画, 環境心理学, 空間統計

1. 過去 5 年間の研究業績

* 査読論文

ー原著論文

谷下雅義, 川口有一郎, 鹿島 茂, 1999. 仮想市場評価法 (CVM) におけるアンケート設計に関する研究. 環境科学論文集, 13, 161-164.

川口有一郎, 2001. 双子の不動産市場—アメリカの REIT を例として—. 証券アナリストジャーナル, 39-7, 4-13.

Kawaguchi, Y., Tsubokawa, K., 2001. The pricing of real options in discrete time models. Journal of Property Investment and Finance. 19-1, 9-34.

川口有一郎, 2002. 不動産開発事業評価のためのダイナミック DCF 法とリアルオプション評価モデル. JAREFE ジャーナル 2002.

Cho, H., Kawaguchi, Y., Shilling, J., 2002. Unsmoothing commercial property returns: A revision to fisher-geltner-webb's unsmoothing methodology. Journal of Real Estate Finance and Economics (Forthcoming).

ー総説・解説

川口有一郎, 1999. 不動産市場の読み方. オペレーションズリサーチ学会誌, 44-2, 63-70.

* 非査読論文

ー原著論文

川口有一郎, 1998-1999. 環境の価値とその測り方. 測量, 48-5~49-1.

川口有一郎, 2002. MBS の価格評価とターミネーションリスク. 住宅問題研究, 18-2, 31-43.

* 書籍

小泉允圀, 川口有一郎, 前川俊一, 高野高大, 河村好彦, 中城康介, 1997. 不動産開発の基礎. 清文社.

川口有一郎, 1998. 土地区画整理—まちづくりと不動産経営—. 日本測量協会.

Parsa A., Kawaguchi, Y., 1999. Tokyo. Berry, J., McGreal, S. (eds.) Pacific Rim Cities: Planning System and Property Market. E & FN SPON.

川口有一郎, 2000. 地理情報システム—小泉・岡崎・林編, 都市・地域経営—. 放送大学教材.

川口有一郎, 2001. 入門不動産金融工学. ダイヤモンド社.

川口有一郎 (監修), 2001. 図解わかる! 不動産投資信託. ダイヤモンド社.

川口有一郎, 2001. 不動産金融工学. 清文社.

* 報告書・資料

川口有一郎, 坪川一浩, 2000. 住宅着工の予測とその解釈. 全宅連不動産総合研究所.

川口有一郎 (代表), 2000. 収益還元法に関する実践的研究調査. 民間都市開発推進機構.

* 国際学会発表

Chen, M.-C., Kawaguchi, Y., Patel, K., 1998. Time-series properties and modeling of UK house prices. AREUEA International Real Estate Conference.

Kawaguchi, Y., 2001. A real option model in incomplete market. AsRES.

Cho, H., Kawaguchi, Y., Shilling, J., 2002. Unsmoothing commercial property returns: A revision to fisher-geltner-webb's unsmoothing methodology, AREUA.

* 国内学会発表

川口有一郎, 2001. 不動産へのリアルオプションの応用. JAREFE 年次発表会.

川口有一郎, 坪川一浩, 薩美俊太郎, 2001. 確率モデルを用いた賃貸不動産の評価に関する研究. JAREFE 年次発表会.

Otaka, M., Kawaguchi, Y., 2002. Pricing of contingent claims on real estate under the minimal martingale measure, JAREFE 年次発表会.

2. 2001 年度活動記録

* 主要研究テーマ

1) 数理不動産ファイナンス理論の開発

不動産市場にはアロー=ドブリュー証券が存在しないという現状では同値マルチンゲール測度は一意に決まらず均衡価格は無数に存在する。こうした状況の下で、どのように合理的に資産価格を決定すべきか? についての理論を組み立てた。これにより、実物の不動産、不動産証券（不動産投資信託株式、住宅ローン証券化債券、および商業不動産ローン証券化債券）、不動産デリバティブスの理論価格を決定することが可能となった。

2) 確率論の事業リスク管理への応用

上記の理論を事業（例えば，不動産開発事業や賃貸不動産経営など）に応用した．ここでは，理論を確率論で扱えるように単純化し実務への適用を可能にする．また，複数の事業を一つの事業ポートフォリオとして捉える．個別の事業，および事業ポートフォリオのリスクの構造を明らかにし，これらのリスクを投資家に転嫁する方法について明らかにする．リアルオプションアプローチによってこれらのリスクをコントロールする方法も示した．

3) 不動産の価格および賃料の予測

予測は不可能である．しかし，予測不可能性の限界への挑戦なくして科学の進歩はない．状態空間モデルとカルマンフィルターを利用して時系列予測を試みた．

* 学会活動

日本不動産金融工学学会 副会長

Board Member: Asian real Estate Society

Member: American Real Estate and Urban Economics

* 担当授業

地区構成論（明海大学不動産学部）

環境情報特論（明海大学不動産学研究科）

有川正俊

空間情報システム部門 助教授

専門 空間情報科学, データベース, ユーザインタフェース, 仮想現実感, 地図学

1. 過去 5 年間の研究業績

* 査読論文

ー 原著論文

有川正俊, 上林彌彦, 甲斐 宏, 1997. 表示エージェントを名前配置に利用した適応型地理情報メディア. 地理情報システム学会論文誌, 5-2, 29-36.

Kuroda, T., Takakura, H., Arikawa, M., Kambayashi, Y., 1997. Use of object co-existence relationships for generation of virtual hypermedia maps. Proceedings of the International Symposium (DMIB'97), Advanced Database Research and Development Series - Vol. 8, Digital Media Information Base, World Scientific, Nara, 20-28.

Arikawa, M., Kamiyama, T., 1998. Spatial browsing for video databases. Proceedings of the First International Conference on Advanced Multimedia Contents Processing (AMCP'98), Osaka University, Nishio, S., Kishino, F., eds., Springer, Lecture Notes in Computer Science, LNCS 1554, 313-327.

Arikawa, M., Maesako, T., Sueda, T., 1999. Spatio-temporal LoD for browsing video databases, the 1999 International Symposium on Database Applications in Non-Traditional Environments (DANTE '99), Published by the IEEE Computer Society, B4-2, 247-253.

Arikawa, M., Shimojo, S., Amano, A., Maeda, K., Aibara, R., Nakamura, Y., Hiraki, K., Nishimura, K., Terauchi, M., Fujikawa, K., 1999. Real-time spatial data management for scalable networked augmented virtual spaces. The IEICE (the Institute of Electronics, Information and Communication Engineering Transactions on Information and Systems, Special Issue on New Generation Database Technologies, E82-D/1, 99-112.

相良 毅, 有川正俊, 坂内正夫, 2000. ジオレファレンス情報を用いた空間情報抽出システム. 情報処理学会論文誌「データベース」, 41-SIG6 (TOD7), 69-80.

佐藤 聡, 有川正俊, 2000. 力学モデルに基づく空間データ表示の動的選択機能. 情報処理学会論文誌「データベース」, 41-SIG6 (TOD7), 58-68.

Murao, M., Arikawa, M., Okamura, K., 2000. Networked augmented spatial hypermedia system on Internet. Arisawa, H., Catarci, T., eds., *Advances in Visual Information Management*, 5th IFIP 2.6 Working Conference on Visual Databases, Kluwer Academic Publishers, 239-253.

相良 毅, 有川正俊, 坂内正夫, 2001. 分散位置参照サービス. *情報処理学会論文誌*, 42-12, 2928-2940.

田中浩也, 有川正俊, 柴崎亮介, 2001. 写真画像群の重なりを用いた広域的な擬似 3 次元空間. *ロングペーパー*, WISS2001 (Workshop on Interactive Systems and Software), *レクチャーノート/ソフトウェア学* 27, *インタラクティブシステムとソフトウェア* 9, 日本ソフトウェア科学会 WISS2001, 75-84.

Sagara, T., Arikawa, M., Sakauchi, M., 2001. Spatial document management system using spatial data fusion. *IWAS2001*, 399-409.

一総説・解説

Uemura, S., Arisawa, H., Arikawa, M., Kyoki, Y., 1999. On digital media information base, the IEICE (the Institute of Electronics, Information and Communication Engineering). *Transactions on Information and Systems, Special Issue on New Generation Database Technologies*, E82-D/1, 22-33.

有川正俊, 久保田光一, 2001. G-XML : 空間データ交換のための記述規格. 特集 : 位置情報を利用したモバイルコンピューティング, 会誌「情報処理」, *情報処理学会*, 42-4, 366-369.

* 非査読論文

一原著論文

有川正俊, 1997. ビューを基本とする動的地理情報メディア. 招待講演, *AM/FM INTERNATIONAL 日本 第8回 コンファレンス*, 福岡, 67-74.

Arikawa, M., 1998. Spatial hypermedia as augmented reality based on spatial information bases. Kambayashi, Y., Makinouchi, A., Uemura, S., Tanaka, K., Masunaga, Y., eds., *Advanced Database Research and Development Series - Vol. 9, Advanced Database Systems for Integration of Media and User Environment '98*, World Scientific, 9-14.

Arikawa, M., Murao, M., Okamura K., 1999. Augmented/restricted reality hypermedia systems based on spatial databases. Masunaga, Y., Spaccapietra, S., eds., *Advances in Databases and Multimedia for the New Century - A Swiss/Japanese Perspective -*, *Advanced Database Research and Development Series - Vol. 10*, World Scientific Publishing, 79-86.

Nishio, S., Tanaka, K., Arika, Y., Shimojo, S., Tsukamoto, M., Arikawa, M., Tajima, K., Harumoto, K., 2000. An advanced processing environment for managing the continuous and semistructured features of multimedia content. Invited Talk, 2000 ADBIS-DASFAA Symposium on Advances in Databases and Information Systems, Prague, Czech Republic, In co-operation with ACM SIGMOD, Moscow ACM SIGMOD Chapter.

ー総説・解説

有川正俊, 1997. H2O プロジェクトー「仮想空間におけるコミュニケーション」の研究活動概要. 画像ラボ, 8-8, 14-19.

有川正俊, 2000. デジタルアースー空間データ基盤と視覚化インターフェースー. データベース最前線 第2回, bit, 共立出版, 32-2, 59-68.

有川正俊, 2000. GISの将来ーG-XMLへの期待. データベース白書2000, 第7部 データベース関連の新しい動き, 第5章 用途拡大するGIS, 財団法人データベース振興センター, 276-278.

有川正俊, 2000. 未来開拓「マルチメディア・コンテンツの高次処理の研究」プロジェクト, 空間メディアグループの研究報告. 空間メディアワークショップ, データベースとWeb情報システムに関する IPSJ DBS/ACM SIGMOD Japan Chapter/JSPS-FRTF AMCP 合同シンポジウム (DBWeb2000), 情報処理学会, ISSN 1344-0640, 情報処理学会シンポジウムシリーズ, IPSJ Symposium Series 2000/14, 295-304.

有川正俊, 相良 毅, 2000, インターネットGISーその可能性と限界ー. 地理9月号 (古今書院), 30-35.

有川正俊, 2001. 標準化進む G-XML. データベース白書 2001, 財団法人データベース振興センター, 294-298.

* 書籍

岸野文郎 (編). 佐藤隆夫, 横矢直和, 相澤清晴, 有川正俊・共著, 2000. 画像と空間の情報処理, 岩波書店, 岩波講座 マルチメディア情報学 (全12巻), 第5巻, 第4章 空間情報処理 を担当.

西尾章治郎 (編), 横田一正, 西尾章治郎, 北川博之, 石川佳治, 有川正俊, 井田昌之・共著, 2000. 情報の表現. 岩波書店, 岩波講座 マルチメディア情報学 (全12巻), 第3巻, 第4章 情報の構造表記法 を担当.

岡部篤行, 貞広幸雄, 相良 毅, 杉盛啓明, 後藤 寛, 来間玲二, 有川正俊, 2001. 学術空間データ基盤システムー東京大学空間情報科学研究センターの事例ー. 第5章 GIS 学術情報ポータルサイト GISSchool を担当.

Kambayashi, Y., Winiwarer, W., Arikawa, M., eds., 2001. Data Warehousing and Knowledge Discovery, Third International Conference, DaWaK 2001 Munich, Germany, XIV, 361. Lecture Notes in Computer Science Vol. 2114, Springer Verlag.

*** 報告書・資料**

- 有川正俊, 1997. 広帯域ネットワーク仮想空間の品質管理と空間情報ベース. 文部省科学研究費重点領域研究「高度データベース」公開シンポジウム資料.
- 有川正俊, 1997. 拡張現実を基本とする空間ハイパーメディア. 文部省科学研究費重点領域研究「高度データベース」の公開シンポジウム資料.
- 有川正俊, 1997. VRML をベースとしたネットワーク VR. CG/Multimedia Osaka 97 シンポジウム.
- 有川正俊, 1997. Spatial hypermedia as augmented reality based on spatial information bases. 文部省科学研究費重点領域研究「高度データベース」中間報告資料.
- 有川正俊, 1997. 第6章 時空間データベースと関連最新技術動向. EAGL 平成9年度事業「調査研究—データベース」, 中間報告書, 82-92.
- 有川正俊, 1998. 遠隔ライブビデオの空間ハイパーメディア化. 第3回 インターネット技術研究委員会 (ITRC) 総会・研究会, 滋賀県, ITRC Technical Report No.3, ISSN-1343-3083, 123-131.
- 有川正俊, 1998. カメラの時空間記述情報を利用したビデオデータの空間ブラウジング, 平成10年度 科学研究費特定領域研究「メディア統合および環境統合のための高機能データベースシステムの研究開発」, 「高度データベース」福井ワークショップ講演論文集, 福井県芦原温泉, 139-146.
- 有川正俊, 1999. G-XML による空間データ交換のしくみ. 国土空間データ基盤推進協議会公式標準シンポジウム「公式標準シンポジウム 空間情報の標準化とそのインパクト」, NSDIPA (国土空間データ基盤推進協議会).
- 塚本昌彦, 有川正俊, 西尾正治郎, 1999. 断片空間データの統合利用のための連続提示手法の体系化. 日本学術振興会 未来開拓学術研究推進事業, 知能情報・高度情報処理研究分野, 「マルチメディア・コンテンツの高次処理の研究」(プロジェクト番号: JSPS-RFTF 97P00501), 平成11年度成果報告書.
- 有川正俊, 2000. ビデオデータの空間ブラウジング手法. リスク対応型地域管理情報システム (RARMIS) による災害マネージメント, Disaster Management Using Risk-Adaptive Regional Management Information System (RARMIS), 課題番号: 10558063, 平成10-11年度 科学研究費補助金 基盤研究 (B) (1) 研究成果報告書, 代表者: 亀田弘行 (京都大学防災研究所), 平成12年3月, 149-160.

- 有川正俊, 塚本昌彦, 西尾正治郎, 2000. 空間メディア統合によるマルチメディアコンテンツの提示. 日本学術振興会 未来開拓学術研究推進事業, 知能情報・高度情報処理研究分野, 「マルチメディア・コンテンツの高次処理の研究」(プロジェクト番号: JSPS-RFTF 97P00501), 平成 12 年度成果報告書.
- 岡村耕二, 有川正俊, 村尾真洋, 2000. 分散型マルチメディア基盤分科会活動報告と来年度に向けて. 1999 年度 ITRC (インターネット技術研究委員会) 総会・シンポジウム資料集.
- 冷水 明, 有川正俊, 岡村耕二, 荒木啓二郎, 2000. 2 次元地図情報と雲台制御の自動連携の実現と考察. 第 8 回 ITRC 総会・研究会資料集, クアパーク津田 (讃岐津田: 香川県), 33-36.
- 有川正俊, 藤田秀之, 岡村耕二, 冷水 明, 2001. 撮影ベクトル場モデルを用いた連続映像空間インタラクション. 第 10 回 ITRC 総会・研究会, 日本学術振興会, インターネット技術第 163 委員会, 大磯プリンスホテル, Web 公開.
- 冷水 明, 岡村耕二, 有川正俊, 荒木啓二郎, 2001. 複数台のカメラの自動連携に関する研究. 第 10 回 ITRC 総会・研究会, 日本学術振興会, インターネット技術第 163 委員会, 大磯プリンスホテル, Web 公開.
- 有川正俊, 相良 毅, 2002. 分散位置情報サービスと空間コンテンツ融合に関する研究. A02-04, 科学研究費「特定領域研究」, IT の深化の基盤を拓く情報学研究, 平成 13 年度研究概要.
- Arikawa, M., 2002. Development of technology of understanding information to share geographic information. Report of China-Japan Joint Research on the Spatial-Temporal Information System Framework for Environmental Conservation and Disaster Prevention, Technical Report of the Geographical Survey Institute, E1-No.275-2, 59-66.

* 国際学会発表

- Horikawa, K., Arikawa, M., Takakura, H., Kambayashi, Y., 1997. Dynamic map synthesis utilizing extended thesauruses and reuse of query generation process. ACM-GIS'97, Proceedings of the 5th International Workshop on Advances in Geographic Information Systems, Las Vegas, 9-14.
- Oh, S., Kado D., Fujikawa, K., Matsuura, T., Shimojo, S., Arikawa, M., 1997. QoS mapping for networked virtual reality system. Proceedings of SPIE Conference on Performance and Control of Network Systems, Dallas, 18-26.
- Oh, S., Sugano H., Fujikawa, K., Matsuura, T., Shimojo, S., Arikawa, M., Miyahara, H., 1997. A dynamic QoS adaptation mechanism for networked virtual reality. Proceedings of Fifth IFIP International Workshop on Quality of Service (IWQOS'97), New York, Chapman & Hall, 397-400.

- Arikawa, M., 1998. Spatial hypermedia as augmented reality based on spatial databases. Proceedings of International Workshop on Urban Multi-Media/3D mapping (UM3'98), the University of Tokyo, IIS, 39-46.
- Arikawa, M., 1999. Spatio-temporal browsing for real-world fragment data. Proceedings of Japan-China Symposium on Advanced Information Technology, Tokyo.
- Arikawa, M., Maesako, T., Sueda, T., 1999. Time extension to LoD for browsing spatio-temporal databases. Proceedings of International Workshop on Urban Multi-Media/3D mapping (UM3'99), the University of Tokyo, IIS, 57-62.
- Murao, M., Arikawa, M., Okamura K., 1999. Augmented/reduced spatial hypermedia systems for networked live videos on Internet. Proceedings of International Workshop on Urban Multi-Media/3D mapping (UM3'99), the University of Tokyo, IIS, 15-20.
- Arikawa, M., Okamura, K., Murao, M., 2000. Networked spatial video hypermedia. GIScience2000, First International Conference on Geographic Information Science, Savannah Marriott Riverfront, Savannah, Georgia, USA, 78-79.
- Arikawa, M., Sagara, T., Okamura, K., 2000. Spatial media fusion project. Proceedings of ICDL, 2000 Kyoto International Conference on Digital Libraries: Research and Practice, Organized by Kyoto University, British Library and National Science Foundation (U.S.A.), Kyoto, Japan, 75-82.
- Okamura, K., Arikawa, M., Yoshimura, Y., Murao, M., 2000. Virtual video frameworks for generic video applications on internet. Proceedings of the 2001 Symposium on Applications and the Internet - Workshops (SAINT 2001 Workshops), San Diego, California, USA, IEEE Computer Society Press, 201-206.
- Sagara, T., Arikawa, M., Sakauchi, M., 2000. A spatial data acquisition system from Japanese WWW pages. GIScience2000, First International Conference on Geographic Information Science, Savannah Marriott Riverfront, Savannah, Georgia, USA, 23-24.
- Sagara, T., Arikawa, M., Sakauchi, M., 2001. Spatial document management system using spatial data fusion. Symposium on ASIA GIS 2001, Tokyo Big Site, Sponsored by CSIS, in electronic proceedings.
- Tanaka, H., Arikawa, M., Shibasaki, R., 2001. Public pseudo-3D spaces with association of photographs on the Web. Symposium on ASIA GIS 2001, Tokyo Big Site, Sponsored by CSIS, in electronic proceedings.
- Tanaka, H., Arikawa, M., Shibasaki, R., 2002. Extensive pseudo 3-D spaces with superposed photographs, Vol. 4672 [4672-08], Proceedings of SPIE, Internet Imaging III, Beretta, B.B. and Schettini, R. (Chairs/Eds), Electronic Imaging 2002, IS&T/SPIE, 64-75.

* 国内学会発表

- 天野 晃, 有川正俊, 開 和生, 1997. 共有仮想空間におけるデータ転送の QoS 制御. 第 2 回 ITRC 研究会資料.
- 有川正俊, 天野 晃, 前田香織, 相原玲二, 下條真司, 開 和生, 西村浩二, 寺内睦博, 中村泰明, 天野橘太郎, 1997. 高速ネットワークを用いた 3 次元グラフィックス仮想空間の実験. JAIN /OLU /ITRC 合同シンポジウム'97 論文集, 97-104.
- 開 和生, 天野 晃, 有川正俊, 前田香織, 1997. リアルタイム仮想空間における QoS スケジューリング, 電子情報通信学会データ工学研究会資料, DE96-82, 広島市立大学, 49-54.
- 有川正俊, 1998. ビデオデータを対象にした空間ブラウジング手法. 地理情報システム学会, オブジェクト指向 GIS 研究会予稿集, 東京大学.
- 有川正俊, 1998. カメラの時空間記述情報を利用したビデオデータの空間ブラウジング. 電子情報通信学会データ工学研究専門委員会および情報処理学会データベースシステム研究会の合同研究会, 夏の DB ワークショップ '98, 福井, 情報処理学会研究報告 98-DBS-116 (2) (第 2 分冊め), 98-DBS-116-56, 225- 32.
- 有川正俊, 荒木美智代, 1998. 仮想空間における時空間ログデータ分析とその応用. 電子情報通信学会データ工学研究会, 第 9 回データ工学ワークショップ (DEWS'98) 講演論文集, DEWS98-55, CD-ROM 掲載.
- 有川正俊, 神山 哲, 1998. ビデオデータの空間ブラウジング手法. 電子情報通信学会データ工学研究会, 第 9 回データ工学ワークショップ (DEWS'98) 講演論文集, DEWS98-2, CD-ROM 掲載.
- 有川正俊, 田中清高, 佐藤 聡, 1998. 地理データ表示のための力学モデルに基づいたレイアウト手法, 電子情報通信学会データ工学研究会, 第 9 回データ工学ワークショップ (DEWS'98) 講演論文集, DEWS98-31, CD-ROM 掲載.
- 黒田 崇, 高倉弘喜, 有川正俊, 上林彌彦, 1998. 仮想ハイパーメディア地図作成のためのオブジェクトの検討. 情報処理学会第 56 回全国大会 3 分冊, 17-18.
- 佐藤 聡, 田中清高, 有川正俊, 1998. 力学モデルに基づく地理データ表示のための動的レイアウト手法. VCGIS'98 (Virtual Conference on GIS '98).
- 高倉弘喜, 濱野寿彦, 有川正俊, 上林彌彦, 1998. 異種地理データベース間での地図合成のためのオブジェクト併合. 情報処理学会第 56 回全国大会講演論文集.
- 有川正俊, 前迫隆志, 1999. 時空間記述情報が付随したビデオデータを対象にした時間ウォークスルー. 地理情報システム学会, 第 4 回オブジェクト指向 GIS 研究会資料, 29-34.
- 有川正俊, 村尾真洋, 岡村耕二, 1999. 遠隔定点観測カメラを用いた拡張/減少ライブビデオ応用の開発・実験. 電子情報通信学会マルチメディア・仮想環境基礎研究会 (MVE) 資料, MVE99-09, 大阪大学, 77-84.

- 伊藤智裕, 佐藤 聡, 有川正俊, 1999. 地理データベースのための力学モデルに基づいた表示情報量の制御. 電子情報通信学会データ工学研究会, 第 10 回データ工学ワークショップ (DEWS'99) 講演論文集, DEWS99-4A-1, 指宿, CD-ROM 掲載.
- 岡村耕二, 村尾真洋, 有川正俊, 1999. ネットワーク透過型仮想ビデオキャプチャデバイスの設計, 情報処理学会 マルチメディア通信と分散処理研究会, DPS-91-3, 13-18.
- 小川 潤, 有川正俊, 1999. ユーザの行動に基づく VRML 仮想空間におけるガイド支援. 電子情報通信学会データ工学研究会, 第 10 回データ工学ワークショップ (DEWS'99) 講演論文集, DEWS99-5A-3, 指宿, CD-ROM 掲載.
- 相良 毅, 有川正俊, 坂内正夫, 1999. ネットワーク上各種情報源からの地理情報抽出収集手法. 地理情報システム学会, 第 8 回研究発表大会, 331-334.
- 相良 毅, 有川正俊, 高橋昭子, 1999. XML を基本としたテキスト空間情報ベース. 情報処理学会データベースシステム研究会および電子情報通信学会データ工学研究専門委員会の合同研究会, 夏のデータベースワークショップ 1999 (DBWS'99), 情報処理学会研究報告 99-DBS-199-37, 219-224.
- 佐藤 聡, 有川正俊, 1999. 力学モデルに基づく地理データの動的表示システム. 地理情報システム学会第 3 回オブジェクト指向 GIS ワークショップ予稿集, 31-36.
- 佐藤 聡, 伊藤智裕, 有川正俊, 1999. 力学モデルに基づく地理情報表示のための表示情報量の動的制御方式. VCGIS'99 (Virtual Conference on GIS '99).
- 佐藤 聡, 伊藤智裕, 有川正俊, 1999. 地理データベースのための力学モデルに基づいた表示情報量の制御. 電子情報通信学会画像工学研究会専門委員会, 第 10 回機能図形情報システムシンポジウム講演論文集, 61-68.
- 末田貴士, 有川正俊, 1999. カメラの時空間行動データを用いたビデオデータの 3 次元空間目次の自動生成. 電子情報通信学会データ工学研究会, 第 10 回データ工学ワークショップ (DEWS'99) 講演論文集, DEWS99-5A-4, 指宿, CD-ROM 掲載.
- 高橋昭子, 有川正俊, 杉盛啓明, 1999. 研究ツールとしての GIS 入門教育の課題. 地理情報システム学会, 第 8 回研究発表大会, 35-40.
- 前迫隆志, 有川正俊, 1999. 時空間データベースを対象にした LoD の時間軸への拡張. 電子情報通信学会データ工学研究会, 第 10 回データ工学ワークショップ (DEWS'99) 講演論文集, DEWS99-1A-1, 指宿, CD-ROM 掲載.
- 村尾真洋, 有川正俊, 岡村耕二, 1999. 定点観測カメラを用いた拡張/減少空間ハイパーメディアの実現. 電子情報通信学会データ工学研究会, 第 10 回データ工学ワークショップ (DEWS'99) 講演論文集, DEWS99-4A-2, 指宿, CD-ROM 掲載.
- 相良 毅, 有川正俊, 2000, 日本の住所体系に適した分散アドレスマッチングサービス, GIS 学会講演論文集, 9, 183-186.
- 相良 毅, 有川正俊, 2000, 住所付きデータの緯度経度変換インターネットシステム, 第 14 回応用地域学会大会.

- 相良 毅, 有川正俊, 坂内正夫, 2000. ジオリファレンス情報を用いた空間情報媒介機構. 情報処理学会第 120 回データベースシステム研究会資料, データベースシステム 120-125, 185-190.
- 佐藤 聡, 有川正俊, 2000. 力学モデルに基づく地理情報の動的表示手法. 情報処理学会第 120 回データベースシステム研究会資料, データベースシステム 120-20, 145-152.
- 冷水 明, 有川正俊, 岡村耕二, 荒木啓二郎, 2000. 2 次元地図情報と雲台制御の自動連携の実現と考察. 第 8 回 ITRC 総会・研究会資料集.
- Arikawa, M., Maesako, T., Sueda, T., 2000. Spatio-temporal LoD for browsing video databases. 日本 VR 学会第 10 回サイバースペースと仮想都市研究会, CSVC2000-25, 31-37.
- 有川正俊, 2001. 空間 IT とは. 第 1 回空間 IT ワークショップ論文集, ST01-1-0, 地理情報システム学会 空間 IT 分科会, 東京大学, 生産技術研究所, 2-3.
- 有川正俊, 2001. デジタル認知空間について. 第 2 回空間 IT ワークショップ論文集, ST01-2-6, 地理情報システム学会 空間 IT 分科会, 東京大学 生産技術研究所, 35-38.
- 相良 毅, 有川正俊, 2001. 電子メールベース地理情報システム『Post GIS』. 情報処理学会データベースシステム研究会および電子情報通信学会データ工学研究専門委員会の合同研究会, 夏のデータベースワークショップ 2001 (DBWS'01), 函館, 情報処理学会研究報告 01-DBS-125-65 (II), 3-8.
- 田中浩也, 有川正俊, 柴崎亮介, 2001. 時空間 BBS による地域コミュニティの情報共有. 第 12 回機能図形情報システムシンポジウム講演論文集, 主催: 電子情報通信学会画像工学研究専門委員会, 地理情報システム学会マルチメディア GIS 分科会, 25-28.
- 田中浩也, 有川正俊, 柴崎亮介, 2001. 疑似 3 次元フォトコラージュを用いた空間経験の表現とその分析. 第 2 回空間 IT ワークショップ 論文集, ST01-2-5, 地理情報システム学会 空間 IT 分科会, 東京大学 生産技術研究所, 27-34.
- 田中浩也, 有川正俊, 柴崎亮介, 2001. 写真画像を用いた建築空間の疑似 3 次元的表現. 日本建築学会学術講演梗概集, E-1 (建築計画 I), 941-942.
- 大須賀志保, 有川正俊, 田中浩也, 2002. 風景写真シーケンスを用いた位置依存コミュニティ支援情報サイトの提案. 電子情報通信学会データ工学研究専門委員会, 第 13 回データ工学ワークショップ (DEWS2002) 講演論文集, DEWS02-B6-2, 倉敷市, [Web 掲載] <http://www.ieice.org/iss/de/DEWS/>.
- 杉 貴子, 有川正俊, 2002. 都市空間における風景写真と地図を用いた情報共有. 電子情報通信学会データ工学研究専門委員会, 第 13 回データ工学ワークショップ (DEWS2002) 講演論文集, DEWS02-B6-1, 倉敷市, [Web 掲載] <http://www.ieice.org/iss/de/DEWS/>.
- 田中浩也, 有川正俊, 柴崎亮介, 2002. 多次元フォトコラージュを用いた建築アーカイブの作成と表現. 日本 VR 学会第 15 回 サイバースペースと仮想都市研究会 (SIGCS), CSVC2002-04, 慶應義塾大学理工学部矢上キャンパス, 21-26.

- 田中浩也, 有川正俊, 柴崎亮介, 2002. ハイパーフォト空間視覚化による時空間的閲覧. 電子情報通信学会データ工学研究専門委員会, 第 13 回データ工学ワークショップ (DEWS2002) 講演論文集, DEWS02-B6-4, 倉敷市, [Web 掲載] <http://www.ieice.org/iss/de/DEWS/>.
- 藤田秀之, 有川正俊, 2002. 撮影ベクトル場を用いた複数写真群による対話的連続空間の構築. 電子情報通信学会データ工学研究専門委員会, 第 13 回データ工学ワークショップ (DEWS2002) 講演論文集, DEWS02-B6-3, 倉敷市, [Web 掲載] <http://www.ieice.org/iss/de/DEWS/>.

* その他

ー招待講演

- 有川正俊, 1997. ビューを基本とする動的地理情報メディア. AM/FM INTERNATIONAL 日本 第 8 回 コンファレンス, 福岡, 67-74.
- 有川正俊, 1998. 仮想地球: GIS と VR の融合. 地籍フェア'98 in やまなし. (社) 全国国土調査協会.
- 有川正俊, 2000. G-XML のプロトコルとプロトタイプについて. アドバンスト・データベース・シンポジウム 1999, 情報処理学会, IPSJ Symposium Series 99-19, 191-200.
- 有川正俊, 2000. 地図情報データ活用のための相互運用のあり方と今後の方向ー非言語コミュニケーションと G-XMLー. ワイヤレス&モバイル戦略特別セミナー, GIS インターオペラビリティー相互運用技術の比較と実際ー, 新社会システム総合研究所.
- 有川正俊, 2000. 空間データと映像の融合. '99 最新技術フォーラム, 第 2 回次世代データベースと GIS・インターネットシンポジウム ~電子政府と空間データ~, 関西データベース協議会.
- 有川正俊, 久保田光一, 2000. G-XML の概要ーGIS コンテンツの相互流通の実現に向けてー. 招待論文, 電子情報通信学会, 「人工知能と知識処理」研究会技法, AI2000-36 (2000-09), 33-40.
- Arikawa, M., Kubota, K., 2000. A standard XML based protocol for spatial data exchange - its capabilities and real applications. Invited Paper, International Workshop on Emerging Technologies for Geo-based Applications, 37-45.
- 有川正俊, 2001. GIS を超える新しいコンセプト「S-IT」. 基調講演, 新社会情報研究所株式会社, マルチメディア&グローバル戦略特別セミナー, 明治記念館.
- Arikawa, M., Sagara, T., 2001. CSIS clearinghouse for academic research communities in Japan. Invited talk, Proceedings of International Conference on Dublin Core and Metadata Applications 2001 (DC-2001), National Institute of Informatics, Tokyo, Japan, 283-286.
- 有川正俊, 2002. 地理情報システムの標準化と今後の展望. 招待講演, 情報処理学会, グループウェアとネットワークサービス研究会, 43-1, 香川大学, 1-6.

ーチュートリアル

- 有川正俊, 1997. 地理情報システムにおける空間表現・ユーザインタフェース. 日本ソフトウェア科学会, チュートリアル「地理情報システム」, 京都リサーチパーク.
- 有川正俊, 1999. デジタルアース: 空間データ基盤と視覚化インタフェース. 電子情報通信学会 データ工学専門委員会, 第 10 回データ工学ワークショップ, チュートリアル.
- 有川正俊, 2000. 地理空間データベースとデジタルアース. 第 49 回システム制御情報講習会, 情報の高度利用技術, ~21 世紀の情報社会を生きる知恵~, システム制御情報学会, 33-40.

ー講演

- Arikawa, M., 1997. Towards augmented reality for GIS. Collquium, Department of Geography, UCSB, USA.
- Arikawa, M., 1998. Spatial hypermedia as augmented reality based on spatial information bases. Institute of Applied Computer Science and Information Systems, University of Vienna, Austria.
- 有川正俊, 1999. G-XML のプロトコルについて. GIS 講演会「G-XML の可能性」, DATABASE '99 TOKYO, 朝日ホール, 有楽町.
- 有川正俊, 1999. G-XML による空間データ交換の流通のしくみ. 公式標準シンポジウム ~ 空間情報の標準化とそのインパクト~, 主催: 国土空間データ基盤推進協議会 (NSDIPA).
- 有川正俊, 2000. G-XML プロジェクトの概要. 平成 11 年度地理情報システム研究集会, (財) 日本地図センター, 後援: 建設省国土地理院・日本国際地図学会, 81-88.
- 有川正俊, 2000. G-XML の概要. 第 4 回遺跡 GIS 研究会, 空間情報標準と遺跡 GIS, 奈良国立文化財研究所.
- 有川正俊, 2000. G-XML プロトコルーその全体像ー. G-XML 実用化連絡会, PEPIA ホール, データベース振興センター.
- 有川正俊, 2000. G-XML の概要. 平成 11 年度院内 GIS 勉強会, 国土地理院企画部地理情報システム推進室.
- 有川正俊, 2000. 空間情報によるマルチメディアの新しい展開. 東京大学, 駒場オープンハウス.
- 有川正俊, 2000. 空間コンテンツ流通の普及と市民参加型 GIS. 新社会情報研究所株式会社, マルチメディア&グローバル戦略特別セミナー, 電子自治体と GIS の推進動向.
- 有川正俊, 2000. 空間コンテンツ流通をめざす G-XML の現状とねらい. 空間情報科学研究センター主催 第 3 回シンポジウム:「空間情報科学の深化」, 東京大学 本郷キャンパス 山上会館.
- 有川正俊, 2000. 空間コンテンツ循環のための市民参加型 GIS の枠組み作り. 第 3 回目道路サロン (9 月), 『道路の情報化に関する新政策研究会』.

- 有川正俊, 2000. 空間コンテンツ流通をめざす G-XML の現状とねらい. GIS 標準化に関する連続ワークショップ, 主催 東京大学 空間情報科学研究センター, 土木学会 情報システム委員会 国土情報活用小委員会, 東大生産研第一, 第二会議室.
- 有川正俊, 2000. 空間情報コンテンツの相互流通の実現をめざす G-XML. AM/FM International Japan, GITA/J (Geospatial Information & Technology Association Japan), 測量年金会館.
- 有川正俊, 2000. G-XML の現状と可能性ー空間コンテンツ流通の普及への第一歩ー, デジタルアースアソシエーション, 札幌.
- 有川正俊, 2000. GIS コミュニティ育成のための CSIS の研究活動. ミレニアムシンポジウム「IT 革命と GISー21 世紀へのビジョンー」, 主催 京都府立大学 GIS 研究会・地理情報システム学会, 後援 財団法人京都府立大学学術振興会, 京都府, 国土空間データ基盤推進協議会, キャンパスプラザ京都.
- Arikawa, M., 2000. A XML based spatial data description language "G-XML" - Its capability of exchanging spatial data on Internet -. GPS Symposium '01 in Tokyo, The 3rd Asia Pacific Rim Meeting, International Information Subcommittee (IISC), Civil GPS Service Interface Committee (CGSIC).
- Arikawa, M., 2000. Clearing house and meta data at CSIS. Workshop and Training on Meta Data and Clearing House, Sponsored by Center for South East Asian Studies, Kyoto University, Cooperated with EROS Data Center, USGS.
- 有川正俊, 2001. 空間データ交換のための記述規格 G-XML の現状と今後の展開. 特集: 位置情報システムのモバイルコンピューティングへの応用と最新動向, 日本テクノセンター.
- 有川正俊, 2002. 空間 IT とヒューマンナビ. ACM SIGMOD 日本支部, 第 21 回大会, 学術総合センター.
- Arikawa, M., 2002. Spatial media fusion project. Wuhan University, State Key Lab of Software Engineering.

2. 2001 年度 活動記録

* 主要研究テーマ

1) マルチメディア・コンテンツの高次処理の研究

連続メディアを対象に半構造化手法を用いた次世代データベース技術の体系化の研究を行った(大阪大学 西尾章治郎教授, 龍谷大学 有木康雄教授, 大阪大学 岸野文郎教授, 京都大学 田中克己教授, 大阪大学 塚本昌彦助教授らとの共同研究. 日本学術振興会未来開拓学術研究推進事業「知能情報・高度情報処理分野」の研究プロジェクト).

2) 分散位置情報サービスと空間コンテンツ融合に関する研究

インターネットにおける健全な空間情報流通の基礎となる空間情報技術の研究を行った(相良 毅助手との共同研究. 平成 13 年度 科学研究費「特定領域研究」, IT の深化の基盤を拓く情報学研究のプロジェクト).

3) G-XML の研究

XML を用いた空間データ流通のための標準プロトコル (G-XML) の標準化とこれに準拠したアプリケーションの開発に関する研究を行った (G-XML 標準化検討委員会の委員として, 他の委員と共同研究を行った. G-XML 機能拡張検討小委員会では委員長を務めた).

4) GIS 学術情報ポータルサイト GISSchool の研究

CSIS の学術空間データ基盤の一環として, 知識共有のためのポータルサイトの設計, 実装, 運用を行った(科学技術振興調整費 知的基盤整備推進制度, 研究領域名: 知的基盤整備に関する情報のデータベース化に関する研究開発, 研究課題名: 空間情報科学の確立のための空間情報のデータベース化に関する研究開発, の研究プロジェクトとして).

5) クリアリングハウスとデータ共用システムの研究

CSIS のクリアリングハウスとデータ共用システムの研究を実運用面から研究を行った(科学技術振興調整費 知的基盤整備推進制度, 研究領域名: 知的基盤整備に関する情報のデータベース化に関する研究開発, 研究課題名: 空間情報科学の確立のための空間情報のデータベース化に関する研究開発, の研究プロジェクトとして).

6) 人文社会科学のための空間データ管理・共用・伝達システムの開発

空間データの変換・交換・管理・共用に関わる問題点を解決することを目的とし, 空間データの自動変換と推定を行う空間データ交換・管理・共用システムと, 動的空間データを適切な方法で表示・伝達するための動的空間データ伝達システムの二つのシステムを開発する研究を行った(文部省科学研究費補助金特定領域研究 (B), 人文社会科学の空間情報科学の体系化, の研究プロジェクトとして).

7) インターネット上の遠隔ライブ映像を利用した拡張現実感の研究

インターネットを伝送させ, 遠隔操作可能なライブ映像と空間オブジェクトを合成した映像をハイパーメディア化する研究を行った(九州大学情報基盤センター 岡村耕二助教授との共同研究).

8) 日中共同プロジェクト

本研究プロジェクトでは, 時間的な推移が記述されて過去の状況がいつでも参照できる時空間情報システムの構築及び実用化を目指し, そのための基盤となる技術を開発する. さらに, 中国と連携して, 日中双方に重要である環境・防災関連等の時空間情報の国際的な共有を実現するため, 日中における時空間情報システムの相互運用及び時空間情報

の共有を実現するための技術的基盤を開発し、アジアの風土に根ざした「アジア版時空間情報システム」の構築を行う。(平成 13 年度科学技術振興調整費「環境・防災時空間情報システム基盤の日中共同研究」).

* 学会活動

地理情報システム学会 理事

地理情報システム学会 オブジェクト指向 GIS 分科会 主査

地理情報システム学会 GIS 学会学術委員会 副委員長

電子情報通信学会 データ工学研究専門委員会 副委員長

情報処理学会論文誌「データベース」 編集委員

情報処理学会 データベースシステム研究会 連絡委員

日本 VR 学会 サイバースペースと仮想都市研究会 連絡委員

International Conference on Data Warehousing and Knowledge Discovery (DaWaK) , プログラム委員長

Symposium on ASIA GIS 2001, プログラム委員

Third International Conference on Information Integration and Web-based Applications & Services (IIWAS2001) , プログラム委員

The Second International Conference on Web Information Systems Engineering (WISE'2001) , プログラム委員

データベースと Web 情報システムに関する IPSJ DBS/ACM SIGMOD Japan Chapter/ JSPS-FRTRF AMCP 合同シンポジウム (DBWeb2001) , プログラム委員

電子情報通信学会 第 13 回データ工学ワークショップ (DEWS2002) , プログラム委員

* 学外委員

G-XML プロトコル拡張検討小委員会, 委員長

G-XML 検討本委員会, 委員

G-XML プロトコル拡張検討小委員会 Working Group, 委員

地理情報応用スキーマ標準化調査研究委員会, 委員

大縮尺地図データの整備・利用に関する検討委員会, 委員

基盤技術研究促進センター, 成果管理評価員

* 担当授業

空間情報解析演習 (新領域創成科学研究科)

情報・システム工学 (教養学部)

*** 海外出張・研修**

01. 7. 28～8. 10 北京・香港, 中国. (中国国家リモートセンシングセンターならびに香港中文大学 地球信息科学総合実験室を訪問. 環境・防災システムの研究交流)
01. 9. 6～13 Linz, Austria. (Third International Conference on Information Integration and Web-based Applications & Services, IIWAS 2001 において発表).
02. 1. 19～24 San Jose, USA. (Electronic Imaging 2002, IS&T/SPIE Symposium において発表).
02. 2. 23～3. 2 北京・南京・上海・ウーハン, 中国. (中国国家リモートセンシングセンター・南京大学都市資源学科・東中国普通大学地理学科・武漢大学計算機科学科を訪問. 環境・防災システムの研究交流)

小口 高

空間情報解析部門 助教授

専門 地理情報科学, 地形学, 第四紀学, 水文学

1. 過去 5 年間の研究業績

* 査読論文

—原著論文

- Oguchi, T., 1997. Late Quaternary sediment budget in alluvial-fan—source-basin systems in Japan. *Journal of Quaternary Science*, 12, 381-390.
- Oguchi, T., 1997. Drainage density and relative relief in humid steep mountains with frequent slope failure. *Earth Surface Processes and Landforms*, 22, 107-120.
- Oguchi, T., 1997. Channel incision and sediment production in Japanese mountains in relation to past and future climatic change. Wang, S.S.Y., Langendoen, E.J., Shields, F.D., Jr. eds. *Management of Landscapes Disturbed by Channel Incision*. The University of Mississippi, Oxford, 867-872.
- Oguchi, T., Oguchi, C.T., 1998. Mid-Holocene floods of the Syrian Euphrates inferred from "tell" sediments. Benito, G., Baker, V.R., Gregory, K.J. eds. *Palaeohydrology and Environmental Change*. John Wiley and Sons, Chichester, 307-315.
- Oguchi, T., Tanaka, Y., 1998. Occurrence of extrazonal periglacial landforms in the lowlands of Western Japan and Korea. *Permafrost and Periglacial Processes*, 9, 285-294.
- Katsube, K., Oguchi, T., 1999. Altitudinal changes in slope angle and profile curvature in the Japan Alps: A hypothesis regarding a characteristic slope angle. *Geographical Review of Japan*, 72B, 63-72.
- Lin, Z., Oguchi, T., Duan, F., 1999. Topographic and climatic influences on population and soil in East to Southeast Asia: A GIS approach. *Geographical Review of Japan*, 72B, 181-192.
- Neal, C., Jarvie, H.P., Oguchi, T., 1999. Acid available particulate trace metals associated with suspended sediments in the Humber rivers: a regional assessment. *Hydrological Processes*, 13, 1117-1136.
- Nishiaki, Y., Koizumi, T., Le Miere, M., Oguchi, T., 1999. Prehistoric occupations at Tell Kosak Shamali, the Upper Euphrates, Syria. *Akkadica*, 113, 13-68.

- Jarvie, H.P., Oguchi, T., Neal, C., 2000. Pollution regimes and variability in river water quality across the Humber Catchment: interrogation and mapping of an extensive and highly heterogeneous spatial dataset. *The Science of the Total Environment*, 251/252, 27-43.
- Oguchi, T., Jarvie, H.P., Neal, C., 2000. River water quality in the Humber Catchment: An introduction using GIS-based mapping and analysis. *The Science of the Total Environment*, 251/252, 9-26.
- He, H., Oguchi, T., Zhou, R., Zhang, J., Qiao, S., 2001. Damage and seismic intensity of the 1996 Lijiang Earthquake, China: A GIS analysis. *Geographical Review of Japan*, 74B, 187-198.
- Jones, A.P., Shimazu, H., Oguchi, T., Okuno, M., Tokutake, M., 2001. Late Holocene slackwater deposits on the Nakagawa River, Tochigi Prefecture, Japan. *Geomorphology*, 39, 39-51.
- Kawabata, D., Oguchi, T., Katsube, K., 2001. Effects of geology on slope angles in the Southern Japanese Alps: A GIS approach. *Transactions, Japanese Geomorphological Union*, 22, 827-836.
- Oguchi, T., 2001. Geomorphology and GIS in Japan: background and characteristics. *GeoJournal*, 52, 195-202.
- Oguchi, T., 2001. Geomorphological and environmental settings of Tell Kosak Shamali, Syria. Nishiaki, N., Matsutani, T. eds. *Tell Kosak Shamali, the Archaeological Investigations on the Upper Euphrates, Syria: Vol. 1, Chalcolithic Architecture and the Earlier Prehistoric Remains*. Oxbow Books, Oxford, 19-40 (including the appendix section "Cartographic representation and data analyses using digital elevation models" by Oguchi, T., Duan, F., Belmont, L. and He, H.).
- Oguchi, T., Saito, K., Kadomura, H., Grossman, M., 2001. Fluvial geomorphology and paleohydrology in Japan. *Geomorphology*, 39, 3-19.
- Oguchi, T., Tanaka, Y., Kim, T.-H., Lin, Z., 2001. Large-scale landforms and hillslope processes in Japan and Korea. *Transactions, Japanese Geomorphological Union*, 22, 321-336.

一総説・解説

- 小口 高, 1998. アメリカ合衆国におけるGISを利用した地形学研究—5機関を例に—. *GIS—理論と応用*, 6-1, 75-80.
- 小口 高, 1999. ポーランドにおけるGISの現状—5機関を例に—. *GIS—理論と応用*, 7-2, 53-56.
- 小口 高, 齊藤享治, 原 美登里, 門村 浩, 林 舟, 2000. 扇状地データベース—インターネット・マップ・サーバーによる地理情報の提供—. *地学雑誌*, 109, 120-125.
- Siakeu, J., Oguchi, T., 2000. Soil erosion analysis and modelling: A review. *Transactions, Japanese Geomorphological Union*, 21, 413-429.
- 林 舟, 小口 高, 2002. 地形学における写真測量法の応用—欧米の事例を中心に—. *地学雑誌*, 111, 1-15.

* 非査読論文

ー原著論文

- Oguchi, T., 1997. Hypsometry of the Japanese Islands based on the 11.25"×7.5" digital elevation model. Bulletin of the Department of Geography, University of Tokyo, 29, 1-9.
- Oguchi, T., 1997. Climatological and hydrological controls on the magnitude of post-glacial gullying in Japanese mountains. Komazawa Journal of Geography, 33, 145-156.
- 斉藤享治, 小口 高, 1998. ポーランド河川沿岸都市の土地条件. 地理学研究報告 (埼玉大学教育学部), 18, 12-17.
- 小口 高, 斉藤享治, 1999. ポーランドにおける歴史的景観の分布と自然・人文環境ーGISによる分析ー. 地理学研究報告 (埼玉大学教育学部), 19, 41-59.
- 小口 高, 斉藤享治, 原 美登里, 1999. インターネットGISを活用したポーランドの歴史的景観データベース. 地理学研究報告 (埼玉大学教育学部), 19, 75-84.

ー総説・解説

- 小口 高, 2000. 地理情報とインターネット GIS. 歴史と地理, No.533, 15-22.
- 小口 高, 2001. 地形学から GIS へ. 地理, 46-6, 16-17.
- 何 宏林, 小口 高, 2001. GIS ソフト評論ーCartaLinx: the Spatial Data Builder. 地理, 46-12, 76-77.
- 高橋昭子, 小口 高, 2001. GIS ソフト評論ーHTML ImageMapper 3.0. 地理, 46-7, 122-123.

* 書籍

- 小口 高, 1998. 岡田博有, 相原安津夫, 歌田 実, 青柳宏一, 志岐常正, 水野篤行 (編) 「堆積学辞典」朝倉書店のうち「丘陵」「クサリ礫」「扇状地」「台地」「段丘」「沖積作用」「沖積平野」「平野」「盆地」「埋没地形」の項.
- 小口 高, 勝部圭一, 2000. 細密DEMを用いた地形解析. 杉盛啓明, 青木賢人, 鈴木康弘, 小口 高編「デジタル観測手法を統合した里山のGIS解析」中日新聞社, 19-26.
- 小口 高, 杉盛啓明, 2000. 東京大学空間情報科学研究センターにおける里山研究プロジェクトの位置づけ. 杉盛啓明, 青木賢人, 鈴木康弘, 小口 高編「デジタル観測手法を統合した里山のGIS解析」中日新聞社, 84-85.
- 杉盛啓明, 青木賢人, 鈴木康弘, 小口 高編, 2000. 「デジタル観測手法を統合した里山のGIS解析」中日新聞社, 85p.
- 小口 高, 2001. 地形学とGIS. 高阪宏行, 村山裕司編「GISー地理学への貢献」古今書院, 24-37.
- 小口 高, 2001. 山地における斜面変化と土砂移動. 米倉伸之, 貝塚爽平, 野上道男, 鎮西清高編「日本の地形1ー総説」東京大学出版会, 163-169.

* 報告書・資料

- 小口 高, 1997. 数値地図250mメッシュ (標高) に基づく日本島の面積高度曲線. 米倉伸之 (編), 東アジアにおける長期環境変化に関する研究, 平成7-8年度東京大学大学院理学系研究科特定研究成果報告書, 29-40.
- 小口 高, 1997. 数値地図 (標高) を用いた地形陰影のシミュレーションとリニアメントの抽出. 米倉伸之 (編), 東アジアにおける長期環境変化に関する研究, 平成7-8年度東京大学大学院理学系研究科特定研究成果報告書, 41-50.
- 小口 高, 青木賢人, 松多信尚, 1997. 飛騨山脈内の活断層「烏川断層」一変位速度の推定と氷河編年上の意義一. 米倉伸之 (編), 東アジアにおける長期環境変化に関する研究. 平成7-8年度東京大学大学院理学系研究科特定研究成果報告書, 51-58.
- 斉藤享治, 田中幸哉, 松本 淳, 小口 高, 栗栖晋二, 中新田育子, 安形 康, 松本康裕, 梶原 誠, 丸田英一, 石田 武, 日下 智, 1997. 木曾川支流・濁川流域の段丘分布. 地理学研究報告 (埼玉大学教育学部), 17, 68-69.
- Grossman, M., Oguchi, T., Kadomura, H., eds., 1998. Abstracts of Conference Papers. Third International Meeting on Global Continental Paleohydrology: GLOCOPH '98, Kumagaya, Japan, 123pp.
- Oguchi, T., Shimazu, H., Nakashinden, I., Grossman, M., eds., 1998. Present-day Geomorphic Processes and Paleohydrology in Central Japan: The Japan Alps and Vicinity. Post-Conference Field Trip Guide, Third International Meeting on Global Continental Paleohydrology: GLOCOPH '98, Kumagaya, Japan, 78pp.
- Saito, K., Oguchi, T., Grossman, M., 1998. Lists of historical landscapes in Polish towns and villages. Occasional Paper of Department of Geography, Saitama University, 18, 25-51.
- 小口 高, 勝部圭一, 1999. 5mメッシュDEMによる丘陵地の地形解析の新展開. 愛知県企画部: 近未来社会対応型情報通信産業振興事業 近未来型社会に対応する地域環境シミュレーションシステムの構築, 平成10年度成果報告書, (2-2) 1-33.
- 小口 高, 2000. GISを活用した日本とフランスの河川地形の比較研究. 福武学術文化振興財団 平成11年度年報, 99-104.
- 小口 高, 林 舟, 佐野滋樹, 勝部圭一, 鈴木康弘, 2000. 南アルプスの「赤崩」に関する細密DEMの作成と解析. 京都大学防災研究所共同研究 (11G-4) 報告書「GISを活用した中部山岳地域南部における土砂流出の研究」, 35-46.
- 勝部圭一, 小口 高, 2000. 中部山岳地域における斜面傾斜と曲率の高度変化一典型的な斜面傾斜に関する仮説一. 京都大学防災研究所共同研究 (11G-4) 報告書「GISを活用した中部山岳地域南部における土砂流出の研究」, 47-50.
- 青木賢人, シアク=ジャン, 小口 高, 2001. 補間法による国勢調査人口メッシュデータの座標変換. 厚生省科学研究費 (課題番号H12-政策-014) 報告書「地理情報システムを用いた地域人口動態の規定要因に関する研究」, 25-44.

- 小口 高, 近藤昭彦, 2001. 分散配置されたGISデータベースの統合利用に関する研究. 第4回CEReS環境リモートセンシングシンポジウム資料集, 153-162.
- 小口 高, 青木賢人, シアク=ジャン, 2001. 首都圏とその周辺部における標高・傾斜と人口密度との関係—GISによる分析—. 厚生省科学研究費(課題番号H12-政策-014)報告書「地理情報システムを用いた地域人口動態の規定要因に関する研究」, 47-66.
- 武者忠彦, 江崎雄治, 西岡八郎, 青木賢人, 小口 高, 2001. GISを援用した人口分析とその応用. 厚生省科学研究費(課題番号H12-政策-014)報告書「地理情報システムを用いた地域人口動態の規定要因に関する研究」, 9-21.
- Oguchi, T., Aoki, T., Katsube, K., 2001. Geomorphology of the Central Japanese Alps. In: Onda, Y., Oguchi, T., Tsujimura, M. and Sugimori, H., eds., Mountain Environments, Field Experiments in Hydro-geomorphology and Rock Control in Central Japan. Field Trip B3 Guide Book, 5th International Conference on Geomorphology, 3-5, 12-18.

*** 国際学会発表**

- Oguchi, T., 1997. Broad occurrence of extrazonal periglacial landforms in the lowlands of western Japan and Korea. Abstracts, Fourth International Geomorphology Conference, Bologna, Italy, 289-290.
- Jones, A.P., Shimazu, H., Oguchi, T., 1998. Holocene slack-water deposits on the Nakagawa River, Tochigi Prefecture, Japan. Abstracts, Third International Meeting on Global Continental Palaeohydrology GLOCOPH '98, Kumagaya, Japan, 59-60.
- Komatsu, G., Baker, V.R., Grosswald, M.G., Oguchi, T., 1998. Paleo-drainage systems of Northern Eurasia. Abstracts, Third International Meeting on Global Continental Palaeohydrology GLOCOPH '98, Kumagaya, Japan, 43.
- Oguchi, T., Saito, K., 1998. Fluvial geomorphology in Japan in relation to modern and paleohydrology. Abstracts, Third International Meeting on Global Continental Palaeohydrology GLOCOPH '98, Kumagaya, Japan, 6.
- Oguchi, T., Komatsu, G., Baker, V.R., 1998. Channels on the plateaus along the Valles Marineris and their paleohydrological implications. Abstract, 29th Lunar and Planetary Science Conference, Houston, USA (CD-ROM).
- Oguchi, T., Saito, K., Shimazu, H., Kashima, K., Inoue, K., Grossman, M., Kadomura, H., 1998. A paleohydrological database for Japan. Abstracts, Third International Meeting on Global Continental Palaeohydrology GLOCOPH '98, Kumagaya, Japan, 97.
- Oguchi, T., Tanaka, Y., Lin, Z., Duan, F., 1999. Hillslope forms and processes in Japan and Korea. Proceedings, Korea-Japan/Japan-Korea Geomorphological Conference, Chonju, Korea, 28-31.

- Kimura, K., Kumamoto, T., Suzuki, Y., Handa, N., Oguchi, T., Sugimori, H., Onda, Y., 2000. Vegetation change and its reasons in the suburban forest for recent 50 years: An example about the suburban forest in the east of Nagoya City, the central part of Japan. Abstracts, 29th International Geographical Congress, Seoul, Korea, 247-248.
- Oguchi, T., He, H., Lin, Z., Duan, F., Saito, K. 2000. Global GIS data as a bridge between human and physical geography. Global Mapping Forum 2000, Hiroshima, Japan (CD-ROM).
- Oguchi, T., Katsube, K., Saito, K., Kadomura, H. 2000. Presenting information about fluvial geomorphology and paleohydrology using an Internet map server. Abstracts, Fourth International Meeting on Global Continental Palaeohydrology GLOCOPH 2000, Moscow, Russia, 113-115.
- Oguchi, T., Suzuki, Y., Kimura, K., Handa, N., Onda, Y., Itokazu, T., Sugimori, H., Katsube, K., Yamamoto, K., Kumamoto, T., 2000. Toward modeling decade-scale hydrological responses to vegetation change: GIS and remote sensing applications to a Japanese hilly land. Abstracts, Fourth International Meeting on Global Continental Palaeohydrology GLOCOPH 2000, Moscow, Russia, 105.
- Lin, Z., Oguchi, T., Sano, S., 2001. Photogrammetric analysis of channelization on bare lands caused by hazards. Abstracts, Fifth International Geomorphology Conference, Tokyo, Japan, C-140.
- Oguchi, T., Katsube, K., He, H., Lin, Z., 2001. Automatic detection of hillslopes subjected to postglacial hillslope incision based on high-resolution DEMs. Proceedings, 1st ALOS PI Workshop, Tokyo, Japan, 95-97.
- Oguchi, T., Oguchi, C.T., 2001. Geomorphic processes, environmental change, and Paleolithic human activities at the Dederiyeh Cave, Syria. Abstracts, Fifth International Geomorphology Conference, Tokyo, Japan, C-174.
- Oguchi, T., Saito, K., Kadomura, H., Aoki, H. 2001. Presenting geomorphological data for Japan using an Internet map server. Abstracts, Fifth International Geomorphology Conference, Tokyo, Japan, C-173.
- Siakeu, J., Oguchi, T., Aoki, T., Esaki, Y., 2001. Effects of rapid urbanization on suspended concentration in Japanese rivers: A GIS analysis. Abstracts, Fifth International Geomorphology Conference, Tokyo, Japan, C-221.
- Sugimori, H., Onda, Y., Sidle, R.C., Wu, W., Dhakal, A.S., Kimura, K., Itokazu, T., Oguchi, T., 2001. A contour based distributed hydrological model to simulate effects of vegetation recovery on runoff processes. Abstracts, Fifth International Geomorphology Conference, Tokyo, Japan, C-229.
- Suzuki, Y., Oguchi, T., Onda, Y., Sugimori, H., Itokazu, T., Katsube, K., Kimura, K., Aoki, T., Kumamoto, Y., Yamamoto, K., Masaoka, N., Handa, N. 2001. An integrated approach to hydrogeomorphology in a Japanese hilly land. Abstracts, Fifth International Geomorphology Conference, Tokyo, Japan, C-233.

* 国内学会発表

- 小口 高, Komatsu, G., Baker, V.R., 1998. 火星の河成地形—特徴と古水文学的意義—. 地形, 18, 295.
- 小口 高, Komatsu, G., Baker, V.R., 1998. 火星のOphir Planumに分布する河成地形の特徴と形成時期. 1998年地球惑星物理関連学会合同大会予稿集, 56.
- 小口 高, 1999. 地理情報システムを活用した土砂流出解析. シンポジウム'99「明日をめざす科学技術」土砂災害研究シンポジウム講演要旨集, 科学技術庁, 14.
- 小口 高, 勝部圭一, 杉盛啓明, 佐野滋樹, 柚原正幸, 鈴木康弘, 1999. 5mメッシュDEMの解析—愛知万博開催予定地付近を例に— (第一報). 地形, 19, 497.
- 小口 高, Jarvie, H.P., Neal, C., 1999. LOISデータベースとGISを活用した英国ハンバー川流域の水質分布解析 (第1報). 日本地理学会発表要旨集, No.55, 178-179.
- 勝部圭一, 小口 高, 1999. 50m DEMを用いた飛騨・木曾・赤石山脈の地形計測. 地形, 19, 496-497.
- 斉藤享治, 小口 高, 1999. ポーランド河川沿岸都市の土地条件. 日本地理学会予稿集, No.53, 182-183.
- 小口 高, 2000. 地形学とGIS. 日本地理学会発表要旨集, No.57, 60-61.
- 小口 高, 斉藤享治, 原 美登里, 門村 浩, 林 舟, 2000. GISとインターネット・マップ・サーバを活用した地形学情報の提供. 地形, 21, 373.
- 木村圭司, 鈴木康弘, 半田暢彦, 小口 高, 杉盛啓明, 恩田裕一, 隈元 崇, 地域環境GIS研究会, 2000. 里山における過去50年間の植生変化とその要因—愛知万博予定地付近を例として—. 日本地理学会発表要旨集, No.57, 226-227.
- 鈴木康弘, 木村圭司, 半田暢彦, 小口 高, 杉盛啓明, 恩田裕一, 隈元 崇, 地域環境GIS研究会, 2000. 先端的リモートセンシング技術による森林成長計測とその意義—愛知万博予定地周辺の里山の解析—. 日本地理学会発表要旨集, No.57, 474-475.
- 原 美登里, 小口 高, 2000. 河川流域の水環境データベースに関する地理学的研究—神奈川県相模川・鶴見川流域の事例—. 日本地理学会発表要旨集, No.58, 190-191.
- 杉盛啓明, 木村圭司, 小口 高, 鈴木康弘, 2001. GISを用いた丘陵地の流域分類と流出解析—多摩川流域における研究 その1—. 日本地理学会発表要旨集, No.59, 70.

* その他

—座談会

- 鈴木隆介, 小口 高, 恩田裕一, 2000. 座談会 東京で国際地形会議が開かれる—2001年夏. 地理, 45-9, 51-66.

一 地形解説

- アリソン＝ジョーンズ, 小口 高, 杉山史典, 2000. 噴火後の雲仙岳. 地形, 21-2, 表紙とその裏面.
- 大内俊二, 小口 高, 徳村公昭, 近藤忠彦, 村手直明, 2000. 立山火山の侵食カルデラ. 地形, 21-4, 表紙とその裏面.
- 小口 高, 杉山史典, 2000. 草津白根火山の山頂部. 地形, 21-1, 表紙とその裏面.
- 田中幸哉, 小口 高, 徳村公昭, 近藤忠彦, 村手直明, 2000. 明神崎と陸繋島. 地形, 21-3, 表紙とその裏面.
- 小口 高, 2001. 扇状地―百瀬川<滋賀県高島郡>. 地理・地図資料, 6月号付録, No.3.
- 小口 高, 2001. U字谷―ラウターブルンネン<スイス>. 地理・地図資料, 6月号付録, No.7.
- 近藤昭彦, 松本 淳, 小口 高, マイケル＝グロスマン, 2001. 東アジアのNOAA/AVHRR 画像 (1998年9月9日14時撮影). 地形, 22-3, 表紙とその裏面.
- 鈴木隆介, 小口 高, 徳村公昭, 近藤忠彦, 村手直明, 2001. 富士山, 愛鷹山および浮島原低地 (南東から望む). 地形, 22-1, 表紙とその裏面.
- 松岡憲知, 小口 高, 2001. 南アルプス間の岳. 地形, 22-5, 表紙とその裏面.
- 横山勝三, 小口 高, 杉山史典, 2001. 活動する三宅島 (2000年10月, 北側から望む). 地形, 22-2, 表紙とその裏面.
- 小林 詢, 小口 高, マイケル＝グロスマン, 徳村公昭, 近藤忠彦, 村手直明, 2002. 長野盆地を北流する千曲川. 地形, 23-1, 表紙とその裏面.

一 書評

- 小口 高, 1997. Millington, A.C., Pye, K. eds. Environmental Change in Drylands: Biogeographical and Geomorphological Perspectives, Wiley. 地形, 18, 389-390.
- 小口 高, 2000. 渡辺満久, 鈴木康弘「活断層地形判読―空中写真による活断層の認定―」古今書院. 地形, 21, 78-79.
- 小口 高, 2001. 貝塚爽平・太田陽子ほか編著「日本の地形」林業技術, No.710, 38-39.
- 小口 高, 2001. 米倉伸之「海と陸の間で―地理学とともに地球を歩く―」地形, 22, 905-906.

2. 2001年度活動記録

* 主要研究テーマ

1) アジアの地形環境に関する研究

デジタル標高モデル (DEM) を用いた地形解析を日本や韓半島等について行った (韓国慶熙大学 田中幸哉氏らとの共同研究) .

2) イギリス東部における河川水質の研究

英国水文学研究所が収集したイングランド東部のハンバー川流域における河川水質データをGISにより解析し、河川水質の規定要因を検討した（英国水文学研究所 Dr. Helen Jarvieらとの共同研究）。

3) 中国の地震被害分析

中国雲南省麗江で1996年に生じた地震災害の被害分布と地震の強度について、GISを利用した解析を行った（日本学術振興会外国人特別研究員 何 宏林氏らとの共同研究）。

4) 全球古水文学データベースの作成

文部省科学研究費を用いて、世界の古水文環境に関する文献情報データベースを作成し、インターネット・マップ・サーバを利用した公開を開始した（立正大学地球環境科学部門村 浩氏らとの共同研究）。

5) 首都圏における人口動態の研究

厚生科研費を用いて、首都圏の人口動態とそれを規定する要因を、地形の効果に注目して分析した（厚生労働省人口研究所 江崎雄治氏らとの共同研究）。

6) 丘陵地の自然環境解析

文部省科学研究費および東急環境浄化財団助成金を用いて、愛知県瀬戸地域および東京の丘陵地における地形・水文・植生環境に関するデータを収集し、GISによる解析を行った（愛知県立大学地域情報学部 鈴木康弘氏らとの共同研究）。

7) データベースの統合利用に関する研究

遠隔配置された自然環境データベースをweb上で統合利用する手法に関する検討を行った（千葉大学環境リモートセンシング研究センター 近藤昭彦氏との共同研究）。

*** 学会活動**

Member of Editorial Board: *Catena* (Elsevier)

Member of Editorial Board: *Geomorphology* (Elsevier)

日本地理学会 編集専門委員

日本地形学連合 編集幹事

地理情報システム学会 学術委員

地理情報システム学会 理事

日本地形学連合 運営委員

日本地理学会 国立地図学博物館設立推進委員

Secretary, 5th International Conference on Geomorphology, Tokyo

Symposium organizer of “Geomorphic Impacts of Rapid Environmental Change” at 5th International Conference on Geomorphology, Tokyo

*** 学内委員**

次世代科学総合研究機構WG委員

*** 学外研究員**

独立行政法人防災科学技術研究所 客員研究員

*** 担当授業**

地理情報学 (理学部地学科)

地理情報学実習 (理学部地学科)

地域生態学 (教養学部, 輪講)

地理情報学 (大学院理学系研究科)

環境情報学 (大学院新領域創成科学研究科)

環境情報学実習 (大学院新領域創成科学研究科)

情報地形学 (金沢大学理学部・同大学院理学系研究科)

地理学特殊講義Ⅱ (福井大学教育地域科学部)

*** 海外出張・研修**

01.9.17~10.4 シリア (調査)

城所幸弘

時空間社会経済システム部門 助教授

専門 都市経済学, 規制の経済学

1. 過去 5 年間の研究業績

* 査読論文

ー原著論文

城所幸弘, 1997. 公正報酬率規制と首都圏私鉄のレートベースー簿価評価と時価評価ー.
応用地域学研究, 2, 37-52.

Kidokoro, Y., 1998. Rate-of-return regulation and rate base valuation. *Regional Science and Urban Economics*, 28, 629-654.

Kidokoro, Y., 2002. The effects of regulatory reform on quality. *Journal of the Japanese and International Economies*, 16, 135-146.

城所幸弘, 2002. 費用便益分析再論ーネットワークに焦点を当ててー. 交通学研究 2001 年度研究年報, 87-96.

城所幸弘, 2002. ネットワークに対する費用便益分析ー理論と実務への応用ー. 運輸政策研究, 4-4, 2-10.

* 非査読論文

ー原著論文

Kidokoro, Y., 1997. Rate-of-return regulation, price-cap regulation, and quality. *ISER Discussion Paper (Osaka University)*, 446, 1-33.

Kidokoro, Y., 1997. Rate-of-return and price-cap regulations for urban railways. *ISER Discussion Paper (Osaka University)*, 449, 1-50.

城所幸弘, 1997. 公正報酬率規制とレートベースの評価. 日交研シリーズ, A-225, 1-24.

城所幸弘, 1998. 独占企業に対する price-based な規制と cost-based な規制ー財の質を考慮した場合ー. 日交研シリーズ, A-249, 1-28.

城所幸弘, 1998. 非対称情報下における公益事業に対する最適規制ー財の質を考慮した場合ー. 日交研シリーズ, A-259, 1-21.

Kidokoro, Y., 1998. Regulating a monopoly with quality choice under asymmetric information. *ISER Discussion Paper (Osaka University)*, 462, 1-24.

金本良嗣, 城所幸弘, 1999. 公共工事の発注システム. 金本良嗣 (編)「日本の建設産業」
日本経済新聞社, 69-134.

Kidokoro, Y., 1999. Price-based and cost-based regulations for a monopoly with quality choice. *CSIS Discussion Paper (University of Tokyo)*, 14, 1-38.

Kidokoro, Y., 1999. Regulation of quality for public utilities under asymmetric information. CSIS Discussion Paper (University of Tokyo), 15, 1-37.

城所幸弘, 2001. ネットワークに対する費用便益分析. 日交研シリーズ, A-297, 2章, 2-1 - 2-24.

城所幸弘, 2001. ネットワークに対する費用便益分析—理論的基礎—. 国土交通政策研究 第5号, 1-22.

Kidokoro, Y., 2001. Regulatory reform and the congestion of urban railways. CSIS Discussion Paper (University of Tokyo), 40, 1-33.

* 国内学会発表

—日本経済学会

城所幸弘, 1997. Rate-of-return regulation, price-cap regulation, and quality. 早稲田大学.

城所幸弘, 1998. Regulating a monopoly with quality choice under asymmetric information. 立命館大学.

城所幸弘, 1999. Price-based and cost-based regulations for a monopoly with quality choice. 東京大学.

城所幸弘, 2000. ネットワークに対する費用便益分析. 大阪府立大学.

—応用地域学会

城所幸弘, 1997. Rate-of-return and price-cap regulations for urban railways. 早稲田大学.

城所幸弘, 1998. 財の質を考慮した場合の独占企業に対するプライスキャップ規制とコストプラス規制の厚生分析. 大阪商業大学.

城所幸弘, 2000. ボトルネックが存在するネットワークに対する費用便益分析. 筑波大学.

—日本交通学会

城所幸弘, 2001. ネットワークに対する費用便益分析—理論と実務への応用—. 大阪市立大学.

2. 2001 年度活動記録

* 主要研究テーマ

1) ネットワークを考慮した費用便益分析の研究

ネットワークを明示的に考慮したモデルを使って、ネットワークに対する投資がどこにどれだけの便益を生むかを分析し、現在行われている便益評価が誤った結果をもたらす可能性があることを示した。

2) 都市鉄道に対する規制政策の研究

都市鉄道に対する様々な規制政策と鉄道料金、混雑等の関係を分析し、混雑緩和に資する規制方式を導出した。

3) 財の質を考慮した場合の、現実の規制政策の研究

現在日本で用いられている、費用に基づく規制と価格に基づく規制を、2つのタイプの財の質（企業努力によって上昇する財の質と設備投資によって上昇する財の質）を明示的に区別した経済学のモデルを構築して、比較検討した。

* 学内委員

柏地区キャンパス整備委員

* 担当授業

空間情報解析演習（新領域創成科学研究科）

瀬崎 薫

空間情報システム部門 助教授

専門 通信ネットワーク工学, マルチモーダルコミュニケーション, コンテキストアウト
エアサービス

1. 2001 年度までの研究業績

* 査読論文

ー原著論文

- 田中良明, 瀬崎 薫, 秋山 稔, 1987. 縦続構成多重接続スイッチ回路網. 電子情報通信学会論文誌 B, J70-B, 41-47.
- 田中良明, 瀬崎 薫, 秋山 稔, 1987. 多対一接続 3 段スイッチ回路網. 電子情報通信学会論文誌 B, J70-B, 179-185.
- Sezaki, K., Tanaka, Y., Akiyama, M., 1987. Configuration of non-blocking multiconnection switching networks. Proceedings of JC-CNSS1987.
- 田中良明, 瀬崎 薫, 秋山 稔, 1989. 木状構成多対一接続スイッチ回路網. 電子情報通信学会論文誌 B-1, J72-B-I, 468-475.
- 田中良明, 瀬崎 薫, 秋山 稔, 1989. 一般ベネス網の非ふくそうセルフルーティング制御. 電子情報通信学会論文誌 B-1, J72-B-I, 1028-1033.
- Sezaki, K., Tanaka, Y., Akiyama, M., 1989. N:1 connection switching networks suited for time division switching. Proceedings of ITC Specialist Seminar 18.2, 1-8.
- Mori, K., Sezaki, K., Yasuda, Y., 1990. A new network architecture for metropolitan area networks. Proceedings of 1990 IEEE MAN Workshop, 1-4.
- Sezaki, K., Yasuda, Y., 1990. ATM switching network with the function of transparent bridge for multi point conference. Proceedings of 1990 JC-CNSS, A-3.
- Sezaki, K., Tanaka, Y., Akiyama, M., 1990. N:1 connection switching networks suited for time division switching. Computer networks and ISDN Systems, 20, 383-389.
- Sezaki, K., Tanaka, Y., Akiyama, M., 1990. The cascade close broadcast switching Network—A new ATM switching network which is multiconnection non-blocking. Proceedings of 13th ISS, A6.6.
- Zhao, W.B., Sezaki, K., Yasuda, Y., 1990. Adaptive routing and control algorithms for the highly reliable bi-directional shuffle ring network. IEICE Transactions, E73, 1696-1703.
- Sezaki, K., Tanaka, Y., Akiyama, M., 1991. A new ATM switching network which is robust for multicast. IEICE Transactions, E74, 2779-2784.
- Katto, J., Sezaki, K., Yasuda, Y., 1992. Short-tap and linear-phase PR filter banks for subband coding of images. Proceedings of SPIE VCIP'92, 735-746.
- Sezaki, K., Yasuda, Y., 1992. A general architecture of ATM switching networks which are

- non-blocking at call level. Proceedings of TENCON '92, 603-607.
- Sezaki, K., Yasuda, Y., 1992. Generalized parallel delta network and its application in photonic switching. Proceedings of 1992 JC-CNSS, B2-3.
- Sezaki, K., Yasuda, Y., 1992. A practical configuration of very large scale ATM switching networks. Proceedings of Globecom '92, 138-142.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 1993. M チャンネル分析・合成フィルタバンクの設計. 画像電子学会誌, 22-4, 376-381.
- 瀬崎 薫, 安田靖彦, 1993. 呼レベルで非閉塞となる ATM スイッチ回路網の構成法. 電子情報通信学会論文誌, B-1, 32-39.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 1994. 予測符号化の一般化に基づいた画像符号化法. 電子情報通信学会論文誌, J77-D-II, 882-883.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 1994. 画像のサブバンド符号化に用いる低次の完全再構成フィルタの設計. 電子情報通信学会論文誌, J77-A, 1100-1109.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 1995. 濃淡画像の可逆的なサブバンド符号化法. 電子情報通信学会論文誌, J78-D-II, 429-436.
- Komatsu, K., Sezaki, K., 1995. Reversible subband coding of images. SPIE's 1995 Symposium on Visual Communications and Image Processing, 676-684.
- Nagata, T., Inoue, S., Sezaki, K., Yasuda, Y., 1995. An innovative design principle of non-blocking WDM switching system. IEEE BSS '95, 210-221.
- Nagata, T., Sezaki, K., Yasuda, Y., 1995. A non-blocking architecture of wavelength division multiplexing photonic switching network. GLOBECOM '95, 2215-2219.
- Nishino, R., Sezaki, K., 1995. A synchronization mechanism among various media including teleoperation in multimedia communications. Proceedings of IEEE IECON '95, ETIS-02/3.
- Sezaki, K., Tosa, N., Hashimoto, H., 1995. An experiment of international non-verbal communication via networked neuro-baby. Networked Reality '95, 21-27.
- Tosa, N., Hashimoto, H., Sezaki, K., 1995. Network neuro-baby with robotic hand. HCI'95, I-3.1.
- Tosa, N., Hashimoto, H., Sezaki, K., Kunii, Y., Yamada, T., Sabe, K., Harashima, F., Harashima, H., 1995. Network neuro-baby with hand shake. Siggraph'95, Visual Proceeding, 127.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 1996. 濃淡画像の可逆的な変換符号化. 電子情報通信学会論文誌 A, J79-A-4, 981-990.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 1996. 可逆的サブバンド符号化における高域信号の帯域間相関を利用した分割. 電子情報通信学会論文誌 A, J79-A-12, 2032-2038.

- Komatsu, K., Sezaki, K., 1996. Reversible transform coding of images. SPIE's 1996 Symposium on Visual Communications and Image Processing, 1094-1103.
- 長田武士, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 1997. 波長分割多重光スイッチングネットワークの構成法. 電子情報通信学会論文誌 B-I, 130-137.
- Kawai, H., Sezaki, K., 1997. Adaptive prediction of delay probability density function for intra-media synchronization. Proceedings of Third APCC, 960-964.
- Kotake, D., Sezaki, K., 1997. Adaptive rate control scheme for real time video. Proceedings of International Workshop on Audio-Visual Services over Packet Networks, 93-98.
- Kwon, B.S., Sezaki, K., Kim, Y.M., Yoon, H., 1997. A binary time-slot assignment algorithm for time-division multiplexed (TDM) hierarchical switching system (HSS). IEICE Transactions on Communications, E80-B, 770-778.
- Miyoshi, T., Tanaka Y., Sezaki, K., 1997. Optimal hierarchical structure of nationwide multicast network. Proceedings of Third APCC, 105-109.
- 三好 匠, 田中良明, 瀬崎 薫, 1998. デルタスター構成のマルチキャスト通信網への適用. 電子情報通信学会論文誌 B-I, J81-B-I, 827-838.
- Komatsu, K., Sezaki, K., 1998. Reversible discrete cosine transform. IEEE ICASSP98, 3, 1769-1772.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 1999. 可逆的重複直交変換とその画像符号化への応用. 画像電子学会誌, 28-5, 560-566.
- Komatsu, K., Sezaki, K., 1999. Design of lossless block transforms and filter banks for image coding. IEICE Transactions, E82-A, 1656-1664.
- Komatsu, K., Sezaki, K., 1999. Lossless filter banks based on two point transform and interpolative prediction. IEEE ICASSP99, 1469-1472.
- Miyoshi, T., Tanaka, Y., Sezaki, K., 1999. Topological design comparison for multicast network. GLOBECOM '99, 1899-1904.
- Yano, K., Sato, H., Sezaki, K., 1999. A rate control for continuous media transmission based on backlog estimation from end-to-end delay. Packet Video '99, 1.2.
- Huang, L., Sezaki, K., 2000. End-to-end Internet delay dynamics. APCC2000, 1155-1160.
- Iijima, M., Matsumoto, S., Fukuda, I., Sezaki, K., 2000. The QoS of Haptic interface applied to network. APCC2000, 556-560.
- Komatsu, K., Sezaki, K., 2000. Design of lossless LOT and its performance evaluation. IEEE ICASSP2000, 2119-2122.
- Matsumoto, S., Fukuda, I., Morino, H., Hikichi, K., Sezaki, K., Yasuda, Y., 2000. The influences of network issues on Haptic collaboration in shared virtual environments. Fifth PHANTOM Users Group Workshop, 6.

- Xu, S., Sezaki, K., 2000. Symmetric routing and wavelength assignment algorithm for two regular topology all optical networks. APCC2000, 532-536.
- 三好 匠, 田中良明, 瀬崎 薫, 2001. マルチキャストトラフィックの増加を考慮したネットワーク増設法. 電子情報通信学会論文誌 B, J84-B, 1010-1024.
- Fukuda, I., Matsumoto, S., Iijima, M., Hikichi, K., Morino, H., Sezaki, K., Yasuda, Y., 2001. A robust system for Haptic collaboration over the network. Touch in Virtual Environments, One day conference in USC, I-1.
- Hikichi, K., Morino, H., Arimoto, I., Fukuda, I., Matsumoto, S., Iijima, M., Yasuda, Y., Sezaki, K., 2001. Architecture of Haptics communication system for adaptation to network environments. IEEE International Conference on Multimedia and Expo, FP2.01.
- Huang, L., Sezaki, K., 2001. Adjustment on end-to-end delay to remove the distortion caused by NTP clock adjustment. 17th International Teletraffic Congress (ITC), 7A-5.
- Komatsu, K., Sezaki, K., 2001. Lossless 2D discrete Walsh-Hadamard transform. IEEE ICASSP2001, 2253-2257.
- Komatsu, K., Sezaki, K., 2001. 2D lossless discrete cosine transform. IEEE ICIP2001, WA10-10.
- Xu, S., Sezaki, K., 2001. Dynamic alternative path routing with reservation in WDM networks. The Asia-Pacific Conference on Communications (APCC), T12-2.

* 非査読論文

ー原著論文

- 瀬崎 薫, 1992. 多段ノンブロッキング ATM スイッチ回路網の構成例. 生産研究, 44-3, 161-164.

ー総説・解説

- 瀬崎 薫, 1991. 通信処理の動向. 生産研究, 43-2, 95-100.
- 瀬崎 薫, 1991. 21世紀通信の夢～通信情報の選択的透過. 電子情報通信学会誌, 74, 509-510.
- 瀬崎 薫, 1991. 欧州における通信工学の動向. 生産研究, 43-9, 387-389.
- 瀬崎 薫, 1999. サンダーバードの世界は実現したけれど. 画像電子学会誌, 28, 378-379.
- 瀬崎 薫, 山崎浩輔, 2001. ネットワーク的側面から見た Location Aware サービスの現状と技術的課題. 生産研究, 53-5, 284-292.
- 瀬崎 薫, 2002. 触覚通信とマルチメディア通信. 自動車技術, 56-1, 93-94.

* 書籍

- Tosa, N., Hashimoto, H., Sezaki, K., 1995. Network neuro-Bby with robotics hand. Anzai, Y., Ogawa, K., Mori, H., eds., HCI International '95: Symbiosis of Human and Artifact, Elsevier Science, 77-82.

Huang, L., Sezaki, K., 2001. Adjustment on end-to-end delay to remove the distortion caused by NTP clock adjustment. Souza, J.M., da Fonseca, N.L.S., Souza e Silva, E.A., eds., *Teletraffic Engineering in the Internet Era*, Elsevier, 1075-1086.

* 報告書・資料

八ツ橋武明, 森田昌夫, 小野宏之, 瀬崎 薫, 一矢康雄, 内田孝則, 飯塚伸子, 1987. 諸外国の ISDN 計画に関する調査研究. 財団法人未来工学研究所.

森田昌夫, 小野宏之, 瀬崎 薫, 絆 瑞雪, 入内島健, 飯塚伸子, 1988. 技術・サービス両面から見た諸外国の ISDN 計画に関する調査研究. 財団法人未来工学研究所.

安田靖彦, 石塚 満, 根岸正光, 宮沢 彰, 安達 淳, 影浦 峡, 孫 媛, 瀬崎 薫, 古川康一, 新井利明, 小池誠彦, 上原貴夫, 1994. わが国における情報工学分野の学術研究水準とその振興策のあり方に関する調査研究報告書. 日本工学アカデミー.

* 国際学会発表

Miyoshi, T., Tanaka, Y., Sezaki, K., 1997. Optimal topology design of the integrated telecommunication and broadcast network. *Asia-Pacific Symposium on Information and Telecommunication Technologies (APSITT)*, 13.3.1-13.3.5.

Hattori, R., Sezaki, K., 1999. A study on layered transmission in distributed environment. *Asia-Pacific Symposium on Information and Telecommunication Technologies (APSITT)*, 49-53.

Miyoshi, T., Tanaka, Y., Sezaki, K., 1999. A study on multicast network topology extension. *Asia-Pacific Symposium on Information and Telecommunication Technologies (APSITT)*, 73-77.

Arimoto, I., Hikichi, K., Morino, H., Sezaki, K., 2001. The proposal of data compression for Haptic communication system. *Asia-Pacific Symposium on Information and Telecommunication Technologies (APSITT)*.

Yamazaki, K., Sezaki, K., 2001. The proposal of geographical routing protocol in 3 dimensions. *Asia-Pacific Symposium on Information and Telecommunication Technologies (APSITT)*.

Xu, S., Sezaki, K., 2001. Heuristic method of logical topology design in WDM networks. *Asia-Pacific Symposium on Information and Telecommunication Technologies (APSITT)*.

* 国内学会発表

瀬崎 薫, 田中良明, 秋山 稔, 1989. 多重接続に対し非閉塞となる ATM スイッチ回路網の構成. 電子情報通信学会技術研究報告, SSE89-10.

Zhao, W.B., Wong, B.S., Sezaki, K., Yasuda, Y., 1989. A structure of MAN based on shaffle ring using auxiliary rings. 電子情報通信学会技術研究報告, SSE89-10.

木村俊一, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 1990. SR ネットの特性に関する一考察. 平成2年電子情報通信学会秋季全国大会, B-487.

- 木村俊一, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 1990. シャッフルリングネットワークの遅延時間分布に関する一考察. 平成3年電子情報通信学会春季全国大会, B-632.
- 黄 文翔, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 1990. 無線チャネルを移動通信と局間通信とに共有する移動体ネットワーク. 電子情報通信学会情報ネットワーク研究会, 電子情報通信学会, IN89-90.
- 瀬崎 薫, 田中良明, 秋山 稔, 1990. 多重接続に対し非閉塞となる ATM スイッチ回路網. 平成元年電子情報通信学会秋季全国大会, B-200.
- Wong, B.S., Sezaki, K., Yasuda, Y., 1990. A land mobile network using direct wireless communication between base stations. 電子情報通信学会技術研究報告, SAT89-60.
- Zhao, W.B., Wong, B.S., Sezaki, K., Yasuda, Y., 1990. Adaptive routing in shuffle ring network with auxiliary rings. 電子情報通信学会技術研究報告, IN89-124.
- 瀬崎 薫, 安田靖彦, 1991. 多段ノンブロッキング ATM スイッチ回路網の構成. 電子情報通信学会技術研究報告, SSE91-119.
- 黄 英傑, 木本伊彦, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 1992. セグメンテーションに基づく多重解像度符号化方式の一検討. 画像符号化シンポジウム第7回資料, 125-128.
- 黄 英傑, 木本伊彦, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 1992. セグメンテーションに基づく多重解像度符号化方式の一検討. 電子情報通信学会春季大会講演論文集, D-161.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 1992. タップ長の短い完全再構成フィルタ. 画像符号化シンポジウム第7回資料, 25-28.
- 瀬崎 薫, 安田靖彦, 1992. 最小段構成によるノンブロッキング ATM スイッチ回路網. 電子情報通信学会技術研究報告, SSE91-141.
- 瀬崎 薫, 安田靖彦, 1992. デルタ網の組み合わせによるノンブロッキングスイッチ回路網. 1992年電子情報通信学会春季大会, B-453.
- 大道文雄, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 1992. FDDI 非同期クラスによる動画像伝送の可能性. 電子情報通信学会技術研究報告, IN91-141.
- 大道文雄, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 1992. FDDI ネットワークのプライオリティ機構を用いた動画像伝送. 1992年度電子情報通信学会春季大会, B-598.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 1993. 整数対称サブバンドフィルタの設計. 電子情報通信学会春季大会講演論文集, D-247.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 1993. サブバンド符号化用乗算なし対称フィルタの設計. 1993年信学秋大, D-167.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 1993. サブバンド符号化用乗算なし対称フィルタの設計. 1993年画像符号化シンポジウム, 9-3.
- 井上 哲, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 1994. ノンブロッキング・マルチレート・スイッチ回路網の構成. 電子情報通信学会春季大会講演論文集.

- 北橋知己, 小松邦紀, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 1994. 有理数のサンプリング比をもった短タ
ップ完全再構成フィルタバンク. 電子情報通信学会春季大会講演論文集.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 1994. 可逆的なプログレッシブ符号化法. 電子情報通信
学会技術研究報告, IE94-29.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 1994. 可逆的サブバンド符号化を用いた非可逆符号化.
電子情報通信学会秋季大会講演論文集, D-164.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 1994. サブバンド可逆符号化. 電子情報通信学会春季大
会講演論文集, D-322.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 1994. サブバンド符号化の多段接続による画質劣化. 画
像符号化シンポジウム資料, 161-162.
- 清水精太, 安田靖彦, 瀬崎 薫, 1994. 迂回ルーチングを行う分散型ネットワークに及ぼ
す CR-rule の影響. 電子情報通信学会秋季大会講演論文集, B-434.
- 長田武士, 安田靖彦, 瀬崎 薫, 1994. GPDN におけるマルチキャストノンブロッキング条
件の考察. 電子情報通信学会春季大会講演論文集.
- 長田武士, 井上 哲, 安田靖彦, 瀬崎 薫, 1994. WDM ノンブロッキング光スイッチ回路
網の構成法. 電子情報通信学会技術研究報告, IN94-80.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 1995. 可逆的変換符号化. 電子情報通信学会春季大会講演論文集,
D-354.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 1995. 濃淡画像の可逆的な変換符号化. 画像電子学会, 第 23 回年次
大会予稿集, 39-40.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 1995. 可変フィルタ長可逆的サブバンド符号化. 画像符号化シンポ
ジウム資料, 167-168.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 1995. 可逆的変換符号化. 電子情報通信学会技術研究報告, 77-84.
- 清水精太, 安田靖彦, 瀬崎 薫, 1995. 不均衡トラヒック下での分散型ネットワークに及
ぼす CR-rule の影響. 電子情報通信学会春季大会講演論文集.
- 高橋 悟, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 1995. 呼の速度によりルーチングを考慮した ATM ノンブ
ロッキング網の考察. 電子情報通信学会春季大会講演論文集.
- 長田武士, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 1995. 波長分割多重光スイッチングシステム構成法の一
検討. 電子情報通信学会技術研究報告, 67-72.
- 西野良祐, 瀬崎 薫, 1995. マルチメディア通信における同期メカニズム. 電子情報通信
学会通信ソサイエティ大会, B-454.
- 石原清輝, 瀬崎 薫, 1996. 分散データベース網システムにおけるデータ配置手法に関す
る一考察. 電子情報通信学会通信ソサイエティ大会, B-829.
- 石原清輝, 瀬崎 薫, 1996. 分散データベース網システムにおけるデータ配置法の検討.
電子情報通信学会技術研究報告, CQ96-53 (SSE96-143).

- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 1996. 可逆的サブバンド符号化の段階的画像再生における圧縮効率の向上. PCSJ96 画像符号化シンポジウム, 51-52.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 1996. 可逆的帯域領域分割符号化. 電子情報通信学会春季大会講演論文集, D-246.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 1996. 可逆的サブバンドビットプレーン符号化. 電子情報通信学会情報システムソサイエティ大会, D-180.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 1996. 濃淡画像の可逆的帯域領域分割符号化. 電子情報通信学会技術研究報告, IE96-1.
- 曾瀬 徹, 瀬崎 薫, 今井秀樹, 田中良明, 1996. 一対一・放送分離形 ATM スイッチ回路網の性能評価. 電子情報通信学会技術研究報告, SSE96-98.
- 田中良明, 曾瀬 徹, 瀬崎 薫, 今井秀樹, 1996. 放送形 ATM スイッチ回路網の一対一・放送分離構成. 電子情報通信学会通信ソサイエティ大会, B-530.
- 西野良祐, 瀬崎 薫, 1996. マルチメディア通信におけるメディア内同期の検討. 電子情報通信学会春季大会講演論文集.
- 西野良祐, 瀬崎 薫, 1996. マルチメディア通信におけるメディア同期の一検討. 情報ネットワーク研究会.
- 村上恭朗, 瀬崎 薫, 1996. QoS を考慮した ATM 上のトランスポートプロトコル. 電子情報通信学会技術研究報告, CQ96-24.
- 村上恭朗, 瀬崎 薫, 1996. ATM 網に適したトランスポートプロトコル. 電子情報通信学会通信ソサイエティ大会, B-747.
- 米田篤生, 長田武士, 安田靖彦, 瀬崎 薫, 1996. 呼の速度によるルーチングを考慮した多段ノンブロッキング ATM スイッチ回路網の検討. 電子情報通信学会春季大会講演論文集.
- Hsiao, J.C.Y., Sezaki, K., 1996. Usage of media scaling technique to transmit MPEG data. 電子情報通信学会春季大会講演論文集.
- Hsiao, J.C.Y., Sezaki, K., 1996. Fair bandwidth sharing between ER and EFCI switches. 電子情報通信学会通信ソサイエティ大会, B-734.
- Kim, S.Y., Sezaki, K., Nagata, T., 1996. A partitioning routing scheme for ATM switches. 電子情報通信学会春季大会講演論文集.
- 石原清輝, 三好 匠, 瀬崎 薫, 1997. 分散データベース網システムにおける動的データ配置法に関する一考察. 電子情報通信学会技術研究報告 [コミュニケーションクオリティ], CQ97-7.
- 石原清輝, 瀬崎 薫, 1997. 分散データベース網システムにおけるデータ動的配置法に関する一考察. 電子情報通信学会総合大会.
- 川合裕之, 瀬崎 薫, 1997. 適応型遅延予測を用いたメディア内同期. 電子情報通信学会ソサイエティ大会, B-7-29.

- 川合裕之, 瀬崎 薫, 1997. ネットワーク遅延時間分布の適応型予測によるメディア内同期. 電子情報通信学会技術研究報告 [交換システム], SSE97-107, IN97-100, CS97-98.
- 川合裕之, 瀬崎 薫, 1997. 遅延分布推移の適応型予測に基づくメディア内同期. 電子情報通信学会技術研究報告 [コミュニケーションクオリティ], CQ97-60.
- 小竹大輔, 瀬崎 薫, 1997. レートベース型輻輳制御下での実時間動画像転送方式. 電子情報通信学会技術研究報告 [交換システム], SSE97-106, IN97-99, CS97-97.
- 小竹大輔, 瀬崎 薫, 1997. レートベース型輻輳制御下での適応的 MPEG 動画像転送. 電子情報通信学会ソサイエティ大会, B-7-87.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 1997. ロスレス DCT の一設計法. 電子情報通信学会ソサイエティ大会, D-11-24.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 1997. 可逆的離散コサイン変換とその画像情報圧縮への応用. 電子情報通信学会技術研究報告 [画像工学], IE97-83.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 1997. 可逆的サブバンド符号化における圧縮効率の向上. 電子情報通信学会総合大会, D-11-52.
- 曾瀬 徹, 瀬崎 薫, 今井秀樹, 田中良明, 1997. 大規模マルチキャスト ATM スイッチ回路網の集線網解析. 電子情報通信学会総合大会.
- 三好 匠, 田中良明, 瀬崎 薫, 1997. 放送形通信網構成法に関する一検討. 電子情報通信学会ソサイエティ大会, B-7-10.
- 三好 匠, 田中良明, 瀬崎 薫, 1997. 新しい網形態を用いた放送形通信網の階層構成. 電子情報通信学会総合大会.
- 村上恭朗, 瀬崎 薫, 1997. ATM のレートベース型輻輳制御に基づく可変レート動画像転送. 電子情報通信学会技術研究報告, IN96.
- 村上恭朗, 瀬崎 薫, 1997. レートベース型輻輳制御に基づくリアルタイム MPEG ビデオ転送. 電子情報通信学会総合大会.
- 矢野晃一, 佐藤宏明, 瀬崎 薫, 1997. 低速回線でのインターネット接続に適したリアルタイムデータの送信レート制御法. 電子情報通信学会技術研究報告 [交換システム], IN97-101.
- 遠藤秀和, 瀬崎 薫, 1998. 分岐数を制限したマルチキャストルーティングの検討. 電子情報通信学会ソサイエティ大会, B-7-103.
- 川合裕之, 瀬崎 薫, 1998. 適応型遅延推移予測によるメディア内同期. 電子情報通信学会総合大会, B-7-173.
- 桑子純一, 瀬崎 薫, 1998. 分散環境におけるメディア同期. 電子情報通信学会技術研究報告 [交換システム], SSE98-100.
- 桑子純一, 瀬崎 薫, 1998. 分散ネットワーク環境におけるメディア同期. 電子情報通信学会ソサイエティ大会, B-11-6.

- 小竹大輔, 瀬崎 薫, 1998. レートベース型輻輳制御下における MPEG 動画像転送. 電子情報通信学会総合大会, B-7-148.
- 小竹大輔, 瀬崎 薫, 1998. レートベース型輻輳制御下における MPEG 動画像転送. 電子情報通信学会技術研究報告 [交換システム], SSE98, IN98.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 1998. 可逆的ウェーブレット変換とその画像情報圧縮への応用. 電子情報通信学会技術研究報告 [電子ディスプレイ], EID97-122, IE97-147.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 1998. 2N タップの可逆的フィルタバンク. 電子情報通信学会総合大会, D-11-53.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 1998. 任意次数のロスレスフィルタバンクの設計手法. 電子情報通信学会技術研究報告 [画像工学], IE98-30.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 1998. ロスレスウェーブレット変換とロスレス DCT の圧縮効率. 電子情報通信学会ソサイエティ大会, D-11-14.
- 三好 匠, 田中良明, 瀬崎 薫, 1998. 小エリアにおけるマルチキャスト通信網構成. 電子情報通信学会総合大会, B-7-131.
- 三好 匠, 田中良明, 瀬崎 薫, 1998. 小エリアにおけるマルチキャスト通信網構成. 電子情報通信学会技術研究報告 [交換システム], SSE98-3.
- 三好 匠, 田中良明, 瀬崎 薫, 1998. 異種 QoS を考慮した動的マルチキャストルーチングの検討. 電子情報通信学会ソサイエティ大会, B-7-102.
- 三好 匠, 清水新太郎, 田中良明, 瀬崎 薫, 1998. マルチキャスト通信網トポロジー構成法の検討. 電子情報通信学会ソサイエティ大会, B-7-107.
- 矢野晃一, 佐藤宏明, 瀬崎 薫, 1998. 連続メディアのリアルタイム転送に適したラウンドトリップ時間に基づくレート制御法. 電子情報通信学会技術研究報告 [情報ネットワーク], IN98-23.
- 遠藤秀和, 三好 匠, 瀬崎 薫, 1999. 分岐数抑制マルチキャストルーチング手法の一検討. 電子情報通信学会総合大会, B-7-148.
- 桑子純一, 瀬崎 薫, 1999. 遅延予測を用いた分散同期の一提案. 電子情報通信学会技術研究報告 [コミュニケーションクオリティ], CQ99.
- 桑子純一, 瀬崎 薫, 1999. メディア同期に向けたサービス別遅延特性の解析. 電子情報通信学会総合大会, B-11-10.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 1999. ロスレス LOT の設計と性能評価. 電子情報通信学会総合大会, D-11-38.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 1999. DCT・DST を用いた LOT のロスレス版の設計. 画像電子学会第 27 回年次大会, 27-28.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 1999. 可逆的重複直交変換とその画像符号化への応用. 電子情報通信学会技術研究報告 [デジタル信号処理研究会], DSP99-36.

- 二木 一, 佐藤宏明, 瀬崎 薫, 1999. FEC を用いたエラー耐性のある階層的映像通信方式の検討. 情報処理学会第 59 回全国大会, 4V-06.
- 服部良平太, 三好 匠, 瀬崎 薫, 1999. QoS を考慮した分散環境における階層コンテンツ配置. 電子情報通信学会ソサイエティ大会, B-7-66.
- 服部良平太, 瀬崎 薫, 1999. 分散環境下における階層化コンテンツ配置に関する研究. 電子情報通信学会技術研究報告 [情報ネットワーク], IN99-38.
- 服部良平太, 三好 匠, 瀬崎 薫, 1999. 分散環境における階層化伝送に関する検討. 電子情報通信学会総合大会, B-7-40.
- 福田一郎, 服部良平太, 大澤秀史, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 1999. IP 網における動画並列伝送方式に関する検討. 電子情報通信学会総合大会.
- 福田一郎, 服部良平太, 大澤秀史, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 1999. IP 網における動画並列伝送方式の実装. 画像電子学会年次大会, 7-8.
- 三好 匠, 田中良明, 瀬崎 薫, 1999. マルチキャスト通信網増設法の検討. 電子情報通信学会総合大会, B-7-52.
- 三好 匠, 田中良明, 瀬崎 薫, 1999. マルチキャスト通信網増設法の検討. 電子情報通信学会技術研究報告 [テレコミュニケーションマネジメント], TM98-59.
- Huang, L., Iijima, M., Sezaki, K., 1999. A survey on human perception of delay in a cooperation system. 電子情報通信学会ソサイエティ大会 B-11-12.
- 飯島光晴, 松本壮樹, 福田一郎, 瀬崎 薫, 2000. 力覚系ネットワークサービスのメディア同期を目的とした QoS 測定. 電子情報通信学会ソサイエティ大会, B-11-1.
- 黄 楽平, 瀬崎 薫, 2000. An analysis of one-way delay using phase plot. 電子情報通信学会全国大会ソサイエティ大会, B-11-18.
- 黄 楽平, 瀬崎 薫, 2000. End-to-end Internet delay dynamics. 電子情報通信学会技術研究報告 [コミュニケーションクオリティ], CQ2000-7.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 2000. 4 点可逆 DCT・LOT を用いた画像圧縮. 電子情報通信学会ソサイエティ大会, D-11-30.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 2000. 2 次元ロスレス変換とその画像符号化への応用. 電子情報通信学会技術研究報告 [画像工学], IE2000-65.
- 徐 蘇鋼, 瀬崎 薫, 2000. Symmetric routing and wavelength assignment algorithm for two regular topology all optical networks. 電子情報通信学会技術研究報告 [交換システム], SSE2000-55.
- 徐 蘇鋼, 瀬崎 薫, 2000. Comparison between optimized fixed routing and dynamic routing in WDM all optical network. 電子情報通信学会技術研究報告 [交換システム], SSE2000-131.
- 徐 蘇鋼, 瀬崎 薫, 2000. Optimized static routing and dynamic routing in WDM networks. 電子情報通信学会ソサイエティ大会, B-10-127.

- 引地謙治, 森野祐直, 福田一郎, 松本壮樹, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 2000. 触覚インタフェースのネットワーク応用における遅延耐性に対する一検討. 電子情報通信学会技術研究報告 [マルチメディア・仮想環境基礎], MVE2000.
- 福田一郎, 松本壮樹, 飯島光晴, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 2000. QoS 測定に基づく触覚ディスプレイのネットワーク応用. 電子情報通信学会ソサイエティ大会, A-16-10.
- 福田一郎, 松本壮樹, 引地謙治, 森野祐直, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 2000. 触覚デバイスを用いたコラボレーションにおけるメディア同期. 電子情報通信学会技術研究報告 [コミュニケーションクオリティ], CQ2000.
- 松本壮樹, 福田一郎, 飯島光晴, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 2000. メディア同期を考慮した触覚通信コラボレーションシステムの検討. 日本バーチャルリアリティ学会第 5 回大会, 21B5.
- 有本 勇, 引地謙治, 森野祐直, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 2001. 触覚通信システムにおけるジッタの影響. 電子情報通信学会ソサイエティ大会, SB-7-5.
- 有本 勇, 飯島光晴, 引地謙治, 森野祐直, 福田一郎, 松本壮樹, 安田靖彦, 瀬崎 薫, 2001. 触覚系ネットワークアプリケーションにおける帯域圧縮手法の提案. 電子情報通信学会総合大会, A-16-54.
- 飯島光晴, 福田一郎, 松本壮樹, 有本 勇, 引地謙治, 森野祐直, 瀬崎 薫, 2001. 力覚系アプリケーションの情報圧縮. 電子情報通信学会技術研究報告 [デジタル信号処理], DSP2000-181.
- 黄 楽平, 瀬崎 薫, 2001. Adjustment on measured end-to-end delay to remove the distortion caused by clock skew and NTP. 電子情報通信学会総合大会, B-11-11.
- 小松浩輔, 瀬崎 薫, 2001. 2次元ロスレス DCT の高速化. 電子情報通信学会総合大会, D-11-15.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 2001. DCT 画像符号化における再生誤差の低減方法. 電子情報通信学会ソサイエティ大会, D-11-5.
- 徐 蘇鋼, 瀬崎 薫, 2001. Dynamic routing with reservation in WDM networks. 電子情報通信学会技術研究報告 [情報ネットワーク].
- 徐 蘇鋼, 瀬崎 薫, 2001. Dynamic routing with reservation based on the optimized fixed routing in WDM all optical Networks. 電子情報通信学会総合大会, B-7-183.
- 徐 蘇鋼, 瀬崎 薫, 2001. WDM 光ネットワークにおける Heuristic 論理トポロジー設計手法の検討. 電子情報通信学会技術研究報告 [ネットワークシステム], NS2001-37.
- 引地謙治, 森野祐直, 福田一郎, 松本壮樹, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 2001. ネットワーク状況に動的に対応する触覚通信システムの構成. 電子情報通信学会総合大会, A-16-53.
- 松本壮樹, 福田一郎, 森野祐直, 引地謙治, 安田靖彦, 飯島光晴, 瀬崎 薫, 2001. ネットワーク耐性を持った触覚協調作業システム. 計測自動制御学会システムインテグレーション部門学術講演会 (SI2001), 2A2-36.

- 森野祐直, 引地謙治, 福田一郎, 松本壮樹, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 2001. 予測を用いた触覚通信システムのネットワーク耐性に関する検討. 電子情報通信学会技術研究報告 [コミュニケーション・クオリティ], CQ2001.
- 森野祐直, 引地謙治, 福田一郎, 松本壮樹, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 2001. 予測・補間を用いた触覚通信システムにおけるネットワーク QoS 改善. 電子情報通信学会総合大会, A-16-55.
- 山崎浩輔, 瀬崎 薫, 2001. 三次元を考慮した地理的経路制御手法. 電子情報通信学会総合大会, B-5-141.
- 山崎浩輔, 瀬崎 薫, 2001. 位置適応型サービスに向けた三次元地理的経路制御手法の提案. 電子情報通信学会技術研究報告 [情報ネットワーク], IN2001-50.
- 山崎浩輔, 瀬崎 薫, 2001. 位置情報適応型サービスに向けた三次元経路制御手法の提案. 電子情報通信学会ソサイエティ大会, B-15-3.
- 山崎浩輔, 瀬崎 薫, 2001. 多様なノードを考慮した三次元地理的経路制御手法の提案. 電子情報通信学会技術研究報告 [情報ネットワーク], IN2001-129.
- Xu, S., Sezaki, K., 2001. Comparison between shortest path first routing and dynamic least load routing in WDM networks. IEICE Technical Report, NS2001-201, 11-16.
- Xu, S., Sezaki, K., 2001. Heuristic method of logical topology design in IP over WDM networks. 電子情報通信学会ソサイエティ大会, SB-9-5.
- 有本 勇, 引地謙治, 森野祐直, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 2002. 触覚通信における情報圧縮手法. 電子情報通信学会技術研究報告 [デジタル信号処理], DSP2001-147.
- 有本 勇, 引地謙治, 森野祐直, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 2002. 触覚通信における情報圧縮手法の提案. 電子情報通信学会総合大会, A-4-10.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 2002. 整数ロスレス変換係数に対する最適量子化ステップサイズ. 電子情報通信学会技術研究報告 [画像工学], IE2001-186.
- 小松邦紀, 瀬崎 薫, 2002. 整数ロスレス DCT 係数の最適量子化. 電子情報通信学会総合大会, D-11-29.
- 徐 蘇鋼, 瀬崎 薫, 2002. Comparison between shortest path first routing and dynamic routing with path length restriction in WDM networks. 電子情報通信学会総合大会, B-6-194.
- 竹内彰次郎, 山崎浩輔, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 2002. 送信電力を考慮した battery cost routing の提案. 電子情報通信学会技術研究報告 [情報ネットワーク].
- 竹内彰次郎, 山崎浩輔, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 2002. 送信電力を考慮した battery cost routing の提案. 電子情報通信学会総合大会.
- 引地謙治, 有本 勇, 森野祐直, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 2002. 触覚コラボレーションにおける同期制御の検討. 電子情報通信学会総合大会, B-11-25.

森野祐直, 有本 勇, 引地謙治, 兼安祐介, 瀬崎 薫, 安田靖彦, 2002. 触覚を含む仮想空間共有におけるネットワーク変動に関する検討. 電子情報通信学会技術研究報告 [コミュニケーションクオリティ], CQ2001-102.

山崎浩輔, 瀬崎 薫, 2002. 信頼性を考慮したジオキャスト手法の提案. 電子情報通信学会技術研究報告 [情報ネットワーク].

山崎浩輔, 瀬崎 薫, 2002. 多様なノードを考慮した三次元地理的経路制御手法の提案. 電子情報通信学会総合大会.

* その他

ー受賞

電子情報通信学会篠原記念学術奨励賞受賞 (1990)

電子情報通信学会交換システム研究賞 (1996)

電子情報通信学会通信ソサイエティ功労感謝状 (1998)

APCC 2000 Best Paper Award (2000)

ー書評

瀬崎 薫, 1990. 電子情報通信学会 (編), 千葉正人 (監修) 「改訂 デジタル交換方式」 電子情報通信学会誌, 73, 430.

ー翻訳

瀬崎 薫, 1992. サーフ, V (著) 「新ネットワーク技術」 別冊日経サイエンス コンピューターネットワーク, 18-31.

2. 2001 年度活動記録

* 主要研究テーマ

1) コンテキストアウトエアサービス

ユーザのおかれている状況を先取りして汲み取った上でサービスを提供するコンテキストアウトエアサービスを柔軟に提供する機構についての研究を行っている。その中でも、実空間における「ユーザの物理的位置」が最も重要なコンテキストであるという観点から、論理的なアドレスではなく、都市のある「地域」など物理空間上のあるポイントに対してユニキャスト・ジオキャスト・エニキャストを行うための技術を確立することを目指している。このような新しいルーチング技術に立脚した様々なサービスの体系化の検討を開始している。

2) 触覚コラボレーションとその応用

触覚コラボレーションに関する諸課題の検討を行っている。本年度は特に、触覚（力覚）を現実のネットワークを介して伝送する際に問題となる、帯域の制限、無視し得ない遅延、情報の欠落などの擾乱による品質劣化の影響を低減するための諸課題について検討を行った。具体的には、帯域圧縮のための触覚メディアの符号化、遅延の影響を低減するためのメディア同期、情報の欠落を補正するための **dead reckoning** や誤り訂正等である。特に、メディア同期については、音声や画像などの従来型メディアとは著しく異なる主観品質特性を示す場合があることを示した。

3) 超高速ネットワークの運用方法

超高速ネットワークの運用方法に関する諸課題についての研究を継続的に行っている。まず、ネットワーク要素技術の研究としては、ネットワークリソースの拡大を目指して超高速 ATM スイッチ、WDM ネットワーク指向の光スイッチなどのノードシステムの構成法の研究を行っている。ネットワークプランニングという観点から、広帯域配信系サービストラフィックが増大した場合に適した光ファイバネットワークの最適化手法、VOD サーバの動的分散配置アルゴリズム、WDM ネットワークの波長割り当てアルゴリズムの高速化などの研究を行っている。その他、階層的伝送プロトコルの設計、階層的マルチキャスト手法及び、これらを画像の階層的符号化を組み合わせたトランスペアレントなメディアスケーリング手法の提案などの研究を行っている。

* 学外客員・研究員

国立情報学研究所実証研究センター客員助教授

* 学会活動

画像電子学会編集委員

電子情報通信学会通信ソサイエティニュースレター編集幹事

APCC2001 実行委員会委員

Networks 2002 プログラム委員

World Telecommunications Congress 2002 プログラム委員

電子情報通信学会研究専門委員会委員

- ・ネットワークシステム
- ・コミュニケーションクオリティ
- ・ネットワークとライフスタイル
- ・新世代ネットワークミドルウェアと分散コンピューティング

情報処理学会研究運営委員会運営委員

- ・ 複合情報処理
- ・ オーディオビジュアル複合情報処理

*** 学外委員**

総務省電気通信事業紛争処理委員会特別委員

特許庁工業所有権審議会臨時委員

*** 担当授業**

広帯域ネットワーク論（工学系研究科電子情報工学専攻）

トラヒック理論（情報理工学系研究科電子情報学専攻）

空間情報システム演習（新領域創成科学研究科環境学専攻）

丸山祐造

時空間社会経済システム部門 助教授

専門 数理統計学, 空間統計学

1. 過去 5 年間の研究業績

* 査読論文

ー原著論文

Maruyama, Y., 1997. A new positive estimator of loss function. *Statistics & Probability Letters*, 36, 269-274.

Maruyama, Y., 1998. A unified and broadened class of admissible minimax estimators of a multivariate normal mean. *Journal of Multivariate Analysis*, 46, 196-205.

Maruyama, Y., 1999. Improving on the James-Stein estimator. *Statistics & Decisions*, 17, 137-140.

Maruyama, Y., 1999. Minimax estimators of a normal variance. *Metrika*, 48, 209-214.

* 非査読論文

ー原著論文

Maruyama, Y., Iwasaki, K., 2002. A certain inadmissible estimator of a positive normal mean. *Rreprint Series in Mathematics, Kyushu University. 2002-2*

* 国内学会発表

ー日本統計学会

丸山祐造, 1997. 正規平均ベクトルに対するミニマクスで許容的な推定量について. 大阪大学.

丸山祐造, 2000. Another Stein's estimator: minimaxity and admissibility. 北海道大学.

ー日本数学会

丸山祐造, 1997. 正規平均ベクトルに対するミニマクスで許容的な推定量について. 信州大学.

丸山祐造, 1999. Scale mixtures of multivariate normal distribution の平均ベクトルの推定について. 広島大学.

丸山祐造, 2000. Admissible minimax estimators of a mean vector of scale mixtures of multivariate normal distributions. 早稲田大学.

丸山祐造, 岩崎克則, 2000. A certain inadmissible minimax estimator of a positive normal mean. 京都大学.

丸山祐造, 2001. 多変量正規平均ベクトルに対する縮小推定量について (日本数学会特別

講演). 九州大学.

丸山祐造, 2002. A robust generalized Bayes estimator improving on the James-Stein estimator.
明治大学.

* その他

一公式集に掲載された公式の訂正

Maruyama, Y., 2001. Correction to Formula 3.036. Jefferey, A., Zwillinger, D., eds., Table of Integrals, Series and Products (6th edition). Academic Press, New York.

2. 2001 年度活動記録

* 主要研究テーマ

1) 統計的決定理論の研究

統計的推定問題を決定理論の枠組みで扱ったときに現れるスタイン現象について研究した。特に、通常仮定される正規分布ではなく、より一般的な分布の場合を研究することによって、推定量の様々な性質の中で正規性に依存している性質と、分布に依存せず成り立つ性質を峻別した。

2) 小地域推定の研究

標本数が少ない場合に不安定になる傾向がある推定量に対し、空間構造を考慮することにより安定させる方法について研究した。

3) 統計学における複素解析的手法の研究

九州大学大学院数理学研究院の岩崎教授との共同研究で、統計学におけるある種の推定量の良さを考察するときに、古典解析・漸近解析などの複素解析的な手法が非常に有効であることを示した。

* 担当授業

都市地域空間の計量分析手法 (新領域創成科学研究科)

史 中超

空間情報システム研究部門 外国人客員助教授

専門 写真測量, リモートセンシング, 地理情報科学

1. 過去 5 年間の研究業績

* 査読論文

ー 原著論文

史 中超, 柴崎亮介, 1997. 高さ情報を利用した航空写真からの建物の自動検出手法. 写真測量とリモートセンシング, 36-2, 38-44.

Shi, Z.C., Shibasaki, R., 1997. Automated building extraction from digital stereo imagery. Gruen, A., ed. Automatic Extraction of Man-Made Objects from Aerial and Space Images, Birkhauser Verlag, 119-128.

史 中超, 柴崎亮介, 1998. 高分解能衛星シミュレーション画像を用いた建物閉領域の自動抽出手法に関する研究. 写真測量とリモートセンシング, 37-3, 4-12.

Shi, Z.C., Shibasaki, R., 1999. An approach to image segmentation using multiresolution analysis of wavelets. IEEE SMC'99, 573, FA21-3.

史 中超, 2000. GIS データベースの自動構築・更新に関する研究. 地学における最先端のテクノロジー (特集). 地学雑誌, 109-6, 957-963

Shi, Z.C., Shibasaki, R., 2000. GIS database revision - The problems and solutions. Proceedings of 19th ISPRS (International Society for Photogrammetry and Remote Sensing) Congress, Amsterdam, July 2000.

Shi, Z.C., Shibasaki, R., 2001. Integrated vehicle-borne laser system development for urban 3d data acquisition and updating. Proceedings, 8th World Congress on ITS, October 2001, Sydney, Australia.

* 非査読論文

ー 原著論文

史 中超, 柴崎亮介, 1997. 解像度の異なる高解像度衛星画像から建物の自動抽出に関する研究. 写真測量学会平成 9 年度秋季学術講演会発表論文集, 79-82.

Shi, Z.C., 1997. Automated 3-D building extraction. Geomatics Info Magazine (GIM), 11-3, 40-41.

- Shi, Z.C., Shibasaki, R., 1998. A study of GIS database revision using high resolution satellite images. Proceedings of International Conference on Modeling Geographical and Environmental Systems with GIS, Jun. 23-25, Hong Kong, 2, 487-492.
- Shi, Z.C., Shibasaki, R., 1998. Automatic object extraction from simulated high resolution satellite imagery. Proceedings of International Workshop on Urban Multi/3D Mapping (UM3 '98), Jun. 8-9, Tokyo, Japan, 1-6.
- Shi, Z.C., Shibasaki, R., 1998. 3D city model reconstruction for visualization from stereo urban scenes. Proceedings of ISPRS Commission V on Real-Time Imaging and Dynamic Analysis, Jun. 2-5, Hakodate, Japan, 377-381.
- Shi, Z.C., Shibasaki, R., 1998. An approach to road extraction from high resolution satellite imagery. Proceedings of International Conference on Spatial Information Science and Technology—SIST'98, Dec. 12-15, Wuhan, China, 345-350.
- 史 中超, 1999, GIS データベースの自動更新について. 平成 10 年度地理情報システム研究集会論文集, 3-9.
- 史 中超, 柴崎亮介, 1999. GIS データベースの自動更新の問題点に関する研究. 写真測量学会平成 11 年度秋季学術講演会発表論文集. 89-94.
- Shi, Z.C., Liu, H., Shibasaki, R., 1999. A practical model for estimating the arable land change of China using remotely sensed imagery. Proceedings of ACRS'99, Nov., HongKong, 753-758.
- 史 中超, 2000, 航空写真を利用したシティーモデリングについて. イメージセンシングシンポジウム, 東京, 2000, 1-4.
- 史 中超, 柴崎亮介, 2000. 時系列衛星画像から土地利用変化の抽出に関する研究. 写真測量学会平成 12 年度年次学術講演会発表論文集, 東京, 2000 年 6 月, 61-66.
- 史 中超, 孫 氷, 2000. デジタルシティーの構築に関する研究. 写真測量学会平成 12 年度秋季学術講演会発表論文集, 鳥取, 2000 年 11 月, 269-274.
- Shi, Z.C., Shibasaki, R., 2000. Dynamic simulation of land use/cover change based on time series satellite images. Proceedings of ACRS'2000, Nov. 2000, Taiwan, 1203-1208.
- Shi, Z.C., 2001. From digital city to digital everything. Proceedings of Asia GIS 2001, June 2001, Tokyo, Japan.

* 書籍

- 史 中超, 1997. ウェーブレット解析と画像処理. 動体計測研究会 (編)「イメージセンシング—デジタル画像計測技術と応用」日本測量協会, 48-54.
- 史 中超, 2000. 画像情報の解析, 電気学会空間情報統合化技術調査専門委員会編「GISの基礎」, 電気学会, 2000年12月.

* その他

ー招待講演

史 中超, 1999. 空間情報科学・技術の現状および未来. 中国科技大学

ー受賞

日本写真測量学会平成 9 年度学会奨励賞 (1998 年) 論文タイトル: 高さ情報を利用した航空写真からの建物の自動検出手法

2. 2001 年度活動記録

* 主要研究テーマ

- 1) 高分解能衛星画像からの地物抽出に関する研究
1m メートル程度の衛星画像からを建物や道路などを抽出する可能性や抽出手法について研究を行った.
- 2) GISデータベースの更新に関する研究
GIS データベース更新の難しさを分析した上で, 航空写真や高分解の衛星画像などマルチデータソースを利用した GIS の自動更新に関する方法論について検討を行った.
- 3) 画像情報解析に関する研究
画像のセグメンテーションはコンピュータビジョンなどの分野で重要な課題として残されている. ウェブレット解析やテクスチャ解析などの併用により, “より領域らしい” 領域の抽出手法の開発を続けている.
- 4) 耕地変化推定モデルの開発
代表的な地域の時系列 Landsat TM 画像 (ポイントデータ) を用いて, 中国全国レベルの耕地変化を推定するモデルを提案し, 実験により検証を行った.
- 5) 土地利用・被覆の変化の抽出
同地域の 70 年代の Landsat MSS 画像, 80 年代, 90 年代の TM 画像を用いて, 主成分分析や NDVI を基に分類を行い, 土地利用・被覆の変化の抽出を行った (中国武漢測絵科技大学の陳曉曉玲氏らとの共同研究).
- 6) 農業生産性の推定と予測に関する研究
FAO が開発した EPIC モデルを中国に適応し, 中国の全国の農業生産性を把握し, 今後の農業生産性の推定を行う. 99 年度は準備段階としてスタートした (中国農科院, 王導龍氏らとの共同研究).

*** 学会活動**

国際写真測量とリモートセンシング学会 (ISPRS) 第5部会 委員
アジア GIS2001 国際シンポジウム 実行委員会委員, 事務局長

*** 担当授業**

空間情報システム演習 (新領域創成科学研究科)

*** 海外出張・研修**

2001. 10. 16～21 中国 International Conference on URBAN GEOINFORMATICS

相良 毅

助手

専門 住所参照, データ構造, 情報検索

1. 過去 5 年間の研究業績

* 査読論文

ー原著論文

相良 毅, 有川正俊, 坂内正夫, 2000. ジオリファレンス情報を用いた空間情報抽出システム. 情処論データベース, 41-SIG6 (TOD7), 69-80.

相良 毅, 有川正俊, 坂内正夫, 2001. 分散位置参照サービス. 情報処理学会論文誌, 42-12, 2928-2940.

Sagara, T., Arikawa, M., Sakauchi, M., 2001. Spatial document management system using spatial data fusion. IIWAS2001, 399-409.

* 非査読論文

ー原著論文

相良 毅, 有川正俊, 高橋昭子, 1999. XML を基本としたテキスト空間情報ベース. 情処研報, 99-61, 219-224.

相良 毅, 有川正俊, 坂内正夫, 2000. ジオリファレンス情報を用いた空間情報媒介システム. 情処研報, 2000-10, 185-190.

相良 毅, 有川正俊, 2001. 電子メールベース地理情報システム『Post GIS』. 情処研報, 2001-71, 3-8.

ー総説・解説

有川正俊, 相良 毅, 2000, インターネット GISーその可能性と限界ー. 地理 9 月号 (古今書院), 30-35.

貞広幸雄, 相良 毅, 杉盛啓明, 2000. 東京大学空間情報科学研究センターにおける空間データ基盤システムの概要. オペレーションズ・リサーチ, 46-1, 11-17.

* 書籍

岡部篤行, 貞広幸雄, 相良 毅, 杉盛啓明, 後藤 寛, 来間玲二, 有川正俊, 2002. 学術空間データ基盤システムの構築—東京大学空間情報科学研究センターの事例. 財団法人統計情報研究開発センター.

* 報告書・資料

相良 毅, 2002, アドレスマッチングを中心とした自治体向け空間情報システムの実現へ向けて—G-XML を用いた既存情報の空間データ化—. 平成 14 年度 G-XML 成果報告, データベース振興センター.

相良 毅, 2002, CSIS 空間データクリアリングハウス. 岡部篤行 (編), 学術空間データ基盤システムの構築—東京大学空間情報科学研究センターの事例—, 平成 9-13 年度科学技術新興調整費知的基盤整備推進制度「空間情報科学の確立のための空間情報のデータベース化に関する研究開発」, 第 2 グループ成果報告書, 分冊 1, 59-92.

相良 毅, 2002, 分散アドレスマッチング手法. 坂内正夫 (編), オブジェクト指向技術を利用したオープンネットワーク環境下における公物等空間情報の更新及び流動に関する研究開発, 平成 9-13 年度科学技術新興調整費知的基盤整備推進制度「空間情報科学の確立のための空間情報のデータベース化に関する研究開発」, 第 2 グループ成果報告書, 分冊 4, 32-59.

相良 毅, 2002, 空間文書の利用. 坂内正夫 (編), オブジェクト指向技術を利用したオープンネットワーク環境下における公物等空間情報の更新及び流動に関する研究開発, 平成 9-13 年度科学技術新興調整費知的基盤整備推進制度「空間情報科学の確立のための空間情報のデータベース化に関する研究開発」, 第 2 グループ成果報告書, 分冊 4, 60-69.

Kobayashi, A., Sagara, T., Hayama, T., 2002. Geographic coordinate systems. Dean, J., Jon, F., eds., Scalable Vector Graphics (SVG) 1.1 Specification. W3C Working Draft, World Wide Web Consortium, <http://www.w3.org/TR/2002/WD-SVG11-20020215/>

* 国際学会発表

Sagara, T., Arikawa, M., Sakauchi, M., 2000. A spatial data acquisition system from Japanese WWW pages. GIScience2000, 23-24.

* 国内学会発表

相良 毅, 有川正俊, 坂内正夫, 1999. ネットワーク上の各種情報源からの地理情報抽出収集手法. 地理情報システム学会講演論文集, 8, 331-334.

相良 毅, 有川正俊, 2000. 住所付きデータの緯度経度変換インターネットシステム. 第 14 回応用地域学会大会

相良 毅, 有川正俊, 2000. 日本の住所体系に適した分散アドレスマッチングサービス.
GIS 学会講演論文集, 9, 183-186.

* その他

ー招待講演

相良 毅, 2000. GIS 文化とビジネスモデル. 最新動向フォーラム 2001 (基調講演), 関西
データベース協議会 GIS/電子地図の会主催, 大阪

相良 毅, 2001. アドレスマッチングの技術と活用. 地図・地価データを基にした行政情
報の効果的活用セミナー (基調講演), 東北データベースソサエティ主催, 仙台

2. 2001年度活動記録

* 主要研究テーマ

1) 分散位置参照システムに関する研究

日本の複雑な住所体系と, 住所表記の様々な省略や揺らぎに対応した, 高速かつ頑健な住所参照アルゴリズムを開発した. また, ネットワーク分散化手法について研究を行い, これらを用いてインターネット上での位置参照サービスを開始, 現在も提供している.

2) 空間文書管理システムの研究

Webページやワープロ文書, 表計算文書など, GISで利用できないが住所を含む(広義の)空間情報を収集し, 自然言語処理と住所参照手法を用いて自動的に構造化・空間データ化する手法を開発した. これらの空間的な情報を含む文書データ(=空間文書)を効率的に管理し, 検索・閲覧機能を提供する空間文書管理システムについて研究した.

3) CSISクリアリングハウスシステムの改良

研究者が作成・加工した空間データを容易に検索するための情報システムであるクリアリングハウスを, コンピュータネットワーク上で分散システムとして動作するように拡張した.

4) SVGの機能拡張に関する研究

SVGは拡大縮小が可能なベクタグラフィックスの世界標準として普及しつつあり, 地図をデジタル表現する上で非常に有効な規格としての可能性があるが, バージョン1.0では空間情報の表現形式としては不十分であった. そこでバージョン1.1の仕様策定に参加し, 地理参照系の概念の導入を中心に, 地図に利用できるよう拡張した.

ー学会活動

電子情報通信学会画像工学研究会専門委員会 機能図形情報システム研究会 事務局
地理情報処理学会 マルチメディアGIS分科会 事務局

情報処理学会会員，地理情報システム学会会員

－研究活動

W3C Scalable Vector Graphics (SVG) ワーキンググループメンバー

G-XML 機能拡張小委員会委員，全日本不動産協会 紀尾井町フォーラム委員

杉盛啓明

助手

専門 地理情報科学, 水文学

1. 過去 5 年間の研究業績

* 査読論文

ー原著論文

安陪和雄, 丹羽 薫, 小川和延, 杉盛啓明, 浦野 隆, 1997. GISを用いた流域環境管理システム. 土木技術資料, 39-5, 24-29.

安陪和雄, 和田一斗, 杉盛啓明, 寺川 陽, 1998. 湖沼流域環境管理シミュレーションシステム. 土木技術資料, 40-8, 20-25.

* 非査読論文

ー総説・解説

貞広幸雄, 相良 毅, 杉盛啓明, 2000. 東京大学空間情報科学研究センターにおける空間データ基盤システムの概要. オペレーションズ・リサーチ, 46-1, 11-17.

杉盛啓明, 榊原庸貴, 伊藤誠敏, 2000. 知って得する土木技術者のためのIT講座第3回 GISの基礎. 土木学会土木情報システム委員会情報共有技術小委員会(編), 土木施工, 山海堂, 41-8, 84-91.

浅見泰司, 貞広幸雄, 相良 毅, 杉盛啓明, 2001. 東京大学空間情報科学研究センターの全国研究者支援構想. 森林航測, 194, 1-4.

* 書籍

小口 高, 杉盛啓明, 2000. 東京大学空間情報科学研究センターにおける里山研究プロジェクトの位置づけ. 杉盛啓明, 青木賢人, 鈴木康弘, 小口 高, 地域環境 GIS 研究会(編) デジタル観測手法を統合した里山の GIS 解析ー東京大学空間情報科学研究センター公開シンポジウムー, 地域環境 GIS 研究会, 84-85.

杉盛啓明, 2000. 流出解析の基礎情報としての細密 DEM. 杉盛啓明, 青木賢人, 鈴木康弘, 小口 高, 地域環境 GIS 研究会(編), デジタル観測手法を統合した里山の GIS 解析ー東京大学空間情報科学研究センター公開シンポジウムー, 地域環境 GIS 研究会, 27-30.

- 杉盛啓明, 青木賢人, 鈴木康弘, 小口 高, 地域環境 GIS 研究会 (編), 2000. デジタル観測手法を統合した里山の GIS 解析—東京大学空間情報科学研究センター公開シンポジウム—, 地域環境 GIS 研究会, 85 pp.
- 杉盛啓明, 2001. 水文学と GIS. 高阪宏行, 村山祐司 (編) 「GIS—地理学への貢献」古今書院, 57-73.
- 杉盛啓明, 2001. GIS の考え方にもとづく地理情報へのアプローチ. 井田仁康, 伊藤 悟, 村山祐司 (編), 授業のための地理情報—写真・地図・インターネット—, 古今書院, 166-177.
- 杉盛啓明, 後藤 寛, 2002. 空間データ共有システムによるデータ利用. 岡部篤行, 貞広幸雄 (編), 学術空間データ基盤システムの構築 —東京大学空間情報科学研究センターの事例—, 財団法人統計情報研究開発センター, 25-39.

—翻訳

- 杉盛啓明, 1997. ヨーゼフ・ブラープ著, 青木 進, 一ノ瀬友博, 大久保 悟, 加藤和弘, 篠沢健太, 杉盛啓明, 西原昇吾, Stefan Hotes (訳) 「野生の生きものを守るためのガイドブック ビオトープの基礎知識」財団法人日本自然保護協会.
- 杉盛啓明, 1998. 日本・朝鮮半島. 田辺 裕監修, 荒井良雄 (訳) 「図説大百科 世界の地理 22」朝倉書店, 3080-3095.

* 報告書・資料

- 木村圭司, 恩田裕一, 杉盛啓明, 1999. 高解像度流出解析システム構築のための観測網のあり方—観測網の現状と今後—. 愛知県企画部: 近未来社会対応型情報通信産業振興事業 近未来型社会に対応する地域環境シミュレーションシステムの構築, 平成10年度成果報告書, 4-2, 1-5.
- 杉盛啓明, 1999. 空間情報のおもな種類. 土木学会土木情報システム委員会情報共有技術小委員会, 平成10年度中間報告書, 52-54.
- 杉盛啓明, 1999. 高解像度DEMを用いた流出解析の新展開. 愛知県企画部: 近未来社会対応型情報通信産業振興事業 近未来型社会に対応する地域環境シミュレーションシステムの構築, 平成10年度成果報告書, 4-1, 1-7.
- 杉盛啓明, 1999. CSISにおける空間データクリアリングハウス. 東京大学空間情報科学研究センター, 空間情報科学大学研究教育連絡会議準備会・ワークショップ, 5-11.
- 恩田裕一, 杉盛啓明, 木村圭司, 2000. 流量および気象観測網の最適配置—高密度観測データの取得—. 愛知県企画部: 近未来社会対応型情報通信産業振興事業 近未来型社会に対応する地域環境シミュレーションシステム—「里山の緑」の解析技術の開発—, 平成11年度成果報告書, 3-2, 1-7.

杉盛啓明, 恩田裕一, 2000. 高解像度流出シミュレーションのためのモデル構築. 愛知県企画部: 近未来社会対応型情報通信産業振興事業 近未来社会に対応する地域環境シミュレーションシステムー「里山の緑」の解析技術の開発ー, 平成11年度成果報告書, 3-3, 1-11.

杉盛啓明, 2001. GISから水文学へ. 特集・GISの初体験, 地理, 46-6, 30-31.

杉盛啓明, 2001. 地理情報システムによる生物空間データベースと応用可能性. 河川整備基金 河川における自然生態系の評価手法に関する研究報告書, 71-75.

* 国際学会発表

Sugimori, H., 1997. Application of land use data to the analysis of landscape dynamics. Proceedings of IGU-LUCC'97, Brisbane, Australia, 118-123.

Kimura, K., Kumamoto, T., Suzuki, Y., Handa, N., Oguchi, T., Sugimori, H., Onda, Y., 2000. Vegetation change and its reasons in the suburban forest for recent 50 years: An example about the suburban forest in the east of Nagoya City, the central part of Japan. Abstracts, 29th International Geographical Congress, Seoul, Korea, 247-248.

Oguchi, T., Suzuki, Y., Kimura, K., Handa, N., Onda, Y., Itokazu, T., Sugimori, H., Katsube, K., Yamamoto, K., Kumamoto, T., 2000. Toward modeling decade-scale hydrological responses to vegetation change: GIS and remote sensing applications to a Japanese hilly land. Abstracts, Fourth International Meeting on Global Continental Palaeohydrology GLOCOPH 2000, Moscow, Russia, 105.

Itokazu, T., Onda, Y., Matsumoto, E., Sugimori, H., Kimura, K., Shibano, H., 2001. Difference of the runoff and sediment yield characteristics with vegetation recovery in Seto granite watershed, Central Japan. Abstracts, Fifth International Conference on Geomorphology, Tokyo, Japan, C-109.

Sugimori, H., Onda, Y., Sidle, R.C., Wu, W., Dhakal, A.S., Kimura, K., Itokazu, T., Oguchi, T., 2001. A contour based distributed hydrological model to simulate effects of vegetation recovery on runoff process. Abstracts, Fifth International Conference on Geomorphology, Tokyo, Japan, C-229.

Suzuki, Y., Oguchi, T., Onda, Y., Sugimori, H., Itokazu, T., Katsube, K., Kimura, K., Aoki, T., Kumamoto, T., Yamamoto, K., Masaoka, N., Handa, N., 2001. An integrated approach to hydrogeomorphology in a Japanese hilly land. Abstracts, Fifth International Conference on Geomorphology, Tokyo, Japan, C-233.

* 国内学会発表

安陪和雄, 寺川 陽, 小川和延, 杉盛啓明, 1997. 霞ヶ浦流域における流域環境管理のための分布型水循環モデルの構築. 土木計画学研究・講演集, 20-1, 143-146.

- 杉盛啓明, 安倍和雄, 1998. GISによる流域水文環境の可視化. 日本地理学会発表要旨集, 53, 176-177.
- 杉盛啓明, 安倍和雄, 1998. 流域環境計画を支援するGIS. 日本地理学会発表要旨集, 54, 62-63.
- 小口 高, 勝部圭一, 杉盛啓明, 佐野滋樹, 柚原正幸, 鈴木康弘, 1999. 5mメッシュDEMの解析—愛知万博開催予定地付近を例に— (第一報). 地形, 19, 497.
- 杉盛啓明, 1999. 地理的な思考力を高めるための教育用GISについての一考察. 地理情報システム学会講演論文集, 8, 27-30.
- 高橋昭子, 有川正俊, 杉盛啓明, 1999. 研究ツールとしてのGIS入門教育の課題. 地理情報システム学会講演論文集, 8, 35-39.
- 糸数 哲, 恩田裕一, 松本栄次, 杉盛啓明, 芝野博文, 木村圭司, 2001. 植生回復と降雨流出特性および土砂流出特性の違い. 日本地理学会発表要旨集, 59, 69.
- 太田 剛, 大森博雄, 杉盛啓明, 山口 歩, 2001. 浅川における水質の縦断変化と流域土地利用との関係. 日本地理学会発表要旨集, 60, 148.
- 杉盛啓明, 木村圭司, 小口 高, 鈴木康弘, 2001. GISを用いた丘陵地の流域分類と流出解析—多摩川流域における研究 その1—. 日本地理学会発表要旨集, 59, 70.

2. 2001 年度活動記録

* 主要研究テーマ

- 1) 丘陵地流域における自然環境解析
丘陵地流域における流出特性と環境条件との関係を明らかにするために, 地形・水文・植生・土地利用などの環境情報のデータベース化と, GISを用いた解析・モデリングに関する研究を進めた.
- 2) 学校教育におけるGISの活用に関する研究
初等・中等教育におけるGISを用いた学習教材の開発にむけて, 地理情報の収集・整理のための要素技術について調査研究を行った.
- 3) 河川における自然生態系評価手法に関する研究
河川における生物の生息分布ポテンシャルについて, GISを用いた解析と評価手法に関する研究を進めた.

* 学会活動

- 日本地理学会 渉外広報委員会委員
日本地理学会 選挙管理委員会委員
土木学会 土木情報システム委員会情報共有技術小委員会委員

土木学会 土木情報システム委員会国土情報活用小委員会委員
地理情報システム学会 学校教育委員会委員

来間玲二

研究機関研究員

専門 都市経済学

1. 過去 5 年間の研究業績

* 非査読論文

ー原著論文

来間玲二, 藤原 徹, 吾郷貴紀, 齊藤裕志, 佐藤泰裕, 金本良嗣, 2000. 電子化と都市構造. 日交研シリーズ, A-280, 1-27.

* 国内学会発表

来間玲二, 城所幸弘, 2000. 都市・地域研究者のための CSIS 統計データベース. 応用地域学会

来間玲二, 大河原透, 2001. 都市圏経済データの作成について. 応用地域学会

* 書籍

岡部篤行, 貞広幸雄, 相良 毅, 杉盛啓明, 後藤 寛, 来間玲二, 有川正俊, 2002. 学術空間データ基盤システムの構築. SINFONICA 研究叢書.

2. 2001 年度活動記録

* 主要研究テーマ

1) 統計データベースの研究

各種統計データが電子化された上で公開されはじめていることをふまえ, その膨大な情報に誰もが簡単にアクセスできるように必要となる仕組みを考案し, WWW をつうじて利用できるデータベースとして構築した.

2) 都市圏単位の経済データに関する研究

行政界と経済圏の違いに着目し, 経済分析を行うのに適当な都市圏単位での経済データを構築, またはその利用について比較検討した.

宮崎（野村）千尋

研究機関研究員

専門 気候学, 自然地理学

1. 2001 年度までの研究業績

* 査読論文

ー原著論文

野村千尋, 1999. 東アジアおよび東南アジアにおける寒波の分類と低緯度地方における雲活動との関係. 地理学評論, 72A, 808-828.

Nomura, C., 2000. Cold waves in East and Southeast Asia and their effect on atmospheric circulation at lower latitudes. Science Reports of Tohoku University, 50, 59-74.

* 国際学会発表

Nomura, C., 2001. Cold waves at lower-latitudes in East and Southeast Asia and their interannual variation. Abstracts, The Third International Symposium on Asian Monsoon System (ISAM3), Okinawa, Japan, 156-161.

* 国内学会発表

野村千尋, 1997. 東アジアおよび東南アジアにおけるコールドサージと熱帯大気の反応. 季刊地理学, 49, 205.

野村千尋, 1997. 東アジアおよび東南アジアにおけるコールドサージの区分. 日本地理学会発表要旨集, 52, 152-153.

野村千尋, 1998. 東アジアおよび東南アジアにおけるコールドサージの変動と熱帯大気への反応. 1998 年秋季大会講演予稿集 (日本気象学会), 74, 319.

野村千尋, 1999. 冬季アジアモンスーンの寒波発生時における低緯度への影響. 季刊地理学, 52, 73-74.

野村千尋, 2000. 東アジアおよび東南アジアにおける寒波の区分とその経年変動. 日本地理学会発表要旨集, 57, 276-277.

野村千尋, 2000. 東アジアおよび東南アジアにおける低緯度寒波の経年変動. 2000 年春季大会講演予稿集 (日本気象学会), 77, 177.

野村千尋, 2001. 東アジアおよび東南アジアにおける低緯度寒波について. 日本地理学会発表要旨集, 59, 135.

2. 2001 年度活動記録

* 主要研究テーマ

1) 冬季アジアモンスーンにおける低温域の空間分布に関する研究

冬季にアジアを襲来する寒波が、特に低緯度においてどのように広がり、熱帯大気にどのような影響を及ぼすのかを明らかにするため、回転主成分分析を用いて低温域の空間分布を分類し、その出現傾向や熱帯擾乱への影響を研究した。

2) 気象・気候学からみた空間情報と GIS の活用に関する研究

気象・気候データは、自然科学的事象（自然災害など）だけでなく、人文科学的事象（経済活動や疾病分布など）にも欠かせない情報である。このようなデータを CSIS 空間データ共有システムに加工して格納する方法や、GIS による解析をスムーズに行う方法について、研究を進めた。

高橋昭子

研究支援推進研究員

専門 GIS ソフトウェアを利用した研究支援, GIS 教育

1. 過去 5 年間の研究業績

* 非査読論文

ー原著論文

相良 毅, 有川正俊, 高橋昭子, 1999. XML を基本としたテキスト空間情報ベース. 情報処
研報, 99-61, 219-224.

ー総説・解説

高橋昭子, 小口 高, 2001. GIS ソフト評論ーHTML ImageMapper 3.0. 地理, 46-7, 122-123.

* 国内学会発表

高橋昭子, 有川正俊, 杉盛啓明, 1999. 研究ツールとしてのGIS入門教育の課題. 地理情報
システム学会平成11年度研究発表大会梗概集, 35-39.

高橋昭子, 2001. GISソフトウェア・ユーザに対するサポートの課題. 地理情報システム学
会平成13年度研究発表大会梗概集, 63-68.

2. 2001 年度活動記録

* 主要活動

1) 学内外研究者に対する GIS 入門教育

経済学部金本研究室のゼミ生向けに GIS 講習会を実施した.

2) 学外 GIS 利用者に対する GIS 情報の整理

学外 GIS 利用者向けに Web ページによる GIS 情報の発信を行った.

てくてく GIS ホームページ : <http://www.csis.u-tokyo.ac.jp/~akuri/>

2001 年度の総ページ参照数は, 78 万件だった.

また, GIS 操作における疑問点を解消し, 一般からの質問にも対応する場として, Web
ページ内に掲示板システムを設置し, 質問への対応を行った. 2001 年度の質問回答件数
は 198 件だった.

XVI 個人情報-2: 地方拠点校客員教官

※2001年度の研究業績と主要研究テーマを掲載した。

江崎哲郎

客員教授

研究室 〒812-8581 福岡県福岡市東区箱崎 6-10-1

九州大学大学院工学研究院 環境システム科学研究センター

専門 地盤環境システム工学, 岩盤工学

1. 2001年度研究業績

* 査読論文

ー 原著論文

生貞幸治, 溝上 建, 中川光雄, 蔣 宇静, 江崎哲郎, 2001. 不連続体解析法を用いた数値シミュレーションによる原位置岩盤のせん断挙動特性の評価. 土木学会論文集, 680-III-55, 83-96.

蔣 宇静, 肖 俊, 山口耕平, 棚橋由彦, 江崎哲郎, 2001. 大規模地下空洞の掘削に伴う局所破壊と補強設計に関する研究. 資源と素材, 117, 639-644.

張 銘, 竹田幹郎, 江崎哲郎, 高橋 学, 遠藤秀典, 2001. 拘束圧および異方性が岩石の透水・透気係数に及ぼす影響. 資源と素材, 117, 941-946.

Du, S.J., Esaki, T., Mitani, Y., Zhou, G.Y., Ikusada, K., 2001. A numerical simulation and visualization of shear process of rock masses by using geographic information system. Proceedings of the 38th U.S Rock Mechanics Symposium, DC Rocks 2001, 895-900

Esaki, T., Xie, M., Zhou, G., Mitani, Y., 2001. 3D critical slope stability analysis based on GIS spatial database and Monte Carlo Simulation. Proceedings of the 38th U.S Rock Mechanics Symposium, DC Rocks 2001, 1137-1143.

Jiang, K.J., Furukawa, H., Onoyama, Y., Esaki, T., 2001. Water resource development in the Quaternary Ryukyu limestone regions of Japan: Application of the GIS to the site selection of underground dams. Acta Geologica Sinica-English Editon, 254-259.

Mizokami, T., Ikusada, K., Esaki, T., Mitani, Y., 2001. Physical and analytical simulation of in-situ shear test on steeply dipped rock masses. Proceedings of the 38th U.S Rock Mechanics Symposium, DC Rocks 2001, 1445-1450.

一総説・解説

江崎哲郎, 2001. 難透水性地盤の透水試験の問題点と新しい提案. 電力土木, 293-5, 3-8.

* 非査読論文

一原著論文

江崎哲郎, 周 国云, 三谷泰浩, 琴崎 剛, 2001. GIS を用いた水循環一広域地盤沈下時空解析システムの構築. 第 22 回西日本岩盤工学シンポジウム論文集, 107-114.

三谷泰浩, 江崎哲郎, 周 国云, 中島祐一, 2001. 一方向流型せん断一透水同時実験装置の開発と間隙幅分布の変化が透水特性に及ぼす影響に関する研究. 亀裂性岩盤における浸透問題に関するシンポジウム発表論文集, 179-186.

江崎哲郎, 三谷泰浩, 周 国云, 2002. 地理情報システム (GIS) を用いた岩盤力学の新しい展開. 第 11 回岩の力学国内シンポジウム論文集 (CD-ROM).

江崎哲郎, 趙 曉東, 三谷泰浩, 周 国云, 鹿田光一, 2002. 地盤沈下を予測する GIS 時空精密解析ツールの開発, 第 11 回岩の力学国内シンポジウム論文集 (CD-ROM).

竹田幹郎, 江崎哲郎, 張 銘, 三谷泰浩, 2002. 不飽和浸透流特性値の同定に関する基礎的研究. 第 11 回岩の力学国内シンポジウム論文集 (CD-ROM).

張 曉兵, 江崎哲郎, 三谷泰浩, 周 国云, 内野雅彦, 2002. GIS を用いた第三紀層地すべり地帯の切り取り斜面の安定評価. 第 11 回岩の力学国内シンポジウム論文集 (CD-ROM).

溝上 建, 三谷泰浩, 江崎哲郎, 生貞幸治, 椎野 修, 2002. 不連続面の傾斜角が岩盤のせん断挙動に及ぼす影響に関する研究. 第 11 回岩の力学国内シンポジウム論文集 (CD-ROM).

三谷泰浩, 江崎哲郎, 中島祐一, 郷家光男, 木下直人, 2002. 岩盤不連続面の透水異方性に関する実験的研究. 第 11 回岩の力学国内シンポジウム論文集 (CD-ROM).

Esaki, T., Xie, M., Zhou, G., Mitani, Y., 2001. Monte carlo method for locating and evaluating 3D critical slope slip based on GIS database. Proceedings of the 2001 ISRM International Symposium-2nd Asian Rock Mechanics Symposium, 17-21.

Cai, Y., Esaki, T., Yuan, Y., Mitani, Y., Zhou, G., 2001. Modeling for autogenous shrinkage of repair material at early age. Proceeding of the Third International Summer Symposium, 2001, 249-252.

Xie, M., Esaki, T., Zhou, G., Mitani, Y., 2001. Effective data transformation and processing for GIS-based 3D landslide hazard assessment. Proceedings of Asia GIS 2001 (CD-ROM).

Xie, M., Esaki, T., Zhou, G., Mitani, Y., 2001. Data coupling for GIS- based 3D slope stability analysis. Proceeding of the Third International Summer Symposium, 2001, 225-228.

Zhou, G., Esaki, T., Mitani, Y., 2001. Three dimensional groundwater flow and land subsidence modeling in Saga plain by using GIS. Proceedings of Asia GIS 2001 (CD-ROM).

Zhao, X., Esaki, T., Song, Z., Jiang, Y., 2001. GIS raster digitized methods with face element to predict mining subsidence. Proceedings of the 2001 ISRM International Symposium-2nd Asian Rock Mechanics Symposium, 479-482.

Zhao X., Esaki, T., Zhou, G., Mitani, Y., 2001. Stability assessment of Tertiary stratified slope by using GIS and stereo-net. Proceedings of the 2001 ISRM International Symposium-2nd Asian Rock Mechanics Symposium, 475-478.

* 報告書・資料

江崎哲郎, 核燃料サイクル開発機構, 2001. 岩盤不連続面の力学・透水メカニズムの実験的・解析的研究. 先行基礎工学分野に関する平成 12 年度報告書共同研究報告書.

* 国際学会発表

Zhou, G., Esaki, T., Mitani, Y., 2001. Landslide hazard assessment using GIS. Proceedings of The Twenty-First Annual ESRI International User Conference (CD-ROM), San Diego, USA, 2001.

* 国内学会発表

竹原大倫, 三谷泰浩, 中島祐一, 江崎哲郎, 2002. 不連続面のせん断一透水同時実験手法に関する研究. 土木学会西部支部研究発表会講演概要集, 404-405.

久留須靖, 江崎哲郎, 三谷泰浩, 香月 理, 2002. 連続性岩盤斜面のたわみ性トップリング崩壊に関する研究. 土木学会西部支部研究発表会講演概要集, 234-235.

安武由貴, 江崎哲郎, 三谷泰浩, 朴キョンヒ, 2002. GIS による新キャンパスの管理運営システムの構築に関する研究. 土木学会西部支部研究発表会講演概要集, 364-365.

立田修司, 江崎哲郎, 三谷泰浩, 周 国云, 張 曉兵, 御厨 剛, 2002. 古第三紀層切り取り斜面の維持管理支援システムの構築に関する研究. 土木学会西部支部研究発表会講演概要集, 262-263.

吉岡隆宏, 江崎哲郎, 周 国云, 三谷泰浩, 2002. 筑後・佐賀平野における浅部地下水涵養モデルの構築と解析. 土木学会西部支部研究発表会講演概要集, 264-265.

江崎哲郎, 趙 曉東, 三谷泰浩, 周 国云, 2002. 中国華北地区における石炭開発による地盤環境への影響評価システムの構築. 資源・素材学会平成 14 年度春季大会講演概要集, 124-125.

* その他

一 講演

江崎哲郎, 2001. 電子国土・GIS への期待. 「測量の日」記念講演会—21 世紀における“電子国土”の実現を目指して—, 2001. 8. 1.

- 江崎哲郎, 2001. GIS をどう使っていくか. 福岡県建設技術情報センター, GIS 講習会, 2001. 8. 28.
- 江崎哲郎, 2001. GIS をベースにした設備管理のあり方. GIS 技術講習会, 九州電力工務部, 2001. 9. 7.
- Esaki, T., 2001. Education of rock mechanics in Japanese university. 2nd Asian Rock Mechanics Symposium (ISRM), 2001. 9. 12
- 江崎哲郎, 2001. 岩盤力学の分野からみた地質調査への期待. 物理探査学会, 2001. 10. 19
- 江崎哲郎, 2001. GIS の現状と将来. 日本測量技術協会九州地区研修会, 2001. 11. 16
- 江崎哲郎, 2002. 地方自治体 GIS 導入のための留意点. 国土地理院講演, 2002. 2. 8
- 江崎哲郎, 2002. GIS (地理情報システム) の現状と高度利活用への課題. 先端科学技術センター (Kastec) 講演会, 2002. 3. 8

2. 2001 年度主要研究テーマ

1) 地圏 (地表と地下) の開発と環境保全

東アジアおよび国内における各種建設, 資源開発プロジェクトの推進と環境の調和を目的とした技術開発の研究を行った (長江水理委員会, 中国鉱業大学との共同研究, 日中科学技術委員会中国側提案プロジェクトなど).

2) GIS, GPS の高度利用アプリケーションに関する研究

建設分野を中心とした応用研究を行った (九州大学 P&P 研究プロジェクト「学術研究都市の各種 GIS 計画の連携と高度利用体制の構築」, CSIS の協力によりクリアリングハウスの構築など).

3) 岩盤の材料評価, 構造解析技術の開発と実際への応用に関する研究

飽和および不飽和状態における難透水性岩盤の浸透試験方法の確立 (文部省科学研究費) などを行った.

岡田憲夫

客員教授

研究室 〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄

京都大学防災研究所総合防災研究部門

専門 災害リスクマネジメント, 社会システム計画論, 土木計画学

1. 2001 年度研究業績

* 査読論文

ー 原著論文

梶谷義雄, 多々納裕一, 岡田憲夫, 2001. 兵庫県南部地震の港湾活動への長期的影響に関する事後分析. 土木計画学研究・論文集, 18-2, 317-324.

川除隆弘, 多々納裕一, 岡田憲夫, 2001. 費用便益分析指標を基にしたプロジェクト採択のリスク分析法. 土木計画学研究・論文集, 18-2, 223-230.

榊原弘之, 五十部 渉, 岡田憲夫, 2001. 不完備情報下でのプロジェクト選択を巡るコンフリクトの調整メカニズムに関する研究-2 主体・2 プロジェクトの場合-. 土木学会論文集, 674/IV-51, 3-15.

庄司靖章, 多々納裕一, 岡田憲夫, 2001. 2 地域一般均衡モデルを用いた防災投資の地域的波及構造に関する分析. 土木計画学研究・論文集, 18-2, 287-296.

Sakakibara, H., Okada, N., Kajitani, Y., 2001. Topological analysis on vulnerable spots of a city. Proceedings of IEEE International Conference, 1264-1269.

Tatano, H., Shoji, Y., Okada, N., 2001. A multi-regional general equilibrium analysis taking account of disaster risk. Proceedings of IEEE International Conference, 1773-1778.

* 非査読論文

ー 原著論文

梶谷義雄, 岡田憲夫, 多々納裕一, 2001. 災害復興過程における人間活動分布の時空間分析に関する研究. 土木計画学研究・講演集, 24-2, CD-ROM.

川除隆弘, 多々納裕一, 岡田憲夫, 2001. 個人旅行費用法を用いた木津川河川空間利用便益のリスク分析. 土木計画学研究・講演集, 24-2, CD-ROM.

Kajitani, Y., Okada, N., Tatano, H., 2001. Spatial-temporal statistical analysis of human behavior related risks by use of DiMSIS. Proceedings of Japan-US Workshop on Disaster Risk Management for Urban Infrastructure Systems, 319-324.

Okada, N., Kajitani, Y., Sakakibara, H., 2001. Modeling, urban diagnosis and policy analysis for integrated disaster risk management - Illustrations by use of DiMSIS, niche analysis and

topological index. Proceedings of Japan-US Workshop on Disaster Risk Management for Urban Infrastructure Systems, 15-21.

Okada, N., 2001. Chizu's "Zero-to-one projects" and Himawari systems—What do they mean to planning? Proceedings of Kasology Trilateral 1st Conference in Chizu, Japan, 23-28.

Tatano, H., Shoji, Y., Okada, N., 2001. Long-term effect of disaster mitigation investment upon regional economy: A multi-regional general equilibrium approach. Proceedings of Japan-US Workshop on Disaster Risk Management for Urban Infrastructure Systems, 269-277.

Weber, G., Okada, N., 2001. "Hot spots" of village renewal—Cross-cultural field studies in Japan and Austria resulted in structured knowledge. Proceedings of Kasology Trilateral 1st Conference in Chizu, Japan, 29-34.

Kajitani, Y., Okada, N., Tatano, H., 2002. Spatial-temporal analysis of human community viability by niche indices—A case study of disaster affected region. Proceedings of Third Joint Seminar on Urban Disaster Management, 30-35.

Tatano, H., Okada, N., 2002. Effects of heterogeneous damages in capital a disaster upon recovery processes. Proceedings of Third Joint Seminar on Urban Disaster Management, 17-20.

Yaoxian, Y., Okada, N., 2002. Achievements of joint research on management of urban disaster risks for the phase I of the EQTAP project in 1999-2001. Proceedings of Third Joint Seminar on Urban Disaster Management, 78-82.

* 書籍

岡田憲夫, 共同執筆, 2001. 防災学ハンドブック. 京都大学防災研究所編, 朝倉書店, 2001.

* 国際学会発表

Okada, N., 2001. Integrated urban disaster risk management: A new perspective and illustrations from Japanese challenges. The First Annual IIASA-DPRI Meeting on Integrated Disaster Risk Management: Reducing Socio-Economic Vulnerability, at IIASA.

Okada, N., 2001. Modeling, urban diagnosis and policy analysis for integrated disaster risk management—Illustrations by use of DiMSIS, niche analysis and topological index. Proceedings of EQTAP Annual Meeting, Seattle.

* 国内学会発表

梶谷義雄, 岡田憲夫, 多々納裕一, 2001. 時系列分析を用いた災害の事後評価手法の提案～神戸港を対象として. 平成 13 年度関西支部年次学術講演会講演概要, IV-74, CD-ROM.

梶谷義雄，岡田憲夫，多々納裕一，2001. ニッチ分析を援用した震災復興過程に関する時空間解析. 第56回年次学術講演会講演概要集，IV-243，CD-ROM.

庄司靖章，多々納裕一，岡田憲夫，2001. 都市の産業構造の違いが防災投資の地域的波及にもたらす影響に関する分析. 平成13年度関西支部年次学術講演会講演概要，IV-73，CD-ROM.

本間稔常，多々納裕一，岡田憲夫，2001. 経済成長モデルを用いた災害後の復旧過程に関する分析. 平成13年度関西支部年次学術講演会講演概要，IV-72，CD-ROM.

本間稔常，多々納裕一，岡田憲夫，2001. 災害による不均質な資本損傷を考慮した経済復興過程に関する分析. 土木学会第56回年次学術講演会講演概要集，IV-194，CD-ROM.

2. 2001年度主要研究テーマ

1) 災害リスクの評価・分析とリスクコミュニケーションの方法に関する研究

災害が社会的被害を引き起こす過程には人間の活動分布や住宅・産業の空間的集積状況，社会基盤の整備状況，さらにはそれらを間接的に規定する法や制度，文化といった重層的な構造が介在する。そこで，人間活動の分布と災害のリスクとの関連を分析するためにニッチ分析を用いた方法論の開発を試みている。また，社会基盤の整備と災害リスクの関連性に関しては，道路網の冗長性解析手法を提案している。また，住居の空間分布のリスク解析のために，都市経済学的なアプローチに基づいて災害リスク情報の利用可能性と被害の発生可能性に関する理論的検討を行っている。また，時空間GIS (DiMSIS) を活用した災害リスクの分析評価とリスクコミュニケーションの方法についても研究している。

2) 災害による社会・経済的インパクトに関する研究

近年の災害による社会経済的なインパクトは年々増加の一途をたどっている。90年代の平均値と60年代のそれとを比較すると，災害の発生件数は3.2倍に増加し，総経済損失は8.6倍に，保険金支払額にいたっては16.1倍に達している。このことから，1) 災害が全世界的に増加傾向にあること，2) また，その増加率を上回るスピードで，被災危険地域に人口や資産の集中が進む傾向があること，などがわかる。このことは，災害に対する対処方法を考える際に，社会経済活動への効果を考慮することが極めて重要であることを示唆している。そこで，当研究室では，ハザードマップの提供による被害軽減の可能性や防災投資の短期・長期効果の計量化および評価方法に関して研究している。

3) 災害リスクマネジメントの戦略論

災害のリスクマネジメントの方法は，災害リスクの「コントロール」と「ファイナンス」に大別される。洪水に備えてダムや堤防を作ったり，建築物や土木構造物の耐震設計を行ったりといった物的なリスクコントロールの他にも，保険，税あるいは情報提供等に

よって被災危険地域から人口や資産の分散を図るような非物的な手段によるコントロール手段も存在する。また、大規模な災害では被害の発生は避け得ない。このため、災害のリスクを効率的に分担していく仕組みであるリスクファイナンスも極めて重要である。災害リスクマネジメントを実効あるものにしていくためには、これらの施策を有機的に組み合わせていくことが不可欠となる。そこで、当研究室では、これら災害リスクマネジメントのための施策をいかに組み合わせ、有効な戦略を導くかという政策分析の方法に関して研究を行っている。

佐土原 聡

客員教授

研究室 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-7

横浜国立大学大学院環境情報研究院

専門 都市環境, 都市防災, 都市エネルギー, 地理情報システム

1. 2001 年度研究業績

* 査読論文

ー 原著論文

秋田典子, 佐土原 聡, 2001. 地域資源に対する住民の価値評価構造に関する研究—福島県原町市での分析—. 日本建築学会計画系論文集, 545, 101-106.

浦川 豪, 川崎昭如, 佐土原 聡, 中島徹也, 服部一樹, 2001. 崖災害対策への GIS の活用—崖およびその被災危険区域の抽出と雨量による崖崩壊危険区域の公開—. GIS—理論と応用, 9, 25-32.

川井正和, 佐土原 聡, 村上處直, 2001. 都市域における火災対応水利特性の総合評価に関する研究 (その 1) —水利の評価指標の提案と横浜市鶴見区での平常時のケーススタディ—. 日本建築学会計画系論文集, 544, 209-216.

北嶋秀明, 佐土原 聡, 2001. 発展途上国の建築分野の技術協力における発展要因の構成要素の選定に関する研究. 日本建築学会計画系論文集, 550, 225-233.

田中貴宏, 佐土原 聡, 2001. 都市環境の人工化が人間の健康に及ぼす影響に関する調査研究—横浜市, 川崎市を対象とした調査と分析—. 日本建築学会計画系論文集, 544, 71-77.

鄭 炳表, 佐土原 聡, 2001. 市街地の拡大に伴う地震被災危険度経年変化に関する研究—横浜市における人口集中地区 (DID) の応急・救助・避難, 崖崩れを中心とした分析—. 日本建築学会計画系論文集, 550, 201-207.

* 書籍

佐土原 聡, 2001. 安全性の評価. 浅見泰司 (編), 住環境, 東京大学出版会, 31-52.

佐土原 聡, 2001. 室環境と設備: 熱源設備. 日本建築学会 (編), 建築設計資料集成, 丸善, 46-47.

* 報告書・資料

佐土原 聡, 吉田 聡, 庄野宣昭, 金子千秋, 2001. 平成 12 年度・高温水供給広域ネットワークシステムの具体化に関する調査研究報告書. エンジニアリング振興協会.

* 国際学会発表

- Urakawa, G., Yoshida, S., Sadohara, S., 2001. A study on the seismic regional character using GIS in city of Yokohama. Thirteenth Annual ESRI International User Conference Proceedings (CD-ROM).
- Kawasaki, A., Sadohara, S., 2001. Disclosing of disaster information on the web. Thirteenth Annual ESRI International User Conference Proceedings (CD-ROM).

* 国内学会発表

- 秋本和紀, 佐土原 聡, 2001. 防災分野における GIS 活用のためのデータ品質評価に関する研究. 日本建築学会大会学術講演梗概集, F-1, 509-510.
- 秋本和紀, 佐土原 聡, 2001. 防災分野における GIS 活用のためのデータ品質評価に関する研究, 地理情報システム学会講演論文集, 10, 131-134.
- 有村陽介, 稲木亮一, 吉田 聡, 佐土原 聡, 2001. 都市熱源ネットワークの導入プロセスに関する研究—日本における広域熱供給ネットワークの導入可能性に関する研究その8—. 日本建築学会大会学術講演梗概集, D-1, 605-606.
- 石本 常, 佐土原 聡, 鄭 炳表, 2001. リモートセンシングを利用した都市の災害危険度変化把握に関する研究. 日本建築学会大会学術講演梗概集, F-1, 473-474.
- 稲垣景子, 佐土原 聡, 2001. 都市における浸水特性に関する研究 (その 1) —研究の目的・方法の概要—. 日本建築学会大会学術講演梗概集, D-1, 667-668.
- 稲垣景子, 佐土原 聡, 2001. 都市域における浸水被害と土地利用の変遷. 地域安全学会梗概集, 11, 47-48.
- 稲木亮一, 佐土原 聡, 吉田 聡, 2001. 都市における集中型・分散型エネルギーシステムのランドデザインに関する研究—その 2: 東京都区部における地域冷暖房導入可能地区に関する分析—. 日本建築学会大会学術講演梗概集, D-1, 601-602.
- 金子千秋, 庄野宣昭, 相馬一郎, 佐土原 聡, 吉田 聡, 2001. 大崎駅周辺地区への高温水広域熱供給ネットワークの事業性評価—東京臨海地域における広域熱供給ネットワークの検討 (その 5) —. 日本建築学会大会学術講演梗概集, D-1, 609-610.
- 川井正和, 佐土原 聡, 2001. 都市域における火災対応水利システムの総合評価に関する研究 (2) —水利の評価手法の提案と横浜市鶴見区での非常時のケーススタディー. 地域安全学会梗概集, 11, 121-124.
- 川崎昭如, 前村 恒, 浦川 豪, 佐土原 聡, 2001. 自治体等の災害関連情報の公開のあり方に関する研究 (その 2) —Web GIS (インターネット地理情報システム) を活用した伝達手法の検討と住民への意識調査—. 日本建築学会大会学術講演梗概集, F-1, 507-508.
- 川崎昭如, 前村 恒, 浦川 豪, 佐土原 聡, 2001. 自治体等の災害関連情報の公開のあり方に関する研究 —横浜市におけるアンケート調査を通じた考察—. 地域安全学会梗概集, 11, 81-84.

- 川津大輔, 浦川 豪, 佐土原 聡, 2001. 災害時における道路環境からみた応急救援の特性分析に関する研究—GIS (地理情報システム) を活用した横浜市における評価手法のケーススタディー. 日本建築学会大会学術講演梗概集, F-1, 503-504.
- 木原 工, 東 大志, 川崎昭如, 中島徹也, 佐土原 聡, 2001. 降雨による急傾斜・崖の崩壊の危険性に関する研究. 地域安全学会梗概集, 11, 9-10.
- 胡 哲新, 佐土原聡, 2001. 生活時間調査による生活行動の滞在空間と人の基本属性との関係—都市における人的活動データベースの構築と災害対策への活用に関する研究(その1)—. 日本建築学会大会学術講演梗概集, F-1, 443-444.
- 胡 哲新, 吉成主税, 佐土原 聡, 2001. 地震防災のための時間帯別被害推定に関するデータベースの構築と活用(その2)—GIS を活用した人の空間分布の把握に関する研究—. 地域安全学会梗概集, 11, 147-150.
- 胡 哲新, 劉 峰, 佐土原 聡, 2001. 地震防災のための時間帯別被害推定に関するデータベースの構築と活用(その1)—生活行動の時間配分と人の基本属性との関係に関する考察—. 地域安全学会梗概集, 11, 143-146.
- 佐土原 聡, 2001. 都市における集中型・分散型エネルギーシステムのグランドデザインに関する研究—その1. 研究の背景・目的と方向性—. 日本建築学会大会学術講演梗概集, D-1, 599-600.
- 須賀千衣, 吉田 聡, 佐土原 聡, 2001. 東京都区部における再生水・雨水利用の実態調査及びその拡大の可能性に関する研究. 日本建築学会大会学術講演梗概集, D-1, 665-666.
- 鈴木亜希子, 田中貴宏, 吉田 聡, 佐土原 聡, 2001. 地方中都市の一般廃棄物収集処理特性と今後の廃棄物計画のあり方に関する研究—福島県原町市における環境調和都市実現のための実践的研究(その6)—. 日本建築学会大会学術講演梗概集, D-1, 645-646.
- 田中貴宏, 佐土原 聡, 2001. GIS を活用した環境調和まちづくり手法の開発に向けた実践的研究—福島県原町市における試み—. 地理情報システム学会講演論文集, 10, 363-366.
- 服部一樹, 東 大志, 浦川 豪, 佐土原 聡, 2001. GIS を活用した急傾斜・崖崩壊危険の評価に関する研究(その2). 日本建築学会大会学術講演梗概集, F-1, 513-514.
- 東 大志, 服部一樹, 浦川 豪, 佐土原 聡, 2001. GIS を活用した急傾斜・崖崩壊危険の評価に関する研究(その1). 日本建築学会大会学術講演梗概集, F-1, 511-512.
- 古屋貴司, 岡西 靖, 佐土原 聡, 2001. 神奈川県における倒壊建物からの人命救助に関する研究—地域特性を考慮した救助機器配備の在り方—. 日本建築学会大会学術講演梗概集, F-1, pp.479-480.
- 古屋貴司, 岡西 靖, 佐土原 聡, 2001. 災害時の救援技術高度化に関する研究(その2)—神奈川県における被害発生と救助対応から見た地域特性の分析—. 地域安全学会梗概集, 11, 15-18.

- 前村 恒, 川崎昭如, 佐土原 聡, 2001. 自治体等の災害関連情報の公開のあり方に関する研究(その1) —WebGIS(インターネット地理情報システム)を活用した伝達手法の検討と住民への意識調査—. 日本建築学会大会学術講演梗概集, F-1, 505-506
- 森岡寛江, 齊藤友朗, 川崎昭如, 佐土原 聡, 2001. 都市の震災対策へのGISの活用に関する基礎的研究—横浜市におけるシナリオ展開のケーススタディー—. 地域安全学会梗概集, 11, 141-142.
- 安井理佳, 佐土原 聡, 吉田 聡, 2001. 横浜市における上水道を用いた未利用エネルギー有効活用に関する研究. 日本建築学会大会学術講演梗概集, D-1, 621-622.
- 吉田 聡, 金子千秋, 相馬一郎, 庄野宣昭, 佐土原 聡, 2001. 大崎駅周辺地区への高温水広域熱供給ネットワークの導入効果—東京臨海地域における広域熱供給ネットワークの検討(その4)—. 日本建築学会大会学術講演梗概集, D-1, 607-608.
- 渡邊紀子, 浦川 豪, 佐土原 聡, 2001. 地震災害のための地理情報データベースの構築とその活用に関する研究—地震災害に基づく都市の地域特性評価と被害のシナリオに関する研究(その6)—. 日本建築学会大会学術講演梗概集, F-1, 497-498.
- 鯉淵健太郎, 佐土原 聡, 吉田 聡, 2002. 電力自由化に伴うエネルギー需給動向の変化に関する調査研究—横浜・川崎市におけるケーススタディー—. 日本建築学会関東支部研究報告集, I, 553-556.
- 小早川奈保子, 佐土原 聡, 2002. 横浜市における震災時の避難所及び避難区画に関する研究—保土ヶ谷区・南区におけるケーススタディー—. 2001年度日本建築学会関東支部研究報告集, II, 321-324.
- 小林哲也, 佐土原 聡, 2002. 地域環境活動を通してのコミュニティ形成に関する研究. 2001年度日本建築学会関東支部研究報告集, I, 597-600.
- 呉 冰, 佐土原 聡, 2002. 横浜市における火災特性と市民の初期消火能力に関する調査研究. 2001年度日本建築学会関東支部研究報告集, II, 329-332.
- 福嶋歩美, 佐土原 聡, 2002. 生活の中に癒しを生み出す建築空間の意匠に関する研究. 2001年度日本建築学会関東支部研究報告集, II, 577-580.
- 宮崎総太郎, 佐土原 聡, 2002. 都市における市民農園の有用性に関する研究. 2001年度日本建築学会関東支部研究報告集, II, 325-328.

* その他

—新聞記事

- 佐土原 聡, 2001. 商学交流事業「和田町いきいきプロジェクト」紹介. 2001年5月13日, 神奈川新聞(朝刊).
- 佐土原 聡, 2001. 商学交流事業「和田町いきいきプロジェクト」紹介. 2001年6月22日, 読売新聞(朝刊).

佐土原 聡, 2001. 商学交流事業「和田町いきいきプロジェクト」紹介. 2001年12月12日, 読売新聞(朝刊).

佐土原 聡, 2002. 商学交流事業「和田町いきいきプロジェクト」紹介. 2002年1月31日, 神奈川新聞(朝刊).

一雑誌記事

佐土原 聡, 2001. 商学交流事業「和田町いきいきプロジェクト」紹介. 街500, 111.

佐土原 聡, 2002. 商学交流事業「和田町いきいきプロジェクト」紹介. 商店街通信, 2002年2月, 47.

一対談

佐土原 聡, 増田康廣, 2001. 対談/都市・建築・エネルギー 次世代都市整備における地域冷暖房・熱源ネットワークのあり方. 熱供給, 44.

吉田 聡, 佐土原 聡, 古川賢司, 2002. 豊橋市における生物系廃棄物リサイクルの潜在性. 愛知大学ミニシンポジウム「都市機能と農村機能の環境連携—東三河型新たな循環・経済システムの視点」.

2. 2001年度主要研究テーマ

1) GIS(地理情報システム)の都市防災への活用

横浜市を対象として, 崖崩壊危険区域の簡便な抽出手法, 雨量情報と崖崩壊危険区域の重ね合わせによるリアルタイムの危険情報発信, GISを活用した都市型水害軽減方策, インターネットGIS(WebGIS)を用いたハザードマップの公開に関する研究を行った.

2) GISを活用した環境調和まちづくりの実践

福島県原町市をフィールドとして, 様々な分野の研究者等と共同で「原町市環境調和まちづくり研究会」を組織し, 学際的, 実践的な研究を行っている. 土壌・植物生態学, 水環境学, 都市気候, 環境リスク等の各分野の研究成果をGISを用いて統合・共有して理解を深め, 市民にわかりやすい形で発信し, 環境調和まちづくりへとつなげる手法について研究を行った.

3) 地域冷暖房を中心とした都市エネルギー計画

東京都区部を対象に, 都市のエネルギーシステムを循環型社会にふさわしく, 効率的で環境負荷の小さいシステムに再構築するため, 燃料電池など分散型エネルギーシステムの技術開発動向も考慮しながら, 地域冷暖房を中心としたエネルギーシステムの導入のグランドデザインを提示するための基礎研究を行った.

増田 聡

客員教授

研究室 〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内
東北大学大学院経済学研究科（地域計画）

専門 地域計画

1. 2001 年度研究業績

* 査読論文

ー 原著論文

増田 聡, 村山良之, 2001. 地方自治体における防災対策と都市計画ー防災型土地利用規制に向けてー. 地学雑誌, 110-6, 980-990.

村山良之, 増田 聡, 2001. 活断層上への防災型土地利用規制の導入可能性ー全国の市および東京特別区の防災と都市計画担当者の意向ー. 季刊地理学, 53-1, 34-44.

* 非査読論文

ー 総説・解説

増田 聡, 2001. 地方都市におけるまちづくりの現場から. 建築雑誌, 116-1477, 111-112.

* 報告書・資料

増田 聡, 2002. 防災型土地利用規制の導入実態とその政策プロセス. 平成 11-13 年度科学研究費補助金研究成果報告書（基盤研究（C）（2））, 83pp.

増田 聡, 2002. 仙台市土地利用調整システムに関わる公開ミーティング報告書. 特定非営利活動法人・まちづくり政策フォーラム, 56pp.

増田 聡, 東北大学大学院地域計画研究室編, 2002. 平成 13 年度経営実態調査報告書. (社) 宮城県情報サービス産業協会, 66pp.

増田 聡, (財) 宮城県建設総合センター編, 2002. 建設業経営者意識調査分析報告書. (社) 宮城県建設業協会, 63pp.

増田 聡, 東北大学大学院地域計画研究室編, 2002. 地域計画論考. 379pp.

* 国内学会発表

増田 聡, 村山良之, 2001. 自治体における防災型土地利用規制（土地利用計画）の導入例. 日本地理学会 2001 年度秋季学術大会, 秋田大学.

増田 聡, 2001. 地域社会基盤としての GIS の可能性. 東北 GIS 研究会, メルパルク仙台.

増田 聡, 2001. 地方都市における都市計画マスタープランの課題. 都市計画学会創立 50 周年記念ワークショップ: 計画型都市計画の確立と計画力の上達へ. 日本都市計画学会学術研究論文発表会

2. 2001 年度主要研究テーマ

1) 災害リスク下の防災型土地利用計画

Hazard map の作成や Seismic zonation など, 災害リスクに関わる空間情報は, 都市計画や地域防災計画の策定に関わる最も基礎的な情報の 1 つである. これらの空間情報の収集・解析・可視化自体は, 災害工学や地形学・地震学等の学問分野で研究が進められ, 研究蓄積も多い. しかし, 災害の事前対応を念頭に置いた都市計画 (まちづくり) において, これらの情報がどのように公表・考慮され, 現実の計画に反映されたかについては, 必ずしも明らかではない. そこで, 上記実態について, 土地利用の調整・誘導面を中心に検討を進めている.

2) 空間情報による地域政策評価

産業・人口等に見られる地理的不均衡問題などの政策課題に対して, 様々な地域 (空間) 政策が展開されてきたが, その評価を試みる際には, 受益と負担の地域配分, 行政区の編成等を踏まえた空間的分析が必要となる. 歴史的・社会的所産である地域 (空間) 政策の展開を, 現実の課題 (市町村合併, コンパクトシティ, 産業立地, 特区政策…) との関係で捉えながら, 政策 (計画) 過程 (発議から採択, 評価, 修正へ) のあり方を検討している.

3) コミュニケーション・ツールとしての GIS

福島県原町市をフィールドに, 「環境調和まちづくり研究会」において環境情報を蓄積した地理情報システムを構築しつつ, 具体のまちづくり活動へと繋げるための共同研究に参加している (横浜国大・佐土原研究室). その中で, 研究者・行政・住民・まちづくり組織間を繋ぐ「コミュニケーション・ツールとしての GIS」の可能性を考えていきたい.

山村悦夫

客員教授

研究室 〒060-0810 札幌市北区北10条西5丁目

北海道大学大学院地球環境科学研究科

専門 地理情報システム学, 地域環境創造学, モデル規範適応学

1. 2001 年度研究業績

* 査読論文

－原著論文

Yamamura, E., 2001. Model reference adaptive religious organization theory. *International Journal of Environmental Creation*, 3-1, 17-29.

－総説・解説

Yamamura, E., 2001. Environmental analysis on urban transportation problem of developing countries arising from model reference adaptive theory. *Proceedings of the 9th Symposium on Global Environment*. 9, 91-96.

* 非審査論文

－原著論文

Sawazaki, H., Yamamura, E., 2001. Improvement of accessibility to medical facilities for the elderly in areas with inconvenient public transportation. *Papers and Proceedings of the Geographic Information Systems Association*, 10, 381-384.

－総説・解説

山村悦夫, 2001. 地理情報システム (GIS) と衛星測位システム (GPS) による真の行政と経営の改革を. *NEX-US*, 10-2, 28-29.

* 国際学会発表

Yamamura, E., 2001. Chaotic land use location analysis arising from geographic information systems. 17th Pacific Conference of Regional Science International, Portland, Oregon, U.S.A.

Yamamura, E., 2001. Urban land use changes around subway network arising from geographical information systems and chaotic location theory. 9th World Conference on Transportation Research Society, Seoul, Korea.

2. 2001 年度主要研究テーマ

1) 交通不便地域における高齢者の医療施設アクセシビリティ改善

公共交通機関の不便な地域を対象として、高齢者の交通利用実態と生活行動調査から明らかとなった高齢者を、GIS を用いて入力し、各種の公共交通網の形成により、実態を数理的に評価を行い、最適公共交通網を考察する。

2) トルコ、アンカラ都心部の住宅評価

トルコ、アンカラの都心部地区の住宅評価において、GIS を用いて住宅属性を入力し、各種の公共施設、商業施設及びスラム地域の情報を、ヘドニック価格評価方程式を用いて住宅評価を考察する。

3) モデル規範適応理論に基づく北海道とサハリンの連関分析

サハリンの各種の空間データを GIS で電子地図化を行い、サハリンの開発と環境の連関をモデル規範適応理論で分析し、更にサハリン海底油田開発に伴う油流失状況を GIS で分析し、対策を考察する。

奥貫圭一

客員助教授

研究室 〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学環境学研究科社会環境学専攻地理学講座

専門 都市解析, 空間的最適化

1. 2001 年度研究業績

* 査読論文

ー原著論文

Okabe, A., Okunuki, K., 2001. A computational method for estimating the demand of retail stores on a street network using GIS. Transactions in GIS, 5-3, 209-220.

Okunuki, K., 2001, Urban analysis with GIS, GeoJournal, 52-3, 181-188.

* 非査読論文

ー原著論文

谷 謙二, 佐藤俊樹, 岡本耕平, 奥貫圭一, 大西宏治, 2001. 中学校地理教育用 GIS の開発と教育実践の試み. 地理情報システム学会講演論文集, 10, 235-239.

森田匡俊, 奥貫圭一, 岡部篤行, 2001. GIS を用いたネットワーク上の小売店舗商圈分析ー愛知県日進市を事例にー. 地理情報システム学会講演論文集, 10, 45-50.

ー総説・解説

奥貫圭一, 大西宏治, 2001. 大学で GIS を学ぼう 5ー名古屋大学. 地理, 46-11, 88-92.

* 書籍

奥貫圭一, 2001. 都市解析と GIS. 高阪宏行・村山祐司編, GISー地理学への貢献, 古今書院, 300-313.

* 国際学会発表

Okunuki, K., Itoh, S., Okabe, A., Goto, Y., Kaneko, T., Shinoaki, S., Akita, Y., Kotsubo, H., Okita, Y., Tatematsu, T., Shiozaki, G., 2001. A mobile GIS for feildwork. Abstracts of Symposium on Asia GIS 2001 20-1 (CD-ROM).

Okunuki, K., Itoh, S., Okabe, A., Goto, Y., Kaneko, T., Shinoaki, S., Akita, Y., Kotsubo, H., Okita, Y., Tatematsu, T., Shiozaki, G., 2002. Mobile GIS for fieldwork in geographical studies. Annual Meeting of the Association of American Geographers (CD-ROM).

* 国内学会発表

奥貫圭一, 2001. 教育 GIS 活用に関わる課題と内外の動き. 名古屋地理学会 2001 年度第 1 回研究報告会シンポジウム「GIS 教育を考える」.

奥貫圭一, 大西宏治, 2002. 名古屋大学地理学教室における GIS 教育. 日本地理学会 2002 年度春期学術大会発表要旨集, 34.

谷 謙二, 佐藤俊樹, 岡本耕平, 奥貫圭一, 大西宏治, 2002. 中学校における地理教育用 GIS の開発と教育実践: その 1. 日本地理学会 2002 年度春期学術大会発表要旨集, 87.

谷 謙二, 佐藤俊樹, 岡本耕平, 奥貫圭一, 大西宏治, 2002. 中学校における地理教育用 GIS の開発と教育実践: その 2. 日本地理学会 2002 年度春期学術大会発表要旨集, 88.

2. 2001 年度主要研究テーマ

1) 人文社会科学のための空間データ管理・共用・伝達システムの開発

人文社会科学で利用する空間データベースの管理・共用・伝達するための理論をうちたててそれを実装したツール提供を行った(東京大学岡部篤行教授, 貞広幸雄助教授ほかとの共同研究. 文部省科学研究費「人文社会科学の空間情報科学」の研究プロジェクト).

2) 教育用 GIS の開発

学校教育での GIS 普及をめざし, 教育現場で利用され得る GIS の検討と開発提案を行った.(東京大学岡部篤行教授, 金沢大学伊藤 悟教授, 名古屋大学岡本耕平教授, 東京ガス(株)ほかとの共同研究. 文部省科学研究費「わが国の初等・中等教育における地理情報システムの活用に関する研究」の研究プロジェクト)

3) ネットワークデータを用いた空間的最適化

人文社会科学で利用する空間データのうち, ネットワークデータを用いて空間的最適化を行うための理論研究を行った(東京大学岡部篤行教授との共同研究).

小長谷一之

客員助教授

研究室 〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138

大阪市立大学経済研究所地域経済研究部門

専門 都市・地域経済論, 経済立地論

1. 2001 年度研究業績

* 査読論文

ー原著論文

小長谷一之, 2001. 都市再生とソフト系 IT 産業ーアメリカ・東京・大阪. 都市研究, 近畿都市学会, 13-36.

* 非査読論文

ー原著論文

小長谷一之, 2001. 特集・21 世紀ー大阪の都市像: 新産業振興と大阪の可能性. 市政研究, 131, 大阪市政調査会, 17-25.

小長谷一之, 2001. 郊外自治体における財政再建のための新産業創出支援戦略. TOYONAKA ビジョン 22, 4, 豊中市政研究所.

小長谷一之, 2001. 特集・IT 産業集積と地域産業活性化ー大阪における IT 産業の集積. 産業立地, 6, 日本立地センター, 23-30.

小長谷一之, 2001. 全米ーの IT 産業都市ーサンフランシスコとベイエリア. 地理月報 4, 帝国書院, 4-5.

小長谷一之, 2001. デジタルシティ/デジタルタウン構想と大阪における都市型産業の展望. 市政研究, 135, 大阪市総務局, 102-106.

小長谷一之, 2001. シリコンアレー. 地理・地図資料, 帝国書院, 16.

小長谷一之, 2002. 「若者」と「エコ」をキーワードに水都復活めざせ. O-BAY, 10, 大阪湾ベイエリア開発推進機構, 13.

* 報告書・資料

小長谷一之, 都市基盤整備公団・船場デジタルタウン推進会議, 2002. 船場デジタルタウン構想 第 1 回 SOHO 調査.

* 書籍

小長谷一之, 2002. 大都市圏立地構造の再編と 21 世紀京阪神都市圏の将来像. 大阪市立大学経済研究所監修・小玉徹編, 大都市圏再編への構想, 東京大学出版会, 29-52.

* 国内学会等発表

小長谷一之, 2001. アメリカの都市再生, 大阪市都市工学情報センター・都市大阪創生研究会.

* その他

一 講演

小長谷一之, 2001. デジタルシティ構想について. 関西経済連合会・関西 IT 戦略会議, 2001.

小長谷一之, 2001. デジタルシティ／デジタルタウン構想と大阪における都市型産業の展望. 大阪市政調査会.

小長谷一之, 2001. 関西の都市再生に向けてー船場デジタルタウン構想と各機関の取り組み. 地球環境関西フォーラム・都市環境部会.

小長谷一之, 2001. 大阪におけるインキュベータ政策と船場デジタルタウン計画について. 経済産業省・日本立地センター・日本新事業支援機関協議会 (JAMBO).

2. 2001 年度主要研究テーマ

- 1) 都市における IT 系新産業の集積経済効果および立地政策の研究
- 2) 都市の地価・土地利用データの空間計量経済的分析
- 3) 土地利用モデルのキャリブレーション手法の改良

鈴木康弘

客員助教授

研究室 〒480-1198 愛知県愛知郡長久手町熊張

愛知県立大学情報科学部地域情報科学科

専門 自然地理学, 活断層, 自然環境 GIS

1. 2001 年度研究業績

* 査読論文

－原著論文

Suzuki, Y., Kimura, K., Aoki, T., 2001. A GIS-based study toward forecast of suburban forest change. *GeoJournal*, 52-3, 203-212.

* 非査読論文

－総説・解説

鈴木康弘, 2001. 活断層と地震防災－予測の限界と防災への適用. *自然災害科学*, 19-4, 416-421.

* 書籍

岡田篤正, 牧野内 猛, 鈴木康弘, 2001. 愛知県の活断層その 3－三河地区. 愛知県防災会議編, 愛知県.

鈴木康弘, 2001. 活断層大地震に備える. ちくま新書, 200p.

鈴木康弘, 2001. 環境変化予測と GIS. 高阪宏行, 村山祐二編, GIS－地理学への貢献. 古今書院.

* 国際学会発表

Ota, Y., Watanabe, M., Suzuki, Y., Sawa, H., 2001. Late Quaternary movement of Chelungpu fault in Central Taiwan－Special reference to its repeated activity and the surface rupture by the 1999 Chichi earthquake－. *Proceedings of the International Meeting on both Sea-level Changes and Coastal Evolution (INQUA) and Neotectonics (INQUA)*, Taipei.

Ota, Y., Watanabe, M., Suzuki, Y., Sawa, H., 2001. Geomorphological evidences for identifying late Quaternary active faults in Taiwan－Examples from central and western Taiwan－. *Proceedings of iSEAT at 2001 Joint Geoscience Assembly*.

Suzuki, Y., Oguchi, T., Onda, Y., Sugimori, H., Itokazu, T., Katsube, K., Kimura, K., Aoki, T., Kumamoto, T., Yamamoto, K., Masaoka, N., Handa, N., 2001. An integrated approach to hydrogeomorphology in a Japanese hilly land. Abstracts, 5th International Conference on Geomorphology.

2. 2001 年度主要研究テーマ

1) 活断層による地震発生予測研究

活断層が起こす直下地震をどの程度予測可能なのか？ 発生時期を正確に予測することは難しいが、発生場所・規模・特性、および近未来における発生確率を予測することは不可能ではない。台湾中部地震（1999 年）は活断層による地震のひとつの典型例で、「この地震の諸特徴を地震発生前にどこまで予測できたか」を検証することは地震防災上も重要である。現時点までに、渡邊・鈴木（1999）で紹介した地形判読法による活断層認定作業を実施し活断層地図を作成した。その結果と地震断層出現位置を比較することで、地震断層発生場所の予測精度についての検討を行っている。すべての情報は GIS 情報として整理し、GIS 上で数値解析を行っている。

2) アジア地域における地震防災研究

上述の台湾の他、1995 年に大地震が発生したサハリン、長大な活断層を持ち、20 世紀にも大地震を繰り返してきたモンゴルや中国、さらにロシア沿海州、アフガニスタンなどで、航空写真や衛星写真判読による活断層分布図の作成を行っている。これらの多くはアジア防災センターや国連地域開発センターと共同で GIS 情報化し、各国への情報発信を準備中である。比較的近い時期の地震発生を考慮した耐震構造化への応用や、長期間の地震防災を目指した都市計画など、関連学問分野や関係国・関係省庁との連携も準備中である。

3) 自然環境の時系列解析及び数値情報化 — 森林成長計測技術の開発

地球温暖化の議論の中で、「森林がどれだけの炭素を固定しているか」を計測する意義は大きい。そのためには森林がボリュームとしてどれだけ成長しているかを計測することは重要である。平成 10 年から始めた産学共同研究によって、DPW（Digital Photogrammetry Workstation）を用いたリモセン解析によって、国際博覧会（愛知万博）が予定されている里山地域における戦後 50 年間の森林成長量を計測することに成功した。また、現地における森林計測結果とリンクさせて、GIS をベースに、成長量から炭素固定量を見積もる方法を提案し発表している。環境共生の社会的議論を視野に入れた産学協同研究の成果は、1999～2001 年度の 3 ヶ年にわたって東大 CSIS において実施したシンポジウムにおいても公開した。

矢野桂司

客員助教授

研究室 〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

立命館大学文学部地理学科地理学専攻

専門 人文地理学, 理論・計量地理学

1. 2001 年度研究業績

* 査読論文

－原著論文

Fotheringham, A.S., Nakaya, T., Yano, K., Openshaw, S., Ishikawa, Y., 2001. Hierarchical destination choice and spatial interaction modeling: a simulation experiment. *Environment and Planning A*, 33, 901-920.

Yano, K., 2001. GIS and quantitative geography. *GeoJournal*, 52, 173-180.

Yano, K., Nakaya, T., Ishikawa, Y., 2001. An analysis of inter-municipal migration flows in Japan using GIS and spatial interaction models. *Geographical Review of Japan*, 73B, 165-177.

－総説・解説

矢野桂司, 2001. GIS と地理教育－サイバースペースの水先案内人－. *人文地理*, 53-5, 50-56.

矢野桂司, 2002. コンピュータで世界を知る－情報化・IT 革命・地理学－. *人文地理*, 54-1, 56-63.

* 非査読論文

－原著論文

浅井泰之, 矢野桂司, 2001. 1995 年国勢調査によるジオデモグラフィクスの構築. 第 10 回 地理情報システム学会学術研究発表大会講演集, 279-284.

神谷浩夫, 中澤高志, 木下禮子, 矢野桂司, 2002. 東京都心三区で働く女性の勤務と生活. *地理学報告*, 10, 49-60.

－総説・解説

矢野桂司, 2001. 大学で GIS を学ぼう! 立命館大学. *地理*, 46-6, 36-40.

* 書籍

矢野桂司, 2001. 計量地理学と GIS. 高阪宏行, 村山祐司 (編), *GIS－地理学への貢献－*, 古今書院, 246-267.

矢野桂司, 2001. アラン・G・ウィルソン－都市・地域システムの理論的なモデル化－. 竹

- 内啓一, 杉浦芳夫 (編), 二〇世紀の地理学者たち, 古今書院, 303-310.
- 矢野桂司, 2001. 大都市圏の社会地図, 富田和暁, 藤井 正 (編), 図説 大都市圏, 古今書院, 16-19.
- 若林芳樹, 神谷浩夫, 木下禮子, 由井義通, 矢野桂司, 2002. シングル女性の都市空間. 大明堂, 236p.

* 報告書・資料

- 矢野桂司 (編著), 2001. 地理情報システムを用いた日英人口移動比較研究. 平成 10-11 年度立命館大学国際共同研究助成 (代表者 矢野桂司).
- 矢野桂司 (編著) 2001. 地理情報システムを用いた地域計画立案支援システム. 平成 11-12 年度文部省科学研究費補助金地域連携推進 (2) (代表者 矢野桂司).

* 国際学会発表

- Hanaoka, K., Nakaya, T., Yano, K., 2001. Logistic regression modelling for landuse changes depending on neighboring conditions: A case study in Osaka city, 1986-1991. International Symposium on LUCC Contribution to Asian Environmental Problems, Science Council of Japan.
- Yano, K., Nakaya, T., Kato, H., 2001. A new social atlas of Kyoto based on cartogram systems for small area units. Asia GIS 2001, Tokyo.

* 国内学会発表

- 浅井泰之, 矢野桂司, 2001. 1995 年国勢調査によるジオデモグラフィクスの構築. 第 10 回 地理情報システム学会学術研究発表大会. 地理情報システム学会, 工学院大学.
- 木下禮子, 若林芳樹, 矢野桂司, 2001. 東京都心 3 区で働く女性の勤務と生活. 2001 年度 人文地理学会大会, 人文地理学会, 神戸大学.
- 矢野桂司, 2001. 地理学における計量革命と GIS 革命: GeoComputatation とは何か. 第 69 回地理思想研究部会. 人文地理学会, 大阪大学.
- 矢野桂司, 岩切 賢, 中谷友樹, 武田祐子, 2001. 道路ネットワークデータを用いた公共施設配置問題に関する研究. 平成 13 年度実証実験データベース利活用実験 (大阪府地区) 中間報告会, NTT コミュニティプラザ大阪.
- 矢野桂司, 岩切 賢, 中谷友樹, 武田祐子, 2001. 道路ネットワークデータを用いた公共施設配置問題に関する研究. 平成 13 年度実証実験データベース利活用実験 (大阪府地区) 最終報告会, NTT コミュニティプラザ大阪.
- 矢野桂司, 中谷友樹, 岩切 賢, 2001. 立命館大学における GIS 教育. 2002 年度日本地理学会春季大会, 日本地理学会, 日本大学.

* その他

ー講演など

- 矢野桂司, 2001. 地理学ウィーク関西 2001「GIS と地理教育ーサイバースペースの水先案内人ー」(人文地理学会, 京都, 京都キャンパスプラザ)
- 矢野桂司, 2001. 立命館大けいはんな地域政策形成講座「地域行政における地理情報システムの活用」(立命館大学, 京都, けいはんなプラザ)
- 矢野桂司, 2001. 地理学と GIS 教育・研究「GIS と地理教育ーサイバースペースの教育ー」(福井県地理学会, 福井, 福井大学)
- 矢野桂司, 2001. 人文地理学会公開セミナー「コンピュータで世界を知るー情報化・IT 革命・地理学ー」(人文地理学会, 大阪, エル大阪)
- 矢野桂司, 2002. 神戸市教育委員会研修「地理教育と GIS」(神戸市教育委員会, 神戸, 神戸市総合情報センター)

2. 2001 年度主要研究テーマ

- 1) 人文地理学における空間データの構築, 管理, 分析手法の開発とその応用
全国の国勢調査の小地域集計, 地域メッシュ統計を GIS ソフトに即座に取り込める形式に変換し, それらのデータベースを構築した. また, shp 形式の GIS データと dbf 形式のデータベースを, 外部的に結合するソフトを開発した (具体的には, Join 機能を有さない ArcExplorer などで活用可能).
- 2) ジオデモグラフィクスの構築
平成 7 年国勢調査小地域集計に基づいた, ジオデモグラフィクスの構築を行った.
- 3) カルトグラムによる可視化の研究
これまで, 様々な社会地図を作成してきたが, 社会地図に適した地図表示方法として, ドーリングの円形カルトグラムを用いて, 京都の社会地図を作成した.
- 4) ジェンダーマップの作成
官庁統計に基づいたジェンダーマップの作成を行った.

XVII 個人情報-3:院生・研究員等の業績

※センター本部教官を指導者・受入者とする院生・研究員等が2001年度に発表した業績のうち、教官と連名でないものを掲載した(連名のものはXV章の各教官の業績に掲載されている)。

岡部篤行 関係

該当者：伊藤史子 (PD：客員研究員)

* 査読論文

ー原著論文

山崎正洋, 伊藤史子, 渡辺俊一, 2001. 台湾震災復興まちづくりの特徴. 日本都市計画学会学術研究論文集, 36, 25-30.

坂口陽子, 小泉秀樹, 伊藤史子, 渡辺俊一, 2001. 米国シアトル市「近隣計画プログラム」における地域的公共性と広域的公共性. 日本都市計画学会学術研究論文集, 36, 31-36.

* 非査読論文

ー原著論文

大場 亨, 寺木彰浩, 小林 尚, 鎌田高造, 河中 俊, 玉川英則, 今井 修, 伊藤史子, 2001. 地方公共団体の建築物に関する業務へのGIS応用の問題点. 地理情報システム学会講演論文集, 10, 111-114.

井浦貴博, 梅田洋一, 伊藤史子, 渡辺俊一, 2001. 世田谷区におけるまちづくり支援方策ー世田谷区まちづくりセンターと玉川まちづくりハウスを事例としてー. 日本建築学会学術講演梗概集, F-1, 63-66.

川野 純, 伊藤史子, 渡辺俊一, 2001. 都市における大学の役割ー大学キャンパスの施設開放の現状ー. 日本建築学会学術講演梗概集, F-1, 257-258.

中村 文, 坂本洋介, 伊藤史子, 渡辺俊一, 2001. まちづくりにおける「生活イメージ」と「地域イメージ」の具現化ー専門家の役割に着目してー. 日本建築学会学術講演梗概集, F-1, 933-936.

* 報告書・資料

伊藤史子, 2001. 地理情報システムとニューラルネットワークを利用した土地利用変化モデル. 平成12年度国土交通省土地・水資源局委託調査：土地関係研究支援事業報告書, (財)土地総合研究所編, 455-495.

*** その他**

伊藤史子, 2001. 大学周辺に住まう学生たち; 特集=都市の潜像—施設立地と都市活動分布の共鳴—. 建築雑誌, 116, 30-33.

浅見泰司 関係

該当者: イスマイル・ジハンギリ・イステッキ (PD: 日本学術振興会外国人特別研究員)

*** 非査読論文**

—原著論文

Choochuey, R., Imagawa, J., Istek, C. Junngern, N., Matsubara, H., Mirti, S., Piadaeng, N., Watanabe, H., 2001. Too good to be true. Special Report on Sendai Mediatheque, Art4d: Architecture, Design and Arts, 73, 33-48.

小口 高 関係

該当者: 何 宏林 (PD: 日本学術振興会外国人特別研究員), 原 美登里 (PD: CSIS 客員研究員), 堀 和明 (PD: 恩賜財団母子愛育会リサーチ・レジデント), 勝部圭一 (D2: 理学系研究科), 林 舟 (D1: 理学系研究科)

*** 査読論文**

—原著論文

Hori, K., Saito, Y., Zhao, Q., Cheng, X., Wang, P., Sato, Y., Li, C., 2001. Sedimentary facies of the tide-dominated paleo-Changjiang (Yangtze) estuary during the last transgression. Marine Geology, 177, 331-351.

Hori, K., Saito, Y., Zhao, Q., Cheng, X., Wang, P., Sato, Y., Li, C., 2001. Sedimentary facies and Holocene progradation rates of the Changjiang (Yangtze) delta, China. Geomorphology, 41, 233-248.

Hori, K., Saito, Y., Zhao, Q., Wang, P., Li, C., 2001. Progradation of the Changjiang River delta since the mid-Holocene. Science in China (Series B), 44 Supplement, 87-91.

Liu, B., Saito, Y., Yamazaki, T., Abdeldayem, A., Oda, H., Hori, K., Zhao, Q., 2001. Paleocurrent analysis for the Late Pleistocene-Holocene incised-valley fill of the Yangtze delta, China by using anisotropy of magnetic susceptibility. Marine Geology, 176, 175-189.

Saito, Y., Yang, Z., Hori, K., 2001. The Huanghe (Yellow River) and Changjiang (Yangtze River) delta: a review on their characteristics, evolution and sediment discharge during the Holocene. *Geomorphology*, 41, 219-231.

Yamano, H., Hori, K., Yamauchi, M., Yamagawa, O., Ohmura, A., 2001. Highest-latitude coral reef discovered at Kurosaki, Gonoura Town of Iki Island, Japan. *Coral Reefs*, 20, 9-12.

Yang, S., Li, C., Zhao, Q., Saito, Y., Hori, K., 2001. Element geochemistry of Holocene sediment and paleoenvironmental change in Changjiang Estuary. *Science in China (Series B)*, 44 Supplement, 40-46.

He, H., Ikeda, Y., Song, F., Dong, X., 2002. Late Quaternary slip rates of the Xiaojiang Fault, Southwestern China and their tectonic implication. *Seismology and Geology*, 24, 14-26.

Hori, K., Saito, Y., Zhao, Q., Wang, P., 2002. Architecture and evolution of the tide-dominated Changjiang (Yangtze) River delta, China. *Sedimentary Geology*, 146, 249-264.

* 非査読論文

一 原著論文

原 美登里, 山田 勤, 新井 正, 2001. 明治以降の東京都における水収支. 自然教育園報告, 33, 391-399.

* 書籍

勝部圭一, 2001. 宍道町の気候と地形. 宍道町史編纂委員会編「宍道町史 通史編上巻」宍道町, 12-18.

* 報告書・資料

Haruyama, S., Doanh, Q.L., Tiem, V.L., Phon, K.L., Phai, V.V., Hori, K., Tanabe, S., Saito, Y., 2001. Geomorphology of the Red River delta and their fluvial process of geomorphologic development, Northern Vietnam. In: Haruyama, S., Matsumoto, J., Sakurai, Y., Doanh, Q.L., Tiem, V.L., Phon, K.L. eds. *Long Climate Change and the Environment Change of the Lower Red River Delta*. Agricultural Publishing House, Hanoi, 71-92.

* 国際学会発表

He, H., Ikeda, Y., 2001. Late Quaternary faulting and paleoseismology of the Zemuhe Fault in southeastern China. *Proceedings, Ten Years of Paleoseismology in the ILP: Progress and Prospects*, Dec. 2001. Kaikoura, New Zealand, 64-69.

Hori, K., Saito, Y., Wang, P., Zhao, Q., 2001. Evolution of coastal depositional systems of the Changjiang (Yangtze) River in response to latest Pleistocene-Holocene sea-level changes. *Chapman Conference on the Formation of Sedimentary Strata on Continental Margins*.

- Hori, K., Saito, Y., Zhao, Q., Wang, P., 2001. Evolution of the tide-dominated Changjiang River Delta, China. Fifth International Conference on Geomorphology, Abstracts, C-97.
- Uehara, K., Saito, Y., Hori, K., 2001. Paleotidal regime in the Changjiang estuary, the East China Sea and the Yellow Sea at 6 ka and 10 ka estimated from a numerical model. 7th International Conference on Paleoceanography.
- Hori, K., Saito, Y., 2002. Facies architecture and evolution of the Changjiang River delta. International Workshop on Asian Deltas: Their Evolution and Recent Changes, 14.
- Tanabe, S., Hori, K., Saito, Y., Haruyama, S., Phai, V.V., 2002. Shoreline progradation rates in the Song Hong (Red River) delta during the past 7000 years. International Workshop on Asian Deltas: Their Evolution and Recent Changes, 17.
- Uehara, K., Saito, Y., Hori, K., 2002. Relation between paleotidal current field and moribund sand-ridge formation on the continental shelf southeast of the Changjiang River mouth. International Workshop on Asian Deltas: Their Evolution and Recent Changes, 15-16.

* 国内学会発表

- 勝部圭一, 2001. 50m-DEMを用いた日本列島山地斜面の地形計測. 地球惑星科学関連学会2001年合同大会予稿集 (CD-ROM) .
- 斎藤文紀, 堀 和明, 陳 中原, 北村晃寿, 2001. 長江沖のリッジ地形と堆積物. 堆積学研究会2001年春季研究集会プログラム・講演要旨集, 53.
- 林 舟, 2001. デジタル写真測量とGISを活用した裸地上の水系網解析. 地球惑星科学関連学会2001年合同大会予稿集 (CD-ROM) .
- 堀 和明, 斎藤文紀, 2002. 大河川デルタの特徴についてー長江デルタを例に. 日本地理学会発表要旨集, 61, 251.

* その他

ー地形解説

- 堀 和明, 2001. 自然堤防と後背湿地ー信濃川<新潟県白根市>. 地理・地図資料6月号付録, 帝国書院.
- 堀 和明, 2001. 三角州 (デルタ) ー雲出川<三重県一志郡>. 地理・地図資料6月号付録, 帝国書院.